

○督府、王師征討ノ意ヲ庶民ニ諭告シ、諸軍中、若シ鹵掠ヲ行フ者アラハ、直ニ之ヲ緝捕セシム。

○津川口官軍、賊兵ヲ車嶺、及ヒ下野尻驛等ニ撃テ之ヲ破ル。二十八日、副參謀楠田英世ヲ罷ム。

○督府、柳澤德忠ニ命シ、速ニ藩地ニ歸リテ、役夫ヲ下關口ニ出サシム。

○米澤口官軍、賊ト沼、片貝等諸村ニ相持スルコト十餘日、是日、上杉齊憲、其臣黒井某、小原、齋藤篤信計主等ヲ軍門ニ遣シテ、降ヲ乞フ、督府、乃チ命スルニ實効ニ事ヲ以テス、曰、齊憲若クハ子茂憲、郵、式親カラ本營ニ詣リ罪ヲ謝ス、限ルニ明月四日ヲ以テス、曰、亟ニ守境ノ士ヲ撤シ、城下ニ禁錮ス、某等謹テ命ヲ奉シテ去ル。

○津川口官軍、進テ片門驛及ヒ天屋、椿等諸村ニ至ル、賊舟渡氣多宮、柳津等諸村ニ分據シ、只見川ヲ隔テ官軍ヲ拒ム、官軍乃チ兵ヲ分テ西羽賀、夏井、川合、柴尻等諸村ニ據リ、之ト相持ス、是日、參謀西園寺公望、進テ天屋村ニ至ル。

○莊内口ノ賊、曉ニ乘シテ雷村口ヲ襲フ、官軍利アラス、既ニシテ撃テ之ヲ走ラス。

○是ヨリ先、朝廷、小倉藩兵二百八十人ヲ越後ニ發遣ス、是日、三條驛

ニ至ル。小笠原忠

二十九日、督府、藤村紫朗四郎、肥後藩士、ヲ以テ軍監ト爲シ、津川口ニ差遣ス。

○遊擊軍將、柏崎驛ヲ發シ、新潟ニ至ル。

○津川口官軍、兵ヲ分テ芝崎村ニ進ミ、間道ヨリ若松ニ向フ、是日、賊兵ヲ石坂峠滑澤村ニ撃テ之ヲ破ル。

○是ヨリ先、朝廷、佐土原藩兵三ヲ越後ニ發遣ス、是日、新潟ニ至ル。島津忠義家記

晦日、牧野忠泰本營ニ候シ、總督ニ調シ、宥罪ノ恩ヲ謝ス。是月、朝廷、彦根藩兵二ヲ越後ニ發遣ス。井伊直安家記

第十二 自明治元年九月初七日至同

九月朔日、督府、軍監岩村高俊ノ戰勞ヲ褒ス。

○遊擊軍將、新潟ヲ發シ、新發田ニ至リ、總督ニ調ス。

○督府、小倉、佐土原ニ藩兵ニ令シテ、下關口ニ赴カシム、尋テ更令シテ、小倉藩兵ヲ津川、下關二路ニ、佐土原藩兵ヲ津川口ニ差遣ス。

○莊内口海道ノ官軍、再ヒ賊兵ヲ鼠關驛、及ヒ高島越等ニ撃ツ、克タスシテ退ク。

○津川口官軍、兵ヲ分テ賊兵ヲ西方村ニ攻ム、賊兵潰エ走ル、官軍乃チ西方村ニ據リ、賊ト只見川ヲ挾テ相持ス。

○若松間道ノ官軍、賊兵ヲ江谷村ニ破ル、是日、賊兵滑澤村ニ逼ル。官軍撃テ之ヲ卻ク。

二日、督府、本營ヲ新發田ニ定ム。

○督府、深尾某三九郎、主ヲ以テ參謀ト爲シ、小監察ニ見正則ヲ軍監ト爲シ、軍曹兼輜重器械方米山某列兵ヲ器械方總括ト爲ス、又薩摩藩隊長村田某初石、ニ命シテ、軍務ニ參與セシム。

○若松間道ノ官軍、兵ヲ分チ、一ハ賊兵ヲ彌太郎石峠、陣ヶ峯及ヒ平明、赤岩、萩野等諸村ニ撃ツ、津川口官軍、阿賀川ヲ隔テ之ヲ援ク、賊兵潰エ走ル、一ハ賊兵ヲ新町道、目中町、眞箇澤等諸村ニ破リ、北クルヲ追テ小綱木村ニ至ル。

○米澤口官軍、賊兵ヲ柳生戸越ニ破リ、北クルヲ追テ大峠ニ至ル。

○八十里越口官軍、進テ叶津村ニ至ル、六十里越口官軍モ亦來會ス。

三日、遊擊軍將新發田ヲ發シ、新潟ニ赴ク。

○上杉齊憲、城外ニ屏居シ、再ヒ其臣毛利業廣、上、小川某源太等ヲ軍門ニ遣シテ、謝罪ノ期ヲ緩クセンコトヲ請フ、督府乃チ其

期ヲ更メテ本月七日ト爲ス、是日、業廣等本營ニ詣テ、齊憲ノ謝罪書ヲ上ル。

○四日、總督、上杉齊憲ノ家臣毛利業廣等ヲ延見シテ、征討ノ令ヲ傳ヘ、且齊憲ノ降ヲ聽シ、命シテ功ヲ立テ、罪ヲ贖ハシム。

○遊擊軍將、新潟ニ至ル。

○若松間道ノ官軍、路ヲ分テ賊兵ヲ館ノ原、廣野、木曾等諸村ニ撃ツ、津川口官軍、兵ヲ分テ來リ援ク、賊兵潰エ走ル、中反村ノ賊、亦風ヲ望テ遁逃ス。

五日、督府、軍監岩村高俊ヲ以テ監察使ト爲シ、米澤ニ差遣ス。○津川口官軍、舟渡、柳津等、諸村ノ賊ト只見川ヲ挾テ相持スルコト數日、是日、白川口官軍ノ若松ニ在ル者、兵ヲ分テ賊兵ヲ高久、塔寺等、諸驛ニ破リ、進テ舟渡村ノ賊背ヲ衝ク、賊兵支ヘス潰エ走ル、柳津村ノ賊亦風ヲ望テ遁逃ス、官軍乃チ進テ舟渡、久保二村ニ至リ、翌日、坂下驛及ヒ南宇内、柳津、瀧谷等諸村ニ進ム、參謀西園寺公望モ亦塔寺驛ニ至ル。

七日、遊擊軍將、參謀船越衛ニ命シ、因幡、佐土原ニ藩兵ヲ率キテ、海路秋田ニ赴シム。

第十三 自明治元年九月八日至同



九月八日、督府、諸軍中往々鹵掠ヲ行フ者アルヲ以テ、各藩隊長ニ令シテ、嚴ニ其部下ヲ戒飭セシメ、犯ス者ハ、隊長ヲ併セテ軍法ニ處ス。

九日、浮浪ノ徒、上信ノ間ニ出沒シ、越後ニ闖入セントスルノ聞アリ、是日、督府、松代、松本以下十一藩ニ令シ、兵ヲ發シテ之ヲ鎮セシメ、軍監藤村紫朗ヲ遣シテ、諸藩兵ヲ督セシム、尋テ紫朗松代ニ至ル、傍近隻賊ヲ見ス、因テ令シテ諸藩兵ヲ罷遣シ、藩地ノ兵備ヲ嚴整シテ、不時ノ徵發ニ供セシム。

十日、津川口官軍、進テ若松ニ至ル、是ヨリ先、白川、平潟兩道ノ官軍、若松城ヲ圍ミ、其東北ノ外郭ヲ奪フ、既ニシテ藤原口官軍モ亦來會ス、城外ノ賊、高田、北方二驛ニ分據シ、城内ト犄角シテ、以テ官軍ヲ拒ム、是ニ至リ津川口官軍、城ノ東北ニ陣シ、三道ノ軍ト合シ、以テ城内ノ賊ニ當ル。

○早且、若松間道ノ官軍、路ヲ分テ賊兵ヲ荒町、舟岡、小布瀬原、慶徳等諸村ニ擊ツ、津川口官軍、兵ヲ分チ、賊ヲ山崎村ニ破リテ來リ援ク、賊兵潰エ走ル、官軍、北クルヲ追テ、小荒井驛ニ至ル。

十一日、督府、大村某若右衛門、實籍不詳ヲ以テ參謀ト爲シ、西郷從道薩長、實籍不詳ヲ軍監ト爲シ、竝ニ秋田口ニ差遣シ、白井某良三郎、實籍不詳ヲ軍監ト爲

ス。

○上杉齊憲疾アリ、其子茂憲ヲシテ、代リテ督府ニ詣リ、罪ヲ謝セシム、茂憲乃チ新發田ニ至リ、書ヲ督府ニ上テ、罪ヲ謝シ、征討先鋒タランコトヲ請フ、是日、總督、茂憲ヲ召見シテ、其請ヲ聽シ、命シテ速ニ賊徒ヲ追討セシム、尋テ藩兵ヲ以テ、會津征討先鋒ト爲ス。

○是ヨリ先、督府、松代藩兵ニ命シテ、長岡降人ノ小千谷驛ニ在ル者ヲ監守セシム、是日、令シテ之ヲ長岡民政局ニ交付セシム。

○澤宣種主水正、時ニ奥羽征討副總出羽ヨリ新潟ニ至リ、遊擊軍將ニ督澤爲量ノ營中ニ來寓ス出羽ヨリ新潟ニ至リ、遊擊軍將ニ會シ、軍事ヲ議ス、既ニシテ出羽ニ歸ル。

○莊内口山道ノ官軍、兵ヲ分チ、一ハ山ヲ遶リテ關川、雷二村ノ賊背ニ出テ、吶喊シテ薄擊ス、賊兵潰エ走ル、一ハ小名部口ニ進ム、賊嶮ニ據テ固守ス、官軍戰ハスシテ退ク。

○若松間道ノ官軍、賊兵ヲ熊倉村ニ攻ム、利アラスシテ退ク、賊兵、尾擊甚タ急ナリ、官軍、力戰シテ之ヲ走ラス。

○八十里越口官軍、進テ喰丸峠ニ至ル、賊兵來リ侵ス、邀ヘ擊テ之ヲ破リ、翌日、進テ下谷ヶ池村ニ至ル。

第十四

自明治元年九月十二日至同 十五日

九月十二日、諸路ノ官軍、既ニ若松ニ會ス、是ニ於テ參謀諸軍ヲ部署シ、明日ヲ以テ若松城ヲ攻メントス、期ニ至リ、雨ヲ以テ果サス、爲ニ一日ヲ延フ。

○莊内口山道ノ官軍、曉ニ乘シテ、賊兵ヲ小俣村ニ擊ツ、克タスシテ退ク。

○米澤口官軍、進テ米澤ニ至ル。

○莊内口ノ賊、曉ニ乘シテ關川村ヲ襲フ、官軍邀ヘ擊テ之ヲ卻ク。

十三日、總督、輕裝シテ新發田ヲ發シ、津川驛ニ至リ、諸軍ヲ犒フ、參謀壬生基修等之ニ從フ。

○初メ官軍ノ米澤ニ至ルヤ、將サニ轉シテ莊内ニ赴カントス、是ニ至リ、白川口參謀書ヲ致シテ、若松賊勢猖獗ノ狀ヲ報シ、速ニ來リ援ケンコトヲ乞フ、是ニ於テ、兵ヲ分チ、一ハ米澤ニ留戍シ、一ハ若松ニ赴ク、米澤藩兵之レカ先鋒タリ。

○村上藩重臣鳥居某左衛門、實籍不詳、森田某藏、實籍不詳等、書ヲ督府ニ上リテ、本藩犯順ノ情狀ヲ陳シ、内藤信思ヲシテ、再ヒ承カシメンコトヲ

請フ。

十四日、朝廷、毛布ヲ出征兵士ニ賜フ。

○總督、津川驛ヲ發シ、下野尻村ニ抵ル。

○諸路ノ官軍、大舉シテ若松城ヲ攻ム、津川口官軍ハ、飯寺村ニ陣シ、以テ高田ノ賊ニ當リ、白川、平潟、藤原三道ノ軍ハ、城ノ東北西ニ向ヒ、三面齊シク薄擊ス、賊兵、各處出拒ク、官軍力戰シテ、諏訪社ノ賊ヲ破リ、其砲臺ヲ奪フ、西南諸門ノ賊、風ヲ望テ潰走ス、官軍、終ニ西南ノ外郭ヲ奪フ、是ヨリ戰爭殆ト虛日ナシ。

○八十里越口官軍、兵ヲ分チ、一ハ賊兵ヲ觀音寺村ニ破リ、追擊シテ沼ノ平村ニ至ル、一ハ賊ト針生峠ニ戰フ、利アラス、入小屋村ニ退守ス。

十五日、總督、下野尻村ヲ發シ、氣多宮村ニ抵ル、尋テ塔寺驛ニ進ム、諸軍大ニ振フ。

○督府、民政局ヲ各公邑ニ置ク、因テ越後府知事四條隆平ニ牒シテ、各公邑ノ石高、戸口等ヲ、各民政局及ヒ本營ニ報告セシム。

○若松城内ノ賊、日光口ヲ往來シ、高田ノ賊ト互ニ聲息ヲ通



ス、是日、若松ノ官軍、兵ヲ分テ賊兵ヲ青木村ニ攻ム、飯寺村ノ官軍、一ノ堰村等ノ賊ヲ撃チ、之ヲ援ク、賊兵殊死シテ戰フ、官軍利アラシテ退ク、時ニ城内ノ賊出テ、其歸路ヲ遮リ、高田ノ賊、亦來テ飯寺ノ軍ヲ横撃ス、官軍三面敵ヲ受ケ、戰甚タ苦ム、既ニシテ後軍來リ援ケ、合撃シテ之ヲ走ラス。

○米澤ノ官軍、進テ熊倉、鹽川ニ至ル、賊風ヲ望テ先遁ル。

○八十里越口官軍、賊兵ヲ人俣村ニ撃テ之ヲ破ル。

第十五

自明治元年九月十六日 至同 十九日

九月十六日、督府、上杉茂憲ヲ以テ、莊内征討先鋒ト爲ス。

○八十里越口官軍、路ヲ分テ、賊兵ヲ赤館山、永井野村等ニ撃ツ、利アラシ、藤江、沼ノ平二村ニ退守ス、賊勝ニ乘シテ來リ侵ス、邀ヘ撃テ之ヲ走ラス。

○米澤ノ官軍、進テ若松ニ至ル。

○若松間道ノ官軍、轉シテ塔寺、坂下二驛及ヒ新屋敷村等ニ進ミ、津川口官軍ト相合ス。

○莊内口ノ賊、關口、尾越戸二村ヲ襲フ、官軍邀ヘ撃テ之ヲ破リ、北クルヲ追テ白斑山ニ至ル。

十七日、若松ノ官軍、再ヒ賊兵ヲ青木、一ノ堰、小山等諸村ニ撃ツ、賊兵敗走ス、是ニ於テ、若松城ノ圍四合シ、城内高田ノ通路全ク絶ユ。

十八日、米澤ノ官軍、進テ莊内、清川口ニ向フ、米澤藩兵嚮導タリ、上杉茂憲モ亦、兵ヲ率キテ莊内六十里越口ニ向フ、是ヨリ先、松平信庸、白川口總督ノ軍門ニ降ル、是日、更ニ書ヲ清川口官軍ニ上リテ、犯順ノ罪ヲ謝ス。

○堀直賀、米澤藩ニ因リテ、書ヲ督府ニ上リ、罪ヲ謝シ降ヲ乞フ、時ニ直賀米澤ニ在リ督府、之ニ謹慎ヲ命ス、直賀ノ義叔父直弘、及ヒ其臣隸モ亦書ヲ上リテ、直賀、奸臣ノ誣誤スル所ト爲リ、王帥ニ抗セシ情狀ヲ申シ、哀ヲ乞フ。

○津川、八十里越二路ノ官軍、賊兵ヲ雀林寺崎、堺野、赤留、八木澤等諸村、及ヒ高田驛ニ撃テ之ヲ破ル。

十九日、清川口官軍、進テ上山城ニ入り、藩兵ヲ以テ莊内征討先鋒ト爲シ、功ヲ立テ罪ヲ贖ハシム、是ヨリ先、山形藩留守ノ老臣水野某等、白川口總督ノ軍門ニ降ル、是日、更ニ書ヲ清川口官軍ニ上リテ、犯順ノ罪ヲ謝ス。時ニ藩主水野某、東京ニ在リ。

○八十里越口官軍、賊兵ヲ濱野村ニ撃テ之ヲ破ル。

第十六

自明治元年九月二十日 至同 二十二日

九月二十日、諸路ノ官軍、若松城ヲ圍ムコト三旬、城中力竭ク、是ニ於テ、松平容保、其臣手代木勝任、直右、秋月胤永直次等ヲ遣シ、米澤藩兵ニ因テ降ヲ乞フ、乃チ容保父子ニ命シ、二十二日ヲ期シ、親カラ軍門ニ詣テ、降禮ヲ執ラシム。

○清川口官軍、賊兵ヲ寒河江、白岩等諸村ニ撃ツ、上杉茂憲モ亦來會ス、賊兵敗レ走ル、官軍、追蹙シテ宮内村ニ至ル。

○莊内口山道ノ官軍、賊兵ヲ越澤村ニ破ル、是日、賊兵、關川村ヲ侵ス、官軍、邀ヘ撃テ之ヲ卻ク。

二十一日、總督、塔寺驛ヲ發シ、新發田ニ歸ル。

○督府申ネテ出征諸藩ニ令シテ、戰死傷者及ヒ兵員屯所等ヲ錄申セシム。

○督府、山形藩兵ヲ以テ、莊内征討先鋒ト爲シ、功ヲ立テ罪ヲ贖ハシム。

○松平容保、降ヲ乞フヲ以テ、參謀、若松ノ諸軍ニ令シテ、其攻撃ヲ止ム。

○八十里越口官軍、賊兵ト耻風村ニ戰フ、是夜、賊兵山口村ヲ侵ス、官軍、邀ヘ撃テ之ヲ破ル。

二十二日、官軍、會議所ヲ若松ニ設ク。

○松平容保及ヒ其子喜徳、若松城ヲ致シテ軍門ニ降ル、其臣萱野長修、權兵衛、梶原景武等モ亦、書ヲ上リテ罪ヲ待ツ、官軍、乃チ其降ヲ受ケ、容保父子ヲ城外妙國寺ニ幽シ、其兵器ヲ收メ、翌日其臣隸八十餘人及ヒ舊幕府諸藩遁逃兵十餘人ヲ猪苗代、鹽川二驛ニ禁錮シ、病者ヲ青木村ニ移ス、尋テ其城地ヲ收ム。

○是ヨリ先、織田信敬、兵部大將、天童藩主、白川口總督ノ軍門ニ降ル、是ニ至リ、更ニ書ヲ清川口官軍ニ上リテ、犯順ノ罪ヲ謝ス、是日、督府、藩兵ヲ以テ、莊内征討先鋒ト爲ス。

第十七

自明治元年九月二十三日 至同 二十六日

九月二十三日、松平容保既ニ降ル、而シテ殘賊、猶若松傍近ニ屯據ス、是日、參謀若松ノ諸軍ヲ警戒シテ、其守備ヲ嚴ニセシム。

○清川口官軍、進テ清水驛ニ至ル、酒井忠篤、左衛門、莊内藩主、其臣武藤某、半藏、吉野某等ヲ軍門ニ遣シ、米澤藩兵ニ因テ書ヲ上リ、降ヲ乞フ、乃チ命シテ、二十六日ヲ限リ、守境ノ兵ヲ撤シ、其翌日ヲ以テ城ヲ致シ、親カラ軍門ニ詣テ罪ヲ謝セシム、是日、上杉茂憲、進テ志津驛ニ至ル、督府、令シテ假ニ其進軍ヲ止ム。

○若松地方ノ殘賊、曉ニ乘シテ入小屋、大橋、山口等諸村ヲ襲



フ、官軍利アラス、翌日、瀧原、川口二村ニ退守ス。

シ、其臣梅野某右等ヲ軍門ニ遣シテ、書ヲ上リ、降ヲ乞フ、明日、秋田口官軍、進テ松山ニ入り、城地及ヒ兵器ヲ收ム、尋テ忠

○遊撃軍將、再ヒ新發田ニ至リ、總督ニ會シ、軍事ヲ議ス。

良ニ命シテ、兵器ヲ新發田本營ニ運輪セシム。

○督府、松代、松本以下八藩兵ニ令シテ、八十里越口ヲ警守シ、田島驛附近ノ殘賊ニ備ヘシム。

○若松地方ノ殘賊、大内村及ヒ田島驛ニ屯集ス、若松ノ官軍、乃チ兵ヲ分テ之ニ向フ、是日、大内村ノ賊降ヲ乞フ、因テ其兵器ヲ收メ、之ヲ鹽川驛ニ禁錮ス。

○若松地方ノ殘賊、曉ニ乘シテ大蘆村ヲ襲フ、官軍利アラス、既ニシテ擊テ之ヲ走ラス。

九月二十七日、是ヨリ先、鎮將府、督府ニ牒シテ、假ニ會津ノ民政、及ヒ鎮撫等ノ事ヲ管理セシム。是日、督府、復書シテ、其區處ノ梗概ヲ報シ、且警備兵ヲ發遣センコトヲ請フ。

第十八

自明治元年九月二十七日 至同 二十九日

二十五日、督府、松平容保既ニ降ルヲ以テ、越前、新發田二藩兵ヲ留メテ、若松城及ヒ塔寺、野澤、津川三驛ヲ警守セシメ、漸次、津川、八十里越、六十里越三路ノ軍ヲ、新發田及ヒ保田驛ニ班ス。

○清川口官軍、進テ鶴岡ニ至ル、秋田口官軍モ亦來會ス、酒井忠篤、城ヲ致シテ軍門ニ出降ル、因テ其城邑ヲ收メ、忠篤ヲ城外善龍寺ニ幽シ、臣隸ヲ其家ニ禁錮ス、舊幕府、及ヒ諸藩連逃兵ノ鶴岡、酒田ニ在ル者モ亦降ル、明日、忠篤ノ兵器ヲ收メ、命シテ新發田本營ニ運輪セシム、是ヨリ先、岩城隆邦左京大夫、龜田藩主、遁レテ莊内ニ在リ、是日、書ヲ軍門ニ上テ、罪ヲ謝シ、降ヲ乞フ。

○遊撃軍將、新發田ヲ發シ、村上口ニ赴ク。

○牧野忠泰、書ヲ督府ニ上リテ、宗家牧野忠訓、奸臣ノ誣誤スル所ト爲リ、王師ニ抗セシ情狀ヲ申シ、哀ヲ乞フ。

○若松地方ノ殘賊、鳥居峠ヲ侵ス、官軍、邀ヘ擊テ之ヲ破ル。二十六日、遊撃軍將村上ニ至ル、是日、伊藤某傳之助、長右松某、門藩士、ヲ以テ參謀ト爲シ、監察兼使番藤村某長、門藩士、ヲ參謀補助ト爲ス。監察兼使番、故ノ故シ。

○清川口官軍、進テ古口驛ニ至ル、酒井忠良紀伊守、山藩主、松城外ニ屏居

二十八日、督府、各民政局ニ令シ、備金ヲ出シテ軍費ニ供セシム。

テ之ヲ班シ、九日ヨリ撰次途ニ上リ、加賀、薩摩、長門、以上各藩、越前、高田、四小、二十四日ニ至リテ終ル、八小、各九藩兵ヲ留メ、村上、長岡、水原、三條、加茂及ヒ若松、坂下、野尻等ヲ警守

○督府、水戸、越前二藩兵ニ令シテ、松平容保父子ヲ監守シ、且若松ヲ警守セシム、尋テ水戸藩兵ノ容保父子監守ヲ罷ム。

セシム、尋テ凱旋諸藩ニ令シテ、每藩一人ヲ本營會議所ニ留メシメ、蒲生某深藏、實、不詳、ヲ以テ參謀ト爲シ、越後ニ駐在セシム。

○莊内口山道ノ官軍、進テ鶴岡ニ至ル、明日海道ノ軍、及ヒ上杉茂憲モ亦至ル。

三日、遊撃軍將、鶴岡城ニ入ル。

二十九日、督府、村田某巴三郎、越前藩士ニ命シテ、假リニ會津ノ土民ヲ安撫セシム。

四日、督府、加賀、松代二藩ニ令シテ、會津民政方ヲ撰舉セシム、尋テ加賀藩士宇野某、大、石黒某、新之、松代藩士馬場某、廣、高野某、右金、ヲ以テ民政方ト爲ス。

○督府、松平容保既ニ降ルヲ以テ、出役ノ前後ヲ照シ、順次、諸藩兵ヲ班サントス、因テ諸藩ニ令シテ、兵員、屯所及ヒ出役月日等ヲ錄申セシム。

五日、東北既ニ平クヲ以テ、遊撃軍將府、令シテ其兵ヲ班ス、是日、軍將鶴岡城ヲ發シ、東京ニ凱旋ス。

○督府、酒井忠篤既ニ降ルヲ以テ、漸次鶴岡ノ諸軍ヲ新發田、及ヒ村上ニ班シ、山形、上山、天童三藩兵ヲ藩地ニ罷遣ス、又上杉茂憲ヲ罷歸シテ、四隣ノ殘賊ヲ鎮撫セシム。

○遊撃軍將府、岩城隆邦ニ命シテ、藩地ニ謹慎シ、朝裁ヲ俟タシム。時ニ薩邦、仍ホ、六日、督府、上杉齊憲ニ命シテ、假ニ舊封ノ地ヲ管シ、土民ヲ安撫セシメ、酒井忠篤ヲ新發田ニ召ス。

○八十里越口官軍、進テ田島驛ニ向フ、是日、田島ノ賊、降ヲ乞フ、因テ其兵器ヲ收ム。

○牧野忠訓、米澤藩ニ因テ、書ヲ督府ニ上リ、罪ヲ謝シ降ヲ乞フ、時ニ忠訓、米澤ニ在リ、督府、之ニ謹慎ヲ命シ、米澤藩ヲシテ其臣隸ヲ保管セシム。

第十九

自明治元年十月朔日 至同 十四日

十月朔日、奥羽越平定ニ就クヲ以テ、督府、諸軍ヲ慰勞シ、令シ

九日、督府、上杉齊憲ニ命シテ、東京ニ至ラシム、十一月、尋テ大



總督府モ亦、齊憲及ヒ其子茂憲ヲ召ス。

十日、督府、溝口直正、堀直弘、井伊直安、牧野忠泰、柳澤德忠、

堀之美ニ命シテ、東京ニ至ラシム。並ニ十一月十一日ヲ限ル。

十三日、督府、牧野忠訓ニ命シテ、東京ニ至リ、謹慎シテ朝裁ヲ

俟タシメ、其父忠恭前備前守、當堂ト號ス。○時ニ米澤ニ在リ。及ヒ其臣隸ハ、藩地ニ謹慎

セシム。

○督府、戦死者ヲ新發田城ニ祭ル。

十四日、酒井忠篤、新發田ニ至リ、書ヲ督府ニ上リテ、謝罪ノ効

績ヲ奏センコトヲ請フ、是日、督府、忠篤ニ命シテ、東京ニ至

リ、謹慎シテ朝裁ヲ待タシム、尋テ其支族酒井忠良モ亦、之ノ

如シ。

第二十

自明治元年十月十五日  
至同十一月四日

十月十五日、總督、參謀壬生基修等ヲ率キテ新發田ヲ發シ、東

京ニ凱旋ス、參謀西園寺公望ヲ留メテ、各所ノ戍兵ヲ督セシ

メ、越後府ヲシテ假ニ會津ノ民政ヲ管セシム。

十六日、遊擊軍將八島田驛與、ニ抵ル、是日、織田信敏ニ命シテ、

東京ニ至リ、謹慎シテ朝裁ヲ待タシム。

十八日、督府、村田某三、ニ命シテ、會津ノ民政ヲ總管シ、戍兵

參謀ヲ兼シム、尋テ之ヲ罷ム。

十九日、督府、堀直賀ヲ、其義叔父直弘ニ付シテ、本藩ニ謹慎セ

シメ、其臣隸ハ、直弘ヲシテ之ヲ處分セシム。

○遊擊軍將、福島板倉藩所、ニ抵ル、是日、松平信庸ニ命シテ、東京

ニ至リ、謹慎シテ朝裁ヲ待タシム。

二十日、内藤信思、書ヲ督府ニ上テ、本藩犯順ノ罪ヲ謝シ、功ヲ

立テ自ラ贖ハ、ンコトヲ請フ、時ニ信思仍ホ、岩村田ニ在リ。是日、督府、信思ニ命シ

テ、東京ニ至リ、謹慎シテ朝裁ヲ俟タシム、尋テ其臣脇田某人、

以下十六人ヲ、藩地ニ禁錮ス。

二十七日、總督、追分驛信、ニ抵ル、是日、親兵、二番、徵兵一番、五ノ

從衛ヲ罷メ、軍監岩村高俊、藤村紫朗ヲシテ之ヲ督シ、京師ニ

赴カシム。

二十八日、參謀西園寺公望ヲ罷ム。新潟府知事ニ轉ス。

○督府、岩城隆邦ニ命シテ、東京ニ至リ、謹慎シテ朝裁ヲ待タ

シム。

十一月二日、東北遊擊軍將久我通久、東京ニ凱旋ス、天皇、延見

シテ物ヲ賜ヒ、之ヲ慰勞ス、參謀池田種徳以下、賞賜差アリ、尋

テ部下諸藩兵、京師ニ凱至ス、勅シテ之ヲ慰勞ス。

四日、總督嘉彰親王、凱テ東京城ニ奏シ、錦旗ヲ奉還ス、天皇手

詔シテ、其成功ヲ賞シ、物ヲ賜フ、參謀壬生基修、軍務官判事吉  
井德春、以下賞賜差アリ、親兵、徵兵及ヒ諸藩兵モ亦、前後東京  
及ヒ京師ニ凱至ス、勅シテ之ヲ慰勞ス。



# 蝦夷戰記

## 第一 自明治元年十月十九日 晦日 至同 晦日

明治元年十月十九日、是ヨリ先、榎本武揚、和泉○舊幕府、徳川氏ノ諸艦ヲ督シテ品川海ニ在リ、密ニ蝦夷地ニ據リテ、徳川氏ノ業ヲ復センコトヲ圖リ、松平正親太郎○舊幕府等ト、船艦八隻ヲ奪フテ、仙臺海ニ走ル、伊達慶邦陸奥○仙臺主ノ歸順スルニ及テ、平潟口總督府、慶邦ニ命シテ武揚等ヲ招降セシム、從ハス、松平定敬、越中○舊幕府板倉勝靜、伊賀○舊幕府其子勝全、萬之小笠原長行、武蔵○舊幕府桑名藩主及ヒ竹中重固、丹後○舊幕府大島純彰歩兵奉行以下ノ諸敗兵、會津ヨリ來リ、仙臺、會津遺黨ノ徒ト、武揚等ノ艦ニ投ス、是ニ至リ、武揚等二千五百許人、開陽、回天、蟠龍、神速、長鯨、大江、鳳凰七艦ニ駕シテ蝦夷ニ向フ、報箱館府時ニ五稜郭ヲ以テ爲スニ達ス、時ニ箱館ノ守備府兵、及ヒ松前藩戍兵數百人ニ過キス、知事清水谷公考從乃チ使テ弘前藩ニ遣シテ、援兵ヲ召ス、是日、弘前藩兵四小至ル、公考命シテ谷地頭、及ヒ尻澤邊ヲ警守セシム。

二十日、榎本武揚等、南蝦夷鷲木箱館ヲ距ル十二里三町ニ入り、兵ヲ分テ五稜郭、及ヒ箱館ニ向フ、知事清水谷公考、府兵及ヒ弘前、松前二藩兵ヲ出シテ之ヲ拒ク、適、奥羽鎮撫總督府、福山、六百九十六人大野尻澤邊、谷地頭等、諸處ヲ警守セシム。

二十一日、松前藩、箱館ノ警ヲ聞キ、兵五十ヲ發シテ來リ援フ、知事清水谷公考命シテ、有川村ヲ守ラシム。

二十二日、賊兵、進テ峠下村ニ至ル、是夜、府兵及ヒ弘前、松前二藩兵、路ヲ分テ賊營ヲ撃ツ、賊兵拒キ戰フ、官軍利アラス、城山郷及ヒ七重村ニ退守ス。

二十三日、賊兵、城山郷ヲ襲フ、官軍利アラス、大川村ニ退守ス、七重村ノ軍モ亦、退テ大川ノ軍ニ合ス、知事清水谷公考、乃チ福山、大野二藩兵ヲ大野村ニ遣シテ、之ニ應援セシメ、權判事堀義彦長門藩士ヲシテ、七重口ノ軍ヲ監シ、福山藩隊長岡田某伊右ヲシテ、大野口ノ軍ヲ監シ、兩道竝進テ賊ヲ討セシム。

二十四日、知事清水谷公考、書ヲ津輕承昭越中主ニ贈リテ、官軍寡單、賊ヲ支ヘ難キヲ報シ、更ニ援兵ヲ召ス。

○官軍、更ニ七重、大野兩路ヨリ進剿セントス、乃チ部署ヲ定メ、府兵及福山、弘前二藩兵ハ、七重口ニ向ヒ、福山、弘前、大野、松前四藩兵ハ、大野口ニ向フ、早旦、大野口ノ軍將ニ發セントス、賊兵來リ侵スニ會ス、大ニ村中ニ戰フ、官軍利アラス、五稜郭及ヒ箱館ニ退守ス、七重口ノ軍、分道進討、賊ト七重村ニ戰フ、賊卻キ走ル、官軍之ニ乘ス、既ニシテ賊兵返闘シ、其鋒甚銳シ、官軍爲ニ破レ、退テ五稜郭ヲ保ス。

三十日、箱館ノ警報、東京ニ達ス、乃チ津、三百四十七人備前、五百六十六人筑後、二百一十一人三藩兵ヲ箱館ニ發遣シ、八戸藩ヲシテ、糧餉ヲ辨給セシム。

是月、野田豁通大造○肥後藩士、時ニ箱館ニ在リヲ以テ、軍事參謀試補ト爲ス。

## 第二 自明治元年十一月朔 二十五日 至同 二十五日

二十五日、官軍、連戰利アラス、賊、進テ五稜廓ニ逼ル、知事清水谷公考、海ニ航シテ青森陸奥藩ニ走ル、府兵及ヒ福山、弘前以下四藩兵、之ニ從フ、賊、遂ニ五稜郭、及ヒ箱館ヲ取ル。

二十六日、知事清水谷公考、權判事堀義彦ヲ東京ニ遣シテ、箱館恢復ノ策ヲ陳シ、軍艦、及ヒ精兵ヲ發遣セントコトヲ請フ。

二十七日、松前藩第二軍、二小一渡村ニ至ル、箱館ノ官軍、青森ニ走ルト聞キ、退テ福島村ニ次ス。

○秋田藩ノ汽船、高尾將ニ兵庫港ニ航セントシ、箱館港ニ入ル、賊之ヲ奪ヒ船客二人ヲ幽ス。後二人ヲ放還ス。

二十八日、賊既ニ五稜郭、及ヒ箱館ヲ畧取シ、又兵ヲ分テ松前ニ向フ、松前德廣、志摩守○松前藩福山城ヲ去テ、館村ノ新砦福山城ヲ距ル三十里居リ、書ヲ津輕承昭ニ贈リテ、救援ヲ乞フ。

十一月朔日、知事清水谷公考、移テ浪岡驛陸奥藩ニ居リ、諸藩兵ヲ分テ、青森、及高田、油川、新城等諸村ヲ守ラシム、弘前藩モ亦兵ヲ封内海岸ニ置キテ、賊兵ニ備フ、尋テ公考、黒石津輕承昭ノ治所ニ移ル。

○賊艦一隻福山藩福山港ニ入り、福山城ヲ砲撃ス、松前藩兵、砲墩ニ據テ拒戰ス、賊艦、少ク毀損ス、遂ニ白神洋ニ走リ、轉シテ福島村ヲ侵ス、藩兵又撃テ之ヲ卻ク、陸地ノ賊、亦進テ知内村ニ至ル、是夜、藩兵ノ福島ニ在ル者、間道ヨリ進テ、知内ノ賊營ヲ斫ル、賊兵潰エ走ル。

二日、松前藩兵、砲墩ヲ一渡村ニ築キ、兵ヲ分テ之ヲ守ル、是日、賊兵來リ襲フ、藩兵利アラス、退テ賊ヲ山崎、福島二村ニ拒ミ、苦戰時ヲ移ス、遂ニ支フル能ハス、福島嶺ニ退守ス。



三日、知事清水谷公考、松前ノ急ヲ聞キ、松前藩兵ノ青森ニ在

走ル。九日、海陸軍參謀山田顯義ヲ以テ、青森口陸軍參謀ト爲ス、因

ル者ヲ罷歸シテ、賊ヲ拒カシム。

テ青森口出征諸藩兵ニ令シテ、其節度ヲ受ケシム。

四日、秋田藩兵三小ヲ發シテ、知事清水谷公考ヲ警守セシム、公

考命シテ、封内沿海ノ地ニ備ヘシム。

五日、徳川家達助ニ命シテ、箱館ノ賊ヲ討セシム、尋テ家達、

十、長門五百及ヒ津藩兵八百ノ仙臺ニ在ル者ヲ秋田ニ遣シ

及ヒ松平齊民慶後守、破家ト號ス。津山藩主、一橋茂榮、大納田安慶頼中納

テ、箱館ノ賊ニ備ヘ、藤堂廣立津藩前ヲ以テ軍監ト爲シ、津藩兵

連署シテ、家達幼弱ナルヲ以テ、箱館征討ヲ他藩ニ命シ、家達

ヲ督セシメ、秋田藩兵ヲシテ、長門藩兵ノ糧餉ヲ辨給セシム。

ヲシテ其軍ニ附從モシメンコトヲ請フ、批シテ後命ヲ待タシ

十一日、賊既ニ松前ヲ取り、兵ヲ分テ江刺ニ向フ、五稜郭ノ賊

ム。

亦、兵ヲ分テ二股口ニ進ム。

○賊兵、路ヲ分テ福山城ニ逼ル、松前藩兵、出テ松ヶ崎、及ヒ野

十二日、會計官權判事林友幸年七〇長門藩士ヲ以テ、軍監ヲ兼シメ、南

越坂ニ邀フ、利アラス、退テ城内ニ嬰守ス、賊、直ニ進テ城ニ傳

部及ヒ青森ニ差遣ス。

ク、藩兵、遂ニ支フル能ハス、老臣蠣崎廣備城ヲ火キテ、衆

○是ヨリ先、榎本武揚ノ仙臺海ニ在ルヤ、軍艦二隻千代田形、ナ酒

ト俱ニ江刺ニ走ル、賊遂ニ松前ヲ取ル。

田港ニ遣リテ、莊内ヲ援フ、既ニシテ一隻長崎二艦、風濤ノ爲ニ毀壞

七日、海陸軍參謀山田顯義市之充、長門藩士、時ニ命シテ、箱館ノ賊

ス、是日、一隻千代田形、箱館港ニ至ル。

ヲ討セシム、是日、顯義、長門七百八、徳山三百、二藩兵ヲ率キテ、

十三日、松前徳廣、館村ノ新砦ヲ去テ、江刺ニ移リ、兵ヲ分テ新

青森ニ至ル、時ニ北地五寒、攻戰ニ便ナラス、因テ軍ヲ青森ニ

砦、及ヒ稻倉石ノ關門ヲ守ル、是日、二股口ノ賊、來テ關門ヲ攻

駐メ、明春ヲ俟テ進剿ス。

ム、藩兵利アラス、退テ新砦ノ軍ニ合ス。

○賊艦二隻四天、二艦、青森港ニ入り、弘前藩ニ就テ、書ヲ奥羽越列

十四日、軍事參謀試補野田谿通ヲ以テ、軍監ヲ兼シム、尋テ其

藩ニ贈リ、逃亡ノ情由ヲ陳訴シ、救援ヲ乞フ、既ニシテ箱館ニ

請ヲ聽シ、參謀試補ヲ罷ム。

ス、賊兵潰エ走ル、既ニシテ賊ノ別隊、遶リテ後路ヲ斷ントス、

○二股口ノ賊、進テ鶴村ニ據ル、松前藩兵、路ヲ分テ之ヲ掩擊

乃チ兵ヲ收メテ館村ノ新砦ニ退ク、賊又新砦ニ逼ル、藩兵擊テ

二十四日、松平齊民、書ヲ上リ、徳川慶喜ヲシテ、家達ニ代リ、

之ヲ卻ク、是ヨリ先、藩兵分テ大瀧ノ嶮ヲ守ル、是日、松前口ノ

箱館ノ賊ヲ討セシメンコトヲ請フ、聽サス、徳川昭武民部大輔、水

賊來リ攻ム、藩兵利アラス、石崎村ニ退守ス。

子ニ命シテ、之ニ代ラシム。

十五日、松前徳廣ノ弟隆廣代、京師ニ在リ、賊兵、松前地方ヲ陷

二十五日、松前徳廣、平館ヨリ弘前ニ移リ、寺院ニ謹慎シ、書ヲ

ルト聞キ、書ヲ朝ニ上リ、藩兵ノ東京ニ在ル者ト俱ニ歸邑シ

朝ニ上リテ罪ヲ待ツ、批シテ問ハス。尋テ徳廣、病ヲ弘前ニ

テ、賊徒ヲ討センコトヲ請フ、之ヲ聽シ、命シテ速ニ勦賊ノ功

○備前藩兵、野邊地驛北ニ至ル、陸軍參謀山田顯義、命シテ

ヲ奏セシム、隆廣乃チ京ヲ發シ、青森ニ赴ク。

本地ヲ警守セシム。

○二股口ノ賊、再ヒ館村ノ新砦ヲ攻ム、松前藩兵拒戰利アラ

第三 自明治元年十一月二十七日

ス、砦ヲ棄テ笹山ニ走ル、松前口ノ賊亦、進テ江刺ニ逼ル、松前

至同二年二月二十三日

徳廣、熊石ニ遁ル、是日、賊艦一隻開、江刺港ニ入り、暗礁ニ觸

十一月二十七日、箱館府知事清水谷公考ヲ以テ、青森口總督ヲ

レテ摧破ス、是ヨリ先、徳廣、使テ青森ニ遣シテ、急ヲ報シ援ヲ

兼シム、因テ徳川昭武ニ命シテ、公考ノ節度ニ從ハシム。

乞フ、陸軍參謀山田顯義、將ニ兵ヲ發シテ之ヲ援ントス、是ニ

○津、筑後二藩兵、青森ニ至ル。津藩高橋家記

至リ、江刺陥ルヲ以テ遂ニ果サス。

二十八日、賊兵來襲ノ虞アルヲ以テ、陸軍參謀山田顯義、青森

十九日、令シテ箱館ノ賊ヲ討ス。

口ノ諸軍ヲ戒飭シテ、其守備ヲ嚴ニセシム、又出征諸藩ニ令シ

○賊兵、進テ熊石ニ逼ル、松前徳廣海ニ航シテ、平館津ニ走

十二月十日、總督、黒石ヨリ牙營ヲ青森ニ移シ、明日、諸軍ニ令

ル、其臣隸五百許人ハ、賊ニ降ル、是ニ於テ、箱館地方悉ク賊ニ

シテ、總督ノ任ヲ受ケシテ告ク、尋テ諸藩會議所ヲ營中ニ設

陥ル。

ク。

二十二日、賊艦一隻、神速、又江刺港ニ壞ル。

十一日、督府、軍務官判事試補大田黒惟信亥和太、肥後藩士、時ニ箱



以テ、參謀ト爲シ、岸良直養、薩七〇薩門○以上三和因駒井忠仲、長門薩士松本鼎、岩淵某、吉山岡某、源左衛門○以上三和因田某、因薩士監軍ト爲ス、又軍中役夫、及ヒ彈藥ノ制限ヲ定ム。

十四日、松前德廣、拒戦ノ功ヲ賞シテ、直垂一領、金三千兩ヲ賜ヒ、官軍ノ進撃ヲ待チテ、俱ニ勦蕩ノ功ヲ奏セシム。時ニ、德廣將殺ス。

○是ヨリ先、榎本武揚等、英、佛兩公使ニ因リテ書ヲ上リ、徳川氏ノ胤子一人ヲ奉シテ、蝦夷地ヲ開拓センコトヲ請フ、是日、議定兼輔相岩倉具視、右兵衛督兩公使ニ移書シテ、之ヲ卻ク。

十五日、賊、既ニ蝦夷地ヲ略取ス、是日、祝砲ヲ發シ、全島平定ヲ賀ス、又總裁以下諸司ヲ置キ、榎本武揚ヲ總裁ニ、松平正親ヲ副總裁ニ、荒井某之助ヲ海軍奉行ニ、大島純彰陸軍奉行ニ、永井尙志立、中島某三郎ヲ箱館奉行ニ、人見寧郎ヲ松前奉行ニ、松岡某次郎、小杉某政之ヲ江刺奉行ニ、澤貞説衛門ヲ開拓奉行ニ撰任シ、二百餘人ヲ室蘭ニ移シテ、拓地ノ業ニ就カシメ、五稜郭ヲ以テ牙營ト爲シ、戍兵ヲ各地ニ置キテ、不虞ニ備フ、佛人十人、亦賊中ニ在リテ軍事ニ參ス。

二十日、金三千兩ヲ頒賜シテ、青森口ノ諸軍ヲ犒フ。

二十八日、賊徒、未タ戡定ニ就カサルヲ以テ、督府、諸軍ニ令シ

テ、假ニ歲尾年首ノ禮ヲ停ム。

明治二年、正月六日、賊兵、大ニ戰備ヲ修メ、將ニ青森ヲ進撃セントスルノ報到ル、督府、乃チ諸軍ヲ戒メテ、不虞ニ備フ。

十日、徳川昭武ノ箱館出征ヲ停ム、尋テ其請ヲ聽シ、兵二百ヲ箱館ニ出サシム。

二十五日、箱館府兵ヲ解ク。

○松前兼廣、薩千代後修廣下改ム○松前主時ニ弘前ニ在リ書ヲ朝ニ上リテ、城邑、賊兵ノ侵略スル所ト爲リ、鬪藩疲弊ノ狀ヲ陳シ、金五萬兩ヲ借ンコトヲ請フ、是日、金三萬兩ヲ貸與ス。

○總督、大ニ兵ヲ青森石神ニ闕ス。

二月十五日、松前兼廣、再ヒ書ヲ朝ニ上リテ、邑民賊兵ノ劫掠スル所ト爲リ、飢餓ニ瀕スルノ狀ヲ陳シ、速ニ大師ヲ發シテ、松前地方ヲ戡定センコトヲ請フ。

二十三日、薩摩藩ニ命シテ、兵二百九、ヲ青森ニ出サシム。

第四 自明治二年二月二十五日 至同 三月二十五日

二月二十五日、廷議、將ニ海軍ヲ發シテ、陸軍ニ應援シ、蝦夷地ヲ破リ、追躡シテ洋中ニ至ル、及ハス、賊ノ他艦高尾、宮古港二壇浦宮古港ニ逢フ、賊、艦ヲ火キ、陸ニ上テ走ル、戊辰艦モ亦、砲ニ中テ毀損ス、因テ品川海ニ返ル、海軍參謀増田明道、乃チ盛岡藩ニ令シテ、速賊ヲ輯捕セシム、既ニシテ連賊九十餘人、盛岡藩ニ因テ降ヲ乞フ、乃チ其兵器ヲ收メ、盛岡藩ヲシテ東京ニ護送セシム。

ノ賊ヲ討セントス、乃チ軍務官判事増田明道肥前薩士ヲ以テ海軍參謀ト爲シ、判事試補石井雷吉肥前薩士ヲ參謀補助ト爲シ、甲鐵、艦長中陽春、艦長石井春日、薩摩藩艦、艦長山縣久飛龍、長島四郎、真之進丁卯、長門藩艦、艦長山縣久飛龍、長岡謙、豐安、安藤藩艦、艦長戊辰、阿波藩艦、艦長西田元三八艦ヲ率キテ、青森ニ赴カシム。

○將ニ蝦夷地ヲ回復セントスルヲ以テ、松前兼廣ニ小銃二百口ヲ賜フ。

二十七日、板倉勝全、箱館ヨリ東京ニ至リ、戸田忠友土佐守〇字ニ就キ、自首シテ罪ヲ乞フ。命シテ忠友ノ邸ニ幽ス。

晦日、黒田清隆薩摩藩士ヲ以テ、青森口總督府參謀ト爲ス。

三月九日、海軍參謀増田明道、諸艦ヲ率キテ品川海ヲ發ス。

十一日、薩摩、水戸二藩兵、青森ニ至ル。薩摩出軍戰狀津輕藩記

十三日、親兵三番大隊ヲ發シテ、箱館第二應援兵ト爲ス。

十八日、諸艦宮古港薩中閉ニ抵ルニ抵ル。

二十五日、是ヨリ先、榎本武揚等、官艦宮古港ニ至ルト聞キ、軍艦數隻ヲ發シテ、之ヲ逆撃セシム、是ニ至リ、賊艦八戸近海ニ出沒ス、八戸藩、書ヲ督府ニ上リテ、其狀ヲ申ス、督府乃チ使ヲ宮古港ニ遣シテ、諸艦ヲ戒メ、不虞ニ備ヘシム、使者未タ達セ

ス、是日早旦、賊艦一隻薩摩宮古港ニ來リ襲フ、官艦邀ヘ撃テ之

第五 自明治二年三月廿六日 至同 四月十四日

三月二十六日、海軍參謀増田明道、諸艦ヲ率キテ青森ニ抵ル。

二十七日、是ヨリ先、外國商船三隻、普國船ヤンクヲ號、英國船オ、一サカ號、米國船ヤンシー號ヲ雇テ、運輸船ト爲シ、青森ニ差遣ス、是日、青森港ニ至ル。

二十九日、松前兼廣、再ヒ書ヲ朝ニ上リ、米五萬苞ヲ借リテ、邑民ヲ撫恤センコトヲ請フ、是日米三萬苞ヲ貸與ス。

○總督、甲鐵艦ニ駕シ海軍ヲ闕ス、又各艦長ヲ召見シテ、宮古港ノ戰功ヲ賞ス、是日、諸藩兵ニ令シテ軍略ヲ具陳セシメ、又斥候船ノ暗號ヲ定ム。

晦日、箱館ノ賊、内地ニ來侵ノ虞アリ、且三陸ノ地、猶殘賊潛匿ノ間アルヲ以テ、三等陸軍將久我通久大納言以テ鎮撫總督ト爲シ、兵一、薩摩ヲ率キテ仙臺ニ赴カシム、又朝陽艦艦長中平、田倉之助ヲ青森ニ



差遣ス。

四月二日、是ヨリ先、肥後藩、弘前藩ノ急ヲ聞キ、朝ニ奏シ、兵ヲ發シテ之ヲ援フ、是日、藩兵百五十人、弘前ニ至ル、尋テ青森ニ轉ス、黒石藩モ亦、兵二小ヲ青森ニ出シ、弘前藩兵ニ屬ス。

四日、督府、海軍既ニ至ルヲ以テ、大學シテ賊集ヲ進剿セントス、乃チ陸軍參謀山田顯義ヲ以テ海軍參謀ヲ兼シメ、森政知海軍參謀、長ヲ陸軍副參謀ト爲シ、前田某、陸軍參謀、今井弘、陸軍參謀、軍監ト爲シ、有地某、陸軍參謀、ヲ監軍ト爲シ、先鋒長門、福山、弘前、徳山、大野、松前六藩兵、及ヒ甲鐵、春日、陽春、丁卯、飛龍、豊安、晨風七艦ヲ率キテ音部村江刺ノ南、里十八町ニ赴カシム、因テ海陸諸軍ヲ戒メテ、勝ヲ一戰ニ制セシム。

六日、陸海軍參謀山田顯義、海陸諸軍ヲ率キテ青森ヲ發シ、音部村ニ向フ。九日、官艦、音部村近海ニ至リ、陸軍ヲ發シテ村中ニ入ル、賊、山上ヨリ拒撃ス、官軍直ニ進テ之ヲ走ラス、既ニシテ分テ二道ニ進ム、長門、福山、弘前、徳山、大野、松前六藩兵ハ海道江刺ニ向ヒ、長門、福山、弘前、松前四藩兵ハ山道鶉村ニ赴キ、松前藩兵ハ熊石村ニ進ム、江刺ノ賊、厚澤部川渡口ニ據守ス、官軍路ヲ分テ進ミ攻ム、官艦、亦横撃シテ陸軍ヲ援ク、賊兵大ニ潰ユ、

官軍遂ニ江刺ヲ定ム、既ニシテ官艦三艦薩摩、長門、福山港ニ赴ク、途松前近海ヲ過ク、賊、巨礮ヲ發シテ、戰ヲ挑ム、官艦之ニ應ス、少時交綏ス。

十日、曾我祐準河津、河津ヲ以テ海軍參謀ト爲シ、青森ニ差遣ス。○江刺ノ官軍、兵ヲ分チ、長門、弘前、徳山、松前、四藩兵ハ松前口ニ向ヒ、長門、福山、弘前、大野、松前五藩兵ハ木古内口ニ進ム、是日、松前口ノ軍、賊兵ヲ江良町ニ撃テ之ヲ走ラス。

十一日、伏見親兵第一、ヲ箱館ニ發遣ス。○督府、第二軍長門、津、備前、筑後四藩兵ヲ發シテ、江刺ニ赴カシム。

○松前口官軍、進テ根部田村ニ至ル、黄昏、賊兵來リ襲フ、官軍利アラズ、退テ賊ヲ赤神、雨垂石、茂草等諸村ニ拒ミ、苦戰曉ニ達ス、遂ニ敗レテ小砂子村ニ退守ス、賊、進テ江良町ニ入ル、既ニシテ之ヲ棄テ、松前ニ退ク。

十二日、督府、箱館府權判事堀義彦ヲ以テ參謀ト爲シ、村橋某直衛、薩摩ヲ軍監ト爲ス。

○味爽、木古内口官軍、進テ賊兵ヲ木古内ニ攻ム、克タス、退テ笹小屋ニ次ス、午牌、賊兵來リ襲フ、官軍邀ヘ撃テ之ヲ破リ、追躡シテ木古内ニ逼ル。

○飛龍艦、福山近海ヲ過ク、賊、巨砲ヲ發シテ戰ヲ挑ム、官艦之ニ應ス、少時戰ヲ收メテ退ク、是夜、晨風艦、龍鼻崎薩摩ノ暗礁ニ觸レテ摧破ス。

○第二軍、江刺ニ至ル、乃チ兵ヲ分チ、長門藩兵ハ稻倉石ニ進ミ、津、筑後二藩兵ハ松前口ニ向ヒ、備前藩兵ハ木古内口及ヒ鶉村ニ赴ク。

十三日、味爽、木古内口官軍、再ヒ賊兵ヲ木古内ニ攻ム、賊、壘ニ據テ拒キ戰フ、官軍利アラズ、笹小屋及ヒ湯岱ニ退守ス。

○鶉村ノ官軍、進テ二股口ニ向フ、是日、賊兵ヲ中二股ニ破リ、追撃シテ下二股ニ逼ル、賊、山上ノ壘ニ據テ力拒ス、終夜戰爭止マス、曉ニ至リ官軍利アラズ、稻倉石ニ退ク、既ニシテ再ヒ中二股ニ進ミ、賊ト相持ス。

○仙臺、長岡通竄ノ徒三百五十餘人、海ニ航シテ箱館ニ至リ、榎本武揚等ノ軍ニ投ス。

十四日、督府、備前藩兵二ヲ分テ、陽春艦ニ搭セシム。

第六

自明治二年四月十五日  
至同 二十四日

四月十五日、陸海軍參謀山田顯義、書ヲ青森本營ニ飛シテ後軍ヲ促ス、督府、乃チ參謀黒田清隆、大田黒惟信ヲシテ、第三軍薩

摩、長門、水戸、備前、筑後、福山、弘前、徳山、松前九藩兵ヲ率キテ江刺ニ赴カシム、是日、朝陽艦青森港ニ至ル、乃チ舊箱館府兵二十ヲ分テ之ニ搭セシメ、三厩港ニ遣シテ諸艦ニ合セシム。

十六日、總督、書ヲ軍務官ニ致シテ、海陸軍軍需匱乏ノ狀ヲ告ケ、速ニ之ヲ運輸センコトヲ促シ、且運輸船及ヒ判事ノ海軍ニ長セシ者ヲ派遣センコトヲ請フ、明日、參謀モ亦、賊勢猖獗ノ狀ヲ報シ、精兵千人ヲ發遣センコトヲ請フ。

○官艦、進テ箱館港口ニ至リ、賊狀ヲ偵察ス、賊、海陸備ヲ嚴ニシテ、以テ待ツ、官艦、乃チ室蘭ニ向フノ狀ヲ示シ、轉シテ三厩港ニ返ル。

○松前口官軍ノ斥候兵、賊兵ト江良町ニ戰フ。

○第三軍、江刺ニ至ル、乃チ兵ヲ分チ、薩摩、長門、備前三藩兵ハ木古内口ニ向ヒ、薩摩、長門、水戸、備前、徳山、五藩兵ハ二股口ニ進ミ、長門、備前、福山、弘前、松前五藩兵ハ安野呂口ニ赴キ、水戸、筑後、松前三藩兵ハ松前口ニ向フ。

十七日、官軍海陸並進テ、賊兵ヲ江良町及ヒ折戸、立石野等諸處ニ破リ、直ニ福山城ニ逼ル、賊兵支ヘス、城ヲ棄テ走ル、官軍、乃チ福山城ヲ復シ、明日、進テ吉岡、福島二村ヲ定ム。

十八日、督府、海軍參謀増田明道ヲシテ、舊箱館府兵及ヒ弘前



藩兵ヲ率キテ、松前ニ赴カシム。

○督府、弘前藩兵ニ命シテ、牙營ヲ警守セシム。

十九日、賊艦、木古内近海ニ至ル、官艦、進テ之ニ逼ル、賊、戰ハスシテ走ル、官艦、追躡シテ箱館港口ニ至ル、及ハスシテ退ク。

二十日、木古内口官軍、曉霧ニ乘シテ木古内ノ賊壘ヲ攻ム、賊兵、支ヘス、泉澤村ニ走ル、官軍、追撃シテ札刈村ニ至リ、軍ヲ收メテ木古内ニ退ク、賊、海陸兵ヲ返シテ來リ戰フ、松前ノ敗賊、亦知内村ヨリ來テ官軍ヲ夾撃ス、官軍利アラズ、笹小屋及ヒ稻尾峠ニ退守ス、賊、再ヒ木古内ニ入ル、既ニシテ之ヲ棄テ、矢不來ニ走ル。

○賊艦、再ヒ木古内近海ニ至ル、官艦、進テ之ヲ撃ツ、賊、遁レテ箱館港ニ入ル、官艦、乃チ戰ヲ收メテ退ク。

二十二日、督府、海軍參謀會我祐準ヲ松前ニ差遣ス。

○木古内口官軍、進テ木古内ニ至ル、松前口官軍、來會ス、乃チ軍ヲ進メテ三石村ニ次ス。

二十三日、黄昏、二股口官軍、賊兵ヲ下二股ニ攻ム、賊兵カメ拒ク、終夜戰爭止マス、天既ニ明ク、賊、進テ官軍ニ突入ス、官軍少ク退ク、監軍駒井忠仲、衆ヲ勵シテ返シ戰フ、遂ニ之ニ死ス、賊、退テ下二股ノ壘ニ據ル、官軍、奮撃夜半ニ至ル、賊勢屈セ

ス、乃チ兵ヲ中二股ニ收ム。

二十四日、官艦、進テ箱館港ニ入り、賊艦、及ヒ辨天崎ノ砲臺ヲ攻ム、水雷火ヲ設ケルノ虞アリ、且港内水淺キヲ以テ、深入ヲ得スシテ退ク、是日、陸地ノ官軍、當別村ニ至リ、將ニ海軍ヲ援ケテ進ミ戰ントス、賊、茂邊地村ニ據リ、嚴備シテ以テ待ツ、官軍、乃チ釜石村ニ退守ス。

○賊兵、三石村ヲ襲フ、官軍、撃テ之ヲ卻ク。

四月二十七日、總督、牙營ヲ江刺ニ移サントス、是日、青森ヲ發ス、弘前藩兵百八十人之ニ屬ス。

二十八日、總督、江刺ニ抵ル、松前藩兵一小ヲ出シテ牙營ヲ警守ス。

○官軍、進テ當別村ニ至ル、黄昏、賊兵來リ襲フ、官軍、撃テ之ヲ卻ク。

二十九日、官軍、海陸並進テ、賊兵ヲ茂邊地及ヒ矢不來ニ攻ム、賊、壘ニ據テカメ拒ク、官軍、激闘之ヲ破リ、追撃シテ富川村ニ至ル、賊、走テ有川村ニ據ル、時ニ賊艦、箱館港ヨリ來リ戰フ、官艦撃テ之ヲ走ラス、既ニシテ陸地ノ官軍、長驅シテ有川村ニ

○箱館府民連藏等、潛ニ辨天崎ノ砲臺ニ入り、其砲ニ釘シ、其狀ヲ官艦ニ報ス、官艦、乃チ箱館港ニ入り、賊ト戰フ、賊、繩ヲ海中ニ張り、其進入ヲ碍ユ、官艦、遂ニ深く入ルヲ得スシテ退ク。

○安野呂口官軍、進テ落部村ニ至ル。

五日、親兵第二大隊一番中隊右小隊箱館ニ差遣ス。

○總督使ヲ病院ニ遣シテ、傷者ヲ慰問ス。

六日、海軍參謀、書ヲ軍務官ニ致シテ、運輸船ヲ派遣センコトヲ請フ。

七日、海軍陰ニ商船虎房號、住吉號、子日號三船ノ水夫ヲ募テ、箱館港ノ沈繩ヲ截ル、是ニ於テ、大學深入ノ策ヲ決ス、味爽、官艦進テ港内ニ入り、賊艦及ヒ辨天崎ノ砲臺ヲ攻ム、賊兵、殊死シテ戰フ、既ニシテ賊艦一隻、砲臺中テ毀損シ、沙汀ニ膠ス、官艦、直ニ進テ之ニ薄ル、賊、遁レテ陸ニ上ル、官艦、乃チ戰ヲ收メテ退ク。

五月八日、賊兵、曉ニ乘シテ大川村ヲ襲フ、官軍、邀ヘ撃テ之ヲ破リ、追躡シテ赤川、石川二村ニ至ル。

○安野呂口官軍、進テ七重、大野二村ニ至ル、是ニ於テ、諸路ノ

テ之ヲ走ラス。

テ七重濱ニ進ム。

二日、延年艦肥前藩艦、長澤野虎六箱館ニ差遣ス。

ス、乃チ兵ヲ中二股ニ收ム。

二十四日、官艦、進テ箱館港ニ入り、賊艦、及ヒ辨天崎ノ砲臺ヲ

攻ム、水雷火ヲ設ケルノ虞アリ、且港内水淺キヲ以テ、深入

ヲ得スシテ退ク、是日、陸地ノ官軍、當別村ニ至リ、將ニ海軍ヲ

援ケテ進ミ戰ントス、賊、茂邊地村ニ據リ、嚴備シテ以テ待ツ、

官軍、乃チ釜石村ニ退守ス。

○賊兵、三石村ヲ襲フ、官軍、撃テ之ヲ卻ク。

四月二十七日、總督、牙營ヲ江刺ニ移サントス、是日、青森ヲ發

ス、弘前藩兵百八十人之ニ屬ス。

二十八日、總督、江刺ニ抵ル、松前藩兵一小ヲ出シテ牙營ヲ警守

ス。

○官軍、進テ當別村ニ至ル、黄昏、賊兵來リ襲フ、官軍、撃テ之

ヲ卻ク。

二十九日、官軍、海陸並進テ、賊兵ヲ茂邊地及ヒ矢不來ニ攻ム、

賊、壘ニ據テカメ拒ク、官軍、激闘之ヲ破リ、追撃シテ富川村ニ

至ル、賊、走テ有川村ニ據ル、時ニ賊艦、箱館港ヨリ來リ戰フ、

官艦撃テ之ヲ走ラス、既ニシテ陸地ノ官軍、長驅シテ有川村ニ

○箱館府民連藏等、潛ニ辨天崎ノ砲臺ニ入り、其砲ニ釘シ、其

狀ヲ官艦ニ報ス、官艦、乃チ箱館港ニ入り、賊ト戰フ、賊、繩ヲ

海中ニ張り、其進入ヲ碍ユ、官艦、遂ニ深く入ルヲ得スシテ退

ク。

○安野呂口官軍、進テ落部村ニ至ル。

五日、親兵第二大隊一番中隊右小隊箱館ニ差遣ス。

○總督使ヲ病院ニ遣シテ、傷者ヲ慰問ス。

六日、海軍參謀、書ヲ軍務官ニ致シテ、運輸船ヲ派遣センコト

ヲ請フ。

第八

自明治二年五月八日 至同 十一日

五月八日、賊兵、曉ニ乘シテ大川村ヲ襲フ、官軍、邀ヘ撃テ之

破リ、追躡シテ赤川、石川二村ニ至ル。

○安野呂口官軍、進テ七重、大野二村ニ至ル、是ニ於テ、諸路ノ

テ之ヲ走ラス。

テ七重濱ニ進ム。

二日、延年艦肥前藩艦、長澤野虎六箱館ニ差遣ス。

○賊兵、曉ニ乘シテ七重濱ヲ襲フ、官軍、利アラズ、有川村ニ退



官軍、悉ク合シテ一ト爲ル。

九日、海軍參謀、朝陽、丁卯二艦ヲシテ、箱館港出入ノ船舶ヲ譏察セシメ、陽春艦ヲ七重村近海ニ置キテ、陸軍ノ應援ニ充ツ。

○松前兼廣、青森ヨリ福山城ニ復歸ス。

十日、督府、軍中役夫及ヒ馬匹ノ制限ヲ更定ス。

○延年艦、青森港ニ至ル。

十一日、薩摩藩兵ヲ箱館ニ發遣ス。

○總督、江刺ヲ發シ、湯臺ニ次ス。

○海陸官軍、大學シテ箱館及ヒ五稜郭ヲ進撃ス、陸軍分テ七重、大川兩道ヨリ進ミ、別ニ兵ヲ繞ラシテ、山脊泊、寒風川ヨリ箱館ノ背ヲ衝カシム、黎明、箱館口ノ軍、海ニ航シテ山脊泊、寒風川ニ至リ、分道進討、一ハ海軍ト特角シテ、辨天崎ノ砲臺ヲ攻ム、堅シテ拔ケス、一ハ賊兵ヲ箱館山及ヒ箱館ニ撃チ、北クルヲ追テ一本木ニ至ル、賊、千代岡ヨリ返戦ス、官軍撃テ之ヲ卻ク、七重、大川兩道ノ軍、亦海軍ト相應シテ、賊兵ヲ桔梗野、權現山、龜田、赤川、神山等諸處ニ破リ、箱館口ノ軍ト並進テ、五稜郭及ヒ千代岡ニ逼ル、時ニ官艦、賊艦ト大ニ箱館港ニ戰フ、朝陽艦、砲ニ中テ燒没ス、既ニシテ延年艦、青森ヨリ來リ、諸艦ヲ援ケテ賊艦ヲ撃チ、其二艦四天艦、二艦ヲ燒ク、是ニ於テ、賊、

悉ク戰艦ヲ喪ヒ、僅ニ五稜郭、千代岡、辨天崎ノ三所ヲ保ツ、官軍、攻撃甚烈シ、賊、亦殊死シテ戰フ、一晝夜間砲聲止マズ。

第九

自明治二年五月十二日至同十八日

五月十二日、總督、湯臺ヲ發シ、泉澤村ニ次ス。

○海陸官軍、五稜郭、千代岡、辨天崎ヲ連攻ス、賊兵拒キ戰フ、數日、戰爭止マズ。

十三日、總督、泉澤村ヲ發シ、有川村ニ次ス。

十四日、總督、七重、赤川、神山等諸村ヲ巡視シ、諸軍ヲ犒フ、既ニシテ有川村ニ歸ル。

○官軍、賊ノ病院ノ箱館ニ在ル者ヲ收メ、其醫師ヲシテ、朝旨ノ在ル所ヲ榎本武揚等ニ傳ヘシメ、又使ヲ遣シテ之ヲ招降ス。

武揚從ハス、且官軍ニ贈ルニ、其曾テ蘭國ニ遊ヒ學フ所ノ海律二冊ヲ以テス。

十五日、總督、使ヲ箱館ニ遣シテ、諸軍ヲ犒フ。

○督府、肥後藩兵ノ青森ニ在ル者ニ命シテ、速ニ來テ官軍ニ應援セシム、藩兵乃チ富川村ニ至ル。

○海陸官軍、五稜郭、千代岡、辨天崎ヲ連攻シ、又使ヲ遣シテ、辨天崎ノ賊ヲ招降ス、是日、辨天崎ノ賊、永井尙志以下二百四

十人降ヲ乞フ、上湯川村ノ敗賊、二百四十餘人モ亦降ル。

十六日、海軍參謀、酒五樽ヲ榎本武揚ニ贈リテ、其海律ヲ贈リシニ酬フ。

○黎明、官軍、海陸相應シテ、千代岡ヲ攻メ、一鼓シテ之ヲ拔ク、賊五稜郭ニ走ル、官軍、隨テ五稜郭ヲ圍ム、是日、總督、箱館及ヒ千代岡ヲ巡視シ、諸軍ヲ犒フ、既ニシテ有川村ニ歸ル。

十七日、官軍、五稜郭ヲ連攻ス、賊、兵力竭ク、是日、榎本武揚、松平正親等降ヲ乞フ、陸軍參謀黒田清隆、海軍參謀増田明道等、乃チ龜田ニ至リ、武揚等ヲ召見シテ、謝罪ノ實效ヲ責ム、武揚等、明日五稜郭、及ヒ兵器ヲ致シテ、罪ヲ軍門ニ待ント請フ、是ニ於テ諸軍ニ令シテ、其攻撃ヲ止ム。

十八日、榎本武揚、松平正親以下一千餘人、五稜郭ヲ致シ、軍門ニ詣テ罪ヲ待ツ、監軍有地某志津、摩、軍監前田某樂、雜等、諸藩兵ヲ龜田ノ營ニ整列シテ、其降ヲ受ク、乃チ五稜郭及ヒ兵器ヲ收メ、武揚等ヲ箱館ニ護送シ、寺院ニ謹慎シテ、朝裁ヲ待タシム、武揚等兵ヲ起シテヨリ八閱月、是ニ至テ始テ平定ス。

第十

自明治二年五月十九日至同六月十二日

五月十九日、總督、牙營ヲ箱館ニ移シ、海軍ニ令シテ祝砲ヲ發

シ、箱館地方平定ヲ賀ス、英、米二國軍艦ノ港内ニ在ル者、亦應發ス。英艦又祝砲ヲ發シ、其國皇ノ即位ヲ賀ス、陽春艦爲ニ應發ス。

○督府、軍艦前田某樂、雜、ニ命シテ、降人ヲ監セシメ、諸藩兵ヲ分テ箱館、五稜郭、辨天崎等、諸處ヲ警戒ス、又諸藩ニ令シテ、音部進撃以降ノ戰狀、死傷者及ヒ兵士、役夫ノ人員等ヲ錄申セシム。

○朝陽艦ノ箱館港ニ燒没スルヤ、英國軍艦ルベ、港内ニ在リテ、其溺兵ヲ救フ、是日、督府、物ヲ艦長以下ニ贈リテ、其勞ヲ謝ス。

○松平定敬、箱館ヨリ横濱ニ至リ、自首シテ罪ヲ乞フ、乃チ徳川徳成三位中將、尾張藩主ニ付シテ、之ヲ監守セシム。

二十日、箱館居留ノ佛國人、其公使ニ就テ、其家宅、官軍ノ占有スル所ト爲リシヲ訴フ、軍務官乃チ督府ニ移牒シテ、嚴ニ諸軍ヲ戒メ、暴行ヲ外國人ニ加フルコト勿ラシム。

○督府、海軍參謀増田明道、陸軍副參謀森某清、藏等ヲ東京ニ遣シテ、箱館地方戡定ノ狀ヲ報ス。

○辨天崎ノ賊、永井尙志以下二百四十人、軍門ニ出降ル、軍監前田某樂、雜等、其降ヲ受ク、乃チ砲臺及兵器ヲ收メ、尙志等ヲシテ箱館ノ寺院ニ謹慎シテ、朝裁ヲ待タシム。



二十一日、箱館地方平定ニ就クヲ以テ、督府、諸藩兵ノ戰功ヲ慰賞シ、令シテ之ヲ班シ、伏見親兵、二中舊箱館府兵、一及ヒ弘前、二中松前一中、一二藩兵ヲ留メテ、箱館地方ヲ警守セシメ、監軍和田某、二有地某、一ヲシテ之ヲ監セシム、又榎本武揚、松平正親以下七人ヲ東京ニ押送シ、肥後藩兵ヲシテ之ヲ監セシメ、降兵六百十二人ヲ青森ニ移置シ、弘前藩ヲシテ之ヲ監守セシム。

○督府、祭壇ヲ大森濱ニ築キ、戰死者八百十ヲ弔祭シ、海陸軍ニ令シテ、弔砲ヲ發ス、又將ニ招魂所ヲ箱館ニ造營セントスルヲ以テ、諸藩ニ申令シテ、戰死者ノ姓名ヲ錄申セシム。

二十三日、督府、留戍兵ヲ分テ、箱館及ヒ五稜郭、千代岡、辨天崎、湯川等、各所ヲ警戒ス。

二十四日、總督、各艦長ヲ召見シテ、其戰功ヲ慰賞シ、延年艦ヲ箱館港ニ留メ、餘ハ皆之ヲ班ス。

二十五日、軍務官、使ヲ遣シテ、海陸諸軍ヲ犒ヒ、酒百樽ヲ賜フ。

○箱館地方、既ニ平ク、而シテ室蘭ノ賊、未タ降ラス、是日、室蘭ノ賊澤貞説等、使ヲ箱館ニ遣シテ降ヲ乞フ。

二十六日、板倉勝靜、箱館ヨリ東京ニ至リ、戸田忠友ニ就キ、自

首シテ罪ヲ乞フ、乃チ板倉勝殷註頭、ニ付シテ、之ヲ監守セシム。

二十七日、督府、舊箱館府兵ノ朝陽艦ニ駕シ、戰歿セシ者九ノ遺族ニ香花料ヲ賜フ。

二十八日、箱館府民、連藏等ノ辨天崎砲臺ノ砲ニ釘スルヤ、順三郎ナル者、賊ノ捕殺スル所ト爲ル、是日、督府、連藏等ノ功ヲ賞シテ、金ヲ賜ヒ、順三郎ノ遺族ニ香花料ヲ賜フ、又商船住吉、子船水夫ノ、箱館港ノ沈細ヲ截リシ功ヲ賞シテ、金ヲ賜フ。

二十九日、東京訛傳ス、室蘭ノ賊、對馬ヲ侵スト、軍務官、乃チ河内艦ヲ發シテ之ヲ討セシメ、箱館海陸軍參謀ニ令シテ、軍艦二隻ヲ東京ニ班サシム。

六月朔日、諸藩兵、前後東京ニ凱還ス、勅シテ之ヲ慰勞シ、本藩ニ罷歸ス。

五日、各艦品川海ニ凱還ス、勅シテ之ヲ慰勞ス、尋テ令シテ諸藩艦ヲ解還ス。

十日、海陸軍參謀以下、前後箱館ヲ發シテ、東京ニ凱還ス、是日、天皇、參謀以下各艦長等ヲ召見シテ、親カラ之ヲ慰勞シ、酒肴ヲ賜フ。

十二日、蝦夷地裁定ニ就クヲ以テ、箱館府知事清水谷公考ノ青

森口總督ヲ罷ム、是ニ於テ、海陸軍參謀以下皆罷ム。

○軍務官ニ令シテ、箱館降人ヲ處分セシム、既ニシテ榎本武揚、松平正親等、東京ニ至ル、之ヲ軍務官ニ拘ス。

○室蘭ノ賊、澤貞説以下三百餘人、軍艦二隻鳳凰ニ駕シテ、箱館港ニ至リ、謹慎シテ罪ヲ待ツ、督府乃チ其役夫ヲ宥シテ、

招魂所造營ノ工夫ニ充ツ、尋テ貞説以下百八十四人ヲ東京ニ押送シ、備前藩兵ノ猶箱館ニ在ル者ヲシテ、之ヲ監セシム、既

ニシテ貞説等東京ニ至ル、之ヲ軍務官ニ拘ス。



復古記總索引



復古記 總索引

了

會川 官軍力戰	三六五・三七九	冊頁	三三三
霧山 官軍力戰	三六五・三七九	冊頁	三三三
會津 <small>(會津藩參照)</small> 松平容保ノ歸藩	二二九	冊頁	三三三
松平定敬ノ逃避	三二四・三七六	冊頁	三三三
松平定敬ノ退去	三二四	冊頁	三三三
大島純彰等ノ逃避	四二六・二五五・二六八	冊頁	三三三
大島純彰等ノ退去	八四五	冊頁	三三三
公現親王ノ逃避	五四六・〇一四・三四七	冊頁	三三三
公現親王ノ退去	三四七	冊頁	三三三
村松敗賊ノ逃避	六五五	冊頁	三三三
白河口官軍ノ進討	七八三・〇六六・三二〇	冊頁	三三三
平湯口官軍ノ進討	七八三・〇六六・三二〇	冊頁	三三三
賤勢鳴張	九七七・〇七四・三三五	冊頁	三三三
兩毛諸藩兵ノ撤去	三三五・四一八	冊頁	三三三
今治藩兵ノ撤去	八三七・〇八九	冊頁	三三三
鎮定	一〇七〇	冊頁	三三三
中津藩兵ノ撤去	一〇七九	冊頁	三三三
人吉藩ノ撤兵	〇七〇	冊頁	三三三
大垣藩ノ出兵	〇七〇	冊頁	三三三
大垣藩ノ撤兵	〇八七	冊頁	三三三
薩摩藩ノ出兵	〇八七	冊頁	三三三
薩摩藩ノ撤兵	〇八七	冊頁	三三三
土佐藩ノ撤兵	〇八七	冊頁	三三三
長門藩ノ撤兵	〇八七	冊頁	三三三
長門藩ノ出兵	〇八七	冊頁	三三三
長門藩ノ撤兵	〇八七	冊頁	三三三
彦根藩ノ撤兵	〇八七	冊頁	三三三
備前藩ノ撤兵	〇八七	冊頁	三三三
備前藩ノ出兵	〇八七	冊頁	三三三
舊幕府及諸藩連逃兵ノ降服	一〇八六・三三三・三三六	冊頁	三三三
古屋作左衛門ノ逃避	二二六・二八四	冊頁	三三三
板倉勝靜父子ノ逃避	二二六・二八四	冊頁	三三三
原保太郎、豊永貫一郎ノ進討	二二六・二八四	冊頁	三三三
牧野忠訓ノ逃避	二二六・二八四	冊頁	三三三
世良砥徳ノ進討計畫	二二六・二八四	冊頁	三三三
阿部正靜ノ滯留	二二六・二八四	冊頁	三三三
藤原口官軍ノ進討	三三五・三二〇	冊頁	三三三
勢至堂口官軍ノ進討	三三五・三二〇	冊頁	三三三
柳河藩ノ出兵	三三九	冊頁	三三三
溝口直景ノ逃避	三三九	冊頁	三三三
若松官軍ノ歸還	三三三	冊頁	三三三
尾張藩兵ノ撤去	三三三	冊頁	三三三
越前藩ノ出兵	三三三	冊頁	三三三
越前藩ノ警守	三三三	冊頁	三三三
小倉藩ノ出兵	三三三	冊頁	三三三
佐土原藩ノ出兵	三三三	冊頁	三三三
三宮義胤ノ出陣	三三三	冊頁	三三三
高田藩ノ出兵	三三三	冊頁	三三三
藤村紫朗ノ出陣	三三三	冊頁	三三三
府中藩ノ出兵	三三三	冊頁	三三三
松代藩ノ出兵	三三三	冊頁	三三三
諸軍來著	三三三	冊頁	三三三
三春藩ノ出兵	三三三	冊頁	三三三
大村藩兵ノ撤去	三三三	冊頁	三三三
越後口官軍ノ出征	三三三	冊頁	三三三
越後口總督府ノ管理	三三三	冊頁	三三三
白川口總督府ノ會議所設置	三三三	冊頁	三三三
宇都宮藩兵ノ撤去	三三三	冊頁	三三三
正親町公董ノ出陣	三三三	冊頁	三三三
正親町公董ノ出發	三三三	冊頁	三三三
西園寺公望ノ出陣	三三三	冊頁	三三三
安藝藩ノ撤兵	三三三	冊頁	三三三











官艦ノ出征	四四七七	馬四制限ノ更定	四六三九
官艦ノ入港	四四五五	歳尾年首ノ禮ノ停止	四四六五
増田明道ノ出陣	四四七七	從軍諸藩ノ戒飭	四四六六・四四六八・四四七〇
増田明道ノ入港	四四七五	從軍諸藩ノ死傷者及兵士假夫員數ノ録申	四四六八・四四七〇・四四七二
水戸藩兵ノ到着	四四九〇	從軍諸藩ノ五稜廓警守	四四六八・四四七〇・四四七二
運輸船ノ差遣	四四九六	從軍諸藩ノ千代岳警守	四四六八・四四七〇・四四七二
運輸船ノ入港	四四九七	從軍諸藩ノ箱館警守	四四六八・四四七〇・四四七二
朝陽艦ノ出征	四四九〇	從軍諸藩ノ辨天崎警守	四四六八・四四七〇・四四七二
朝陽艦ノ入港	四四九〇	從軍諸藩ノ湯川警守	四四六八・四四七〇・四四七二
中牟田倉之助ノ出征	四四九〇	從軍諸藩ノ稿勞	四四六八・四四七〇・四四七二
黒石藩ノ出兵	四四九五	宮古港官艦ノ戒飭	四四六八・四四七〇・四四七二
肥後藩ノ出兵	四四九五	賊徒進付ノ準備	四四六八・四四七〇・四四七二
曾我祐準ノ出陣	四四九〇	大田黒惟信ノ江刺差遣	四四六八・四四七〇・四四七二
延年艦ノ入港	四四九〇	薩摩藩兵ノ江刺差遣	四四六八・四四七〇・四四七二
延年艦ノ解纜	四四九〇	津藩兵ノ江刺差遣	四四六八・四四七〇・四四七二
青森口	四四九〇	徳山藩兵ノ江刺差遣	四四六八・四四七〇・四四七二
山田顯義ノ從軍諸藩監督	四四九〇	長門藩兵ノ江刺差遣	四四六八・四四七〇・四四七二
從軍諸藩ノ兵員銃器錄申	四四九〇	備前藩兵ノ江刺差遣	四四六八・四四七〇・四四七二
從軍諸藩ノ軍略具陳	四四九〇	弘前藩兵ノ江刺差遣	四四六八・四四七〇・四四七二
青森口會議所	四四九〇	弘前藩兵ノ警守	四四六八・四四七〇・四四七二
設置	四四九〇	福山藩兵ノ江刺差遣	四四六八・四四七〇・四四七二
青森口總督(清水谷公考參照)	四四九〇	松前藩兵ノ江刺差遣	四四六八・四四七〇・四四七二
清水谷公考ノ就任	四四九〇	水戸藩兵ノ江刺差遣	四四六八・四四七〇・四四七二
清水谷公考ノ罷免	四四九〇	増田道明ノ松前差遣	四四六八・四四七〇・四四七二
青森口總督府	四四九〇	曾我祐準ノ松前差遣	四四六八・四四七〇・四四七二
監軍ノ任命	四四九〇		
軍監ノ任命	四四九〇		
參謀ノ任命	四四九〇		
軍中役夫ノ制定	四四九〇		
彈藥制限ノ制定	四四九〇		

青柳忠藏(秋田藩士)	二七六三	赤神村	四四四六
新屋口鎮撫	二七六三	官軍力戦	四四四六
青山火藥庫	一〇五五	阿賀川	四四四六
大總督府ノ彈藥沒收	一〇五五	官賊兩軍ノ對峙	四四四六
青山貞(越前藩士)	二二六三	官軍ノ前進	四四四六
參與兼内務事務局列事就任	二二六三	赤川村	四四四六
青山忠敏(石京太夫)	一一五五	越後口總督府病院頭取就任	四四四六
朝召辭退	一一五五	官軍進討	四四四六
老臣ノ入京	一七六六	賊徒敗走	四四四六
入京	二六〇二・四三五六	清水谷公考ノ巡視	四四四六
歸國	三三七一・五一一	赤坂嶺	四四四六
遠州管地ノ上知並代地下賜	八八五	賊徒敗走	四四四六
青山幸宜(最上藩士)	一七六	赤坂村	四四四六
老臣入京ノ申請	二七三三・二四七	賊徒敗走	四四四六
入京	二八二	官軍力戦	四四四六
哀訴	二八二	赤坂門	四四四六
謹慎	二八二・二二六	紀伊藩ノ警守罷免	四四四六
謹慎赦免	二八二・二二六	肥後藩ノ警守罷免	四四四六
歸國	四三六〇	備前藩ノ警守	四四四六
勤王證書奉呈	九四六・二一八三・二二六	備前藩ノ警守罷免	四四四六
越前采地ノ沒收	二一七五	阿波藩ノ警守	四四四六
越前采地ノ復舊	二一八八	阿波藩ノ警守罷免	四四四六
赤井	三三二	高須藩ノ警守	四四四六
忍藩兵ノ警守	三三二	高須藩ノ警守罷免	四四四六
府中藩ノ警守	三三二	長尾藩ノ警守	四四四六
赤岩村	四四八二	長尾藩ノ警守罷免	四四四六
賊徒占據	四四八二	岩村藩ノ警守	四四四六
賊徒敗走	四四八二	岩村藩ノ警守罷免	四四四六



赤間關(長門) 一六七  
 花山院家理余黨ノ駐屯 一六七  
 赤松成允(孫太郎) 七四五・一〇七六  
 甲府知縣事就任 一〇三四・一〇四六  
 甲府代官就任 一〇三四・一〇四六  
 秋田(久保田) 五七六・六四三・三四六・三四五  
 澤爲量ノ出陣 三三三  
 澤爲量ノ退守反對 三三三  
 澤爲量ノ出發 三三三  
 澤宜種ノ出陣 三三七  
 九條道孝ノ出陣 三三七  
 九條道孝ノ出發 三三七  
 九條道孝ノ歸還 三三七  
 生駒親敬ノ逃避 三三七  
 生駒俊徳ノ逃避 三三七  
 生駒俊徳家臣ノ逃避 三三七  
 莊内藩兵ノ來襲 三三七  
 仙臺藩兵ノ來襲 三三七  
 出雲藩ノ出兵 三三七  
 小倉藩ノ出兵 三三七  
 德山藩ノ出兵 三三七  
 長門藩ノ出兵 三三七  
 運地藩ノ出兵及其停止 三三七  
 肥前藩ノ出兵 三三七  
 肥前藩海軍ノ出征 三三七

鍋島茂昌ノ出陣 三三七  
 戶澤正實ノ逃避 三三七  
 六郷政鑑ノ逃避 三三七  
 醍醐忠敬ノ出陣 三三七  
 津藩ノ出兵 三三七  
 長尾清右衛門ノ出陣 三三七  
 山本登介ノ出陣 三三七  
 弘前藩ノ出兵 三三七  
 弘前藩ノ撤兵 三三七  
 津輕承昭ノ督府出頭 三三七  
 長崎府兵ノ出陣 三三七  
 本莊藩兵ノ來奔 三三七  
 仁賀保誠成家臣ノ逃避 三三七  
 仁賀保誠中ノ逃避 三三七  
 島原藩ノ出兵 三三七  
 大村藩ノ出兵 三三七  
 平戸藩ノ出兵 三三七  
 小幡藩ノ撤兵 三三七  
 船越衛ノ出陣 三三七  
 因幡藩ノ出兵 三三七  
 佐土原藩ノ出兵 三三七  
 新莊藩ノ出兵 三三七  
 佐竹義堯ノ歸還 三三七  
 藤川忠猷ノ出陣 三三七  
 薩摩藩ノ出兵 三三七

賊勢猖獗 一四八  
 秋田口 一四八  
 天童藩ノ出兵 一四八  
 大村吾右衛門ノ出陣 一四八  
 西郷從道ノ出陣 一四八  
 秋田藩(佐竹義堯參照) 一四八  
 東征出兵 一四八  
 會津征討應援拜命 一四八  
 會津征討ノ辭退 一四八  
 會津藩ノ爲ニ哀訴 一四八  
 奧羽諸藩ニ朝旨歴説 一四八  
 箱館警守辭退 一四八  
 箱館官軍ノ糧餉辨給 一四八  
 莊内征討先鋒拜命 一四八  
 莊内出兵 一四八  
 莊内攻撃 一四八  
 莊内藩兵ノ哀訴 一四八  
 莊内藩ノ爲ニ哀訴 一四八  
 朝延ニ援兵ノ要求 一四八  
 越後口總督府ニ援兵ノ要求 一四八  
 軍功褒賞 一四八  
 盛岡藩ノ準備 一四八  
 盛岡藩ノ處分 一四八  
 盛岡管理 一四八  
 盛岡撤兵 一四八  
 南部利剛父子ノ東京護送 一四八

盛岡藩兵ノ來襲 三三三  
 汽船箱館入港 三三三  
 九條道孝ヨリ大總督府ニ形狀ノ報 三三三  
 告 三三三  
 六郷政鑑ノ應援 三三三  
 白石同盟 三三三  
 澤爲量ノ拒絶 三三三  
 澤爲量ノ督勵ト其依違 三三三  
 澤爲量ノ野代陣ノ抑留 三三三  
 仙臺諸藩ノ澤爲量放逐強要 三三三  
 官軍入國ノ拒絶 三三三  
 能代警守並罷免 三三三  
 九條道孝前導 三三三  
 奥羽征討先鋒拜命 三三三  
 仙臺藩使者殺害 三三三  
 小砂川口出兵 三三三  
 津輕藩ヨリ戮力勤王ノ勸誘 三三三  
 鹽根坂出兵 三三三  
 小銃拜受 三三三  
 矢島出兵 三三三  
 元兵洩太 三三三  
 横手警守 三三三  
 監軍設置 三三三  
 沿海器備 三三三  
 長門藩糧餉ノ措辨 三三三  
 兵ノ鬼城山下ノ力戦 三三三  
 兵ノ大瀧苦戦 三三三  
 兵ノ扇田力戦 三三三  
 兵ノ山館力戦 三三三

秋田映季(萬之助) 一四八  
 老臣ノ入京 一四八  
 賊徒加盟 一四八  
 降服 一四八  
 東京召命 一四八  
 謹慎赦免、城邑回復 一四八  
 鷲尾隆聚迎謁 一四八  
 秋月種樹(高橋藩主) 一四八  
 入京申請 一四八  
 京師召命 一四八  
 入京 一四八  
 若年寄罷免 一四八  
 參與就任 一四八  
 内國事務局權輔就任 一四八  
 老臣ノ江戸下向 一四八  
 侍讀就任 一四八  
 議政官下局議長就任 一四八  
 事宜上陳 一四八  
 議事體裁取調御用掛拜命 一四八  
 秋月種事(高橋藩主) 一四八  
 勤王誓書奉呈 一四八  
 秋月種股(高橋藩主) 一四八  
 子種樹代親ノ申請 一四八

子種樹ノ代親ノ召命 一四八  
 子種樹ノ代親 一四八  
 大原重徳警守 一四八  
 入京 一四八  
 東征從軍ノ申請 一四八  
 秋月胤永(會津藩主) 一四八  
 降服 一四八  
 永預 一四八  
 秋月藩(黒田長徳參照) 一四八  
 二條城柵門ノ警守 一四八  
 二條城柵門ノ警守罷免 一四八  
 内訌 一四八  
 遠ヶ辻警守 一四八  
 安藝藩(淺野茂長、淺井茂勳參照) 一四八  
 藩長二藩トノ連合 一四八  
 上國出兵ノ計畫 一四八  
 上國出兵 一四八  
 西宮藩在長州勢西歸反對ノ論争 一四八  
 禁門警守 一四八  
 朔平門警守 一四八  
 中山忠能警守 一四八  
 中山忠能警守罷免 一四八  
 仁和寺警守 一四八  
 仁和寺警守罷免 一四八  
 山階宮警守 一四八  
 京都市中巡邏並罷免 一四八  
 二條城柵門警守罷免 一四八  
 兵ノ操練天覽 一四八  
 兵ノ嘉彰親王附屬 一四八



兵ノ車駕奉迎	10860	品川出兵	10114	富士峠攻撃	10673
兵ノ處罰	11813	江戸警守	1160	亘館出兵	10777・三五八八
兵ノ京都出發	769・三七五	築地警守	10166	兵ノ横川進討	1180
兵ノ泉岳寺駐屯	10114	芝口警守	10136	横川扼守	1180
兵ノ江戸城駐屯	10114	吳服橋警守罷免	10455	久ノ濱出兵	1180
伏見出兵	1411	大手門警守罷免	10569	英人招聘	75
伏見警守	95	鍛冶橋門警守	10894	朝彦親王御預リ	719
尾道撤兵	1456	馬場先門警守	10894	忍警守	116
京師出兵	1456・三三六	新宿警守	10894	公現親王追索	116
軍功褒賞	〔一四九三・一五三八・四七九・〇八六二 一七六六〕	會津出兵	三六七・三三五・三二五	北陸道鎮撫總督府警守罷免	二八〇
菊章旗下賜	1519	水戸出兵	八二九・〇八七	綾瀨橋警守並罷免	二九一
大垣高松姫路福山征討拜命	1519	宇都宮出兵停止	103	伊藤源助ノ軍監罷免	三三三
松山征討拜命	1519	甲府出兵	10153・10124・1194	秋元一學(舊旗下士)	九三六
舊松山藩領管理	1519	甲斐鎮撫府警守	10124	勤王信書奉呈	1085
備中備後公邑ノ管理	1519・四七九	甲府城警守	1030	舞坂掛川間餽餉傳遞ノ管理	九三六
備中以西平定ノ上申	1519	甲府城警守罷免	1035	秋元禮朝(舊林藩主)	1085
河邊川以西ノ管理	二四〇五・二六六	甲府撤兵	1026	朝召辭退	1155
山陽道公邑管理罷免	1755	山中警守	1024	出流山賊徒ノ緝捕	1155
山陽道諸藩ノ向背質問	1185	山中警守罷免	1035	役夫提拱ノ申請	167
倉敷管理罷免	1557	江戸歸還	1035	老臣ノ入京	273
大坂市中巡邏拜命	五五四・二八〇	日光警守	1035・二九六	謹慎	273
大坂市中巡邏罷免	七四四	日光駐在兵ノ戰地派遣申請	1063	謹慎放免	273
越後出兵	一六七四・二六・二七三・二八〇	今市警守	1066	賊徒ノ出羽領地襲撃	273
今町出兵	三六五	汽船ノ陸奥派遣	1066	軍資獻上	273
新發田出兵	三六五	陸奥出兵	1066	東山道總督府何候	273
新潟出兵準備	三六五	大笹屋攻撃	1066	菊章旗拜授	273
東京(江戸)出兵	七五四・1036・1075	笹屋攻撃	1066	岩倉具定、岩倉具經迎謁	273
秋元志朝(舊林藩主)	六四七・二六五	淺草橋	103	官軍糧餉ノ措辦	286
入京	七五	備前藩ノ警守	103		
山陵副管就任	二四九	淺草米廩	103		
藩政與聞	二四九	守兵ノ青梅退去	103		
銃器獻上	二四九	沒收	103		
岩倉具定、岩倉具經迎謁	二五九	封印	103		
秋山虎之助(舊旗下士)	1059	筑前藩ノ警守	105		
軍糧獻上	1059	筑前藩ノ措置稟請	115		
駿府警守罷免	1076	岡崎藩ノ警守	106		
晃親王(山階宮)	111	淺草門	106		
王政復古ニツキ朝召參内	111	筑前藩ノ警守	106		
議定就任	111	筑前藩ノ警守罷免	106		
安藝藩ノ警守	111	高須藩ノ警守	106		
東本願寺光勝及光瑩ノ誓書徵收	111	朝倉藤十郎(舊幕府目付)	106		
外國事務總務就任	111	德川慶喜ノ爲ニ哀訴	106		
大坂行在所何候	111	朝倉孫右衛門(肥州藩主)	106		
外國事務局長就任	111	奧羽總督府使役就任	106		
英國公使慰問	111	麻田藩(青木重義參照)	106		
各宗本山ノ寺錄及鴻臚館復興ノ建	111	京都市中巡邏	106		
議	111	京都市中巡邏罷免	106		
惡田村	111	淺野氏祐(舊幕府若年寄)	106		
賊徒敗走	111	稻葉正邦ノ慶喜謝罪狀ヲ奉ジテ入	106		
明澤村	111	觀セントスルヲ松平慶永ニ報ズ	106		
官軍進討	111	横須賀製鐵所造營工事ノ停止	106		
淺尾藩(時田廣孝參照)	111	淺野茲命(舊藩)	106		
備中舊幕府領地管理罷免	111	龜井茲監ノ嗣トナル	106		
淺川	111	淺野長厚(近江守)	106		
黑羽藩ノ假管	111	老臣ノ入京	106		
棚倉官軍ノ堅守	111	淺野茂長(安藝藩主)	106		

三條實美等ノ處分ニ關スル在京家	110	長門藩々末家家老上坂中止ノ幕令	113	傳達	113
長門藩々末家家老上坂中止ノ幕令	113	長門藩末家家老上坂中止令ノ上	113	申	113
薩長二藩ト上國出兵ノ計畫	113	金子拜受	113	龜井茲監ノ子茲命ヲ嗣トス	113
龜井茲監ノ子茲命ヲ嗣トス	113	福山藩論ノ質問	113	淺野茂勳(紀伊守)	113
淺野茂勳(紀伊守)	113	上國出兵ニ關スル毛利廣封トノ會	113	見	113
東上	113	入京	113	長州勢西宮滞在ノ情由陳疏	113
入京	113	西ノ宮滞在長州勢ノ陳情書奉呈	113	西ノ宮滞在長州勢京師召命傳達	113
毛利敬親赦宥ノ計畫	113	王政復古ニツキ率兵參内ノ内旨	113	王政復古ニツキテノ參内	113
王政復古ニツキ率兵參内ノ内旨	113	議定就任	113	藩士參與候補者ノ薦舉	113
藩士參與候補者ノ薦舉	113	外國告文ノ署名印辭退	113	鳥羽伏見ノ變ニ於ケル用兵反對論	113
鳥羽伏見ノ變ニ於ケル用兵反對論	113	會計事務總督就任	113	會計事務局輔就任	113
會計事務局輔就任	113	京坂豪商ニ御用金ノ諭達	113	德川慶喜ヨリ謝罪救解ノ依頼	113
京坂豪商ニ御用金ノ諭達	113	德川慶喜ヨリ謝罪救解ノ依頼	113		



外國公使召見ノ建議	二二五	戸田忠行ノ俊兵管理	七四八
親征供奉	二四九・三三	戸田忠行ノ復興ノ建議	一〇三三・一六五
歸國	四二四	足利郡(下野)	一〇四五六
淺野元次郎		館林藩ノ治水管理	一〇四五六
阿部元次郎ヲ見ヨ		足利總氏(喜連川藩主)	六九
朝彦親王(寶陽宮)		歸順	六九
西宮藩在長州勢上坂反對論	一一八三	足利藩(戸田忠行參照)	一〇六八
毛利敬親赦宥反對論	一一九三	今市出兵	一一三一
國事掛罷免朝參停止	七一九	軍糧豫備、封内鎮撫	一一五〇
親王號停止	七一九	沼田警守	一一五〇
官位褫奪	七一九	軍令奉戴	一一五〇
仁孝天皇養子停止	七一九	戸倉警守	一一五〇
安藝藩幽閉	七一九	土出出兵	一一五〇
朝比奈泰尙(彌太郎)	七一九	高原出兵	一〇七五九
水戸出發	三七三	安治川口	六六二
水戸襲撃	八二七・一〇八三	郡山藩ノ警守	三五五
戦死	八二九・一〇八八	郡山藩ノ警守罷免	四一八七
旭山	三三三	平戸藩ノ警守	七四〇
北陸官軍ノ力戦	三三三	丸龜藩ノ警守	七四〇
淺舞口	三五九	筑後藩ノ警守罷免	七四〇
官軍進討	三五九	安治川新番所	七四〇
足利	二五五	郡山藩ノ警守	七四〇
祖式金八郎ノ出陣	二五五	筑後藩ノ警守罷免	七四〇
足利氏	一三五	蘆澤村	三三〇
三輪田元綱等ノ木像梟首	一三五	蘆澤村	三三〇
足利聰氏(喜連川藩主)	一三四	蘆野	一〇三六
老臣ノ入京	一三四	壬生藩ノ出兵	一〇三六
軍糧獻上	一〇四三	壬生藩ノ警守	一〇三六
足利學校	一〇四三	壬生藩ノ撤兵	一〇三六

傳奏國事掛罷免	一三三	厚澤部川渡口	九七〇
朝參許可	一三三	賊徒敗走	一四三四
飛鳥山	一五六	穴澤村	一四三四
官軍ノ駐屯	二二六	榎尾官軍ノ進討	一四一〇
仇討	二二六	姉ヶ崎	一四一〇
禁止	八四・一〇七〇	賊徒敗走	一〇九四
愛宕道旭	一六三・一七三	官軍駐屯	一〇九四
郡山藩ノ警守	一六三・一七三	姉川榮藏(筑後藩主)	一〇九四
參與兼軍防事務局親兵掛就任	二四四	監察使附軍監補就任	一〇四六
畝傍陵參向	二七六	前橋出陣	一〇四六
足立勘四郎(因幡藩主)	二七六	吉井藩七日市ニ戸倉口出兵ノ下命	一〇六五
使番就任	一〇五七	大總督府軍監就任	一〇六五
使番罷免	一〇六九	白河口總督府參謀補助就任	一〇七四
熱海(伊豆)	九三〇	阿野公誠	一〇七四
江川英武ノ警守	九三〇	三條實美、三條西季知義絶赦免ノ申請	一〇七四
熱海村	三三三	參與就任	一〇七四
賊徒敗走	三三三	阿武隈川	三三五・三八五
熱田	三三三	官軍力戦	三三五・三八五
舉母藩ノ官軍渡津ノ措辨	三三三	阿夫利神社	一〇六一
明治天皇ノ御駐轡	八二三	祠官ノ勤王	一〇六一
農事天覽	八二三	阿部川	九三三
熱田宮	八二三	本多正訥ノ假橋架設	九三三
勅使參向大政復古ノ報告并東北平定ノ祈願	六四九	阿部邦之助(舊幕臣)	一〇九八
尾張藩并大宮司ノ管理	八二〇	富津出陣	一〇九八
明治天皇ノ行幸	八二七	安部關次郎(舊旗本)	九六三
參拜規定ノ發布	九〇五	勅王詔書奉呈	九六三
厚木(相模)	九七七	阿部内膳(榎倉藩)	九六三
兇徒出沒	九七七		



獻金	一四六	禁止	四七〇	暗殺者	六一六・一〇四五
莊内征討應援拜命	三三〇	輸入禁止	五四〇	嚴捕	三五五
會津征討應援拜命	三三〇	販賣禁止	八二二	行在所(大阪本願寺參照)	三三二
會津滞留	三三〇	阿部元次郎(備後福山藩主)	五二七	大坂本願寺ヲース	三三二
阿部正功(備前藩主)	八七六	家督相續	二二六	百官伺候	三二九
家督相續、棚倉城下賜	八七六	畿内舊幕府領地ノ管理	三二六	松平頼聰ノ警守申請	三二九
阿部正備(備前藩主)	八二九	西宮警守	三二六	渡邊章綱ノ事務服務申請	三二九
謝罪	八二九	埠頭築造	七九七	神山君風ノ伺候	三七九
謹愼	八二九	近海嚴守	七九七	英吉利特派全權公使並副水師提督ノ伺候	四一七
東京召命	八七六	甘粕繼成(備後)	七五二	吉川經健ノ伺候	四一七
東京出府	八七六	山田驛附近占略	三二二	軍防局ノ御發聲ヲ大總督府及東海	九七四
白石來著	三三七	越後口出陣	三二二	道總督府ニ報ズ	九七四
降服	三三七	天草(肥後)	三二二	安塚	一一五
阿部正恒(駿河守)	一一五	花山院家繼徒黨ノ嘯聚	一六七	賊徒敗走	一一五
朝召辭退	一一五	長崎會議所兵ノ鎮撫	一六七	安藤左京	九三六
老臣ノ入京	二二八	肥後藩ノ警守	一七〇	勤王證書奉呈	九三六
入京運延ノ陳謝	四七五	長崎府ノ管理	一七〇	安藤傳九郎(舊旗下士)	九四九
入京	七九七	天草城	二〇〇	王事務服務申請	九四九
歸藩	八七六	廢止	二〇〇	安藤傳藏	九三六
謹愼	八七六	兩垂石村	二〇〇	勤王證書奉呈	九三六
謹愼赦免	八七六	官軍苦戰	二〇〇	安藤直裕(飛騨守)	九三六
上總米邑ノ上知并代知下賜	八七六	官軍進討	二〇〇	藩屏加列	一七〇
謝罪	八七六	西園寺公望ノ出陣	二〇〇	歸藩	一七〇
阿部美濃守(舊旗下士)	九三三	阿彌陀瀨村	二〇〇	入京	一七〇
勤王證書奉呈	九三三	賊徒敗走	二〇〇	諸侯朝覲ノ建議	一七〇
阿片煙	四一八	暗殺	二〇〇	領地利物下付申請	一七〇
販賣禁止	四一八	禁止	二〇〇	東幸供奉申請	一七〇
				安藤信勇(舊城下藩主)	一七〇

朝召辭退	一一五	高倉永祐、四條隆平ノ到着	二八七	朝鮮トノ講和調停ニ關スル幕府ヘ	一一五
入京	三二五	高倉永祐、四條隆平ノ出發	二八七	ノ謝辭	一一五
歸藩	五二二	安中藩(板倉勝慶參照)	二二六	徳川慶喜トノ會見	一一五
美濃別邑地ノ收沒	九二七	下諏訪高崎間供帳傳遞ノ掌理	二二六	東久世通禧トノ會見	一一五
東山道總督府ノ美濃別邑還付奏請	二六二	松良武振徒黨ノ捕斬	二二六	神戸争鬭事件處分ノ開陳	一一五
美濃別邑ノ還付	五五七	小栗忠順糾拜	二二六	神戸争鬭事件ニ關スル伊達宗城ノ	一一五
謹愼	六八八	沼田應援	二二六	陳謝	一一五
從兵ノ歸藩	六八八	六日町出兵	二二六	東久世通禧ヨリ局外中立ノ要求	一一五
安藤信正保管	三三〇	上野地方ノ治水ノ管理	二二六	局外中立布告	一一五
轉封	八七六	土田出兵	二二六	局外中立嚴守	一一五
勤王證書奉呈	九三三	安野呂口	二二六	伊藤博文ヨリ暴行水夫ノ處刑及報	一一五
駿府伺候	九三三	官軍出征	二二六	償ノ要求	一一五
東山道出兵	九三三	雨ヶ嶽	二二六	外國官知事ノ鐵鑿交付交渉	一一五
會津征討拜命	三三〇	官軍力戰	二二六	亞米利加公使館	一一五
平瀧召命	三三〇	亞米利加(采利堅、米國)	二二六	鳥羽伏見ノ變ニ關スル書記官ヨ	一一五
安藤信正(舊城下藩主)	六七三	朝鮮トノ不和	一五九	リ舊幕府老中ヘノ質問	一一五
磐城平出奔	六七三	朝鮮國ノ襲撃	一五九	書記官慶喜ヨリ討薩表ヲ得テ本	一一五
謹愼	八二九	幕府ノ朝鮮ニ間和議調停	一五九	國ニ報ズ	一一五
降服	八二九	幕府購入甲鐵艦ノ交收	一五九	朝鮮トノ講和調停ニ關スル幕府ヘ	一一五
永登居	八二九	商社ノ横濱市煤氣燈設置計畫	一五九	ノ謝辭	一一五
東京出府	一〇八六	軍艦指揮官肥前藩ノ米船雇傭拒	一五九	亞米利加領事	一一五
安藤信勇ノ保管	一〇八六	絶	一五九	伊藤博文ヨリ暴行水夫處罰ノ要求	一一五
安藤信正ノ爲ニ哀訴	一〇八六	軍艦ノ箱館平定ノ祝砲	一五九	綾小路俊實	一一五
安藤弘三郎(舊旗下士)	一〇八六	商船ノ難破	一五九	大原俊實ヲ見ヨ	一一五
中川番所ノ警守	一〇八六	商船水夫ノ暴行	一五九	綾瀬橋	一一五
安中	一〇八六	商船ノ新潟密貿易	一五九	安藤藩ノ警守并罷免	一一五
岩倉具定、岩倉具經ノ到着	二二六	東久世通禧ノ派遣	一五九	綾部藩(九鬼隆備參照)	一一五
岩倉具定、岩倉具經ノ出發	二二六	長門藩ノ醫師ヲ兵庫ニ送ル	一五九	塚原口警守	一一五
		亞米利加公使(フアルケンボルグ)	一五九	山崎關警守	一一五



山崎關門警守罷免	二三四	海軍奉行就任	二四〇六	肥前藩兵ノ進討	二五〇一
荒井(連江)	八三八	洗釜村	二五七	肥前藩兵ノ駐屯	二六四九
明治天皇ノ御着華	八三九	官軍扼守	二五七	肥前藩ノ撤兵	二六六三
熾仁親王ノ到着	九三六	荒井關	九二九	平戶藩ノ出兵	二六三三
荒井(越後)	二五七・二五三	吉田藩ノ改築	九二四	平戶藩ノ撤兵	二六四四
尾張藩兵ノ進討	二六八・二八九	吉田藩ノ警守	九二四	中川健藏ノ鎮撫	二七六三
尾張藩兵ノ出發	二六八・二八九	新井主殿	二二四	青柳忠藏ノ鎮撫	二七六三
松代藩兵ノ進討	二五七・二六八	甲州口官軍監察就任	二二四	松江藩兵ノ出征	二七六八
松本藩兵進討	二五七・二六八	荒尾成章 <small>(因幡藩主)</small>	二六五	新谷藩 <small>(加藤奉令參照)</small>	二七六八
上田藩兵ノ進討	二五七・二六八	參與兼刑法事務局刑事就任	二六五	建禮門警守	一四八五
高遠藩兵ノ進討	二五七・二六八	軍功褒賞	二五三	建春門警守	一五三三
高島藩兵ノ進討	二五七・二六八	越後口軍監就任	二五九	建春門警守罷免	一六七〇
飯山藩兵ノ進討	二五七・二六八	荒川渡口	二五九	内侍所警守	一五三三
飯山藩兵ノ進討	二五七・二六八	賊徒敗走	二五九	内侍所警守罷免	一六七〇
田野口藩兵ノ進討	二五七・二六八	荒川村	二五九	新屋村	一六七〇
小諸藩兵ノ進討	二五七・二六八	賊徒來襲	二五九	官軍力戰	一六七〇
岩村田藩兵ノ進討	二五七・二六八	荒川良知 <small>(尾張藩主)</small>	二五九	新谷村	一六七〇
飯田藩兵ノ進討	二五七・二六八	參與就任	二五九	賊徒敗走	一六七〇
須坂藩兵ノ進討	二五七・二六八	參與罷免	二五九	有川村 <small>(蝦夷)</small>	一四六七
須坂藩兵ノ進討	二五七・二六八	荒町村	二五九	松前藩兵ノ警守	一四三六
須坂藩兵ノ進討	二五七・二六八	賊徒敗走	二五九	官軍退守	一四三六
須坂藩兵ノ進討	二五七・二六八	新尾	二五九	清水谷公考ノ出陣	一四三六
須坂藩兵ノ進討	二五七・二六八	官軍扼守	二五九	清水谷公考ノ歸還	一四三六
須坂藩兵ノ進討	二五七・二六八	九條道孝ノ出陣	二五九	有地志津摩 <small>(長門藩主)</small>	一四三六
須坂藩兵ノ進討	二五七・二六八	新尾口	二五九	青森口監軍就任	一四三六
須坂藩兵ノ進討	二五七・二六八	秋田藩兵ノ進討	二五九	榎本武揚ノ投降	一四三六
須坂藩兵ノ進討	二五七・二六八	佐竹義堯ノ出陣	二五九	箱根警守	一四三六
須坂藩兵ノ進討	二五七・二六八	佐竹義倫ノ出陣	二五九	有栖川宮	一四三六
須坂藩兵ノ進討	二五七・二六八	筑前藩兵ノ進討	二五九	熾仁親王及熾仁親王ヲ見ヨ	一四三六

有馬阿波守 <small>(舊旗下士)</small>	九六三	家臣處罰	七八二	明治天皇御東行ニヨリテ嚴守	七五五
勤王證書奉呈	一一四	謝罪	七八二	阿波藩 <small>(須賀實齊・須賀實茂參照)</small>	一四〇
有馬氏弘 <small>(吹上藩主)</small>	一一四	軍務官副知事攝行	七二七	洲本警守	一四〇
朝召辭退	一一四	軍務官副知事就任	七二七	西ノ宮警守	一四〇
老臣ノ入京	一一四	有馬頼慶	七二七	大津出兵	一四〇
在京老臣王事服務ノ申請	一一四	有馬慶頼ヲ見ヨ	七二七	大津信樂舊代官所轄地管理	一四〇
江戸出府申請	一一四	アル、ビー、フラン、フアルケンボルク	七二七	大津警守	一四〇
入京運延	一一四	アル、セ、ホルトメン <small>(米國大使館書記官)</small>	七二七	高松征討應援	一四〇
入京停止、封内鎮撫	一一四	亞米利加公使館ヲ見ヨ	七二七	近江舊幕府及比會桑二藩領地ノ管理	一四〇
有馬郡 <small>(攝津)</small>	一一四	安房 <small>(房總參照)</small>	七二七	近江取締罷免	一四〇
大坂府ノ管理	一一四	岡田忠義ノ管理	七二七	兵庫警守罷免	一四〇
有馬鐵三郎 <small>(舊旗下士)</small>	一一四	諸藩ノ通賊緝捕	七二七	宜秋門警守	一四〇
歸順	一一四	本多正訥ノ轉封	七二七	宜秋門警守罷免	一四〇
有馬道純 <small>(丸岡藩主)</small>	一一四	本多正訥ノ兇徒鎮撫	七二七	御旗警守	一四〇
老臣入京ノ申請	一一四	西尾忠篤ノ轉封	七二七	岩屋砲臺警守	一四〇
朝召辭退	一一四	松平直克ノ別邑收公	七二七	舊幕府軍艦搜索	一四〇
入京	一一四	大岡忠貫ノ別邑收公	七二七	關東出兵	一四〇
歸國	一一四	稻葉正善ノ別邑收公	七二七	酒井忠邦ノ爲ニ哀訴	一四〇
北陸道總督府へ人質差出	一一四	酒井忠美ノ別邑收公	七二七	京師守備	一四〇
北陸道總督府ノ人質還付	一一四	遠藤胤城ノ別邑收公	七二七	軍防局警守ノ閱兵	一四〇
有馬慶頼 <small>(中務大輔)</small>	一一四	兇徒劫掠	七二七	神戶警守	一四〇
三條實美ノ措置ニ關スル在京家臣	一一四	舊幕府ヨリ長瀨藩ニ別邑ノ下賜	七二七	神戶警守罷免	一四〇
ノ答奏	一一四	堀田正倫ノ諸藩政令傳達ノ掌理	七二七	東山道出兵	一四〇
京師召命	一一四	信太歌之助ノ横行	七二七	東京出兵拜命并停止	一四〇
入京運延	一一四	淡路廢帝 <small>(尊仁天皇)</small>	七二七	青木孟、島本嘉吉保管	一四〇
入京	一一四	城門司馬太字陀太郎ノ神靈還京	七二七	桑名征討兵員ノ錄申	一四〇
公議輿論ニ關スル在京家臣ノ建議	一一四	栗田口	七二七	深川警守	一四〇
攝海守備	一一四		七二七	中川關門警守	一四〇
	一一四		七二七	菊章旗下賜	一四〇



四谷門警守	九八〇	飯寺村若松	三三三
市ヶ谷門警守	九八〇	越後口官軍ノ駐屯	三三六
水道橋警守	九八〇	津川口官軍ノ駐屯	三三六
水道橋警守罷免	一〇三三	井伊直憲(露根藩士)	一六五
陸軍所警守	九八七	朝廷ノ諮詢ニ對スル家臣ノ答申	一七九
講武場警守	一〇八八	朝命申牒等幕府經由ノ申請	一〇七
兵ノ練馬攻撃	一〇八五	入京	一〇九
兵ノ守山出陣	一〇八二	歸國申請	一〇九
兵ノ掛田攻撃	一〇七九	下野出沒浪徒ノ追捕	一〇九
兵ノ福島入城	一〇七六	王事服役申請	一〇九
兵ノ本田原出征	一〇七三	四塚關門警守	一〇九
兵ノ二本松出征	一〇七〇	四塚關門警守罷免	一〇九
舊幕府歩兵保管	一〇六七	大津警衛	一〇九
舊幕府歩兵保管罷免	一〇六四	軍功褒賞	一〇九
赤坂門警守	一〇六一	柳瀬關門廢置ノ稟請	一〇九
赤坂門警守罷免	一〇五八	大坂行幸ノ警護	一〇九
永代橋警守	一〇五五	東幸供奉申請	一〇九
泉岳寺警守	一〇五二	堀田正義舊領地ノ管理	一〇九
横濱警守	一〇四九	井伊直安(與板藩士)	一〇九
白河口出兵	一〇四六	入京	一〇九
白河口總督府警守	一〇四三	歸國	一〇九
三春出兵	一〇四〇	賜金	一〇九
松平容保ノ東京護送	一〇三七	東京出府	一〇九
盛岡征討應援停止	一〇三六	人質呈出	一〇九
川俣警守	一〇三三	出雲崎出兵	一〇九
川俣警守罷免	一〇三〇	飯野藩(保科正益參照)	一〇九
栗屋市太郎(長門藩士)	一〇二七	兵賊徒加盟ノ陳謝	一〇九
奥羽總督府軍艦掛就任肥前藩海軍監督	一〇二四	封境嚴備	一〇九

伊賀越	九二四	薩摩藩ノ汽船購買	一一八
官軍ノ伏見敗賊要撃	九二四	薩摩藩軍艦修繕ノ商人	一一八
雷村	二四六	幕府橫濱居留地取締役トシテ一人ノ雇傭	一一八
賊徒敗走	二四六	島津忠義ノ醫師雇傭	一一八
雷村口	二四六	大總督府ノ醫師雇傭	一一八
賊徒敗走	二四六	東久世通禧ノ差遣	一一八
五十嵐清七郎舊幕臣	二四六	副水師提督ノ參内	一一八
舊幕臣森下景端トノ會見	二四六	安藝藩ノ士官雇傭	一一八
碓關	二四六	政府ノオリエンタル銀舗ヨリノ借入金	一一八
津輕藩ノ出兵	二四六	土佐藩ニ對スル水夫殺害事件ノ嫌疑	一一八
碓關口	二四六	西村八右衛門ノ一人ノ虎門通過拒絶	一一八
津輕藩兵ノ扼守	二四六	英吉利公使ハルリー、エス、パークス(ノギリス參照)	一一八
津輕承服ノ出陣	二四六	水夫殺害事件ニ關スル幕府トノ交渉	一一八
五十里口	二四六	兵庫出向	一一八
官軍警守	二四六	雇傭航海術教導士官ノ待遇ニ關スル幕府トノ交渉	一一八
英吉利(英吉利公使參照)	二四六	公使館員刺客就縛ニ關スル幕府ノ通告	一一八
金子才吉ノ水夫殺害	二四六	諸藩兵ノ大坂幅湊中止ニ關スル幕府トノ交渉	一一八
軍艦ノ横濱出帆	二四六	府トノ交渉	一一八
軍艦ノ兵庫入港	二四六	ノ要求ニ關スル參朝ノ諸侯ヘノ諮詢	一一八
軍艦ノ平戸沿海測量	二四六	ノ要求ニ關スル諸侯老臣ノ呈出	一一八
軍艦ノ九州近海測量	二四六	德川慶喜トノ會見	一一八
軍艦箱館平定ノ祝砲	二四六		
軍艦ノ朝陽艦溺兵ノ救助	二四六		
汽船ノ横濱解纜	二四六		
汽船ノ新潟貿易	二四六		
汽船ノ新潟出帆	二四六		
工技師ノ燈明臺築造候補地點檢	二四六		
兵隊ノ車駕奉迎	二四六		
幕府ノ航海術教導士官ノ雇傭	二四六		
幕府ノ雇傭ノ海軍教師罷歸	二四六		



東久世通禧トノ會見	一五三	會計官ノ管理	五六三	支族池田政禮ノ治所ヲ鴨方備前新	七三
條約履行ニ關スル徳川慶喜ノ通告	一五九	生野代官所	五六三	田ト改稱ス	八二五
神戸開争事件處分條項ノ開陳	一六四	久美濱縣ノ管理	一四四	和氣清磨、楠正行、兒島高德奉祀	八四六
局外中立ニ關スル東久世通禧ノ通告	一六九	生野鐵藏	一四四	東京駐在	八四六
局外中立布告	一七二	池田清太郎(筑前藩士)	一四四	池田種徳(安藝藩士)	一四九
伊達宗城ノ神戸開争事件ノ陳謝	一七二	禁錮	八六五	東北遊撃軍將府參謀就任	三五四・三六三
堺事件ノ處分要求	二四八	池上	八六五	東京凱旋	一四三六
入京期日ノ布告	二五〇	橋本實梁ノ到着	九三九	池田徳定(若櫻藩士)	一四四
三枝翁等ノ襲撃	二五二	熾仁親王ノ到着	九五六	入京延期申請	一四四
外國事務局督ノ遭難慰問	二五五	池島村	三三四	犒勞及軍功褒賞	一四九・一五三
入京參内	二六二	賊徒敗走	一三三	平潟到着	三三〇
退京	二六二	池尻胤房	一三三	池田徳澄(鹿奴藩士)	一三五
襲撃兇徒ノ處罰	二六二	議奏加勢免	一三三	入京	一三五
暴徒取締令公布ノ要求	二八三	池田章政(備前藩士)	一三三	入京嘉獎	一三〇
大總督ヨリ東征旨趣ノ報告	二八九・九三二	入京延期申請	一三三	犒勞及軍功褒賞	一三〇
國書奉呈	四七一	朝召	一三三	上表待罪	一五三
舊幕府履備海陸軍教師罷歸ニ關スル東久世通禧ノ通告	七三四	入京	一三三	親征供奉	二四九
大總督府何候中止	九三〇	親征供奉	二四九・二八三・三三二	東幸供奉拜命	七三五
榎本武揚蝦夷開拓上書ノ取次	四四五	池田茂政ノ嗣トナル	二八七	池田喜通(播磨福本藩士)	一六八
英吉利公使館(英吉利英吉利公使參照)員ノ遭難	一四〇	宗家繼承	三五六	入京	一六八
井口貫七(賞籍不詳)	一四〇	東幸供奉拜命	七三五	藩屏加列	六六八
使番就任	一〇三	東幸供奉	八四四	歸國	七二
生野但馬	一〇三	松平武聰扶助	四二五	池田喜延(播磨福本藩士)	七二
京極高厚ノ出兵	一六七	議定兼攝	七一七	家督相續	七二
仙石久利ノ出兵	一六七	議定心得罷免	八四四	池田政詮	七二
山名義濟ノ警守	二二三	刑法官副知事就任	五八二		
生野銀山	二二三	歸國	六九		

池田章政ヲ見ヨ	一〇七・七四九	池田政詮(生野藩士)	一〇七・七四九	池田政詮(備前藩士)	一〇七
入京	一〇七	蛤門警守	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
伏見巡撫	一〇七	伏見巡撫	一〇七	治所ヲ鴨方ト改稱ス	七二
遠ヶ辻警守	一四六・一四七	遠ヶ辻警守	一四六・一四七	家督相續	二八七・三五六
猿ヶ辻警守罷免	一四七	猿ヶ辻警守罷免	一四七	治所ヲ鴨方ト改稱ス	七二
軍功褒賞	一四七	軍功褒賞	一四七	池田政保(備前藩士)	一〇七
大津出兵	九二〇	大津出兵	九二〇	池田政保(備前藩士)	一〇七
歸藩	九六七	歸藩	九六七	池田政保(備前藩士)	一〇七
東幸後驅拜命并辭退	七三五	東幸後驅拜命并辭退	七三五	池田政保(備前藩士)	一〇七
治所ヲ備前新田ト改稱ス	七二	治所ヲ備前新田ト改稱ス	七二	池田政保(備前藩士)	一〇七
池田政實(備前藩一族)	一〇七	池田政實(備前藩一族)	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
松山征討拜命	一〇七	松山征討拜命	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
池田政保(備前藩士)	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
家督相續	二八七・三五六	家督相續	二八七・三五六	池田政保(備前藩士)	一〇七
治所ヲ鴨方ト改稱ス	七二	治所ヲ鴨方ト改稱ス	七二	池田政保(備前藩士)	一〇七
池田政保(備前藩士)	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
朝召	一三三	朝召	一三三	池田政保(備前藩士)	一〇七
朝召中止	一三三	朝召中止	一三三	池田政保(備前藩士)	一〇七
神戸開争事件ノ稟請	一五六	神戸開争事件ノ稟請	一五六	池田政保(備前藩士)	一〇七
神戸開争事件處分ノ朝命	一六六	神戸開争事件處分ノ朝命	一六六	池田政保(備前藩士)	一〇七
神戸開争事件ノ處分	一七〇	神戸開争事件ノ處分	一七〇	池田政保(備前藩士)	一〇七
旁近諸藩ノ向背質問	一六二〇	旁近諸藩ノ向背質問	一六二〇	池田政保(備前藩士)	一〇七
旁近諸藩歸順ノ奏上	二六三	旁近諸藩歸順ノ奏上	二六三	池田政保(備前藩士)	一〇七
謹慎	二四〇	謹慎	二四〇	池田政保(備前藩士)	一〇七
致仕	二四〇	致仕	二四〇	池田政保(備前藩士)	一〇七
池田政詮ヲ嗣トス	二八七	池田政詮ヲ嗣トス	二八七	池田政保(備前藩士)	一〇七
池田保之助(舊旗下士)	九六三	池田保之助(舊旗下士)	九六三	池田政保(備前藩士)	一〇七
勤王證書奉呈	一〇七	勤王證書奉呈	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
池田慶徳(因幡藩士)	一〇七	池田慶徳(因幡藩士)	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
朝廷ノ諮問ニ對スル在京家臣ノ答奏	一〇七	朝廷ノ諮問ニ對スル在京家臣ノ答奏	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
老臣ノ入京	一〇七	老臣ノ入京	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
朝召	一〇七	朝召	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
入京許可	一〇七	入京許可	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
入京延期	一〇七	入京延期	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
入京	一〇七	入京	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
上表待罪	一〇七	上表待罪	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
軍功褒賞	一〇七	軍功褒賞	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
在江戶支族王事報効ノ申請	一〇七	在江戶支族王事報効ノ申請	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
辭官致仕ノ允可并其取消	一〇七	辭官致仕ノ允可并其取消	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
松平武聰扶助	一〇七	松平武聰扶助	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
東幸後驅拜命并辭退	一〇七	東幸後驅拜命并辭退	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
内帑金下賜	一〇七	内帑金下賜	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
太政翼贊ノ朝命	一〇七	太政翼贊ノ朝命	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
池邊永益(備前藩士)	一〇七	池邊永益(備前藩士)	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
江戶金銀座收沒	一〇七	江戶金銀座收沒	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
伊香	一〇七	伊香	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
守山藩ノ出兵	一〇七	守山藩ノ出兵	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
生駒親敬(美濃藩士)	一〇七	生駒親敬(美濃藩士)	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
奥羽鎮撫使附屬	一〇七	奥羽鎮撫使附屬	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
矢島出奔	一〇七	矢島出奔	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
秋田逃避	一〇七	秋田逃避	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
歸國	一〇七	歸國	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
莊内征討嚮導ノ拜命	一〇七	莊内征討嚮導ノ拜命	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
銃器下賜	一〇七	銃器下賜	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
生駒俊徳(寄合)	一〇七	生駒俊徳(寄合)	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
莊内征討嚮導ノ拜命	一〇七	莊内征討嚮導ノ拜命	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
矢島出奔	一〇七	矢島出奔	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
秋田逃避	一〇七	秋田逃避	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
家臣ノ秋田逃避	一〇七	家臣ノ秋田逃避	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
歸國	一〇七	歸國	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
銃器下賜	一〇七	銃器下賜	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
石和	一〇七	石和	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
掛川藩ノ警守	一〇七	掛川藩ノ警守	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
中津藩ノ警守	一〇七	中津藩ノ警守	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
沼津藩ノ警守	一〇七	沼津藩ノ警守	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
石和縣	一〇七	石和縣	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
廢止	一〇七	廢止	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
石和代官	一〇七	石和代官	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
石田廣和ノ就任	一〇七	石田廣和ノ就任	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
石田廣和ノ知縣事就任	一〇七	石田廣和ノ知縣事就任	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
石和知縣事	一〇七	石和知縣事	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
石田廣和ノ就任	一〇七	石田廣和ノ就任	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
石井嘉吉(肥前藩士)	一〇七	石井嘉吉(肥前藩士)	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
下田漂到舊幕府軍艦ノ處理	一〇七	下田漂到舊幕府軍艦ノ處理	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
海軍參謀補助就任	一〇七	海軍參謀補助就任	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
石井貞之進(陽春藩長)	一〇七	石井貞之進(陽春藩長)	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
青森出陣	一〇七	青森出陣	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
石内村	一〇七	石内村	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七
賊徒來襲	一〇七	賊徒來襲	一〇七	池田政保(備前藩士)	一〇七



石岡藩(常陸府中) 陸奥管地ニ於ケル會津藩兵ノ脅略	107	下館出奔	1170・1153	東山道總督府參謀就任	1134
石神良策(薩摩藩士)	105	入京運延	781	東山道總督府參謀罷免	1133
橫濱病院頭取就任	105	東京出府	830	宇都宮出陣	1132
石神原青森	104	笠間逃避	965	宇都宮城攻撃	1131
清永谷公考ノ閱兵	104	水戸流寓	1017	岩井進討	1130
石川	103	軍費献上	255	結城攻撃	1129
彦根藩ノ警守	103	石川總箱(舊部下)	926	常陸進討	1128
彦根藩ノ撤兵	103	勤王證書奉呈	936	白河應援	1127
石川邦光(仙臺藩士)	102	勤王證書奉呈	935	白河城攻撃	1126
伊達慶邦ノ上京沮止	102	石川村(蝦夷)	1056	白河城占領	1125
石川内藏允(尾張藩士)	102	賊徒敗走	1057	黒羽藩兵ノ大田原差遣	1124
自刃	101	官軍進討	1066	蘆野退守	1123
石川成之(宗十郎)	101	石黒新之丞(加賀藩士)	1067	二本松出陣	1122
朝召辭退	101	會津民政方就任	1068	二本松退去	1121
江戸城郭門警守罷免	101	石坂峠(蝦夷)	1069	會津攻撃ノ部署	1120
西上	100	賊徒敗走	1070	福島督府伺候	1119
入京延期	100	石崎村(蝦夷)	1071	東京凱旋	1118
入京	100	松前藩兵ノ退守	1072	石田忠郷(英吉)	1117
鈴鹿警守	100	石地	1073	讚岐諸島鎮撫	1116
歸國	100	賊徒敗走	1074	奥羽總督府參謀添役就任	1115
關驛ニ於ケル車駕奉迎	100	伊地知貞馨(薩摩藩士)	1075	盛岡出陣	1114
石川利政(河内守)	100	軍艦購買御用掛拜命大坂貨幣司出仕	1076	盛岡入城	1113
江戸府下假管	100	伊地知正治(薩摩藩士)	1077	生保内進討	1112
江戸取締就任	100	大總督府參謀補助就任	1078	石田廣和(小島藩士)	1111
石川總管(下館藩士)	100	大總督府參謀罷免	1079	石和知縣事就任	1110
歸國	100	白河湖倉地方罹災民賑恤ノ申請	1080	石和代官就任	1109
				石卷港	1108
				薩摩津二藩兵ノ榎本武揚追撃	1107
				石間越	1106

賊徒敗走	143・146	石藥師	940	社領免役ノ申請	1010
石間村	143	橋本實梁柳原前光ノ到着	940	伊豆七島會所	1008
官軍苦戰	143	石藥師門	940	簿書奉呈	1007
賊徒占據	143	筑前藩ノ警守	940	出石藩(仙石久利參照)	1006
賊徒逃走	143	彦根藩ノ警守罷免	940	舊幕府領地ノ管理并罷免	1005
井後清之(最中)	143	徵兵ノ警守	940	西班牙國	1004
使番就任	143	石山基政右兵衛權佐	940	横濱入港ノ船舶ノ待遇	1003
石原倉右衛門(莊内藩士)	143	王政復古ニツキ朝召參内	940	和親條約ノ締結ノ要求	1002
永預	143	參與助役就任	940	和親條約ノ締結	1001
石原清一郎(舊幕府大津代官)	143	參與就任	940	和親條約ノ交換	1000
軍資供億	143	柳澤保申ノ警守	940	鍋島直大ノ條約交換管掌罷免	999
大津舊管地ノ管理	143	會計事務局權判事就任	940	東久世通禧ノ條約交換管掌	998
石淵	143	伊豆	940	和泉	997
官軍力戰	143	石田忠郷ノ一鎮撫申請	940	渡邊章綱ノ沿海警守并罷免	996
明治天皇ノ御駐蹕	143	鎌倉五山僧徒ノ一庶民ヘノ貸金	940	田安慶頼ノ一舊領地還付ノ申請	995
明治天皇ノ御發聲	143	大久保教義ノ領地ノ收公	940	田安慶頼ノ一舊領地還付	994
石筵口	143	大久保教義ノ出兵	940	一橋茂榮ノ一舊領地還付ノ申請	993
仙臺藩ノ出兵	143	大久保教義ノ形勢偵察	940	一橋茂榮ノ一舊領地還付	992
賊徒敗走	143	江川英武ノ管理	940	幕府ノ久世廣周ノ別邑收公	991
二本松官軍ノ進討	143	松下重光ノ警備申請	940	泉	990
大垣藩ノ出兵	143	松下重光ノ一沿海警備	940	官軍占領	989
大村藩ノ出兵	143	房總兎徒ノ逃避	940	泉火藥庫	988
薩摩藩ノ出兵	143	林忠崇ノ逃避	940	沒收	987
佐土原藩ノ出兵	143	中井正勝ノ出陣	940	封印	986
土佐藩ノ出兵	143	軍監ノ差遣ノ諭告	940	泉澤村	985
長門藩ノ出兵	143	箱根殘賊ノ駐屯	940	賊徒逃遁	984
石筵村	143	小田原藩ノ一政令傳達管理	940	清水谷公考ノ到着	983
賊徒敗走	143	賊艦漂到	940	清水谷公考ノ退去	982
		伊豆山權現別當般若院	940	泉田驛	981
				賊徒敗走	980



官軍力戰	三二五	岩國藩ノ出兵	三二五	井關盛良(齊右衛門)	二四四
和泉橋(江戸)	九八四	出雲崎口	三二七	參與兼外國事務局判事就任	三一
新發田藩ノ警守	一〇七一	越前藩ノ出兵	三六九・三六八	伊勢居地	三二〇
津藩ノ警守罷免	一〇七三	官軍力戰	三六八	賊徒來襲	二六九
津藩ノ警守	一〇七三	賊徒遁逃	三三三	伊勢崎	二四三
關門設置	一〇八九	出雲大社	五八五	兇徒劫掠	二四三
岡田善長ノ警守	一〇三三	龜井茲監ノ舊典檢分	一四三・一四九・一九五	伊勢崎藩(酒井忠強參照)	一〇五八
岡田善長ノ警守罷免	一〇三三	京師出兵	一五〇	出羽松山藩兵ノ保管	二六八〇
肥後藩ノ警守	一〇三七	旁近諸藩及衆庶ニ慶喜追討令傳布	一五〇	上野地方治水ノ管理	二六八〇
肥後藩ノ警守罷免	一〇三七	警衛服務延期ノ申請	一五〇	沼田應援	二六八〇
吉田藩ノ警守	一〇八五	因幡藩ノ分管罷免	一七〇〇	六日町出兵	二六八〇
泉藩(采多忠起參照)	一〇八五	四塚關門警守	七三五	土田出兵	二六八〇
平潟口官軍ノ警守	二三四四	秋田出兵	七五六・二七六	伊勢三別宮	二六九四
白河出兵	三三〇	汽船ノ奥羽差遣	二六四	本多忠貫ノ一遷宮經費献上ノ申請	一七七
甲子口警守	三三八	隱岐島民ノ鎮撫	三五六・五八〇	本多忠貫ノ一遷宮經費献上ノ申請	一七七
諸倉口警守	三三八	漂流朝鮮人ノ長崎護送	四一九	神祇官直轄	二二七
御藏入口警守	三三八	堺警守	四七四・六六一	勅使參向、太政復古報告及東北平	五〇三
松平定安ノ地方檢査申請	一六九四	岡部正路監護拜命	六一〇〇	定ノ祈願	六四九
池田慶徳ノ出兵	一七〇〇	兵ノ謹慎	一〇四七	藤堂高邦ノ警守	六六四
出雲崎	二二七	新屋口出兵	三七八	奉幣使參向	七三三・七七七
官軍占領	二二七	十二所口出兵	三七八	即位禮舉行ノ報告	七三三・七七七
賊徒來襲	二二七	酒田警守	三三五	明治天皇ノ御遙拜	八二六
官軍退守	二二七	出流山村(下野)	一三五	供御ノ改定	八四一
官艦碇泊	三二七	賊徒嘯擊	一三五	五十島村	一四八二
小濱藩ノ出兵	三二七	戸田忠行ノ鎮糾	一三四	賊徒敗走	一四八二
親兵ノ出陣	三二七	伊勢	一七一	官軍退守	一四九三
官賊兩軍ノ對峙	三二七	德川慶勝ノ諸藩向背ノ質問	一七一		

磯部包義(後進)	一〇四六	會津攻撃ノ部署	三三三	降服	三三三
使番就任	一〇四六	二本松到着	三三三	板倉勝尙(甲斐守)	二六九
奥羽出陣	一〇四七	二本松退去	三三九	朝召	二二五
板垣正形(佐藤士)	一〇四七	東京凱旋、賞慰	三三六	入觀停止	七三三・三三五
大總督府參謀補助就任	一〇四三・一〇三三	東京入觀	三三六	福島出奔	七三三・三三五
白河棚倉地方罹災民賑恤ノ申請	一〇四三	板倉勝靜(備中松山藩主)	七三〇・八三〇	米澤逃避	七三三・三三五
東山道總督府參謀就任	一〇四三	京都退去	一六六	降服	八五九・三三三・三三五
東山道總督府參謀罷免	一〇四三	大坂退去	一四三	謹慎	八六二
大垣到着	一〇四三	官位褫奪、邸地沒收、屏居	一五〇	勸王誓約	一〇四七
甲府追討	一〇四三	江戸歸還	一〇七	會津征討拜命	二二七
甲府到着	一〇四三	江戸出奔	一〇七	桑折出兵	三二四
葛木到着	一〇四三	賊徒加盟	一〇七	板倉勝弘(薩摩藩主)	一一三
近藤勇ヲ勝沼ニ破ル	一〇四三	老臣ノ哀訴	三七九・六五七	朝召辭退	二二二
江戸進討	一〇四三	老臣ノ風説	四七六	入京運延ノ陳謝	二二二
八王子到着	一〇四三	老臣藩主ノ追跡ノ申請	五五五	入京	二八六
府中到着	一〇四三	榎本武陽ノ軍艦ニ搭乘	七三〇	謹慎	二八六
新宿到着	一〇四三	日光逃避	八四六・四三七	謹慎赦免	六二六・一九六
江戸尾張邸駐屯	一〇四三	宇都宮藩脅迫	二四三	板倉勝全(薩摩藩主)	七六〇
壬生出陣	一〇四三	降服及宇都宮藩閉閉	二四三	謹慎	三三三
壬生到着	一〇四三	宇都宮出奔	二四三	板倉勝全(薩摩藩主)	三三三
壬生退去	一〇四三	會津逃避	二四三	榎本武陽ノ軍艦ニ搭乘	三三三
日光進討	一〇四三	白石來著	二四三	箱館出奔	三三三
日光到着	一〇四三	一ヲ新潟管理タラシメントスル賊	二四三	降服	三三三
今市到着	一〇四三	徒ノ計畫	二四三	自首、待罪、閉閉	三三三
今市班師	一〇四三	東京監送	二四三	板倉勝股(安中藩主)	三三三
瀨川進討	一〇四三	板倉勝達(備中松山藩主)	二四三	朝召辭退	三三三
白河到着	一〇四三	家督相續	二四三	確水關警守	三三三
棚倉城攻撃	一〇四三		二四三	老臣ノ入京	三三三
三春進討	一〇四三		二四三		



子勝敬代親ノ申請	三三〇	伊太利	二六三・三二六	使番就任	一〇三四
彈藥献上	二三八・二四九	伊太利公使(コント、ド、ラ、トール)	三七三	陸奥出陣	一〇三四
板倉勝保監	二四七二	德川慶喜トノ會見	一三〇〇	市川代官	一〇四六
板倉勝巳(甲斐守)	一一三五	東久世通禧トノ會見	一五三	成澤公直ノ就任	一〇七六
朝召辭退	二六三四	神戸争鬭事件處分條目ノ開陳	一六〇四	市川忠恕(宮内)	一〇七六
老臣ノ入京	三三〇九	局外中立ニ關スル東久世通禧ノ通告	一六九〇	降服	三三〇
降服	一一四九	局外中立ノ布告	一七二	市川知縣事申妻	三三〇
板倉勝養	二四九	堺事件處分ノ要求	二四三	成澤公直ノ就任	七四九・一〇七六
賊徒加盟	九六七〇	市岡正藏(美濃人)	二二二	市川弘美(水戸藩士)	一六五
板倉清左衛門(上總人)	二六七五	東山道官軍ノ擧導	二二二	處罰	一六五
獻資申請	二六七五	市ヶ谷門	九六五七	水戸出奔	三三三・二九八・一〇四三・一〇八八
板澤村	二六七五	新發田藩ノ警守	九八〇二	水戸襲撃	二七・一〇八〇
官軍力戦	二六七五	新發田藩ノ警守罷免	九八〇二	一乘院應昭	四一五七
板橋	二二五・二二五	阿波藩ノ警守	九八〇二	復飾	一六三
岩倉具定岩倉具經ノ到着	二二五・二二五	尾張藩ノ警守	九八〇二	一乘院里坊	一六三
岩倉具定岩倉具經ノ退去	二二五・二二五	肥後藩ノ警守罷免	一〇四・一〇一七	參與役所設置	一六三
遠藤胤城ノ警守	一〇四九・一〇五二	因幡藩ノ警守	一〇四・一〇一七	網紀確立大政官再興ノ建議	一一四
遠藤胤城ノ警守罷免	一〇四九・一〇五二	土佐藩ノ警守	二四六四	右大臣辭職	一一四
新田俊純ノ出陣	二二六	東山道官軍ノ警守	二四七〇	國事掛罷免	一一四
水野勝寛ノ一督府出頭	二二六	市川下總	九四九六	朝參停止	一一四
大垣藩兵ノ班師	二二六	進川氏歩兵ノ屯集	九四九六	朝參許可	一一四
板鼻	二二六	備前藩ノ出兵	九四九六	一之澤村	一一四
堀之美ノ一督府出頭	二二六	官軍進討	九四九六	賊徒敗走	一一四
板淵村	二二六	羅災民賑給	九四九六	一關藩(田村邦榮參照)	一一四
賊徒敗走	二二六	市川縣	九四九六	湯澤稻庭兩驛出兵	一一四
井田政一郎(紀伊藩士)	二二六	廢止	九四九六	一堰村	一一四
京師押送、禁錮	二二六	市川鍾次郎(津藩士)	九四九六	官軍力戦	一一四
板室村	二二六		九四九六		一一四

賊徒敗走	一三三〇・四二二五	松前藩兵ノ苦戦	一四四二	伊藤祐相(左京大夫)	一一九・三六六
一坪村	二二七	官軍進討	一四四二	老臣ノ入京	九六五四
賊徒敗走	二二七	一向宗門徒(本願寺與正寺參照)	二七四四	勤王誓約	三六六・三八八
一宮藩(加納久宜參照)	一〇五三	若狭—酒井忠氏ノ爲ニ哀訴	二七四六	伊東祐歸(相ノ子)	二二二
兇徒鎧輯	一〇五三	若狭—武田正生等ノ墳墓造營	二七四九	入京	二二二
兇徒ノ遊説	一〇五三	若狭—ノ獻金	七五六	伊藤祐將(十郎兵衛)	二二二
封境嚴備	一〇六三・一〇九四	一心寺攝攝	九二五	仙臺藩使役就任	二二二
大多喜藩ニ安場保等入城ノ傳達	一〇九四	坊城俊章ノ駐屯	九二五	遊擊軍將附參謀就任	二二二
市橋長道(信濃)	七九	一色直記(丹後守)	七五九	伊東長翁(備前守)	二二二
入京	八二四	勤王證書奉呈	七五九	伊東長翁(備前守)	二二二
市橋長義(下總守)	一五五・一五八	制定	一六九二	入京延期申請	一六九
入京	一五八	五辻安仲	二四四	入京	一七〇
四塚關門警守	一五四	郡山藩ノ一警守	二四四	姫路出兵	一七〇
四塚關門警守罷免ノ申請	一五四	參與兼内國事務局權判事就任	二四四	錦旗守衛	二六三
四塚關門警守罷免	一八六・二〇六	辨事就任	七三三	歸國	四三六
歸國	一七九	東幸驛道ノ査檢	一四六四	伊藤博文(長州藩士)	一六八
軍功褒賞	一五三	一本木	二七六	兵庫管理	一六八
參内	一六四	官軍進討	二七六	兵庫駐在	一七三
親征供奉	二四九	高倉永祐四條隆平ノ到着	二七六	兵庫知縣事就任	一七三
支族市橋長道ヲ嗣トス	七三九	高倉永祐四條隆平ノ退去	二七六	參與就任	一七三
老臣ノ東山道總督府伺候	二二五	絲魚川藩(松平直靜參照)	二四四	外國事務掛就任	一七三
遠藤胤城近江領地ノ管理	二二六	管内嚴備軍資献上	二四四	外國事務局判事就任	二四三
市場村(武藏)	一〇六四	伊藤内藏介(備前藩士)	一〇九五	米國領事ニ暴行水夫ノ交付	七四九
一名主七郎右衛門ノ苗字御免	一〇六四	賊徒館山藩脅迫ノ陳情	一〇四六	米國公使ニ暴行水夫ノ處刑及報償	七八六
一蓮寺甲府	一〇九	伊藤外記(實籍不詳)	一〇四六	督促	七八六
柳原前光ノ駐在	一〇九	大總督對軍監就任并罷免	一〇四六	兵制更革凱旋兵士統取ノ建儀	七八六
一渡村(蝦夷)	一〇九	伊藤源助(安藝藩士)	一〇四六	兵制更革凱旋兵士統取ノ建儀	七八六
松前藩ノ出兵	一四四〇	平潟口總督府軍監就任	一〇四六	兵制更革凱旋兵士統取ノ建儀	七八六



伊那(信濃)	七七九	稻倉石(蝦夷)	一四五五二	稻葉左衛門(舊旗下士)	二七九九
尾張藩ノ假管罷免	一四五六〇	長門藩ノ出兵	一四五五三	歸順	一四五九
官軍退守	六七八	稻倉石關門	一四四三三	因幡藩(池田慶徳參照)	一六〇・一七五
稻垣長敬(鳥羽藩主)	七二五四	松前藩兵ノ警守	一四四三三	長谷信篤警守	一四三六・九一三
稻垣長行(鳥羽藩主)	七二八	伊那縣	九七九	伏見警守	一四八
入京	七六二	設置	七七九	伏見警守罷免	一四八
家督相續	八三三	伊那縣知事	七七九	正親町三條實愛警守	一四四
沿海嚴守	一五〇・九一六	北小路俊昌ノ就任	七七九	山陰道鎮撫	一四四
歸國申請	一五〇・九一七	稻澤村	二五〇九	山陰道舊幕府領地査檢	一四四
稻垣長行(鳥羽藩主)	一五〇・九一八	賊徒敗走	二五〇九	九門警守	一四四
朝召辭退	一五〇・九一九	稻田邦植(九郎兵衛)	一四〇・九一三	橋本警守	一四四
入京禁止	一五〇・九二〇	朝召	一四〇・九一三	橋本實梁ノ一兵檢閱	一四四
入京宥免	一五〇・九二一	西宮警守	一四〇・九一三	八幡警守	一四四
入京	一五〇・九二二	西宮警守罷免	一四〇・九一三	諸家寶門警守	一四四
謝罪	一五〇・九二三	洲本警守	一四〇・九一三	犒勞及軍功褒賞	一四四
赦免	一五〇・九二四	高松征討應援	一四〇・九一三	傍近諸藩及衆庶ニ慶喜追征令ノ傳	一四四
獻金	一五〇・九二五	大總督府警守	一四〇・九一三	布	一四四
歸國	一五〇・九二六	下總鎮壓	一四〇・九一三	東海道出兵	一四四
弟長敬ヲ嗣トス	一五〇・九二七	江戶城警守	一四〇・九一三	東海道撤兵	一四四
隱居	一五〇・九二八	關口水道町鑄造所銃器ノ徵收	一四〇・九一三	大垣征討拜命	一四四
稻垣太清(香峽守)	一五〇・九二九	八幡鎮輯	一四〇・九一三	高松征討拜命	一四四
入京	一五〇・九三〇	柏木討伐	一四〇・九一三	四國征討出兵運延陳謝	一四四
歸國	一五〇・九三一	白河口出兵	一四〇・九一三	姫路征討拜命	一四四
米穀献上	一五〇・九三二	上野山内監守	一四〇・九一三	松山征討拜命	一四四
勤王證書奉呈	一五〇・九三三	賊徒屯集	一四〇・九一三	松山藩士保管	一四四
老臣ノ東山道總督府伺候	一五〇・九三四				
稻垣平助(長岡藩主)	一五〇・九三五				
長岡地方民政掌理	一五〇・九三六				

山陰道公文布達專掌	一七〇〇	江戶凱旋	一〇三九	久ノ濱出兵	三三〇一
出雲藩ノ向背質問	一七〇〇	江戶進擊	一〇三九	仙臺城駐屯	三三〇五
出雲出兵	一七〇〇	東京出兵	一〇三九	因幡藩邸	三三〇五
東山道出兵	二二三・二二三・二三四	相馬口出兵	一〇三六	岩倉具定、岩倉具經ノ駐	九六六・九八七
東山道總督府軍議參與	二三四	中村出兵	一〇三六	屯	二二五・二六〇
大山寺管理	三六五	中村城警守	一〇三六	筑前藩ノ警守	一〇五九九
松平武聰ノ爲ニ哀訴	四四八	東叡山警守	一〇三六	津和野藩ノ警守	一〇五九九
松平容保保管	八四八	東叡山討伐	一〇三六	岡山新田藩ノ警守	一〇五九九
中立賣門警守罷免	六四三	忍出兵	一〇三六	織仁親王ノ駐屯	一〇五九九
出羽出兵	六三三	忍警守	一〇三六	郡上藩兵ノ駐屯	一〇五九九
兵ノ京都出發	六七五・二六七・四一五〇	忍撤兵	一〇三六	稻葉久通(右京亮)	一〇五九九
北越征討準備	七三三	軍令違犯者ノ處罰	一〇三六	老臣代親ノ申請	一〇五九九
坊城俊章警守	七三三	甲府出兵	一〇三六	京都出兵	一〇五九九
賜金	七三三	勝沼戰勝	一〇三六	入京	一〇五九九
大坂出兵	七三三	宇都宮赴援	一〇三六	歸國申請	一〇五九九
陸奥出兵	七三三	宇都宮城攻撃	一〇三六	稻葉正邦(美濃守)	一〇五九九
桂宮警守	七三三	安塚力戰	一〇三六	諸第大名ニ王政復古令ノ傳達	一〇五九九
管内發行ノ銀札及錢札	七三三	壬生赴援	一〇三六	諸第大名ニ率兵上坂ノ下命	一〇五九九
大津出兵	八六七	館林赴援	一〇三六	大河内輝照水野忠弘ニ品川砲臺警	一〇五九九
桑名征討	九一三・九一四	館林警守	一〇三六	守ノ下命	一〇五九九
桑名藩士保管ノ罷免	九一三・九一四	日光進討	一〇三六	勤王ノ勅諭	一〇五九九
市ヶ谷門警守	九一三・九一四	瀨川力戰	一〇三六	老臣ノ入京	一〇五九九
喰違門警守	一〇四三	雀宮駐屯	一〇三六	老中罷免	一〇五九九
和田倉門警守	一〇八九・一六四	四谷門警守	一〇三六	德川慶喜ノ奏聞狀ヲ持シテ西上	一〇五九九
和田倉門警守罷免	一〇八九・一六四	新庄直温保管	一〇三六	入京謹慎	一〇五九九
山下警守	一〇八九・一六四	豐島出兵	一〇三六	謝罪	一〇五九九
銀座警守	一〇八九・一六四	小砂川進討	一〇三六	謹慎救免	一〇五九九
龍之口歩兵屯所警守	一〇八九・一六四	矢島進討	一〇三六	歸國	一〇五九九
小田原出兵	一〇三三・一〇三三・一〇三三	平湯出兵	一〇三六		
		小名濱出兵	一〇三六		



勤王證書奉呈	九三八	參與就任	一四〇七	朝召辭退	一一二四
稻葉正巳(兵部大輔)	一八九	外國事務掛就任	一七五二	老臣ノ入京	二五五
入京	一八九	外國事務局判事就任	二四三三	入京	四一五・九四五六
江戸歸府	一四四	長崎製鐵場管理	六三六五	歸國申請	五六三
謝罪	四六五	佐渡縣知事就任	七四七〇	歸國	六四四六
赦免	五二六	佐渡縣知事罷免	八五八	上總領地ノ上知并代知下賜	八四五
稻葉正善(備後守)	一一四	井上志摩守(舊部下)	九四六・九六三	老臣ノ大總督府祇候	九五二
朝召辭退	二四四	井上清太夫(筑前藩士)	一〇五九	井上勝(筑前藩士)	九六六
老臣ノ入京	二四六	橫濱病院取締就任	一〇六九	使番就任	一〇六九
入京	三三三	使番就任	一〇六九	鐵砲洲開市場守兵ノ監督	一〇六九
天機伺候申請	三三三	井上長秋(隱居藩士)	二六〇三	衣服	二六〇三
赦免	五二六	服制制定ノ建議	二六〇三	井上長秋服制ノ建議	二六〇三
房總采地ノ上知并代知下賜	八四四	井上正直(河内守)	一一三	今井貞次郎(遊擊隊)	三三七
勤王證書奉呈	九七四	官位返上ノ申請	一一三	生擒	三三七
封境嚴備	一〇九四	入京・天龍川治水工事負擔	二八六・六六四・八二九	今石動	二九一
賊徒脅迫ノ情狀陳謝	一〇九五	遠州濱松ヨリ上總舞鶴へ轉封	八六五	高倉永祐四條隆平ノ到着	二九一
猪苗代	八二二・三二七	勤王證書奉呈	九三三	高倉永祐四條隆平ノ退去	二九一
會津及諸藩降服者ノ禁錮	四二四	井上正巳(辰若丸)	一一四	今泉鹽田	三三三
監禁會津降兵ノ東京押送	三三七	朝召辭退	二四〇・九七二	仙臺藩ノ作業申請	三三三
官軍進討	三三四	老臣ノ入京	三三三・九六三	官軍力戰	三三三・三〇八
大村藩ノ警守	三三四	下妻出奔	九六三	今市(下野)	三三三・三〇八
米澤藩ノ警守	三〇九	東京出府	九六三	肥前藩警守	一〇七九・一〇九五・二六九・三三三
乾正形	三〇九	勤王證書奉呈	九六三	土佐藩ノ警守罷免	一〇七九・一〇四六
板垣正形ヲ見ヨ	一〇二四五	入京延期	九六三	土佐藩ノ撤兵	一〇七九
犬山藩(成瀬正肥參照)	一〇二四五	入京申請	九六三	今治藩ノ撤兵	一〇七九
甲府出兵	一〇二五	歸國	九六三	今治藩ノ警守罷免	一〇七九
信濃班師	一〇二五	井上正順(高岡藩士)	九六三	今治藩ノ警守罷免	一〇七九
井上馨(長門藩士)	一〇二五			今治藩ノ警守罷免	一〇七九

中津藩ノ警守	一〇五五・三二五	今切關門	八一七	會津征討	三三三
中津藩ノ警守	一〇六六	大河内信古ノ警守	九一七	會津撤兵	一〇七〇
人吉藩ノ出兵	一〇五七	大澤基壽ノ警守	一〇四六・一〇六三	今町(今町遷)	三三三
人吉藩ノ警守	一〇五五・三二五	通行規定	二七五三	高倉永祐四條隆平ノ到着	三三三
人吉藩ノ警守罷免	一〇六六	今莊	二七五三	官艦入港	三三三
安藝藩ノ警守	一〇六六・三二五	高倉永祐四條隆平ノ退去	二七五三	西園寺公望ノ到着	三三三
足利藩ノ出兵	一〇六八	今津	二七五三	官軍苦戰	三三三
茂木藩ノ出兵	一〇七四	高倉永祐四條隆平ノ到着	二七五三	官軍進討	三三三
古河某ノ出陣	一〇七四	高倉永祐四條隆平ノ退去	二七五三	嘉彰親王ノ到着及出發	三三三
壬生藩ノ出兵	一〇七五	今出川	七五五	安藝藩ノ出兵	三三三
壬生藩ノ撤兵	一〇八七	白峯宮創建	七五五	諒	八三四
鍋島監物ノ班師	一〇七九	今出川門	三	印鑑	一四六
笠間藩ノ出兵	一〇七九	筑後藩ノ警守罷免	三	九門出入ノ	一四六
賊兵猖獗	一〇七九	加賀藩ノ警守	三	軍防事務局ヲ大總督府ニ交付	九二九
賊兵來襲	一〇七九	加賀藩ノ警守罷免	三	大總督府ノ紛失者處分	九二九
賊兵敗走	一〇七九	加賀藩ノ警守罷免	三	諸藩兵水陸往來ノ	九二九
香川廣安平川和太郎ノ出陣	二六五	紀伊藩ノ警守	七四六	參遠駿諸關門通過ノ	一〇四六
板垣正形ノ出陣	二六五	今濱村	三五六	江戸城諸關門通過ノ	一〇四六
板垣正形ノ班師	二六五	嘉彰親王ノ閣兵	三五六	今切箱根關門通過ノ	一〇四六
官軍ノ班師	二六五	今治藩(久松定法參照)	三五六	碓氷板橋間諸驛勘合ノ	一〇四六
彦根藩ノ撤兵	二六五	華頂宮警守	三五六	印稅	一〇四六
三條實美ノ一駐在諸藩兵慰賞	二六五	甲府撤兵	三五六	蠶種紙生絲ノ徵收	一〇四六
今井浪之允(因幡藩士)	一〇二七	甲府警守	一〇四三	院內	一〇四六
使番罷免	一〇二七	甲府警守罷免	一〇四三	戸澤正實ノ逃避	一〇四六
使番罷免	一〇二七	飯澤口警守	一〇四三	澤爲量ノ出陣	一〇四六
今井弘(實籍不詳)	一〇二七	飯澤口警守罷免	一〇四三	官軍退守	一〇四六
青森口軍監就任	一〇二七	今市出兵	一〇四三	院內口	一〇四六
今神鹽田	一〇二七	日光警守	一〇四三	米澤藩ノ出兵	一〇四六
仙臺藩ノ作業申請	一〇二七	日光撤兵	一〇四三	米澤藩ノ撤兵	一〇四六



仙臺藩ノ出兵	三四六	岩石村	四一〇	備前藩ノ撤兵	三三三
小倉藩ノ出兵	三五〇	賊徒敗走	四一〇	仙臺藩ノ出兵	三三三
薩摩藩ノ出兵	三五〇・三六三	岩上角右衛門(吉田藩士)	九七五九	官軍ノ攻撃	三三六
長門藩ノ出兵	三五〇	大總督府會計掛就任	九七五九	官軍ノ駐屯	三三六
肥前藩ノ出兵	三五〇	警城郡司代	三二五二	官軍ノ撤兵	三三六
澤爲量ノ出陣	三五九・三七九	森源三郎ノ就任	三二五二	館林藩ノ出兵	一〇六一
長崎府兵ノ進討	三五二	岩城隆彰(龜田藩主)	八七六二	警城平城	六七三〇・三三九三
長崎府兵ノ駐屯	三六四	家督相續(龜田藩主)	八七六二	官軍ノ占領	六七八〇・三三九三
島原藩ノ出兵	三六三・三六九	岩城隆邦(左京大夫)	一一八六・一六七・二五〇	警城平藩(安藤信勇、安藤信正參照)	六七八〇・三三九三
大村藩ノ出兵	三六三・三六九	老臣ノ入京	一一八六・一六七・二五〇	官軍ニ對スル反抗	六一八四
筑前藩ノ出兵	三六八	入京	三二五六	米穀獻上	一一七二
大山綱良ノ出陣	三七五	歸國	四二九四	白河出兵	一一五五
官軍進討	三七五	賊徒加盟	七二二	相馬季胤ノ應援	一一七〇・二二四三
院内峠	三五七	降服	八三五・四二五	岩國藩(吉川經幹參照)	三三九〇
官軍退守	二八九	謹慎	八三五・四二五	東山道出兵	五九六・〇三四
芋坂	二八九	東京出府	八七五九・四三六	越後出兵	六三九・六三七
賊徒敗走	一五九	割封、隱居	八七六	平潟口出兵	一〇四六
土佐藩ノ舊幕府領地管理	一五九	勤王誓約	九六三・二五〇	小名濱出兵	一〇四一
入江良之進(安藝藩士)	一四七	奥羽總督府何候	二五七	柏崎出兵	一〇四一
青森出陣	一四七	莊内征討拜命	二五七	出雲崎及新潟出兵	一〇四一
入小屋村	一四三	莊内逃避	二五七	新潟出兵	一〇四一
官軍退守	一四三	警城平	二五七	岩倉具定	一〇四一
賊徒來襲	一四三	瑞西國商人ノヨリ米穀買入ノ	一〇四一	朝參	一〇四一
入間村	一四三	計畫	一〇四一	參與就任	一〇四一
賊徒敗走	一四三	佐倉藩ノ出兵	一〇六二	東山道鎮撫總督就任	一四九七・一〇一
色部長門(米澤藩士)	一四三	佐倉藩ノ撤兵	一〇六二	東山道先鋒總督并鎮撫使就任	一四九七・一〇一
永預	一四三	笠間藩ノ出兵	一〇六二	東山道總督罷免	一四九七・一〇一
岩井(下總)	一四三	筑後藩ノ出兵	一〇六二	東山道舊幕府領地點檢	一四九七・一〇一
賊徒敗走	一四三	備前藩ノ警守	一〇六二	東山道舊幕府領地諸藩移管ノ建議	一四九七・一〇一

東山道ノ形勢奏上	二四六	戸田忠友ノ金數銃器供億	二二九	眞田幸民飯山戰功ノ褒賞	二五六
東山道民情ノ安撫	二四六	藩地騷擾ニ關スル大關増勤ノ具申	三〇九	勝沼討賊ニ關スル大總督及東	二五六
東山道處分一任ノ申請	二四六	板倉勝靜父子ノ降服	三〇九	海道先鋒總督ヘノ報告	九二五・九五七
京都出發	一六〇・二一五	江戸到著	四八・九六五・二五四・二六〇	勝沼梁田ノ戰捷ヲ大總督ニ報告	二四〇
遠藤胤城領地ノ收公	一七五・二二〇・九六〇	江戸城進撃ノ受命	九三三・二九二・二七九	梁田戰捷兵士ノ召見犒勞	二二六
遠藤胤城ノヘノ謝罪	二七〇	江戸城進撃延期ノ受命	二八八・九三〇	勝沼梁田二役ノ褒賞	九三三・九三七・二四三
横濱在留外人ト爭端ヲ開ク可カ	二七〇	江戸城進撃ノ建議	二八八・九三〇	橋本實梁等江戸入城ノ通告	九四〇・九四二
ラストノ朝命拜授	一七六	江戸城進撃ノ上陳	九三三	宇都宮ノ形勢ヲ大總督ニ具申	九四三
大垣到著	一七〇・二二三	江戸鎮撫意見ノ上陳	九三三	東山道軍監安場保等ノ隸屬	九四三
大垣開兵	二二二	江戸召還	九七五〇・二五三・二六八	松平忠誠入京ノ許可	九四四
大垣ニ於ケル諸藩兵ノ部署	二二二	江戸凱旋	九八八	海道先鋒總督ノ通告	九四四
加納高富二藩區所ノ奏上	二二二	江戸因幡藩邸駐屯	九八八	松平正親下野鎮撫ニ關スル東	九四四
永井尙服入京ノ禁止	二二二	江戸城内ニ牙營	九八八	松平忠誠歸順ノ事ヲ大總督ニ	九四四
永井尙服ノ謹慎赦免	二二二	江戸城收公ニ關スル大總督ノ通告	一〇一七・二六九	具申	二四六
堀田正養ノ領地收公并其還付	二二二	水野忠敬ニ甲府城守ノ指令	一〇一七・二六九	松平忠禮ノ上書	二四六
堀田正養ノ謹慎并其赦免	二二二	水野勝寛ニ結城鎮撫ノ指令	一〇一七・二六九	會津討伐ノ建議	二四六
徳川慶喜ノヘノ哀訴	二二二	松代藩兵ノ甲府警守罷免	二二二	大總督府軍議參列	九四六
徳川慶喜處分ニ關スル大總督ノ	二二二	奥羽追討白河口總督就任	二二二	大總督府ヨリ軍行條規ノ頒布	九四六
報告	九三〇	奥羽追討白河口總督罷免	二二二	大總督江戸入城ノ通告	九四六
和宮ノヘノ哀訴	二八五	白河口總督就任ノ旨ヲ諸軍ニ告知	二二二	大總督ヨリ軍令廟算書ノ頒布	九四六
板橋退去	二八五	安藤信勇美濃別邑ノ收公	二二二	忍出陣	二八六
青山幸宜ノ謹責	二八五	安藤信勇美濃別邑ノ還付	二二二	忍入城	二八六
田安慶頼ノヘノ哀訴	二八五	黨賊家臣處分ニ關スル牧野貞利ノ	二二二	忍班師	二八六
秋元禮朝ノ謹慎處分	二八五	申請	二二二	忍駐屯ノ申請	二八六
秋元禮朝ニ菊章旗下付	二八五	眞田幸民ノ甲府城代任命	二二二	大津到著	二八六
内藤頼直ノ謹慎處分	二八五	知	二二二	守山及愛知川到著	二八六
戸田忠恕ヘ藩境鎮撫ノ諭達	二八五		二二二	垂井到著	二八六
戸田光則勤王ノ具申	二八五		二二二		二八六



參謀及諸藩隊長トノ軍議	二二〇四	高田藩處分ノ申請	二二五七	江戶城進擊ノ受命	二二九八
美江寺到著	二二〇三	館林入城	二二五九	江戶城進擊延期ノ受命	二二九三
加納到著	二二〇二	岩田通徳ト協力日光鎮撫ノ申請	二二六二	牙宮ノ江戶城移轉	二二九二
東進機宜ノ稟申	二二〇一	大宮到著	二二六三	會津討伐ノ建議	二二九一
太田到著	二一九九	舊旗下歸順者ノ錄上	二二六四	忍出陣	二二九〇
御嶽到著	二一九八	舊高家横瀬某ノ勤王英諭	二二六五	忍入城	二二八九
大湫到著	二一九七	古屋作左衛門追討	二二六六	忍駐屯ノ申請	二二八八
高松實村ノ京師護送	二一九六	岩倉具經(八十九)	二二六七	忍班師	二二八七
中津川到著	二一九五	朝參	二二六八	因幡藩邸駐屯	二二八六
三富野到著	二一九四	參與助役就任	二二六九	大津到著	二二八五
上松到著	二一九三	參與就任	二二七〇	守山愛知川到著	二二八四
藪原到著	二一九二	内國事務局權輔就任	二二七一	垂井到著	二二八三
本山到著	二一九一	東山道鎮撫副總督就任	二二七二	大垣到著	二二八二
下諏訪到著	二一九〇	東山道先鋒副總督兼鎮撫使就任	二二七三	大垣閣兵	二二八一
和田到著	二一八九	東山道副總督罷免	二二七四	戸田光則勤王ノ具申	二二八〇
八幡到著	二一八八	東山道民情ノ安撫	二二七五	戸田忠友ノ金穀銃器供億	二二七九
追分到著	二一八七	東山道處分一任ノ申請	二二七六	大總督ヨリ軍令廟算書ノ頒布	二二七八
坂本到著	二一八六	京師出發	二二七七	大總督府軍議參列	二二七七
安中到著	二一八五	奧羽征討白河口副總督就任	二二七八	大總督ヨリ江戶城收公ノ通告	二二七六
高崎到著	二一八四	奧羽追討白河口副總督罷免	二二七九	大總督府何候	二二七五
堀之美ノ來謁	二一八三	分家	二二八〇	參謀及諸藩隊長トノ軍議	二二七四
熊谷到著	二一八二	歸京	二二八一	美江寺到著	二二七三
桶川到著	二一八一	勤勞褒賞	二二八二	加納到著	二二七二
桶川班師	二一八〇	江戶鎮撫意見ノ上陳	二二八三	東進機宜ノ稟申	二二七一
藤到著	二一七九	江戶到著	二二八四	太田到著	二二七〇
藤班師	二一七八	江戶召還	二二八五	御嶽到著	二二六九
板橋退去	二一七七	江戶凱旋	二二八六	大湫到著	二二六八
板橋退去	二一七六	眞田幸貫飯山戰功ノ褒賞	二二八七		
勝沼梁田ノ戰捷ヲ大總督ニ具申	二一七五	鴻巢到著	二二八八		
梁田戰捷兵士ノ召見稿勞	二一七四	秋元禮朝ニ菊章旗下付	二二八九		
勝沼梁田兩役ノ褒賞	二一七三	高田藩處分ノ申請	二二九〇		
松井康英松平忠誠歸順ノ狀ヲ大總督ニ具申	二一七二	館林入城	二二九一		
督ニ具申	二一七一	岩田通徳ト協力日光鎮撫ノ申請	二二九二		
松平忠誠入京ノ許可	二一七〇	大宮到著	二二九三		
水野勝寛ニ結城鎮撫ノ指令	二一六九	舊旗下歸順者ノ錄上	二二九四		
徳川氏處分意見ノ上陳	二一六八	舊高家横瀬某ノ勤王英諭	二二九五		

高松實村ノ京師護送	二二〇四	眞田幸貫飯山戰功ノ褒賞	二二五七	蝦夷開拓事宜策問	三二九八
中津川到著	二二〇三	鴻巢到著	二二五九	明治天皇還幸ノ奏請	三二九三
三富野到著	二二〇二	秋元禮朝ニ菊章旗下付	二二六二	輔相就任	三二九二
上松到著	二二〇一	高田藩處分ノ申請	二二六三	東幸供奉	三二九一
藪原到著	二一九九	館林入城	二二六四	熱田ニテ稻稔獻上	三二九〇
東山到著	二一九八	岩田通徳ト協力日光鎮撫ノ申請	二二六五	局外中立解除ニ關スル各國公使トノ交渉	三二八九
下諏訪到著	二一九七	大宮到著	二二六六	松尾作次右衛門等ヲ東山道官軍ノ撫導ニ推舉	三二八八
和田到著	二一九六	舊旗下歸順者ノ錄上	二二六七	榎本武揚蝦夷開拓申請ノ却下	三二八七
八幡到著	二一九五	岩倉具經	二二六八	官軍苦戰	三二八六
坂本到著	二一九四	洛中居住ノ許可	二二六九	岩下方平(左次右衛門)	三二八五
安中到著	二一九三	盤居赦免復飾	二二七〇	小御所會議參列	三二八四
高崎到著	二一九二	西宮滞在長州勢西上許可ノ意見	二二七一	參與就任	三二八三
堀之美ノ來謁	二一九一	王政復古令喚發ノ計畫	二二七二	外國事務取調掛就任	三二八二
熊谷到著	二一九〇	王政復古令喚發	二二七三	外國事務掛就任	三二八一
桶川到著	二一八九	參與就任	二二七四	兵庫奉行事務管理	三二八〇
桶川退去	二一八八	徳川慶喜奏上ノ提案ヲ松平慶永ニ内付	二二七五	外國事務局判事就任	三二七九
桶川班師	二一八七	徳川慶喜入京議定就任ニ關スル中根師實トノ内議	二二七六	石清水神社	三二七八
藤到著	二一八六	徳川慶喜恭順ニ關スル松平直克ハノ内論	二二七七	放生會ヲ中秋祭ト更定	三二七七
藤班師	二一八五	辭官納地ニ關スル慶喜ヘノ内論	二二七八	明治天皇ノ行幸	三二七六
板橋退去	二一八四	討薩表ノ却下	二二七九	臨時祭	三二七五
板橋退去	二一八三	議定就任	二二八〇	岩瀨(意中)	三二七四
勝沼梁田ノ戰捷ヲ大總督ニ具申	二一八二	副總裁就任	二二八一	土倉正彦ノ到著	三二七三
梁田戰捷兵士ノ召見稿勞	二一八一	副總裁罷免	二二八二	岩瀨郡(陸奥)	三二七二
勝沼梁田兩役ノ褒賞	二一八〇	會計事務總督海陸總裁就任	二二八三	會津藩ノ侵略	三二七一
松井康英松平忠誠歸順ノ狀ヲ大總督ニ具申	二一七九	松平慶永ヨリ王師東征中止ノ歎願	二二八四	岩瀨村	三二七〇
督ニ具申	二一七八	堀義親徳川慶喜ノ爲ニ哀訴	二二八五	官軍力戰	三二六九
松平忠誠入京ノ許可	二一七七	京師留守	二二八六		
水野勝寛ニ結城鎮撫ノ指令	二一七六				
徳川氏處分意見ノ上陳	二一七五				



岩田通徳 <small>(藏部正)</small>	九八七・二六二	德川家達ノ撤兵	一〇八七四	諸藩兵ノ民軍使役禁止	一一三
日光奉行就任	九八七・二六二	賊徒敗走	一四四〇	諸藩死傷者ノ調査	一一四
東山道總督府ト協力日光鎮撫ノ申請	九八五九	岩船郡 <small>(越後)</small>	七四八四	越後口總督府軍監就任	一三六六
岩槻藩 <small>(大岡忠實參照)</small>		越後府隸屬	六六五	越後口總督府監察使就任	一四一五
兎徒糾捕	二二六八	岩松俊純 <small>(中大夫)</small>	七四八四	新發田赴援	一四二五
役夫供給	二二六八	越後府知事就任	六六五	戦功褒賞	一四二五
岩手 <small>(美濃)</small>		石見		京都差遣	一四二五
竹中重明ノ謹慎	二二二二	長門藩ヨリ一占領地献上ノ奏請	一六七	岩村田藩 <small>(内藤正誠參照)</small>	一一四〇・一四九
大垣藩ノ管理	二二二二	長門藩一占領地献上奏請ノ却下	一七五五	相良武振等ノ捕斬	一一七〇
岩沼		朝鮮商船ノ漂到	七九三	近藤勇餘黨ノ糾捕	一一七〇
九條道孝ノ到着	三三三・三二五九・三三三	岩村田 <small>(信濃)</small>		庚申探出兵	一三六六
澤爲量ノ出陣	三三三	内藤信思ノ滞在	八七五・四四〇	宇都宮出兵	一四二五
醍醐忠敬ノ出陣	三三三	岩村高俊 <small>(在藩士)</small>		壬生出兵	一四二五
伊達慶邦上杉齊憲ノ一督府出頭	三三三	監察使軍監就任	一〇三九・三九六	結城出兵	一四二五
伊達宗敦ノ逃避	三三三	東山道總督府監察兼應接掛就任	一〇三九	雀宮苦戰	一四二五
伊達宗敦ノ一督府出頭	三三三	東山道巡察	一〇三九	飯山出兵	一四二五
平潟口官軍ノ到着	三三三	東山道總督府軍監就任	一〇三九	新井出兵	一四二五
四條隆調ノ出陣	三三三	川口鎮撫	一〇三九	高田出兵	一四二五
館林藩兵ノ警守	三三三	信濃出陣	一〇三九	越後出兵	一四二五
岩鼻縣 <small>(上野)</small>		松代到着	一〇三九	封境嚴備	一四二五
設置	六二五四・〇三九・〇四二	新井到着	一〇三九	岩村藩 <small>(松平乗命參照)</small>	一一四〇・一四九
岩鼻知縣事	六二五四・〇三九	新井滞陣	一〇三九	糧米運送請持區域ノ變更	一一四〇・一四九
大音厚龍ノ就任	六二五四・〇三九	越後進討	一〇三九	東山道出兵	一一四〇・一四九
岩淵彦吉	六二五四・〇三九	越後進討ノ部署	一〇三九	東山道官軍ノ擣導	一一四〇・一四九
青森口監軍就任	六二五四・〇三九	小諸藩兵ノ越後差遣	一〇三九	甲府出兵	一一四〇・一四九
岩淵村 <small>(駿河)</small>		高田進討	一〇三九	江戶城警守	一一四〇・一四九
内藤駒次郎ノ警守并罷免	一〇七七	大垣尾張二藩兵ノ越後差遣	一〇三九	信濃班師	一一四〇・一四九
德川家達ノ警守	一〇七七	古屋作左衛門ノ追討	一〇三九	西丸大手警守	一一四〇・一四九

赤坂門警守罷免	一〇八五〇	家督相續	八七六	上野山内 <small>(影義隆參照)</small>	一一四
庚申探出兵	一一五二	降服	一四二一	黒田直養ノ警守	一一四
忍出兵	一一五二	莊内六十里越口出陣	一四二一	加納藩ノ警守	一一四
館林出兵	一一五二	寒河江白岩進討	一四二一	加納藩ノ警守罷免	一一四
下諏訪出兵	一一五二	志津進討	一四二一	紀伊藩ノ警守	一一四
岩屋砲臺 <small>(後略)</small>		莊内出陣	一四二一	紀伊藩ノ警守罷免	一一四
阿波藩ノ警守	一一三	莊内撤兵	一四二一	稻田邦植ノ警守	一一四
		上田		三上藩ノ警守	一一四
		高倉永祐四條隆平ノ到着	一八三	三上藩ノ警守罷免	一一四
		高倉永祐四條隆平ノ出發	一八四	土浦藩ノ警守	一一四
		植田		上野他吉郎	一一四
		官軍力戰	三三七八	奥羽總督府使役就任	一一四
		植田宗平 <small>(高田藩士)</small>	一四二	上野原關門	一一四
		水戸藩信濃出兵ノ詰問	一四二	掛川藩ノ警守罷免	一一四
		上田藩 <small>(松平忠房參照)</small>	一四二	護衛隊ノ警守	一一四
		東山道官軍ノ軍須供億	一四二	護衛隊ノ警守罷免	一一四
		相良武振徒黨ノ捕斬	一四二	護國隊ノ警守	一一四
		碓氷警守	一四二	上野村	一一四
		飯山應援	一四二	官軍苦戰	一一四
		新井出兵	一四二	植原六郎左衛門	一一四
		越後出兵	一四二	銃砲鑄造	一一四
		封境守備	一四二	植松雅言	一一四
		八十里越口警守	一四二	郡山藩ノ警守	一一四
		上田雄一	一四二	植村家 <small>(高取藩士)</small>	一一四
		莊内征討監軍就任	一四二	植村家保ノ嗣トナル	一一四
		六郷政鑑ニ討莊先鋒ノ指令	一四二	入京	一一四
		奥羽總督府參謀添役就任	一四二	家督相續ノ歸國	一一四
		矢島口出陣	一四二	植村家保 <small>(高取藩士)</small>	一一四
		上野	一四二	朝召辭退	一一四
		水野勝知ノ脱走	一四二		一一四



老臣ノ入京	一八三・一八八	牛込門	九六七	二條城柵門警守罷免	四一七五
本田八郎ヲ嗣トス	一〇二	吉田藩ノ警守	九八元	中立賣門警守	六二四三
高野山出兵ニ關スル鷲尾隆泰ノ通告	一三〇五	紀伊藩ノ警守罷免	一〇二八	宇都宮	一一四三
傳法川警守罷免	一三九	薩摩藩ノ警守	九八元	騷擾	一一四三
歸國	二八九六	津藩ノ警守	一〇二二	板倉勝靜父子戰死ノ風聞	五四五五
隱居	四三〇	津藩ノ警守罷免	一〇二二	薩摩藩兵ノ出陣	九七〇九・二四九四
植村梅之助(舊旗下士)	二一九三	新發田藩ノ警守	一〇二八	薩摩藩兵ノ撤去	九七五五・二六五
大垣藩—美濃采邑管理	二一九三	新發田藩ノ警守罷免	一〇二八	—收賊ノ日光逃避	九六七五
ウヱンリト(米國人)	四八九	延岡藩ノ警守	一〇六六	—收賊ノ總野逃避	一五五八
邦人傭聘ノ交渉	四八九	東山道官軍ノ警守	一〇七〇	平定	九九五〇・二五八
魚津	二七四	郡上藩ノ警守	一〇七〇	東山道官軍ノ警守	九七五〇・二六〇八
高倉永祐四條隆平ノ到着	二七四	郡上藩ノ警守罷免	一〇七〇	安藝藩兵ノ出陣中止	一〇三
高倉永祐四條隆平ノ出發	二七四	碓氷關	一〇七〇	紀伊藩ノ出兵	一〇二五
魚沼川	二九〇	大河内輝照戸田光則ノ警守	一六二	土佐藩ノ出兵	一〇四九
官軍進討	二九〇	小諸藩ノ警守	一六二	土佐藩ノ警守	一〇四九
魚沼郡(越後)	二八九	板倉勝靜ノ警守	一五五三	土佐藩ノ撤兵	一〇六八
官軍進討	二八九	上田藩ノ警守	一五五三	總野鎮撫府設置	一〇八九
右近衛大將	一七三	東山道總督府勘合印鑑ヲ—板橋間ニ下附	一五五三	佐倉藩ノ出兵	一〇九五
廣幡忠禮ノ就任	一七三	碓氷嶺	一七四	香川廣安ノ出陣	一〇九〇
宇佐神宮	六五八	薩摩土佐因幡大垣四藩斥候兵ノ進討	一七四	香川廣安ノ到着	一〇九〇
長崎縣ノ管理	九六〇	小笠原兵庫介知久左衛門五郎ノ警守	一七四	香川廣安ノ駐屯	一〇九〇
宇佐美久左衛門(上總人)	九六〇	關門設置	一七四	香川廣安—收賊ノ引責待命	一〇九〇
軍費獻納ノ申請	一八九	白杵藩(舊業久通參照)	一七四	彦根藩ノ出兵	一〇九〇
宇治	一八九	二條城柵門警守	一七四	彦根藩ノ警守	一〇九〇
—警守久居藩兵ノ山崎分遣	一八九			岩村田藩ノ出兵	一〇九〇
久居藩ノ警守罷免	一八九			須坂藩ノ出兵	一〇九〇
出雲藩兵—ヨリ入京	一八九			岡田善長ノ出兵	一〇九〇
宇治關門	一八九				
藤堂高邦ノ警守	二六八				
藤堂高邦—守兵檢閱	二七四				

平川和太郎ノ出陣	二四三〇・二四九・二四八	下野諸藩ノ政令傳達管理	一〇二五・一〇七三	東山道總督府參謀就任	一一〇一
平川和太郎—收賊ノ引責待命	二六〇	下野諸藩ノ政令傳達管理罷免	一〇四六	東山道總督府參謀罷免	一一〇一
祖式金八郎ノ出陣	二四〇	小銃下賜	一〇二二	内田謙三郎(長州藩士)	一一〇一
笠間藩ノ出兵	二四七・二四八	白河口官軍ノ餽餉管理	一〇三六・一三八	奧羽總督府使役就任	一一〇一
壬生藩ノ出兵	二四七	白河口官軍ノ糧餉措辦罷免	一〇三六	清川口出陣	一一〇一
賊徒來襲	二四七・二四八	封境嚴備	一〇三六・一三九七	内田正學(主殿頭)	一一〇一
河田景與ノ出陣	二四九	大渡警守	一〇三六	朝召辭退	一一〇一
因幡藩ノ出兵	二四九	藤原口出兵	一〇三六	老臣ノ入京	一一〇一
松本藩ノ出兵	二四九	鐵砲洲警守	一〇三六	入京遲延ノ陳謝	一一〇一
吹上藩ノ出兵	二四九	藤原口官軍ノ供帳傳遞管理	一〇三六	勤王誓約	一一〇一
大久保忠告ノ出兵	二四九	拜借金申請	一〇三六	封境鎮撫	一一〇一
黒田藩ノ出兵	二四九	東山道總督ニ接兵ノ要求	一〇三六	内田正雄(舊旗下士)	一一〇一
伊地知正治ノ出陣	二四九	結城出兵	一〇三六	開成所頭取就任	一一〇一
忍藩ノ出兵	二四九	雀宮苦戰	一〇三六	打出濱(舊津)	一一〇一
大垣藩ノ出兵	二四九	征討先鋒ノ申請	一〇三六	長門勢ノ到着	一一〇一
長門藩ノ出兵	二四九	野口戰勝	一〇三六	大洲藩ノ長門勢—到着上申	一一〇一
古河藩ノ出兵	二四九	會津撤兵	一〇三六	内海利貞(舊旗下士)	一一〇一
烏山藩ノ出兵	二四九	會津撤兵	一〇三六	倉敷知縣事就任	一一〇一
士民安撫	二四九	横川扼守	一〇三六	倉敷知縣事罷免	一一〇一
士民賑恤	二四九	鷗村	一〇三六	采女ヶ原(上野)	一一〇一
脇田頼三ノ出陣	二四九	賊徒敗走	一〇三六	澤爲量ノ閱兵	一一〇一
官軍苦戰	二四九	官軍進討	一〇三六	畝傍陵	一一〇一
宮都宮城	二四九	備前藩ノ出兵	一〇三六	奉幣使參向	一一〇一
大島純彰ノ占領	二四九	宇陀太郎	一〇三六	救使參向	一一〇一
東山道官軍ノ占領	二四九	淡路廢帝神靈京都奉還ノ申請	一〇三六	織田長易ノ—修補助役	一一〇一
賊徒襲來ノ噂	二四九			宇野大助(加賀藩士)	一一〇一
板垣正形ノ撤去	二四九			會津民政方就任	一一〇一
宇都宮藩(旧田忠友參照)	二四九			右馬寮御監	一一〇一
板倉勝靜父子ノ—幽閉	二四九			廣幡忠禮ノ就任	一一〇一
板倉勝靜ノ爲ニ哀訴	二四九				



運貨重量検査所(五津)	二三九	浦村	王政復古ニツキ朝召參内	一三三	瀨上主膳保管	一〇九八
膳所藩ノ管理	一七三・一九四	官軍力戦	吉田藩ノ警守	九六六	仙臺説服ノ爲ニ使臣ノ差遣	三三四六
規則制定	一六六・二二六	裏門(江戸城)	吉田藩ノ警守罷免	一〇八八	但木成行保管	三五五四
青森口總督府ノ差遣申請	四六五	吉田藩ノ警守	高松藩ノ警守	一〇八八		
雲母坂	一六六・二二六	浦和	明治天皇ノ御著輦	八六四		
大溝藩ノ警守	一六六・二二六	調井戸	柳原前光ノ到着	一〇九五		
梅澤亮(孫太郎)	一六六	柳原前光(出羽)	賊徒ノ館林藩ノ管地侵略	一〇四六		
二條城警守	二七四・二二三	九條道孝ノ到着	九條道孝ノ出發	三八三		
徳川慶喜ノ爲ニ哀訴	一六六	九條道孝ノ出發	宇和島藩(伊達宗城伊達宗徳參照)	一四四		
梅田村	一〇七	禁門警守	宜秋門警守	一四七		
賊徒敗走	三三三	宜秋門警守罷免	松山征討申請	一五五		
官軍苦戦	三三三	松山征討申請	松山征討應援	一五五		
梅村準(水戸藩士)	六九四・二三五	藩士ノ參與タルヘキ者ヲ朝廷ニ薦	醒醐忠順警守	一五七		
高山知縣事就任	六九四・二三五	箱館出兵拜命并停止	弘前應援拜命	七五四		
浦賀港	一〇二七	一橋門警守罷免	一橋門警守罷免	一〇九九		
肥前軍艦ノ入港	一〇二七	清水橋警守罷免	江戸鐵砲洲開市場諸門警守	一〇九〇		
浦上村	一〇二七					
肥前藩ノ天主教徒保監	七二八					
浦瀨村	三三六					
官軍退守	三三六					
賊徒來襲	三三六					
裏附狩衣	一五六					
諸侯著用ノ許可	一三三					
裏辻公愛	一三三					
朝參停止ノ謹慎	一五六					
朝參許可	一五六					
裏松良光	一五六					

豆相地方逃走兇徒ノ剷除	九七八・一〇六七	驛夫錢	增加	一七一	備前藩兵ノ到着	一四五〇
銃器獻上	九八四	柄倉村	賊徒敗走	一六三	備前藩後軍ノ到着	一四五〇
林忠崇等管内潜行容認ノ罪科有	一〇八七	同向院(雨國)	筑前藩兵ノ屯戍	九六五・一〇九五	薩摩藩兵ノ到着	一四五〇
免	一〇二六	江刺(蝦夷)	一屯戍筑前藩兵ノ靖共隊追討	九六〇	水戸藩兵ノ到着	一四五〇
東海道總督ニ田無形勢ノ上申	一〇二六	賊徒來襲	八六一・四四三・四四七	筑後藩兵ノ到着	一四五〇	
代官所費用ノ録申	一〇二六	蟻崎廣業ノ逃遁	四四三	清水谷公考ノ到着	一四五〇	
御藏島漂流人救助并藤澤橋梁架設	一〇二六	松前藩兵ノ進出	四四三	清水谷公考ノ出發	一四五〇	
費用支出ノ稟請	一〇二六	松前藩後軍ノ到着	四四三	江刺港	一四五〇	
箱根官軍ノ糧餉丁馬措辦	一〇二六	官軍ノ到着及其占領	四四三	江刺奉行	一四五〇	
箱根以東餽餉傳遞管理	一〇二六	山田顯義ノ出陣	四四三	小杉政之進、松岡四郎次郎ノ就任	一四五〇	
箱根平塚間餽餉傳遞管理罷免	一〇二六	第二軍ノ到着	四四三			
駿河管地ヲ徳川家達ニ交付	一〇二六	第三軍ノ到着	四四三			
管内嚴備	一〇二六	黒田清隆ノ出陣	四四三			
青梅官軍ノ糧食措辦	一〇二六	太田黒惟信ノ出陣	四四三			
驛遞司	一〇二六	大野藩兵ノ進討	四四三			
諸道傳舍宿弊ノ匡正	一〇二六	徳山藩兵ノ進討	四四三			
驛遞法	一〇二六	徳山藩後軍ノ到着	四四三			
舊幕府ヨリ措置ニ關スル朝廷ヘ	一〇二六	長門藩兵ノ追討	四四三			
ノ稟請	一〇二六	長門藩後軍ノ到着	四四三			
措置ニ關スル朝廷ヨリ舊幕府ヘ	一〇二六	弘前藩兵ノ進討	四四三			
ノ指令	一〇二六	弘前藩後軍ノ到着	四四三			
規則更定	一〇二六	福山藩兵ノ進討	四四三			
役夫	一〇二六	福山藩後軍ノ到着	四四三			
館林藩ノ提供ノ申請	一〇二六	津藩兵ノ到着	四四三			
鳥山黒羽大田原三藩ノ提供	一〇二六	筑前藩兵ノ到着	四四三			
芦野資愛ノ提供	一〇二六					
高崎岡部岩槻三藩ノ提供	一〇二六					
柳澤徳忠ノ提供	一〇二六					
箱根出征諸藩ノ員數ノ録申	一〇二六					
室蘭降人ヲ招魂社造營ノ允當	一〇二六					



蝦夷(清水谷公考山田顯義黒田清隆榎本武揚) 高野保建清水谷公考ノ開拓ノ建 二七五  
 開拓ニ關スル朝議 二七五・三二九  
 箱館裁判所總督ノ開拓事務兼知 三二九  
 箱館裁判所ノ管轄 四二八  
 酒井忠美ノ開拓 四八七・七五九  
 徳川家達ノ開拓ノ申請 六四五・一〇四四  
 榎本武揚ノ占據(七二四八四八五七六・一〇六六六 三三三〇・四三三七・四四六〇) 一〇四四  
 武本榎揚ノ開拓ノ申請 一〇四四  
 海軍差遣 一〇四七  
 蝦夷地總裁 一〇四〇  
 榎本武揚ノ就任 一〇四〇  
 蝦夷地副總裁 一〇四〇  
 松平正親ノ就任 一〇四〇  
 江谷村 一〇四三  
 賊徒敗走 一〇四三  
 越後 三六七・二八四  
 加賀藩ノ出兵 三六七・二八四  
 賊徒嘯聚劫略 四二一・四二二・四二七・六三六  
 平定 一八〇・二八四・二八五・二八六  
 長門藩ノ出兵 一〇八三・四三三  
 長門藩ノ彈藥輸送 六三三・二八四  
 西園寺公望ノ出陣 七八九  
 諸藩ノ會津征討沮止 五七六・二九  
 諸藩ノ同盟 二二三  
 諸藩ト奥羽諸藩トノ同盟 三三三  
 諸藩主ノ斷罪 八六一  
 諸藩首謀者ノ斷罪 八六一  
 諸藩重臣ノ北陸道總督後扈從 二七九  
 諸藩ノ勤王ニ關スル北陸道總督ノ指令 二七九・二八〇  
 諸藩ノ會津藩士逃遁ニ關スル警備 二七九  
 諸藩購辦軍糧ノ價額上申 二七八  
 舊代官ノ舊管地簿書上申 二八〇  
 北陸道總督ノ諸藩重臣慰勞 二八三  
 星野直齋ノ諸藩形勢ノ調察 二八五  
 土佐藩ノ出兵 二八六  
 安藝藩ノ出兵 六三九・三三五  
 山形藩ノ侵略ノ風聞 六四九・〇五七  
 嘉彰親王ノ出陣 六七三  
 低肥藩ノ出兵 六七五・〇六九  
 薩摩藩ノ出兵 七七一・二八三  
 佐土原藩ノ出兵 七七一・二八三  
 越前藩ノ出兵 三三三・三三六  
 越前藩ノ彈藥輸送 七八九  
 榎本武揚ヨリ諸藩へ援兵ノ依頼 八六九・四四六  
 公議人ノ降人處分意見ノ上陳 八七五  
 高倉永祐四條隆平ノ出陣 九六五・一〇一三  
 米澤藩ノ遊説 二二三  
 米澤藩ノ一侵掠 三三三  
 大總督ヨリ北陸道總督へ一裁定ノ督促 二二六  
 松本藩ノ出兵 一〇二七・二六〇  
 木呂子元孝ノ出陣 一〇二七・二八〇  
 市川弘美ノ逃遁 一〇四三  
 飯田藩ノ出兵 一〇六八・三二四  
 彦根藩ノ出兵 一〇六八・三二四  
 筑前藩ノ出兵 一〇六八・三二四  
 古屋作左衛門ノ侵掠 二八四・二八六  
 古屋作左衛門ノ退去 二五二・二八六  
 信濃諸藩ノ出兵 二五七  
 尾張藩ノ出兵 二五九・二六〇  
 松代藩ノ出兵 二五九・二六〇  
 小諸藩ノ出兵 二五九・二六〇  
 須坂藩ノ出兵 二六三  
 大垣藩ノ出兵 二七〇・三三三  
 富山藩ノ出兵 二八四  
 府中藩ノ出兵 二八四  
 酒井忠篤ノ侵掠 三三三  
 水野忠弘ノ侵掠 三三三  
 松平信庸ノ侵掠 三三三  
 高崎藩ノ出兵 三三三  
 四條隆平ノ舊幕府領地及會桑ニ藩領田租半免ノ申請 三三三  
 伊達慶邦ノ侵掠 三三三  
 織田信敏ノ侵掠 三三三  
 澤宣種桂太郎ノ差遣 三三三  
 水戸藩ノ出兵 三三三  
 小倉藩ノ出兵 三三三

蒲生深淵ノ駐在 一四三三  
 越後海 一四三三  
 肥前軍艦ノ出動 四七六  
 薩長軍艦ノ出動 二五七  
 越後國 一〇三三・一〇五〇  
 戸田光則ノ出兵 一〇三三  
 眞田幸民ノ出兵 一〇三三  
 賊徒敗走 三三三・三三六・三三九・三三七  
 賊兵扼守 三三三  
 出征諸藩兵員及屯所ノ錄上 四二四・四二九  
 出征諸藩創病者數ノ錄上 三三三・四二四  
 出征諸藩出役月日ノ錄上 四二九  
 出征諸藩ニ毛布下賜 四一九  
 出征諸藩ノ凱旋 四二七  
 越後口總督 四二七  
 會津征討越後口總督ヲ見ヨ 四二七  
 越後府(新潟縣所參照) 六三六・二九四  
 設置 六三六・二九四  
 越後府 七四四  
 越後四郡ノ隸屬 八八四  
 新潟府ト改稱 四三三  
 會津管理 四三三  
 越後府權判事 六三六  
 小笠原長清ノ就任 六三六  
 安井顯比ノ就任 六三六  
 越後府知事 六三六  
 岩松俊純ノ就任 六三六  
 四辻公賀ノ就任 七四六  
 四辻公賀ノ罷免 七六一  
 四條隆平ノ就任 七六一  
 越後府判事 三三六  
 越前國 三三六  
 越前藩 五七七  
 勝山藩ノ別邑ノ還付 二七六  
 諸藩ノ勤王ニ關スル北陸道總督ノ指令 二七六  
 小濱藩ノ酒井忠美ノ領地管理 二七六  
 越前藩ノ舊幕府領地管理 二七五  
 青山幸宜ノ別邑ノ還付 二八八  
 越前藩(松平慶永松平茂昭參照) 二八八  
 親藩及徳川氏臣屬等政權回復運動 一一三  
 匡正ノ計畫 一六四  
 列藩會議開設ノ運動 一三三  
 禁門警守 一三三  
 二條城内徳川氏臣屬鎮撫ノ内命 一三三  
 仁和寺宮警守 一三七  
 諸家寶門ノ警守 一四六  
 軍需ノ越後輸送 六三九・七八九  
 堺町門警守 七五五  
 北陸道先鋒拜命 二七六  
 北陸道總督ノ閱兵 二七四  
 北陸軍官軍ノ供億措辦 二八二  
 北陸道官軍ニ彈藥献上 二八二  
 有馬道純間部詮道ノ人質保管 二七五  
 舊幕府ノ領地ノ管理 二七五  
 會津出兵 二三八  
 會津城警守 二三八  
 會津警守 二九四  
 長岡出兵 三三六  
 與板口出兵 三三六  
 出雲崎出兵 三三六  
 越後口官軍ノ軍資供給 三三六  
 津川警守 三三六  
 塔寺警守 三三六  
 野澤警守 三三六  
 奧羽越各地ノ警守 三三六  
 越中國 三三六  
 東本願寺光勝ノ入國停止 三三六  
 諸藩ノ勤王ニ關スル北陸道總督ノ指令 三三六  
 餌釣村 三三六  
 秋田前二藩兵ノ力戰 三三六  
 江戸(東京參照) 三三六  
 外人居留地規則ノ制定 三三六  
 開市期限ノ布告 三三六  
 鍋島直大ノ開市事務管理 三三六  
 鐵砲洲居留地ノ開設 三三六  
 石川成之ノ郭門警守罷免 三三六  
 石川總管ノ歸國 三三六  
 石川利政ノ市政假管 三三六  
 劫盜横行 三三六  
 諸國城米ノ廻送 三三六  
 酒井忠惇ノ西上 三三六  
 酒井忠氏ノ西上 三三六  
 酒井忠篤ノ歸國 三三六  
 酒井忠強ノ歸國 三三六  
 關門設置 三三六  
 本莊宗武ノ歸府 三三六



德川慶喜ノ歸府	一四七三	黑田直養ノ歸國	二六六	駐屯	四八・九六五・九七九・一五四三
德川慶喜ノ出發、水戸下向	三五〇二	戶澤正實ノ歸國	二七六	岩倉具定岩倉具經ノ一鎮撫意見上	九四七九
伏見戰報ノ到達	一五〇四	物情騷擾	二六二	陳	
九鬼隆義ノ歸國	一五〇四	內藤信民ノ歸國	三二九	岩倉具定岩倉具經ノ出發	九六九・一五六三
松平直克ノ歸國	一五〇四	內藤賴直ノ歸國	二二四四	岩倉具定高倉永祐ノ進軍ノ督促	一六六六
松平直克ノ警守	一五〇七	內藤正誠ノ歸國	二二六	久世廣文ノ出府	四一六四・五八八
松平直克ノ歸國	一五〇八	立花種恭ノ歸國	三〇八	田安慶頼ノ鎮輯	九七〇
松平容保ノ歸國	一五〇八	立花鑑寛ノ下向	三〇八	大久保忠寛ノ鎮輯	四一八五・九七〇
松平定敬ノ歸國	一五〇八	伊達宗孝ノ滞在	三〇七	大久保利通ノ駐在	五六三二
松平乘秩ノ西上	一五〇八	眞田幸民ノ歸國	三〇七	大久保忠告ノ形狀調査	一四五六
松平齊民ノ西上	一五〇八	物價騰貴	三二七	勝義邦ノ鎮輯	九七〇
松平頼胤ノ謹慎	一五〇八	橋本實梁柳原前光ノ下向	三二七	士民ノ公現親王上京沮止	四二九九・九八五
松平忠禮ノ歸國	一五〇八	橋本實梁柳原前光ヨリ市民ヘ東	三二七	諸藩邸及在留者ノ口數調査	四三三
松平榮之助ノ歸國	一五〇八	征旨趣ノ諭告	三二七	商人舊幕府御用金ノ年賦償還	四三三
松平乘命ノ歸國	一五〇八	柳原前光ノ出發	三二七	郊外徳川家第宅ノ破却	六二七・一〇三〇
松平忠誠ノ歸國	一五〇八	柳原前光ノ凱歸	三二七	鈴木重嶺ノ出府	一〇六四
河津祐邦ノ歸府	一五〇八	三春藩ノ撤兵	三二七	三條實美ノ下向	四六四・一八五
天文方設置	一五〇八	諸侯家族臣隷ノ歸國	三二七	蠶種紙生絲改所設置	四七五三
本多修理ノ出府	一五〇八	板倉勝靜父子ノ退去	三二七	舊幕府揚榜撤去	五二四・一〇四七
本多助成ノ歸國	一五〇八	大總督ノ到着	三二七	鳥丸光徳ノ下向	五二四・一〇四七
戸田忠行ノ歸國	一五〇八	大總督ノ進撃ノ延期	三二七	長岡護美ノ下向	五二四・一〇四七
戸田忠友ノ出府	一五〇八	大岡忠貫ノ西上	三二七	蜂須賀茂韶ノ下向	五二四・一〇四七
相馬季胤ノ歸國	一五〇八	大岡忠貫ノ歸國	三二七	鳥津忠義ノ下向	五二四・一〇四七
牧野貞利ノ歸國	一五〇八	佐久間信義ノ市政假管	三二七	鳥津忠寛ノ下向	五二四・一〇四七
牧野貞利ノ歸國	一五〇八	岩倉具定岩倉具經ノ一召還	三二七	賊徒監禁	五二四・一〇四七
牧野貞幸ノ出府	一五〇八	岩倉具定岩倉具經ノ一因幡藩第	三二七	木戸孝允大木喬任ノ下向	一〇三・一〇三六
有馬道純ノ西上	一五〇八	人吉藩ノ出兵	三二七	醫學校設置	六四三・一〇三九
岡部長寛ノ西上	一五〇八	杵築藩ノ出兵	三二七	西四辻公業穂波經度ノ西上	六五〇
水野勝知ノ歸國	一五〇八	河田景與ノ凱歸	三二七		
水野勝知ノ逃避	一五〇八	河田景與ノ進討	三二七		
		因幡藩兵ノ追討	三二七		
		備前藩兵ノ凱歸	三二七		
		沼津藩老臣ノ召喚	三二七		
		岡崎藩老臣ノ召喚	三二七		
		岡崎藩兵ノ凱歸	三二七		
		新發田藩士ノ謹慎	三二七		
		佐土原藩兵ノ凱歸	三二七		
		柳河藩ノ出兵	三二七		
		下手渡藩ノ出兵	三二七		
		中津藩ノ出兵	三二七		
		今治藩ノ出兵	三二七		
		岩國藩ノ出兵	三二七		
		安藝藩ノ出兵	三二七		
		肥前藩ノ出兵	三二七		
		肥前藩兵ノ凱歸	三二七		
		肥前藩兵ノ凱歸	三二七		
		筑前藩兵ノ凱歸	三二七		
		筑前藩ノ出兵	三二七		
		筑尾隆聚ノ出發	三二七		
		稻田邦植家臣ノ出發	三二七		
		勘定所抱組ノ歸還	三二七		
		平松時厚ノ下向及出發	三二七		
		別手組ノ一居留外國人警守	三二七		
		龜山藩ノ撤兵	三二七		
		遠藤胤城ノ凱歸	三二七		
		遠藤胤城ノ出發	三二七		

東京ト改稱	六七九・一〇五六	土屋舉直ノ出府	一〇五〇
會計局委員ノ下向	九三〇	延岡藩ノ出兵	一〇五〇
高倉永祐四條隆平ノ到着	三二八・九四六	大洲藩ノ出兵	一〇五〇
高倉永祐四條隆平ノ出發	三二八・九四六	飯田藩ノ撤兵	一〇五〇
水路ノ警備	二八六	房總征討兵ノ凱歸	一〇五〇
紀伊藩ノ出兵	九四九	安場保和ノ下向	一〇五〇
新莊直敬ノ出府	九六二	遠山友祿ノ歸國	一〇五〇
新莊直温ノ押送	九六二	永井尙服ノ歸國	一〇五〇
小倉藩ノ出兵	九六二	岡田善長ノ出發	一〇五〇
米津政敏ノ出府	九六二	堀田正養ノ出發	一〇五〇
薩摩藩兵ノ凱歸	九八〇	青山幸宜ノ出發	一〇五〇
長門藩兵ノ凱歸	九八〇	前橋藩ノ倉賀野ノ間供帳傳遞管理	一〇五〇
長門藩ノ出兵	九八〇	忍藩ノ倉賀野ノ間供帳傳遞管理	一〇五〇
大原俊實ノ出發	九八〇	岡部藩ノ倉賀野ノ間供帳傳遞管理	一〇五〇
田安慶頼ノ警守罷免	九八〇	堀之美ノ出發	一〇五〇
阿波藩ノ出兵	九八〇	秋元禮朝ノ歸國	一〇五〇
阿波藩兵ノ出發	九八〇	板垣正形ノ進討	一〇五〇
清水三郎右衛門ノ押送	九八〇	板垣正形ノ到着	一〇五〇
鎮台設置	九八〇	土佐藩ノ出兵	一〇五〇
肥後藩ノ班師	九八〇	古屋作左衛門ノ退去	一〇五〇
肥後藩兵ノ退去	九八〇	警戒	一〇五〇
郡上藩兵ノ逃走	九八〇	越後諸藩兵ノ駐在	一〇五〇
四條隆誦ノ下向	九八〇	藤川忠猷ノ出府	一〇五〇
本堂親久ノ出兵	九八〇	公現親王ノ出奔	一〇五〇
津藩ノ出兵	九八〇	平湯口官軍ノ出發	一〇五〇
津藩兵ノ凱歸	九八〇	江戸川	一〇五〇
郡山藩ノ出兵	九八〇	官軍苦戰	一〇五〇
岡藩ノ出兵	九八〇	江戸市中取締	一〇五〇
島原藩ノ出兵	九八〇		



石川利政佐久間信義ノ假就任 九六六  
 江戸城 廊内諸門ノ警守 一九二  
 外廓諸門ノ警守 一九九  
 諸門警成條規ノ更定 一九九・九五九・二四九・二八四  
 諸門ノ警守 二四七・二四八  
 譜第大名ノ登城 一三二・一三四  
 二ノ丸焼亡 一三四  
 徳川慶喜ノ歸還 一五五  
 徳川慶喜ノ諸藩老臣召集 一六〇  
 徳川慶喜ノ外屏居 二三五・二三三  
 舊幕府有司ノ引拂 二八〇  
 城門閉鎖 一五五  
 城門開通 一七〇  
 橋本實梁柳原前光ノ入城期日ノ議定 九三六  
 橋本實梁柳原前光ノ入城 三三三・三三四  
 勅旨傳宣 二四六  
 橋本實梁柳原前光ノ點檢 九五九  
 靜寛院宮ノ外移轉 三四四・三四七  
 沒收 三四五・三四八・二四六  
 尾張藩ノ警守 三四五  
 尾張藩ノ警守罷免 一〇五九  
 舊幕府海陸軍ノ田安家達假管ノ申 三四四・三四九  
 請 九五四・二八四  
 大總督ノ入城 三三六・三三九・二五〇・二八八  
 大總督ノ入城 三三六・三三九・二五〇・二八八  
 招魂祭 六〇八・一〇三〇・一一〇〇

東京城下改稱 八四九  
 田安慶頼松平確堂ノ守城 九一九  
 進撃期日ノ決定 九三三・二二九  
 津和野藩ノ警守 九八二  
 津和野藩ノ警守罷免 一〇五九  
 稻田邦植ノ警守 九八二  
 稻田邦植ノ警守罷免 一〇二七  
 稻田邦植ノ西丸警守罷免 一〇八六  
 城濠ノ漁獵禁止 九八四  
 三條實美ノ入城 一〇一  
 岩倉具定岩倉具經ノ入城 一〇一・一八五  
 岩倉具定ノ進討ノ申請 一〇一  
 筑前藩ノ警守罷免 一〇四  
 議事所設置 一〇四  
 薩摩藩兵ノ更番宿衛 一〇七  
 肥州藩兵ノ更番宿衛 一〇七  
 安藝藩兵ノ駐屯 一〇七  
 津藩兵ノ駐屯 一〇七  
 岩村藩ノ警守 一〇七  
 吉田藩ノ警守 一〇七  
 吉田藩ノ警守罷免 一〇七  
 水戸藩ノ警守罷免 一〇五九  
 若龍藩ノ警守 一〇六  
 若龍藩ノ警守罷免 一〇六  
 紀伊藩ノ警守 一〇六  
 赤心隊ノ警守 一〇六  
 横須賀藩ノ警守罷免 一〇六  
 大須賀藩ノ警守 一〇六  
 吉田藩ノ裏門警守 一〇六  
 吉田藩ノ裏門警守罷免 一〇六

高松藩ノ裏門警守 一〇八  
 高松藩ノ西丸防火掌理 一〇八  
 筑前藩ノ西丸防火掌理 一〇八  
 筑前藩ノ西丸大手門警守 一〇八  
 新發田藩ノ西丸警守 一〇八  
 岩村藩ノ西丸大手門警守 一〇八  
 藤堂乘之丞ノ西丸警守 一〇八  
 藤堂乘之丞ノ西丸警守罷免 一〇八  
 二丸火 一〇八  
 江戸鎮臺(鎮臺參照) 一〇八  
 設置 一〇八  
 江戸鎮臺輔 一〇八  
 池田章政ノ就任 一〇八  
 池田章政ノ刑法官副知事就任 一〇八  
 江戸天文方 一〇八  
 設置并京都移轉 一〇八  
 江戸府(東京府參照) 一〇八  
 設置 一〇八  
 江戸府知事 一〇八  
 鳥丸光徳ノ就任 一〇八  
 鳥丸光徳ノ鎮臺輔就任 一〇八  
 江戸府判事 一〇八  
 木村重任ノ就任 一〇八  
 河田景與ノ就任 一〇八  
 河田景與ノ大總督府下參謀就任 一〇八  
 土方久元ノ就任 一〇八  
 清岡公張ノ就任 一〇八  
 江戸町奉行 一〇八  
 石川利政ノ江戸取締就任 一〇八

佐久間信義ノ江戸取締就任 九六五  
 賊徒敗走 一四六  
 榎嶺 一四六  
 官軍占領 一四六  
 官軍力戦 一四六  
 榎本武揚(和泉守)(榎本參照) 一四六  
 榎本武揚(和泉守)(榎本參照) 一四六  
 艦隊引率品川灣脱走 一〇六  
 艦隊引率品川灣脱走 一〇六  
 艦隊引率品川灣脱走ノ報京都ニ到達 七四三  
 館山沖碇泊 三四九・九四六  
 仙臺海口碇泊 七三七  
 仙臺海口出帆 八四九・一三四・一三五  
 松平容保伊達慶邦トノ通謀 七二四  
 會津城解圍ノ計畫 七二四  
 麾下軍艦ノ下田及清水港漂到 八四三・〇七三  
 麾下軍艦ノ酒田港差遣 一四四  
 五稜郭攻撃 八五八  
 箱館占領 八六二  
 秋田藩汽船ノ拿捕 八六二  
 奥羽越列藩ヘ援兵ノ要求 一三三  
 仙臺藩招諭ノ拒絶 一三三  
 蝦夷地渡航 一四三  
 蝦夷地開拓ノ申請 一四三  
 蝦夷地占領ノ總裁就任 一四三  
 官軍招諭ノ拒絶 一四三  
 官軍傷者及降人ノ内地護送 一四三  
 官艦ヲ宮古港ニ逆襲 一四三  
 海律ヲ官軍ニ贈ル 一四三

海軍參謀ノ贈酒 一四六  
 降服 一四六  
 箱館押送 一四六  
 東京押送 一四六  
 軍務官拘留 一四六  
 謹慎 一四六  
 榎本嶺 一四六  
 官賊兩軍ノ對峙 一四六  
 江崎通高(南郡藩士) 一四六  
 奥羽總督府護送 一四六  
 東京護送 一四六  
 江原周市(幕府殿前兵頭並) 一四六  
 森下景端トノ會見 一四六  
 兵器獻納ノ拒絶 一四六  
 遠藤胤城(三上藩主) 一四六  
 朝召辭退 一四六  
 上總別邑ノ上知并代知下賜 一四六  
 領地沒收 一四六  
 東山道總督ノ領地還付ノ奏請 一四六  
 領地還付 一四六  
 謝罪哀訴 一四六  
 入京運延 一四六  
 東京警守 一四六  
 板橋警守 一四六  
 板橋警守罷免 一四六  
 板橋警守ノ褒賞 一四六  
 板橋召喚 一四六  
 老臣ノ東山道總督府出頭 一四六  
 戸田川口警守 一四六

戸田川口警守罷免 一四六  
 軍費下賜 一四六  
 延曆寺 一四六  
 日吉社管理ノ申請 一四六  
 日吉神社々司ノ暴狀ヲ天台座主ニ訴フ 一四六  
 神社祭事關係ノ禁止 一四六  
 貧病ニ院建設ノ申請 一四六  
 延年艦(肥前藩軍艦) 一四六  
 箱館赴援 一四六  
 箱館砲撃 一四六  
 箱館港警守 一四六  
 青森入港 一四六  
 青森解纜 一四六  
 エム、フォン、ブランド 一四六  
 プロシヤ公使ヲ見ヨ 一四六  
 江良町 一四六  
 賊徒敗走 一四六  
 官賊交戦 一四六

追具村(下野) 一〇六  
 小幡藩ノ警守 一〇六  
 前橋藩ノ警守罷免 一〇六  
 追取越 一〇六  
 官軍進討 一〇六  
 追分 一〇六



岩倉具定岩倉具經ノ到着	二二九六	肥後藩ノ管理	一七四八	榎本武揚ノ諸藩ニ援助ノ要求	〔八六九三
岩倉具定岩倉具經ノ出發	二二〇〇	大炊御門家信	一七四八	公儀人ニ降人處分ノ諮詢	〔四八四四
官軍力戰	二二七〇	再興ノ建議	一七四八	平定	〔四八五〇・四八五三・二八二五
嘉彰親王ノ到着	二四六五	右大臣就任	一七四八	關宿藩ノ征討先鋒ノ申請	〔四八五〇・四八五三
大蘆村	二四七四	國事係罷免	一七四八	磯部包義ノ封授	一〇四五
賊徒敗走	一四二七	朝參停止	一七四八	太田廣經ノ赴援	一〇四七
大綱村	一四二七	朝參許可	一七四八	大總督府ノ征討及諸藩處分ノ	一〇四七
賊徒敗走	一四二七	奥羽(陸奥參照)	一七四八	布告	一〇五二
大井川	一四二七	諸藩六師會同ノ朝命	一七四八	諸軍ノ撤去	一〇五三
太田資美ノ假橋架設	九三三九	諸藩糾合ニ關スル佐竹義堯ヘノ	一七四八	大香厚龍ノ諸藩形狀ノ調査	一〇五〇
暴漲	九三三九	朝命	一七四八	鎮撫總督ノ諸藩ヘノ朝令傳達	一〇五〇
大井川(江戸川)	九三三九	諸藩ノ會津征討反對運動	一七四八	九條道孝ノ形勢上申	一〇五〇
官軍敗走	一〇九三	征討令	一七四八	九州諸藩ノ出兵	一〇五〇
大石田	一〇九三	諸藩ノ同盟	一七四八	從軍諸藩殊勳者ノ調査	一〇五〇
賊徒來襲	一〇九三	諸藩ノ斷罪	一七四八	奥羽越同盟軍政總督府	一〇五〇
賊徒敗走	一〇九三	諸藩ノ白河口出兵	一七四八	討薩檄文ノ頒布	一〇五〇
大磯	一〇九三	諸藩ノ天童藩ニ吉田守隆處分ノ	一七四八	軍令頒布	一〇五〇
外人ノ東京間遊歩停止	一〇九三	要求	一七四八	奥羽征討越後口總督	一〇五〇
明治天皇ノ御著輦	一〇九三	諸藩ノ薩摩藩兵攻撃ノ計畫	一七四八	越後口總督ヲ見ヨ	一〇五〇
明治天皇ノ射的及漁獵天覽	一〇九三	越諸藩ノ同盟	一七四八	白河口總督ヲ見ヨ	一〇五〇
大村藩兵ノ進軍	一〇九三	密貿易禁止	一七四八	奥羽征討平湯口總督	一〇五〇
薩摩藩兵ノ進軍	一〇九三	士民ノ鎮緝及戒諭	一七四八	平湯口總督ヲ見ヨ	一〇五〇
佐土原藩兵ノ進軍	一〇九三	平定ノ祈禱	一七四八	奥羽征討總督	一〇五〇
長門藩兵ノ進軍	一〇九三	賊徒ノ出羽侵掠	一七四八	正親町公董ノ就任	六二五〇・一〇三四・一三三三
一程ケ間官軍ノ分屯	一〇九三	薩摩藩ノ出兵	一七四八	鷲尾隆聚ノ就任及罷免	六二五〇・一〇三四・一三三三
肥後藩ノ警守罷免	一〇九三	騷擾	一七四八	澤爲量ノ就任	六二五〇・一〇三四・一三三三
龜山藩ノ警守	一〇九三				
大分郡(豊後)	一〇九三				

澤爲量ノ副總督就任	二二九三	征討兵ノ罷歸	八四三・三二八五	福島藩ニ封境警守ノ指令	三二六五
九條道孝ノ就任	二二九三	丹羽長國ノ歸順	九八五三	磐城平藩ニ會津追討ノ指令	三二〇七
奥羽鎮撫副總督(陸奥忠敬澤爲量參照)	二二九三	丹羽長國ニ會津追討ノ指令	三二〇七	磐城平藩ニ白河口出兵ノ指令	三二〇七
醍醐忠敬ノ就任	二二九三	丹羽長國入京ノ停止	三二〇七	中村藩ニ會津追討ノ指令	三二〇七
澤爲量ノ就任	二二九三	軍防局ヘ援兵ノ要求	三二〇七	中村藩兵ニ中山口官軍應援ノ指令	三二〇七
奥羽鎮撫總督府	二二九三	宇都宮官軍ヘ援兵ノ要求	三二〇七	上山藩ニ會津追討ノ指令	三二〇七
南部藩ノ降服	〔一七五八・四〇三・三二四七	越後口總督府ヘ援兵ノ要求	〔三二〇七	上山藩ニ莊内追討先鋒ノ指令	三二〇七
南部藩詰問	〔三二七〇・三二七〇	川越藩ニ平湯出兵ノ指令	〔三二〇七	上山藩追討	三二〇七
南部藩ニ會津追討ノ指令	三二七〇	總督以下糧餉制規ノ制定	三二〇七	上山藩ノ降服	三二〇七
南部藩兵ノ白河口差遣	三二七〇	諸軍戒飭	三二〇七	秋田藩老臣ノ召喚	三二〇七
南部藩ニ莊内追討ノ指令	三二七〇	米澤藩老臣ノ仙臺召喚	三二〇七	秋田藩ニ莊内追討ノ指令	三二〇七
南部藩ニ仙臺兵追討ノ指令	三二七〇	米澤藩ニ會津追討ノ指令	三二〇七	秋田藩ノ箱館警守及會津追討辭退	三二〇七
南部藩問罪使ノ差遣	三二七〇	米澤藩ノ會津追討中止ノ申請	三二〇七	秋田藩ニ菊章旗奉還	三二〇七
南部藩戒諭	三二七〇	守山藩老臣ノ仙臺召喚	三二〇七	秋田藩ノ菊章旗奉還	三二〇七
大總督ヨリ前山長定莊内征討參謀	九八五七	守山藩ニ會津追討先鋒ノ指令	三二〇七	秋田藩ニ會津莊内救解ノ建議	三二〇七
就任ノ告知	九八五七	天童藩老臣ノ仙臺召喚	三二〇七	秋田藩兵ニ小砂川口赴援ノ指令	三二〇七
大總督ヨリ會津處分ノ訓令	九八五七	天童藩追討	三二〇七	秋田藩兵ニ班師上申	三二〇七
大總督府ヨリ奥羽形勢ノ下問	九八五七	天童藩ニ莊内追討ノ指令	三二〇七	秋田藩兵ニ盛岡警備ノ指令	三二〇七
大總督ヨリ軍艦差遣北征軍出發ニ	九八五七	天童藩追討	三二〇七	秋田藩ニ沿海警備ノ指令	三二〇七
關スル訓令	九八五七	天童藩ノ降服	三二〇七	朝旨宣布	三二〇七
大總督ヘ援兵ノ要求	九八五七	仙臺藩ニ會津追討ノ指令	三二〇七	大越文五郎伊藤祐將ノ附屬	三二〇七
大總督ニ軍艦酒田差遣ノ申請	九八五七	仙臺藩ニ莊内追討ノ指令	三二〇七	矢島藩ニ莊内追討嚮導ノ指令	三二〇七
岩城降邦ノ降服	八三三	仙臺藩ニ三好春房復職ノ戒諭	三二〇七	矢島藩ニ銃器下賜	三二〇七
岩城降邦ニ莊内追討ノ指令	八三三	仙臺藩兵ニ白河城守ノ指令	三二〇七	生駒親敬ニ歸邑ノ指令	三二〇七
醍醐忠敬ノ召還	八三三	仙臺藩ニ糧米會津口輸送ノ指令	三二〇七	生駒俊徳ニ歸邑ノ指令	三二〇七
	八三三	仙臺藩ノ會津救解ニ關スル大總督	三二〇七	生駒俊徳ニ銃器下賜	三二〇七
	八三三	ヘノ陳情	三二〇七	水戸藩隊長ノ召喚	三二〇七
	八三三	福島藩ニ會津追討ノ指令	三二〇七	泉藩ニ會津追討準備ノ指令	三二〇七



泉藩=白河出兵ノ指令	三三〇	長瀨藩ノ哀訴	三二九	肥前藩海軍ニ莊内進撃ノ指令	三六八
泉藩兵ニ棚倉口警守ノ指令	三三八	舊幕府領地ニ郡司代ノ設置	三三三	肥前藩海軍ニ野邊地進撃ノ指令	三六六
湯長谷藩ニ會津追討ノ準備指令	三三八	世良砥德會津ニ派遣	三三五	仁賀保誠成ニ采地警守ノ指令	三六二
湯長谷藩ニ小名濱警守ノ指令	三三六	藤川忠猷ノ軍監任命	三三五	仁賀保誠成ノ莊内征討ノ申請	三六三
山形藩ニ莊内追討準備ノ指令	三三六	藤川忠猷ノ軍監任命	三三六	仁賀保誠成ニ銃器ノ指令	三六四
山形藩追討	三三七	松平容保ニ降服ノ勸告	三三七	仁賀保誠中ニ采地警守ノ指令	三六五
山形藩ノ降服	三三七	松平容保ノ降服	三三七	仁賀保誠中ノ莊内征討ノ申請	三六五
舊幕府領地尾花澤收公	三三七	松平容保ノ降服	三三七	仁賀保誠中ニ歸國ノ指令	三六六
三春藩ニ會津追討準備ノ指令	三三六	傳驛人馬ノ使用規定	三三九	仁賀保誠中ニ歸國ノ指令	三六六
三春藩ニ莊内追討ノ指令	三三六	酒井忠良ノ王事服務申請	三三九	軍律布告	三六六
三春藩ニ白河口出兵ノ指令	三三六	八戸藩ニ莊内追討ノ指令	三三〇	岸良直養ノ軍監任命	三六九
黒田節兵衛ノ歸順	三三六	八戸藩ニ軍資金供億ノ指令	三三〇	岸良直養ノ軍監任命	三六九
森孫三郎ノ歸順	三三六	八戸藩ニ莊内征討ノ指令	三三〇	岸田口元學ノ軍監任命	三六九
多田鏡三郎ノ塙管理罷免	三三六	棚倉藩ニ莊内征討ノ指令	三三〇	岸田口元學ノ使役任命	三六九
津輕藩ニ莊内追討ノ指令	三三六	筑前藩兵院内ニ差遣	三三〇	中尾榮吉郎ノ軍監任命	三六九
津輕藩ニ盛岡追討ノ指令	三三六	筑前藩兵院内ニ差遣	三三〇	中尾榮吉郎ノ軍監任命	三六九
津輕承昭ノ碓関口出陣ノ上申	三三六	新發田藩ニ莊内征討ノ指令	三三〇	高津慎一ノ軍監任命	三六九
津輕藩ニ盛岡警備ノ指令	三三六	士民撫諭	三三〇	桂太郎ノ參謀添役任命	三六九
津輕藩ニ封内ノ海岸警備ノ指令	三三六	會津征討ノ中止	三三〇	石田忠郷ノ參謀添役任命	三六九
黒羽藩ニ會津藩兵防禦ノ指令	三三六	莊内征討ノ中止	三三〇	和田正秀ノ參謀添役任命	三六九
戸澤正實ノ召喚	三三六	莊内征討ノ部署	三三〇	大山重ノ參謀添役任命	三六九
戸澤正實ニ歸邑下命	三三六	莊内帆船ノ捕獲	三三〇	大山重ノ軍監任命	三六九
新莊藩ニ莊内追討ノ指令	三三六	軍議	三三〇	平井正淳ノ參謀添役任命	三六九
新莊藩兵ノ豐島差遣	三三六	薩摩藩兵ニ莊内追討先鋒ノ指令	三三〇	田村昌宗ノ參謀添役任命	三六九
新莊藩ニ寒河江柴橋假管ノ指令	三三六	薩摩藩兵ノ院内口差遣	三三〇	田村昌宗ノ十二所口差遣	三六九
奥羽諸藩ニ白河口進軍ノ告知	三三六	箱館援兵ノ差遣	三三〇	樺山忠左衛門ノ使役任命	三六九
長瀨藩ニ驛遞人馬措辦ノ指令	三三六	運地藩兵莊内差遣	三三〇	安村櫻太郎ノ使役任命	三六九

福島助ノ參謀添役任命	三六八	白江龍吉ノ軍監任命	三七七	奥羽鎮撫總督府監察使	二八三
杉山友善ノ參謀添役任命	三六八	菅野覺兵衛ノ軍監任命	三七七	藤川忠猷ノ就任	二八三
朝倉孫右衛門ノ使役任命	三六八	木津彌太郎ノ軍監任命	三七七	奥羽鎮撫總督府軍監	二八三
永山巳一郎ノ使役任命	三六八	久保田佐八郎ノ軍監任命	三七七	藤川忠猷ノ就任	二八三
馬渡作二郎ノ使役任命	三六八	上野他吉郎ノ使役任命	三七七	大山重ノ就任	二八三
内田謙三郎ノ使役任命	三六八	樋口干城ノ龜田領民部掛任命	三七七	白江龍吉ノ就任	二八三
松浦多門ノ使役任命	三六八	青柳忠藏ノ新屋口差遣	三七七	岸良直養ノ就任	二八三
鎌田政美ノ使役任命	三六八	中川健藏ノ新屋口差遣	三七七	中尾榮吉郎ノ就任	二八三
本莊藩兵ノ左手子差遣	三六八	長門藩兵ノ軍功褒賞	三七七	奥羽鎮撫總督府軍監掛	二八三
鳥原藩兵ニ院内口出征ノ指令	三六八	毛布頒布	三七七	粟屋市太郎ノ就任	二八三
大村藩兵ノ院内口差遣	三六八	吉田守隆ニ祭菜金ノ下賜	三七七	河村梅之助ノ就任	二八三
大村藩兵ノ軍功褒賞	三六八	奥羽鎮撫總督府監軍	三七七	松原三郎ノ就任	二八三
添田清左衛門ノ軍監兼使役任命	三六八	岸良直養ノ就任	三七七	奥羽鎮撫總督府軍事役	二八三
中安泰治ノ軍監任命	三六八	高津慎一ノ就任及罷免	三七七	藤川忠猷ノ就任	二八三
平戸藩兵ノ新屋口差遣	三六八	中尾榮吉郎ノ就任及罷免	三七七	奥羽鎮撫總督府軍監就任	二八三
橋口次郎ノ加賀守艦船將任命	三六八	牟田口元學ノ就任	三七七	品川日孜ノ就任	二八三
井石忠兵衛ノ軍監兼使役任命	三六八	牟田口元學ノ使役就任	三七七	品川日孜ノ罷免	二八三
松田次兵衛ノ軍監兼使役任命	三六八	上田雄一ノ就任	三七七	醍醐忠敬ノ就任	二八三
中村謙太郎ノ使役任命	三六八	山本登雲介ノ參謀添役就任	三七七	前山長定ノ就任	二八三
從軍諸藩殊勳者ノ調査	三六八	山本登雲介ノ就任	三七七	黒田清隆ノ就任及罷免	二八三
從軍諸藩ノ勳狀及功罪上申	三六八	添田清左衛門ノ就任	三七七	大山綱良ノ就任	二八三
從軍諸藩ノ勳狀及功罪上申	三六八	中安泰治ノ就任	三七七	世良砥德ノ就任	二八三
因幡藩兵ノ豐島差遣	三六八	井石忠兵衛ノ就任	三七七	奥羽鎮撫總督府參謀添役	二八三
因幡藩兵ノ新屋口及十二町口分遣	三六八	松田次郎兵衛ノ就任	三七七	石田忠郷ノ就任	二八三
佐土原藩兵ノ堺差遣	三六八	木藤彌太郎ノ就任	三七七	大山重ノ就任	二八三
木藤彌太郎ノ軍監任命	三六八	栗屋市太郎ノ就任	三七七	大山重ノ軍監就任	二八三
河村梅之助ノ軍監掛任命	三六八	久保田佐八郎ノ就任	三七七	桂太郎ノ就任	二八三
松原三郎ノ軍監掛任命	三六八	菅野覺兵衛ノ就任	三七七	田村昌宗ノ就任	二八三
粟屋市太郎ノ軍監掛任命	三六八				



平井正淳ノ就任 三三九三  
 和田正秀ノ就任 三三九三  
 上田雄一ノ就任 三三六〇  
 山本登雲介ノ就任 三三六〇  
 杉山新五右衛門ノ就任 三三六〇  
 館山善左衛門ノ就任 三三六〇  
 福島禮助ノ就任 三三六〇  
 廢止 三三六〇  
 奧羽鎮撫總督府使役 三三六〇  
 樺山仲左衛門ノ就任 三三六〇  
 安村櫻太郎ノ就任 三三六〇  
 朝倉孫右衛門ノ就任 三三六〇  
 内田謙三郎ノ就任 三三六〇  
 鎌田政英ノ就任 三三六〇  
 永山巳一郎ノ就任 三三六〇  
 松浦多門ノ就任 三三六〇  
 牟田口元學ノ就任 三三六〇  
 馬渡作二郎ノ就任 三三六〇  
 添田清左衛門ノ就任 三三六〇  
 井石忠兵衛ノ就任 三三六〇  
 中村謙太郎ノ就任 三三六〇  
 松田次郎兵衛ノ就任 三三六〇  
 上野他吉郎ノ就任 三三六〇  
 菅野覺兵衛ノ就任 三三六〇  
 大江艦 三三六〇  
 仙臺解纜、蝦夷出征 三三六〇  
 大條道徳(仙臺藩士) 三三六〇  
 入京 三三六〇  
 大垣 三三六〇

岩倉具定岩倉具經ノ到着 一七〇・二二三  
 岩倉具定岩倉具經ノ出發 二二三  
 東山道先鋒兵ノ到着 二四六  
 洪水 六三五  
 東山道先鋒兵ノ出發 二二三  
 高須藩ノ出兵 二二二  
 彦根藩ノ出兵 二二二  
 藩兵ノ操練 二二二  
 板垣正形ノ出陣 二二二  
 因幡藩ノ出兵 二二二  
 薩摩藩ノ出兵 二二二  
 土佐藩ノ出兵 二二二  
 長門藩ノ出兵 二二二  
 西大路藩ノ出兵 二二二  
 大垣新田藩(百田氏參照) 二二二  
 品川警守 一三四  
 陸奥出兵 七四三  
 垂井美江寺間供帳傳遞掌理 二二二  
 會津出兵 三三八  
 越後出兵 三三八  
 大垣藩(百田氏參照) 三三八  
 九門出入禁止 一四五  
 薩長以下諸藩ノ一征討拜命 一五九  
 入京謝罪 一六一  
 伏見役參加一士ノ幽閉 一六一  
 伏見役參加一士ノ赦免 一六一  
 伏見役參加一隊長ノ永禁錮 一六一  
 伏見役參加一隊長ノ赦免 一六一  
 官軍糧食ノ措辦 七二七

東山道先鋒拜命 一五〇・一六〇・四一一  
 東山道先鋒應援罷免 一〇八・一〇三・一一五  
 東山道官軍ノ糧餉掌理 五三三・三三三  
 東山道斥候拜命 二二〇・二一六  
 東山道領地及桑會二藩職田ノ廢 二二四  
 穀版圖錄申 二二五  
 内帑金ノ下賜 六二五  
 押收銃砲ノ還付 七二六  
 松平容保父子ノ東京護送 八四八  
 白河口官軍餽餉ノ掌理 一三八  
 白河口官軍餽餉掌理ノ辭退 一〇四八  
 白河出兵 一〇六六・一三九  
 白河城攻撃 二六六・二六一  
 白河戰役ノ褒賞 一〇一五・二六九・二七〇  
 細倉進討ノ建議 一〇四九  
 細倉進討 一〇三〇  
 死傷者ノ弔慰 一〇四五  
 奧羽出征一兵ノ東京凱旋 一〇八七・三三四  
 笠松管理 二一六・二一八  
 笠松管理罷免 二一六  
 竹中重固美濃別邑ノ管理 二一四  
 水野彌三郎保管 二一四  
 前田新八郎植田梅之助美濃采邑ノ管理 二一四  
 岩倉具定ノ閱兵 二一九  
 垂井美江寺間供帳傳遞掌理 二一九  
 金穀按檢ノ褒賞 二一九  
 金穀按檢ノ褒賞 二一九

甲斐出兵 二二四六  
 梁田戰役ノ褒賞 二二四六  
 梁田戰役ノ褒賞 二二四六  
 藤田進討ノ準備 二二四六  
 王子出兵 二二四六  
 飛鳥山出兵 二二四六  
 小石川門警守 二二四六  
 清水門警守 二二四六  
 田安川警守 二二四六  
 水道橋門警守 二二四六  
 宇都宮出兵 二二四六  
 宇都宮城攻撃 二二四六  
 板橋班師 二二四六  
 岩井戰役 二二四六  
 壬生出兵 二二四六  
 野口戰役 二二四六  
 大網戰役 二二四六  
 鹽崎戰役 二二四六  
 油井戰役 二二四六  
 板室戰役 二二四六  
 關谷戰役 二二四六  
 蘆野退守 二二四六  
 越後出兵 二二四六  
 高田出兵 二二四六  
 白坂警守 二二四六  
 白坂警守罷免 二二四六  
 三春進討 二二四六  
 本宮出兵 二二四六  
 石鏡口出兵 二二四六

會津出兵 三三六  
 二本松出兵 三三六  
 盛岡征討應援罷免 三三六  
 猪苗代監禁降兵ノ東京護送 三三六  
 大岡忠實(主) 三三六  
 朝召辭退 三三六  
 歸國 三三六  
 東京出府 三三六  
 房總采地ノ上知并代知下賜 三三六  
 勤王證書奉呈 三三六  
 大岡忠實(西大路藩主) 三三六  
 入京延期ノ申請 三三六  
 老臣ノ入京 三三六  
 軍行供張ノ解除 三三六  
 入京 三三六  
 歸國 三三六  
 大川 三三六  
 沿岸守兵ノ撤去 三三六  
 大河内伊勢守(舊旗下士) 三三六  
 勤王證書奉呈 三三六  
 大河内輝昭(右京亮) 三三六  
 品川砲臺嚴守(舊藩士) 三三六  
 碓氷關警守 三三六  
 入京 三三六  
 歸國 三三六  
 謹慎 三三六  
 謹慎赦免 三三六  
 東京出府 三三六  
 東山道總督府伺候 三三六

軍費銃器ノ獻納 二二四六  
 小千谷警守 二二四六  
 大河内信古(河吉田藩主) 二二四六  
 官位奉還ノ申請 二二四六  
 入京延期ノ申請 二二四六  
 大坂出奔 二二四六  
 老臣ノ入京 二二四六  
 入京 二二四六  
 謹慎 二二四六  
 家臣ノ彰義隊加盟 二二四六  
 彰義隊加盟家臣ノ緝捕 二二四六  
 遠江管地ノ上知并代知下賜 二二四六  
 今切關門警守并其傍近舊幕府領地ノ管理 二二四六  
 大河内正質ノ爲ニ哀訴 二二四六  
 大河内弘太郎 二二四六  
 大河内正質繼嗣ノ申請 二二四六  
 謹王證書奉呈 二二四六  
 大河内正質(豐前守) 二二四六  
 老中格就任 二二四六  
 鳥羽出陣 二二四六  
 大坂出奔 二二四六  
 官位復舊、京都邸地收沒 二二四六  
 官位復舊 二二四六  
 忍藩幽閉 二二四六  
 屏居謹慎 二二四六



赦免	七二〇・〇六八	參與就任	一七二
大河内信古ノ爲ニ哀訴	一〇四八	長門藩ノ警守	一五九
藩臣ノ哀訴	一〇九六・一〇九四・一〇九八	大坂差遣	一五七
大川村	一四九五	大總督府參謀就任	二二七・九一七
賊徒來襲		大總督府參謀罷免	七八一・〇六八
大川村(蝦夷)		歸京	五三六・九八三
官軍退討	一四三九	江戸下向	五三〇
官軍進討	一四六五	江戸歸著、大總督府復命	一〇二九
官軍進討	一四六〇・一四三七	東京出發	一〇六四・三一一
大河原		東京凱旋	三三五六
九條道孝ノ出陣	三二七五・三二七	奥羽追討總督就任	六二〇・〇三四・三三三五
大木喬任(民平)		奥羽追討總督罷免	六六八・〇四八・三三九〇
參與就任(肥前藩士)	四〇一・六七五	奥羽追討白河口總督就任	一〇六四・三二六
外國事務局判事就任	四二〇	奥羽出陣	一〇六四
議政官下局議長事務兼攝	五六四	會津城點檢	八二九
議長罷免	六一五	會津出陣	三三〇五
明治天皇東幸ノ準備トシテノ江戸下向	六三三	二本松出陣	八三四九・三二七・三二八
明治天皇東幸ノ供奉	八五四	戰功褒賞	八六六
議事體裁取調御用掛拜命	八三三	公現親王使僧亮榮哀訴ノ却下	九二四
扇田村		津藩ノ警守	一〇六三
賊徒來襲	二六二	白河出陣	三三三
賊徒敗走	二六二	三春出陣	三三三
官軍退守	二六五	三春入城	三三六
官軍苦戰	二六四	板倉勝向ニ謹慎ノ指令	三三六
官軍進討	二六五	本宮出陣	三三〇一・三三二
正親町公董	一〇三	三城湯出陣	三三〇一・三三二
差扣赦免	一〇三	福島出陣	三三二
王政復古ニツキ朝召參内	一三三	横川出陣	三三二
		須賀川出陣	三三四

岩倉具定岩倉具經ノ到着	二二七	領地沒收	六一三
岩倉具定岩倉具經ノ出發	二二四	永整居	八四四・一〇八〇
大國隆正(津和野藩士)		支族忠良家督相續ノ恩命	八二九
龜井茲監ノ一推舉	二四三	勤王證書奉呈	九二四
大國頼隣(筑後)		報効謝罪ノ朝命	一〇八七
大國頼隣(米澤藩士)		謝罪降服	一〇二七
降服	三三〇	河田景與ノ一處分稟請	一〇二八
大久保式部(舊旗下士)	一〇八一	伊豆相模二州政令傳達ノ管理	一〇二九
萩野藩封境警備		大久保教義ノ爲ニ哀訴	一〇三六
大久保忠實(舊中津藩士)	一五五	津藩ノ爲ニ哀訴	一〇三六
和宮緩急護衛ノ内諭		駿豆管地ノ沒收	一〇五八
徳川慶喜ノ謝罪ニ關スル松平慶永ノ警告	二一〇	大久保忠長(舊旗下士)	一〇八〇
徳川慶喜ノ爲ニ哀訴	二三四	家督相續	一〇八〇
徳川氏脱艦ノ追跡	三三七・九五九	大久保忠告(舊旗下士)	一〇八〇
徳川氏處分ニ關スル東海道總督府參謀トノ商議	九四三	東山道出兵	二四九
江戸鎮輯	四八五・九七〇	宇都宮出兵	二四九
江戸鎮輯ノ褒賞	四八五	宇都宮城攻撃	二五二
軍艦獻納ノ朝命	九三二	安塚戰役	二五二
大久保忠順(鳥山藩主)	一一八	和田倉門警守	二五七
朝召辭退		和田倉門警守罷免	一〇四九
大久保忠禮(加賀守)	一一七	内藤新宿巡警	一〇六〇
朝召辭退		新宿淀橋警守	一〇六四
江戸藩邸ノ沒收	一〇二	市政裁判所警守	一〇九一
江戸藩邸ノ沒收	一〇二	新宿淀橋警守	一〇九一
甲府城代罷免	一五九	大久保利通(舊旗下士)	一〇九四
老臣ノ入京	二五九	大久保利通(舊旗下士)	一〇九四
徳川慶喜ノ爲ニ哀訴	二六八	王政復古ニツキ朝召參内	一三三
		小御所會議	一三三
		參與就任	一三三







大崎	賊徒敗走	三三〇	大白川村	橡尾官軍ノ進討	一四三〇	東京出府	奥羽鎮撫使附屬	八四八
大笹屋村	賊徒敗走	一〇四九	大代鉞三郎(徳川殿兵)	降服	三三七	入京延期ノ申請	入京辭退	九三八
大澤	因幡ノ出兵	二五七	大須郷口	官軍進討	三三三・三五三	大關増裕(肥後守)	卒去	九二八
大澤村	官軍退守	三五六	大洲藩(加藤奉秋參照)	賊徒敗走	三三九	大臺ヶ原	水野忠幹ノ開壘申請	八五九
官軍力戦	三六三	長州勢打出濱到着ノ上申	一八八	京都市中巡邏	一八一・四四五	太田榮之丞(舊旗下士)	勤王誓約	二四六
大澤宗隆(薩摩藩醫)	一〇五二	京都市中巡邏罷免	一四三・四七・七五五	京都市中巡邏區域及其措置ノ稟申	一三九	太田	岩倉具定岩倉具經ノ到着	二三四
横濱病院醫師頭取締就任	一〇五三	西宮警守罷免	二六七	西宮警守	三三三	大田川	岩倉具定岩倉具經ノ出發	二三五
大澤基壽(高家大夫)	二四八一	西宮警守罷免	一四二	大津出兵	一四二	賊徒逃遁	白河口官軍ノ出征	三三六
藩屏加列	八四	大津警守罷免	二六七	大津警守	一四二	大瀧	松前藩兵ノ苦戰	一四三三・〇九四
今切警守、舞坂附近傳遞ノ掌理	九一七五	神戸警守	二六七	甲府城警守	五二五・〇四五	柳原前光ノ一處分上申	柳原前光ノ一處分上申	一〇九六
舞坂掛川間餽餉傳遞ノ管理	一〇八三	明治天皇東幸御警衛	八五四	上小田原、川浦警守	一〇四三	柳原前光ノ一處分上申	柳原前光ノ一處分上申	一〇九六
王子	二七四	上小田原、川浦警守罷免	一〇五九	陸奥出兵	一〇五九	柳原前光ノ一處分上申	柳原前光ノ一處分上申	一〇九六
官軍駐屯	二七四	王政復古	三三四・三六六	大關増裕(舊旗下士)	一〇五九	吉田藩ノ出兵	一駐在吉田藩兵ノ上總鎮定	一〇九七
備前藩兵ノ巡邏	三三七八	大政復古ヲ見ヨ	三三四・三六六	大關増裕(舊旗下士)	一〇五九	佐倉藩ノ出兵	茂木藩老臣ノ房總鎮撫使參謀營所	一〇九七
大島重三郎(舊旗下士)	二二五五	家督相續	四〇四	老臣ノ入京	七四三	相良長發ノ到着	渡邊清ノ出陣	一〇九七
勤王證書奉呈	二二五五	老臣ノ入京	七四三	老臣ノ入京	八三五			一〇九七
大島鐵太郎(舊旗下士)	二二四〇							
勤王證書奉呈	一〇四五							
大島村	三三三・三六八							
官軍屯據	三三三・三六八							
官軍退守	三三三・三六八							

大多喜城	沒收	四二八	使番就任	太田資美(舊旗主)	九二五	賊徒焚掠	賊徒出沒	三三八〇
大原俊實ノ一占據ノ申請	九七五三	朝召辭退	江戶薩摩藩邸通逃者ノ糾捕	一三五・一七八	黒羽藩ノ出兵	土佐藩ノ出兵	二六四	
柴山典ノ一借用	一〇五九	駿府城警守	駿府城警守罷免	一六八・一七七	大田原勝清(大田原藩主)	老臣代親ノ申請	一七九	
安場保和ノ入城	一〇九五	駿府城警守ノ申請	歸國申請	七四六	封境嚴備	金幣下賜	三二四・二六五	
大多喜藩(大河内正實參照)	九七五五	入京	彰義隊加盟藩士處分ノ申請	一七八・四一七	大田原城	賊徒來襲	二六六	
柳澤前光ノ一領地假管	一〇七二	遠州掛川ヨリ上總柴山(後下總松尾)ニ轉封	八八五・〇五八	大田原藩(大田原勝清參照)	白河口官軍ニ役夫提供	白河口官軍輜重ノ掌理	一〇三三	
箱館出兵及其中止并東京出兵	一〇七二	朝旨遵奉ノ褒賞	八四三	大田原藩(大田原勝清參照)	封境守備	白河口官軍輜重ノ掌理	一〇三三	
房總鎮撫使ノ一貯蓄米穀ノ頒與	一〇八六	大井川假橋架設	九三九	大田原藩(大田原勝清參照)	若松撤兵	片腐田、佐良土攻撃	三三〇・三三〇	
明治天皇東幸沿道警守	一〇八六	大樽町	九三九	大田原藩(大田原勝清參照)	使番取締就任	奥羽出陣	一〇四七	
江戶城中警守	一〇九七	大樽町	九三九	大田原藩(大田原勝清參照)	使番取締就任	奥羽出陣	一〇四七	
一士ノ謹慎	一〇九七	大樽町	九三九	大田原藩(大田原勝清參照)	使番取締就任	奥羽出陣	一〇四七	
大河内正實ノ爲ニ哀訴	一〇九八	大樽町	九三九	大田原藩(大田原勝清參照)	使番取締就任	奥羽出陣	一〇四七	
大瀧村	一〇九八	大樽町	九三九	大田原藩(大田原勝清參照)	使番取締就任	奥羽出陣	一〇四七	
賊徒敗走	三三〇・三三四	大樽町	九三九	大田原藩(大田原勝清參照)	使番取締就任	奥羽出陣	一〇四七	
官軍扼守	三五五	大樽町	九三九	大田原藩(大田原勝清參照)	使番取締就任	奥羽出陣	一〇四七	
官軍苦戦	三六二	大樽町	九三九	大田原藩(大田原勝清參照)	使番取締就任	奥羽出陣	一〇四七	
官軍力戦	三六五	大樽町	九三九	大田原藩(大田原勝清參照)	使番取締就任	奥羽出陣	一〇四七	
大田黒惟信(肥後藩士)	三六五	大樽町	九三九	大田原藩(大田原勝清參照)	使番取締就任	奥羽出陣	一〇四七	
青森口參謀就任	四四五	大樽町	九三九	大田原藩(大田原勝清參照)	使番取締就任	奥羽出陣	一〇四七	
江刺出陣	四四五	大樽町	九三九	大田原藩(大田原勝清參照)	使番取締就任	奥羽出陣	一〇四七	
大竹庫三郎(遠州中泉代官)	四五五	大樽町	九三九	大田原藩(大田原勝清參照)	使番取締就任	奥羽出陣	一〇四七	
支配地地圖戶籍ノ上申	九一六	大樽町	九三九	大田原藩(大田原勝清參照)	使番取締就任	奥羽出陣	一〇四七	
勤王證書奉呈	九二七	大樽町	九三九	大田原藩(大田原勝清參照)	使番取締就任	奥羽出陣	一〇四七	
江尻蒲原間餽餉傳遞措辦ノ罷免	一〇六二	大樽町	九三九	大田原藩(大田原勝清參照)	使番取締就任	奥羽出陣	一〇四七	
大竹左馬太郎	一〇六二	大樽町	九三九	大田原藩(大田原勝清參照)	使番取締就任	奥羽出陣	一〇四七	
勤王證書奉呈	九三七	大樽町	九三九	大田原藩(大田原勝清參照)	使番取締就任	奥羽出陣	一〇四七	
太田敬太郎(筑前藩士)	九三七	大樽町	九三九	大田原藩(大田原勝清參照)	使番取締就任	奥羽出陣	一〇四七	



酒井忠惇ノ到着	一三三	膳所藩ノ出兵	三三三	遠藤胤城領地ノ管理	四八九
阿波藩ノ出兵	一四三	膳所藩ノ警守	九一五	大津縣ト改稱	四七五
阿波藩ノ警守	九二〇・九二三	加納久宜ノ到着	五二八	延曆寺ヨリ貧病二院建設ノ出願	五三〇
阿波藩ノ附近舊幕府及會桑二藩	九二六	守兵ノ澁谷關門轉陣	六四四	大津裁判所總督	二七六
領地ノ點檢	九二六	明治天皇ノ御發聲	八七七	長谷信篤ノ就任	四七五
大洲藩ノ出兵	一四三	橋本實梁柳原前光ノ到着	九二九	大津代官	一五六・九二五
大洲藩ノ警守罷免	一四三	橋本實梁柳原前光ノ出發	九二九	石原清一郎ノ軍資供億	一六二・九二五
大村藩ノ出兵	一四三	木梨恒準ノ出陣	九二二	阿波藩ノ所支配地管理	一五四
大村藩ノ警守	九二〇	因幡藩ノ出兵	九二二	大網口	二二七
佐土原藩ノ出兵	一四三	海江田信義ノ出陣	九二四	酒井忠篤ノ嚴備	二二七
佐土原藩ノ警守	九二〇	土佐藩ノ出兵	九二七	大坪	三三〇
彦根藩ノ出兵	一四三	巖仁親王ノ到着	九二七	賊徒敗走	三三〇
彦根藩ノ警守	九二〇	岩倉具定岩倉具經ノ到着	一一〇五	大手門(江戸城)	九八三
井伊直憲ノ出陣	一四三・九二五・九二八	岩倉具定岩倉具經ノ出發	一一〇五	尾張藩ノ警守罷免	九八三
平戸藩ノ出兵	一四三	諸軍亂暴ノ禁制	一一〇三	筑前藩ノ警守	九八三
平戸藩ノ警守罷免	一四三	高倉永祐四條隆平ノ到着	一一〇三	筑前藩ノ警守罷免	一〇〇九
備前藩ノ警守	一四三	高倉永祐四條隆平ノ出發	一一〇三	紀伊藩ノ警守	一〇〇九
備前新田藩ノ出兵	一四三	嘉彰親王ノ到着	三三〇	紀伊藩ノ警守罷免	一〇〇九
備前新田藩ノ警守	九二〇	大津口	三三〇	閉鎖	一〇〇九
肥後藩ノ出兵	一四三・九二九	橋本實梁柳原前光ノ駐在諸軍總	一四三・九二五	土浦藩ノ警守	一〇六五
興正寺攝信ノ出陣	一四三・九二〇・九二二	指押	一四三・九二五	土浦藩ノ警守罷免	一〇八五
興正寺攝信ノ警守	九二二	大津縣	四七五	報國隊ノ警守	一〇八五
興正寺攝信ノ警守罷免	四三三	設置	四七五	報國隊ノ警守罷免	一〇八五
東本願寺光勝ノ出陣	一四三・二一九	大津縣知事	四七五	安藝藩ノ警守	一〇八五
本願寺ノ獻金ト關門ノ設置	三三六	辻維岳ノ就任	四七五	大音厚龍(松藩士)	一〇八五
薩摩以下諸藩ノ警守	二六六	大津裁判所	二七六	岩鼻知縣事就任	一〇八五
戸田忠友ノ到着	一四三	設置	二七六	大總督府軍監就任	一〇八五
反田忠友ノ到着	一四三	西大路藩ヨリ近江假管地減稅ノ申	三三六		
稻葉正邦ノ到着	三三三				
酒井忠邦ノ到着	三三三				

大總督府軍監罷免	一〇五四	壬生敗走	一五五	兵ノ青森逃避	一四四六
上野巡察	一〇三	大桑敗走	二六八	新城警守	一四四七
上野巡察使就任	二六五	栗原敗走	二六三	音部進討	一四五六
上野巡察使罷免	二六六	仙臺流寓	三三九	江刺進討	一四五六
上野追具村鎮撫	一〇六元	蝦夷占據、陸軍奉行就任	一四六四・四六七	木古内口進討	一四五四
上野諸藩ニ朝旨通達	二六三	降服	一四六四・四六七	大場	一四九九
上野地方治水ノ管理	二六六	大鳥村	一四〇〇	官軍哨兵ノ撤去	一四九九
沼田出陣	二六六	賊徒敗走	一四〇〇	燒失	一四六一
出羽松山藩士ノ處分	二六六	大西道郎(藩士)	一〇二六	官軍力戰	一四七五
陸奥槍枝股傍近賊徒ノ進剿	二六六	使番就任	一〇二六	大橋村曉興	一四七五
奥羽巡察	二六六	大野軍夷	八五八・四四〇	賊徒來襲	一四七五
小幡藩ニ三國嶺守備ノ指令	二六五	官軍苦戰	四六四・四六六	大場村伊豆	一四七五
三國嶺出兵諸藩ノ軍功褒賞	二六六	官軍進討	四三九	大久保教義ノ出兵	一〇六三
菊章旗下付ノ申請及其到着	二六六	大野藩ノ出兵	四三九	大久保教義ノ撤兵	一〇七七
奸商糾捕	二七〇	福山藩ノ出兵	四三九	内藤頼直ノ應援罷免	一〇七七
大峠		大野	三三九	大原重朝	八五八
官軍奪取	三三六	新潟官軍ノ進討	三三九	王政復古ニツキ朝召參内	一三三
賊徒敗走	一四三	大野藩(土井利恒參照)	三三九	參與就任	一三三
大伴明神參河	一四三	嵯峨關門警守及罷免	七五四	參與罷免	一三三
大鳥純彰(歩兵奉行)	九一七	弘前應援拜命	七五四	參與再任	一三三
江戸脱走、房總地方占據	三三九・九四九	箱館出兵	四四〇	辨官兼任	一三三
東海道官軍ノ追討	三三五	彈藥献上	四四〇	秋月種股ノ警守	一四九
會津流寓	四一六・一五五	土崎出兵	二八二	綾小路俊實ヲ嗣トス	一七〇
榎本武揚ノ軍艦ニ搭乘	八四六・四三七	尻澤邊警守	四三九	内宮管理	二二六
松平正親ノ軍資供給	九三九	辨天崎警守	四三九	内宮管理罷免	三三九
結城占領	一四七	谷地頭警守	四三九	笠松裁判所總督就任	三三三
宇都宮進討	一四七	大野出兵	四三九	笠松裁判所總督罷免	四六九
宇都宮出奔	一五三	大野苦戰	四四〇	笠松縣巡視	四六九



京師出奔 一四七・二一〇六  
 京師出發 二六〇  
 京師召還 九一五〇  
 東海道先鋒總督附屬 一五三・九一三〇・二一〇六  
 東海道總督ニ江戶形勢ノ報告 九七五  
 歸國 九一五九  
 松尾山舉兵 一五六・九一三〇  
 東征先鋒ノ請願 一五九  
 大原氏復讐 一七〇七  
 海軍先鋒就任 二六〇・九一四九  
 橫濱到著 三七〇・九一四七  
 橫濱鎮紮 九三九  
 鎮臺補就任 五四七・〇一六五  
 鎮臺補罷免 六一九・〇三三  
 關八州監察使就任 五六四・〇三三  
 關八州監察使罷免 七七  
 關八州出陣 九一五六  
 兵庫解纜 九三三  
 勝義邦ニ軍艦獻納ノ内諭 九三七  
 品川出陣 九三六・二四四  
 德川氏軍艦收領ノ管理 九四三・九四六  
 田安慶頼ヨリ軍艦進獻延期ノ申請 九五二  
 大總督伺候 九五三  
 大總督府軍議參列 九五五  
 深川警守 九六四  
 北陸道鎮撫副總督ニ授兵ノ要求 九六四  
 房總鎮撫ノ申請 九七五  
 江戶城移轉 九七五  
 江戶召還 一〇三  
 軍國事宜ノ上陳 九八五

勝山藩詰問書 九八六  
 舊幕府領地租税金半免 二二一  
 堀田正義譴責 二〇七  
 竹中重明ノ處罰 二二二  
 餘黨ノ緝捕 二二六・二二九  
 加藤平内ノ獻金 二二四  
 永井尙服ノ哀訴 二二六  
 永井尙服獻上兵器ノ措置 二二五  
 磐城平藩ノ米穀獻納 二四七  
 東山道總督府軍議 二四七  
 軍費貸與ノ申請及其下付 二四七  
 大原村下野 一〇四三  
 賊徒敗走 二六九  
 賊徒占據 二六九  
 應寶時(瀨國江浦道々變) 二六九  
 航客路引照驗ニ關スル長崎奉行ノ復書 三三三  
 大保村 二六三  
 賊徒敗走 二六三  
 大曲 二四八  
 深爲量ノ出陣 二四八  
 官軍力戰 二六五  
 官軍退守 二六八  
 大牧村 二四七  
 官軍屯據 二四七  
 大町口若松 二四七  
 賊兵扼守 二四七  
 大丸越 二四七  
 官軍進討 二四七  
 近江 二四七

阿波土佐二藩ノ一取締罷免 二八七  
 西大路藩ノ川越藩一別邑假管 三〇八  
 西大路藩ノ川越藩一別邑假管罷免 七五六  
 川越藩別邑ノ還付 七五六  
 仙臺藩別邑ノ收公 六二七  
 水野忠弘一別邑附近假管ノ申請 七二七  
 滋野井公壽綾小路俊實ノ一松尾山舉兵 九一〇・一〇六  
 遠藤胤城一采地ノ收公 二二六  
 舊會津藩及舊旗下土一采地ノ點檢 二二六  
 諸藩ノ東山道官軍ノ供帳傳遞管理 二一八  
 相良武振ノ駐屯 二二七  
 木村官次郎ノ一地圖獻納 二二七  
 大溝 二二七  
 高倉永祐四條隆平ノ到着 二二五  
 高倉永祐四條隆平出發 二二五  
 大溝藩(分發光貞參照) 一六七・二一六  
 雲母坂警守 二一六  
 二條城三條口ノ消防掌理 二一六  
 垂井美江寺間ノ供帳傳遞掌理 二一六  
 大宮 二一六  
 岩倉具定岩倉具經ノ到着 二一六  
 岩倉具定岩倉具經ノ出發 二一六  
 高倉永祐四條隆平ノ到着 二一〇  
 高倉永祐四條隆平ノ出發 二一〇  
 大宮御所 一七・一六三  
 造營課金ニ關スル幕府ノ稟請 一七  
 造營課金ニ關スル幕府ノ指令 一七

徵兵ノ警守 五六七  
 紀伊藩ノ警守 七四六  
 加賀藩ノ警守 七六六  
 加賀藩ノ警守罷免 七四六  
 大村吾右衛門 四一六  
 越後口總督府參謀就任 四一六  
 秋田口出征 四一六  
 大村純熙(丹後守) 四一六  
 入京運延 一八二  
 入京 一五五  
 退京 一七一  
 軍功褒賞 一五三・一五九  
 長崎警守 一七六・一七九  
 長崎下向 一七一  
 大村永敏(長門藩士) 二五四  
 軍制調査 四一三・九六五  
 軍防事務局判事就任 四一三・九六五  
 江戶下向 四一三・九六五  
 軍務官副知事就任 八六〇  
 軍功褒賞 八六七・〇九〇  
 大村藩(大村純熙參照) 七二六  
 領内天主教徒ノ査檢 八四七・一三三  
 阿部正靜同正備ノ東京護送 八四七・一三三  
 大津警守 九一〇  
 桑名征討兵員數ノ錄上 九一三  
 桑名征討先鋒拜命 九一三  
 東海道先鋒總督ノ一兵銃技檢閱 九一三  
 東海道先鋒總督ヨリ一兵附屬ノ申請 九一四  
 東海道先鋒拜命 九一四  
 青梅村 九一三

大磯藤澤間出兵 九五三  
 關東鎮紮 九六八  
 山下門警守罷免 九六八  
 東山道出兵 九七六  
 下總撤兵 九七六  
 小田原出兵并其中止 一〇三三  
 平湯出兵 一〇三三  
 陸奥出兵 一〇三三  
 奥羽出兵 一〇三三  
 下野撤兵 一〇三三  
 木更津出兵 一〇三三  
 房總鎮撫 一〇三三  
 養老川出兵 一〇三三  
 船川出兵 一〇三三  
 秋田出兵 一〇三三  
 院内口出兵 一〇三三  
 角館警守 一〇三三  
 松山進討 一〇三三  
 刈和野殊勳 一〇三三  
 三春攻撃 一〇三三  
 三春攻撃 一〇三三  
 郡山攻撃 一〇三三  
 白河口出兵 一〇三三  
 石鏡口出兵 一〇三三  
 猪苗代警守 一〇三三  
 會津降兵監守 一〇三三  
 松平容保父子監守罷免 一〇三三  
 二本松出兵 一〇三三  
 白石出兵 一〇三三  
 青梅村 一〇三三

舊幕府淺草米廩守衛兵ノ來著 一〇三三  
 賊徒屯集 一〇三三  
 賊徒潰散 一〇三三  
 大面村 一〇三三  
 北陸官軍力戰 一〇三三  
 長岡官軍進討 一〇三三  
 大森達太郎(舊幕府精銳隊士) 一〇三三  
 庚申塚駐屯 一〇三三  
 大森濱(龜夷) 一〇三三  
 招魂祭執行 一〇三三  
 大屋斧二郎 一〇三三  
 軍監就任 一〇三三  
 橫濱駐在 一〇三三  
 神奈川官ノ岸警守 一〇三三  
 本牧根岸警守 一〇三三  
 大八郷村 一〇三三  
 賊徒敗走 一〇三三  
 大山重(越前藩士) 一〇三三  
 奥羽總督府參謀添役就任 一〇三三  
 盛岡出陣 一〇三三  
 奥羽總督府軍監就任 一〇三三  
 大山綱良(薩摩藩士) 一〇三三  
 征討府下參謀就任 一〇三三  
 中國四國征討總督府附屬 一〇三三  
 奥羽總督府參謀就任 一〇三三  
 出羽出陣 一〇三三  
 奥羽總督(援兵ノ要求) 一〇三三  
 海味出陣 一〇三三



秋田出陣	三四四	駿府警守罷免	一〇五七	老臣代勤ノ申請	一六五
軍功褒賞	三五三	傍近各地ニ哨兵配置	九八五	老臣ノ入京	一九二・一九九
肥前藩兵ト戮力奥羽鎮撫ノ朝命	三五五	甲府應援拜命	一〇九六	小笠原唯八	二八三・二八三
院内口赴援	三七四	林昌之助ノ箱根占據ニ對スル戰備	一〇二七	牧野茂敬ヲ見ヨ	
鶴岡入城	三六〇	老臣ノ江戸召喚	一〇二九	小笠原藤吾(福島藩士)	三三四九
横手出發	三八五	江戸出陣	一〇五三	東京監送	
東京凱旋	三八五	幸橋警守	一〇五六・一〇六一	小笠原長清(長門藩士)	六三六
大山直路(浪人)	一一三	新橋警守	一〇七〇	越後府權判事就任	二七〇
東山道官軍嚮導就任	一一三	淺草米塵警守	一〇七〇	北陸道總督府監察就任	二八五
大和田	九七五	糺問局ノ一邸移轉	一〇七三	北陸道總督府監察罷免	二七六
賊徒遁逃	一〇九四	銀座警守	一〇七四	東山道總督府軍議參列	
柳原前光ノ出陣	一〇九四	本多忠紀保管	一〇七六・一〇七九	小笠原長國(廣津藩士)	
大渡下野	一〇六七	小笠原貞正(近江守)	一〇八六・一〇八九	嗣子長行廢嫡ノ申請	一七〇・二三三
宇都宮藩ノ警守	一〇六七	老臣代勤ノ申請	一一九	嗣子長行索捕ノ朝命	四三六
岡敬三郎	一四四七	老臣ノ入京	二八六・七六〇	立功自贖ノ申請	一七〇
青森出陣	一四四七	宗家隸屬使役服務ノ申請	三七二	立功自贖ノ再請	二四八
岡崎	八二四九	小笠原貞字(幸松丸)	一六五・一七六	謹慎	二七〇
明治天皇ノ御著聲	八二四九	老臣代勤ノ申請	一六五・一七六	謹慎赦免	二七〇
明治天皇ノ御發聲	八二七三	老臣ノ入京	一六五・一七六	東山道出兵	五二六
岡崎藩(本多忠民參照)	一七〇・一四六	京師出兵	一六五	石炭献上	五二八
伏見警守	一四六	京師撤兵	二五五	歸國申請	六二二
京都出兵	一四六	大坂下向	三四三	歸國	七一九
尾張藩ノ質問ニ對スル勤王ノ回答	一七三	入京	四〇三	諸侯朝親制定ノ建白	六五九
米券贖造者處分ノ稟請	三六七	歸國	五二二	肥前舊領還付ノ申請	八八四
桑名征討拜命	九二九	小笠原忠忱(小倉藩士)	一三〇	家政更革ノ兵備嚴整	七一九
東海道總督ヨリ藩兵豫備ノ指令	九二九	三條實美等ノ措置ニ關スル在京老臣ノ答奏	一三〇	小笠原長守(越前藩山藩士)	一六六
公現親王ノ警守及其中止	九三三	外國事務ノ措置ニ關スル在京老臣	一三〇	竹田街道警守并罷免	
駿府城警守	九三三・九三〇				
駿府城警守ノ褒賞	一〇三六				
駿府警守	九四七・一〇三八・一〇三六・一〇三二				

入京	三三〇・一七五八	和泉橋警守罷免	一〇三六	舊幕府ノ命ニヨリ率兵西上	一三三
歸國	四三六	虎門警守	一〇三六	京師出兵	一四六
北陸道總督府伺候	一七五	虎門警守罷免	一〇四六	歸國	二五二
小笠原長行(舊幕府老中)	一七五	東山道從軍	二二四	軍費献上ノ申請	四二五
小笠原長國ノ一廢嫡ノ申請	一七六・三三二	家督相續	二二五	岡部正路ノ處罰	六〇〇
官位擬奪	四三六	竹澤邦光ノ東山道總督府押送	二四二	入觀運延ノ陳謝	六五二
賊徒加盟	六五七	宇都宮出陣	二四二・二四九	差扣	七五三
榎本武揚ノ軍艦ニ搭乘	八四〇・四三七	結城出陣	二四三・二四四	嗣子長職ノ代觀	七三九
白石流寓	三三六	今市出陣	二四四	隱居申請	八七五
仙臺流寓	三三六	雄勝峠	二四九	岡部正路(摩和山藩士)	六〇〇
小笠原兵庫介	一一〇一	官軍退守	二五七	拘禁	七四〇
碓氷嶺警守	一一〇一	官軍扼守	二五七	流罪	七四〇
小笠原市三郎	九三九	官軍退守	二五七	永禁銅	七六〇
勤王證書奉呈	九三九	岡藩(中川久照參照)	二五七	岡部(武藏)	七六〇
岡田伊右衛門(福山藩士)	一四三九	遠ヶ辻警守	一四三	安部信發家眷ヨリ半原移住	一〇三三
大野口官軍ノ監督	一四三九	嵯峨口警守	一四三	岡部藩(安部信發參照)	
岡田時豐(舊幕府)	一一六三	二條城柵門守衛罷免	四一九	管内沿道軍須ノ整備	九二五
東山道從軍	一一六三	駿府城警守	五二七	川崎警守	九二五
隱居	一一五〇	譴責	六六五	倉賀野江戸間供帳傳遞掌理	一一三
岡田忠義(安房守)	一一五〇	江戸出陣	一〇二六・一〇三六・一一三	東山道官軍役夫供給	一一六
常房總事務ノ管理	一一五〇	二本松出兵	一〇二六・一〇三六・一一三	岡本義方(土佐藩士)	一一六
岡田豐後守(舊幕府)	一一四六	入京申請	一〇二六・一〇三六・一一三	治河使就任	八七七
勤王證書奉呈	一一四六	入京	一〇二六・一〇三六・一一三	岡山藩	
岡田藩(伊藤長壽參照)	四一九	差控赦免	七三九・七七五	備前藩ヲ見ヨ	
太政官代警守及罷免	四一九	岡部長寬(筑前守)	七三九・七七五	小河一敏(岡山藩士)	
藩屏加列ノ申請	七三三	朝召辭退	七三九・七七五	參與兼内國事務局判事就任	四七九
和泉橋警守	一〇三三	老臣代觀ノ申請	一六四	堺知縣事就任	六三六
				小川源太郎(米澤藩士)	



降服	一四一三八	大給近説(左衛門尉)	三二六	大坂警守罷免	三六〇
小川達太郎	九三七	入京	三二六・四八一	大坂行在所何候	三〇八
勤王證書奉呈	一〇八七	謝罪	三二六	隠居	五七七
小川町(江戸)	八三六	謹慎	五〇九	徳川慶喜ノ爲ニ哀訴	二七七・九三六
第一大隊ノ巡警	八三六	謹慎赦免	六二五	家督相續	五七七
小川弘淵(新助)	一六七	歸國申請	六六八	奥村連三郎(稻田邦植家臣)	一〇四七
參河縣判事就任	一六七	歸國	九二五	糺問方頭取就任	一〇三三
小川又左衛門	一六七	若年寄辭任	九二五・九六〇	糺問方頭取罷免	一〇三三
斬罪	一六七	勤王證書奉呈	九二五・九六〇	奥山主税(舊部下)	一一五五
隱岐	一七五	大給乘(續前(舊幕府老中格))	一八九・三二八	勤王證書奉呈	一一五五
松平定安ノ一租稅貢納ノ稟請	四二九	入京	一八二	御藏入口	三三八
朝鮮人ノ漂到	三五八・五八〇	江戸歸府	一七〇	泉藩ノ警守	三三八
島民ノ制馭	三九五・三一五	陸軍總裁罷免	二二六	御藏島	一〇二八
小本港(佐渡)	三三五	老中格罷免	二二六	江川英武ノ一漂流人救助費用支出	一〇二八
薩長二艦ノ入港	三三五	老臣ノ入京	三二八	方稟請	一〇六三
萩島村	三三五	謹慎	三二八	小栗義宣萬三郎	一〇六三
萩野山中	一〇一三	謹慎赦免、歸國許可	五〇九	軍曹試補就任	二五九
萩野山中藩(大久保教義參照)	一〇一三	藩名ヲ龍岡ト改稱	六四七	小栗忠順(上野介)	二五九
兵員銃器ノ錄申	一〇一三	奥平昌邁(美作守)	六四七	捕斬	二五九
豆相形狀ノ偵察	一〇一三	退京	六四七	采邑沒收	二六八
伊豆出兵	一〇一三	奥平昌服(大膳大夫)	六四七	小栗山	二七三
伊豆撤兵	一〇一三	三條實美等ノ措置ニ關スル在京老	一三〇	官軍力戰	二七三
伊豆捕斬	一〇一三	區ノ答奏	一三〇	桶川	二七三
小城藩(島島直虎參照)	二六三	外國事務ノ措置ニ關スル在京老臣	一三〇	岩倉具定岩倉具經ノ到着	二三四・二五〇
十二所口出兵	二六三	入京運延ノ陳謝	一三〇	岩倉具定岩倉具經ノ出發	二五〇・二五〇
萩原清左衛門(舊部下)	二七五	大坂警守	二七五	賊徒劫掠	二五〇
越前采邑ノ上知	二七五			賊徒平定	二五〇

賊徒敗走	二六七	鴻巣警守	二五二	長岡降人ノ謹慎	一四一七
長田兵庫	一〇三二	牛込門警守	二四四	尾關金八郎(舊田藩主)	一七五
舊幕府脱兵ノ懇諭	一〇三二	宇都宮出兵	二四四	大坂出奔	一七五
岩倉具定岩倉具經ノ出陣	九六九・二五三	宇都宮城攻撃	二五二	金岡流寓	一七五
岩倉具定岩倉具經ノ一鎮撫ノ申請	九七五〇	館林出兵	二五二	備前藩拘留	一七五
安藝藩ノ警守	一〇一五	忍田兵	二五二	尾關當選軍人	四四八
安藝藩兵ノ撤去	一〇一五	領内治水ノ管理	二五二	自刃	四四八
因幡藩ノ警守	一〇一五	河俣關門警守	二五二	御側村	四四八
因幡藩兵ノ撤去	一〇一五	大河門警守	二五二	櫛尾官軍進討	四四八
藤田次郎ノ退去	一〇一五	白河城攻撃	二五二	小田川	四四八
官軍赴援	一〇一五	白河城攻撃ノ褒賞	二五二	賊徒敗走	四四八
長門藩兵ノ攻撃	二二四・二五二	油井進討	二五二	官軍進討	四四八
忍城(武藏)	二二四・二五二	板室進討	二五二	織田長易(攝津守)	三六二
東山道總督ノ入城計畫及其中止	二五三	關谷進討	二五二	入京延期ノ申請	一七三・一九九
岩倉具定岩倉具經ノ入城	二五三	關谷進討	二五二	老臣ノ入京	一五二
岩倉具定岩倉具經ノ出發	二五三	蘆野出兵	二五二	京師出兵	一六五
秋元禮朝ノ一東山道總督府何候	二五三	細倉進討	二五二	入京	一六五
忍藩(松平忠誠參照)	一六八	三春進討	二五二	慈恩寺村警守	一六五
水戸降兵ノ保管及其罷免	一六八	白坂警守	二五二	大和鎮臺隸屬ノ申請	一七三
山中關門警守	四七九	赤井警守	二五二	歸國	一七三
山中關門警守罷免	四七九	福島出兵	二五二	神武山陵修補ノ助役	一七三
山中關門警守罷免ノ申請	二六二	三代警守	二五二	小谷村	一七三
大河内正賢ノ保管	九七五・二六二	二本松出兵	二五二	賊徒敗走	一七三
死傷者ノ弔慰	一〇四五	小千谷	二五二	織田信敏(兵部大輔)	一七三
倉賀野江戸間供帳傳遞掌理	二二二	官軍占領	二五二	入京	二五三
東山道官軍供帳傳遞掌理	二二二	諸藩會議所ノ設置	二五二	家督相續	三一一
東山道官軍供帳措辦ノ褒賞	二二二	高崎藩ノ警守	二五二	歸國	三三〇
羽生警守	二二二	北陸官軍ノ到着	二五二	進退維谷ノ陳情	三三〇
賊徒捕	二二二			謹慎	三三〇







神田橋警守罷免	九八四	針確定ノ建議	一五三
筋違門警守罷免	九八四	官軍糧食措辦ノ申請	一六八
昌平橋警守罷免	九八四	會計事務局判事就任	二四三
千住警守罷免	二八七九	會計官判事罷免	五六四
千住警守罷免	九八四	明治天皇親征行幸御用掛拜命	二二六
越後官軍警守	一〇一三・二八九六	假皇居及太政官經營ノ管理	四六五
越後官軍警守	三五九	林道顯ニ金穀轉漕ノ告知	九四九
北陸道總督ノ慰勞	二七〇・二七六	小原正東(土佐藩士)	六七四
北陸道官軍ノ供億措辦	二八四	倉敷知縣事就任	二六
北陸道總督府警護罷免	二七〇	二條城柵門警守	二一六
兵ノ伏見役參加	二七〇	二條城柵門警守罷免	四一九
高倉永祐ノ閣兵	二七五	太政官代警守	五一七
鞠山藩兵ノ附屬	二七四	甲府警守	四一九
舊幕府脱兵ノ招諭	二八〇	甲府警守罷免	五二四・一〇三四・一〇三三
本橋警守	二八三	越後出兵	六七五・〇六九二・〇七五・〇八三
小梅警守	二八六	鯨澤口警守	一〇三三
新宿扼守	二八六	川浦警守	一〇三三
敦賀出兵	三五六・三六〇	上小田原警守	一〇三三
柏崎出兵	三六六	東京出兵	一〇三三
出雲崎出兵	三六六	小布瀬原村	一〇三三
小原忠寛(兵衛)	一三六	賊徒敗走	一四一九
徵召	一三六	生保内口	二六八
入京	一四四・一五二	官軍力戰	二六八
上京運緩ノ陳謝	一三八・七三〇	生保内口	二六八
參與就任	一四七	官軍進討	二七九
藩主戸田氏共立功自贖ノ奏請	一四八	小見川藩(内田正學參照)	九七三
大垣藩事執掌ノ申請及諸道鎮撫方	一四八	封境騷擾	九七三

神戶開争事件處分條目ノ提出	一六四	桑名藩ヨリ朝廷ヘ謝罪申請ノ依頼	一五三
東久世通禧ヨリ局外中立ノ交渉	一六〇	桑名藩管理	一五三
局外中立ノ布告	一七二	桑名藩處分及窮乏者賑恤ノ朝命	四一八
朝參ノ布告	二五〇	桑名藩ノ爲ニ哀訴	六四五・七五〇
參内謁見	二六五	桑名征討拜命	九二九
退京ノ護衛	二六八	桑名藩罪臣ノ保管	九二九
退京	二六八	桑名藩主松平定教ノ保管	四三三
スネルノ兵器私賣ニ關スル神奈川	七二八	徳川慶喜内應者ノ鎮定	一五七
府トノ交渉	七二八	徳川慶喜内應者ノ處刑	一六四
オリントンタル銀鋪(英國)	七二八	徳川慶喜ノ爲ニ哀訴	一六四
政府ノ借入金	七四二	東山道出兵	一六九・二〇五
折ノ	一四七	東山道總督府陪從士ノ罷歸	二〇四
賊徒敗走	一四七	東山道監軍ヨリ民軍使役禁止ノ指	二〇四
折ノ濱	一四七	兵ノ京師出發	一六〇
薩摩藩兵ノ榎本武揚追撃	一三五・一三五九	傍近諸藩ノ勤王誘導	二二六・二二八
尾鷲浦(紀伊)	七四九	江戸城警守	三四五・九四二
米國商船ノ毀損	七四九	江戸城警守罷免	九八九・一〇九九
尾張	一三三	江戶攻撃ノ部署	九八九
神符降下	一三三	太政官代警守罷免	四四九
尾張藩(徳川慶勝參照)	一三三	美濃國內警城平藩領地假管	二二四
舊幕府親藩及僉屬等政權回復運動	一三三	美濃國內警城平藩領地假管罷免	五六七
匡正ノ計畫	一三三	安藤信勇拘留	六八四
列藩會議開設ノ運動	一三三	京都市政管理ノ褒賞	六三四
禁門警守	一三三・一三三・一四六	伊那假管罷免	七三九
建禮門警守	一三七	熱田神宮管理條項ノ稟請	八一〇
建禮門警守罷免	一三七	東海道出兵	九一六
仁和寺警守	一三七	東海道總督ノ閣兵	九一六
仁和寺警守罷免	一三七	東海道總督ニ刈谷藩斬好事情ノ稟	九一八
二條城内徳川氏臣屬鎮撫ノ内命	一三三		
内藤政舉ヨリ朝廷ヘ入京許可申請	一三三		



白河出征—兵ノ東京凱旋	三三六	會津藩降兵監守	三三六	海軍	御親閱時日ノ決定	三七二
三番町歩兵保管罷免	一〇六〇	會津藩降兵監守罷免	三三八	御親閱	長岡柁ノ—振興ノ建議	二八六・三一四
練馬攻撃	一〇六五	二本松出兵	三三九	東久世通禧ノ舊幕府招聘外人ノ教	師ノ罷歸	三七四
日出藩邸嘯聚浮浪ノ捕斬	一〇七三	盛岡征討應援及其停止	三三六	軍制確定	蝦夷差遣	八六〇
松戸出兵	一〇七九			清水谷公考ノ觀閱	海軍局	一四四七
水戸敗賊ノ東京護送	一〇八八			設置	海軍參謀	八六〇
大總督府警守	一一九			山田顯義ノ就任	山田顯義ノ罷免	一三六六・四三五
飛騨管理罷免	一一三			本田彌右衛門ノ就任	增田明道ノ就任	一四七三
福島關門警守	一一三			曾我祐準ノ就任	箱館及七重警守	一四四七
笠松管理罷免	一一六			榎本武揚ニ酒樽贈與	海軍參謀補助	一四三九
板垣正形ノ江戸—邸駐屯	一一六			石井露吉ノ就任	海軍所(舊幕府)	一四四七
山田豐誠ノ江戸—邸駐屯	一一六			沒收	海軍先鋒總督	七三五・一〇六八
飯山出兵	一一七			大原俊實ノ就任	大原俊實ノ罷免	二六〇・九二四
新井出兵	一一七			嘉言親王ノ就任	海軍總督	一〇一六五
越後出兵	一一七			庭田重胤ノ就任	海軍總督參謀	二二七・九一七
越後口捕虜ノ監守	一一七					二二七・九一七
高田追討	一一八					
古屋作左衛門ノ追討	一一八					
死傷者録申	一一八					
荻野警守	一一八					
釜之子警守	一一八					
須賀川警守	一一八					
勢至堂口出兵	一一八					
原警守	一一八					
三代出兵	一一八					
三代警守	一一八					
越堀警守	一一八					
會津出兵	一一八					

海軍奉行	荒井郁之助ノ就任	一四六〇	大總督府ヨリ糧米輸送ノ申請	一〇六六	立花種泰ノ就任	一五二七
會計科	設置	一六〇六	古金銀使用許可ノ布告	九三〇	—立花種泰ノ罷免	二一三九
會計局ト改稱	設置	一七九八	貨幣改鑄ノ爲ニ—吏員ノ江戸下向	一〇七五	新潟開港	一四一七
設置	—商法司ノ設置	四六一	江戶舊南町奉行邸ニ移轉	二四四	兵庫開港	一四〇一
—租稅司ノ設置	—吏員ノ近畿巡視	四七六	石山基正ノ就任	三三九	大坂開港	一四七四
—吏員ノ近畿巡視	生野銀山管理	五五三	—池邊永益ノ江戸金銀座事務ノ措	三三九	外國船ノ未—入津禁止	一四四四・七五一
京都府吏ノ—事務兼掌	京都府廳内ニ移轉	五五三	辨	三三九	開港地	六二五
京都府廳内ニ移轉	大總督府事務ノ移管	八一	會計事務局權輔	二四三	府縣ノ外國事務兼管	七三五・四八八
會計官權判事	—岡本義方ノ治河使就任	八七	長谷信成ノ就任	二四三	諸道差遣	九八五
—岡本義方ノ治河使就任	—林友幸ノ軍監就任	八七	中御門經之ノ就任	二四三	越後國總督府ノ—備聘	一四七九
—林友幸ノ軍監就任	萬里小路博房ノ就任	四六八	戶田忠至ノ就任	二四三	外國醫師	一六六
會計官知事	中御門經之ノ就任	四六八	小原忠寬ノ就任	二四三	設置	一七六
中御門經之ノ就任	—小原忠寬ノ罷免	七二七	三岡公正ノ就任	二四三	外國局ト改稱	一六六
會計官判事	—小原忠寬ノ罷免	五五五	鴨脚光長ノ就任	二四三	設置	四六八
—小原忠寬ノ罷免	鎮將府ニ設置	七四五	淺野茂勳ノ就任	二四三	權限制定	五七二
鎮將府ニ設置	會計事務掛	一六七	岩倉具視ノ就任	一六七	大坂駐在—朝鮮國交事務管掌	五二六
會計事務掛	三岡公正ノ就任	一六七	中御門經之ノ就任	一六七	拜命	八三五
三岡公正ノ就任	設置	一七九	博經親王ノ就任	一六八	—森有禮ノ議事體裁取調御用掛	八三五
設置	大總督府ヨリ饋餉費増額ノ報告	九三四	會計總裁(舊幕府)	一六八	外國官知事	四六八
大總督府ヨリ饋餉費増額ノ報告					伊達宗城ノ就任	七二八
					—大隈重信ノ長崎下向	七二八
					—井上馨ノ佐渡知縣事就任	七二八



外國官副知事	鍋島直大ノ罷免	七四二
	小松清麿ノ就任	七四二
	東久世通禧ノ就任	七六一
外國軍艦	天長節ノ祝砲	八二四
	神奈川沖ノ祝砲	八四〇
外國公使	支那人及條約未濟國人取締法制定	一七一
	江戶居留地規則及運送船規則ニ關スル幕府トノ交渉	一七三
	江戶開市期日更定ニ關スル幕府ノ通告	一九〇
	江戶鎮定ニ關スル政府ノ通告	五五〇
	東京居留規則ニ關スル政府トノ交渉	八三三
	大坂居留地及坂神間運送船規則ニ關スル幕府トノ交渉	一九四
	大政奉還ニ關スル幕府ノ通告	一八〇
	新潟開港期日更定ニ關スル幕府ノ通告	一八五
	新潟開港期日更定ニ關スル政府トノ交渉	九八三
	貨幣改鑄延期ニ關スル幕府ノ通告	一九五
	橫濱居留地取締役委託ニ關スル幕府ノ通告	一一六
	外國貨幣交換ニ關スル幕府トノ交渉	一一七
	德川慶喜トノ會見	一三〇
薩摩藩トノ交戦ニ關スル舊幕府ノ通告	一四三	
國旗保守ニ關スル舊幕府ノ通告	一四二	
神戸扼守	一四八	
神戸撤兵	一四四	
神戸開争事件ニ關スル政府トノ交渉	一四四・一六四・一六五・一六六	
兵庫港内諸藩船艦ノ拘留	一四八	
兵庫奉行ノ事務掌管ニ關スル政府ノ通告	一六八	
東久世通禧トノ會見	一五四・一五五	
王政復古ニ關スル政府ノ通告	一五四	
舊幕府締結ノ條約遵守ニ關スル政府ノ通告	一六三	
舊幕府軍艦脱走ニ關スル鎮將府ノ通告	一六八・一七三	
局外中立ニ關スル政府トノ交渉	一六九	
局外中立布告	一七二・一七三	
局外中立解除ニ關スル政府トノ交渉	四七四	
局外中立解除ノ布告	四七五	
國交親善ニ關スル聖旨傳諭	二四九	
神奈川裁判所總督ノ海外航渡改正符券牒示	四七二	
橫濱港取締ニ關スル政府トノ交渉	五三三	
橫濱港内警守ニ關スル橋本實梁ノ通告	九二一	
薩長以下五藩ヨリ朝見ノ建議	二二五	
朝見ニ關スル政府トノ交渉	二三四	
朝見ノ朝議	二五八	
朝見ノ布告	二五八	
朝見時日ノ布告	二五九	
朝見ニ就テ各國客館ノ警護	二五九	
醍醐忠順トノ會見	二五九	
伊達宗城トノ會見	二五九	
奧羽北越諸藩ヨリ白石同盟ノ通告	六五七・二四七	
密貿易禁止ニ關スル政府トノ交渉	六七四	
米穀輸出禁止ニ關スル政府トノ交渉	七二	
外交事務罷免ニ關スル舊幕府ノ通告	七四六	
輸出入收税ニ關スル政府トノ交渉	八三三	
大磯東京間遊歩禁止ニ關スル政府ノ通告	九三二	
東征旨趣ニ關スル大總督ノ通告	一五四	
外國公使館	一七〇	
江戶城門閉鎖ニ關スル舊幕府ノ通告	一七〇	
江戶城門開放ニ關スル舊幕府ノ通告	一七〇	
外國人(イギリス、アメリカ、フランス、オランダ參照)ト論争防止ノ諭告	一七四	
加賀藩ノ橋本關門經過ノ事宜稟請	一〇九	
諸門通過ノ許可	四一七	
土佐藩ヨリ借入金ノ稟請	七四八	
諸藩ノ雇傭禁止	八四六	
大磯東京間遊歩停止	八四六	
外國事務		

衆議公論ニヨリ措辦ノ告諭	一一・一〇九
ニ關スル幕府ヨリノ稟申	一一・一五五
ニ關スル列藩ヘノ諮詢	一一・一六
幕府委任ニ關スル井伊直憲等ノ建議	一六五
東幸中東京ニ於テノ處分	八七五
外國事務掛	
伊達宗城ノ就任	一五八
岩下方平ノ就任	一六〇
後藤元燁ノ就任	一六〇・二四三
醍醐忠順ノ就任并罷免	一六九
五代友厚ノ就任	一六九
寺島宗則ノ就任	一六九
町田久成ノ就任	一六九
伊藤博文ノ就任	一七三
井上馨ノ就任	一七五
小松清廉ノ就任	二四三
木戸孝允ノ就任	一七五・二四三
外國事務局	
設置	
各國公使ニ設置ノ通告	一七九
各國公使ニ外交聖旨ノ傳諭	一五四
大總督府ノ東國諸侯入京事宜ノ報告	二四九
外國事務局權輔	
鍋島直大ノ就任	二四〇
坊城俊章ノ就任	四〇三
外國事務局督	
晃親王ノ就任	二四三
外國事務局判事	
伊藤博文ノ就任	二四三
外國事務掛	
井上馨ノ就任	二四三
岩下方平ノ就任	二四三
後藤元燁ノ就任	二四三
三條實美ノ就任	二四三
東久世通禧ノ就任	二四三
外國事務副總裁	
三條實美ノ就任	二四三
井上馨ノ就任	二四三
岩下方平ノ就任	二四三
五代友厚ノ就任	二四三
寺島宗則ノ就任	二四三
町田久成ノ就任	二四三
大隈重信ノ就任	二四三
後藤元燁ノ就任	二四三
小松清廉ノ就任	二四三
大木喬任ノ就任	二四三
外國事務局輔	
伊達宗城ノ就任	二四三
東久世通禧ノ就任	二四三
外國人居留地規則制定	一七三・一七五・一七九
江戶鐵砲洲ヲトス	一七一
外國事務總裁	
晃親王ノ就任	一四九
三條實美ノ就任	一四九
伊達宗城ノ就任	一四九
東久世通禧ノ就任	一四九
澤宜嘉ノ就任	一七三
外國事務取調掛	
岩下方平ノ就任	一四九
後藤元燁ノ就任	一四九
三條實美ノ就任	一四九
東久世通禧ノ就任	一四九
外國事務副總裁	
三條實美ノ就任	一四九
伊達宗城ノ就任	一六三
東久世通禧ノ就任	一六三
外國領事	
支那人及條約未濟國人取締法制定ニ關スル幕府ノ報告	一七一
長崎奉行ヨリ救援ノ要求	一六五
長崎會議所開設ニ關スル佐々木高行松方正義ノ通告	一六九
阿片煙輸入禁止ニ關スル長崎府ノ通告	五四〇
紙幣兌換ニ關スル長崎府知事ノ通告	六五五
支那人處罰ニ關スル長崎裁判所トノ議定	三五八
葡萄牙領事館雇日本人處罰ニ關スル長崎裁判所トノ交渉	四一五
外商ノ兵仗私販禁止ニ關スル神奈川裁判所ノ通告	四三八
天長節賜宴	八二四
奧羽北越諸藩ヨリ白石同盟ノ通告	二四七・三七六
具澤村官軍苦戰	二六八







越後出征軍資金ノ下賜	六三三	謹愼赦免	二六八
越後口官軍ノ軍需運輸	三六三	火賊	六三二
米穀箱館輸送ノ辭退	七三七	禁止	六三二
高田出兵	二六八・二八九	鍋崎廣業 <small>(長部)</small>	八六一・四四四
越後出兵	二八四・三五七	福山城孤守	四四四
舊管地及土方某ノ能登領地管理	二七五	江刺逃避	三六六・三六〇
軍須献上	三一五・三六九	柿木村	五四六・二一九
信濃出兵	四三三	賊徒敗走	八二八・三五三
奥羽越屯軍	四三三	覺王院義觀	八四三・三五三
宇野大助石黒新之丞ノ會津民政方	四三三	東叡山脱走	一〇六
任命	四三三	謹愼	二一五
軍功褒賞	四三三	東京護送	二一五
加賀美甚十郎 <small>(舊旗下士)</small>	三二五	大總督召命辭退	一〇六
勤王證書奉呈	九三六	ト彰義隊	八五三
香川廣安 <small>(水戸藩士)</small>	二四〇	學校 <small>(舊領將所管)</small>	八五三
東山道總督府軍監就任	二四〇	行政官移管	八六八
宇都宮出陣	二四〇・二四九・二四七	學校取調御用掛	八六八
古河藩ヘノ課金	二四二	箕作麟祥ノ就任	八六八
古河藩ニ宇都宮出兵ノ指令	二四二	各國軍艦	八六八
古河退守	二四九	外國公使	八六八
古河藩銃器ノ徵收	二五〇	外國公使	八六八
今市進討	二四九	外國公使館	八六八
結城赴援	二四九	外國公使館	八六八
黒羽藩ニ宇都宮出兵ノ指令	二四九	各國領事	八六八
雀宮苦戰	二四九	外國領事ヲ見ヨ	八六八
笠間藩ヨリ出兵延期ノ申請	二五〇	學習院	一五五
軍監罷免	二六〇	會計裁判所ニ設置	一五五
謹愼	二六〇	ト金穀出納所トス	一五五
	二六〇	ト大學寮代トス	三六三

掛川藩 <small>(太田資美參照)</small>	九一五	彌橋公平ノ一領臺設置ノ建議	二六二
桑名征討拜命	九一五	高須藩ノ一領地管理	二六四
勤王證書奉呈	九一七	笠松縣	四七五
甲府出兵	九二五・九六五	設置	五五三
甲府撤兵	九八六	大原重徳ノ巡視	六六六
勝沼警守	九八六	美濃舊幕府領地ノ管理	四七五
勝沼警守罷免	一〇五六	笠松縣知事	四七五
白野警守	九八六	田内盛徳ノ就任	四七五
石和警守	九八六	長谷部想連ノ就任	六四七
甲斐巡察	一〇一五	長谷部想連ノ罷免	六四七
八王寺扼守	一〇二六・一〇二九	林左門ノ就任	六四七
賊徒招諭	一〇三六	林左門ノ罷免	七三三
上野原警守罷免	一〇五六	笠松縣判事	六四七
飯能警守	一〇五六	林左門ノ笠松縣知事就任	六四七
掛田村	一〇五六	笠松縣判所	三三三
賊徒敗走	一〇五六	設置	四七五
賊徒剽掠	一〇五六	笠松縣ト改稱	三三三
勘解由小路資生	一〇五六	笠松裁判所總督	三三三
御即位新式取調御用掛就任	一一七五	大原重徳ノ就任	三三三
鹿兒島藩	一一七五	大原重徳ノ罷免	四六九
薩摩藩ヲ見ヨ	一一七五	笠松代官所	一九六
笠間	九六五	沒收	一九六
石川總管ノ流寓	九六五	笠間藩 <small>(牧野貞利參照)</small>	一〇六四・三〇四
笠間城	九六五	封境嚴守	八四六
賊徒來襲	九六〇	牧野忠訓保管	一〇四〇
笠松	三三三	陸奥管地ノ還付	一〇四〇
林左門ノ駐在	三三三	警城平出兵	二四八
大垣藩ノ管理	二一六・二八五	宇都宮出兵	二四八
大垣藩ノ管理罷免	二八四	古河出兵	二四九
尾張藩ノ管理罷免	二二六	小山苦戰	二四七



鍛冶橋門	九六九・九九六	四條隆平ノ到着	三九・三六〇	大鷲號ノ入港	三六〇
備前藩ノ警守罷免	九六九	四條隆平ノ退去	三三三	大鷲號ノ出帆	三六三
吉田藩ノ警守	九七六	高倉永祐ノ到着	三二五・三六一	三船號ノ入港	三六〇
龜山藩ノ警守	九七六	高倉永祐ノ退去	三二五・三六一	三船號ノ出帆	三六三
龜山藩ノ警守罷免	九八〇	西園寺公望ノ到着	三二五・三五九七	千別號ノ入港	三六〇
紀伊藩ノ警守	九八〇	西園寺公望ノ退去	三二五	千別號ノ出帆	三六三
紀伊藩ノ警守罷免	一〇六〇	小濱藩ノ出帆	三六五	黒田清隆ノ出帆	三六三
哨兵配置	一〇五三	小松藩ノ出帆	三六六	山田顯義ノ出帆	三六三
筑前藩ノ警守	一〇六〇	福知山藩ノ出帆	三六六	柏原藩(龜田信親參照)	三六三
筑前藩ノ警守罷免	一〇八九四	三日月藩ノ警守	三六六	東久世通禧警守	一四四
安藝藩ノ警守	一〇八九四	足守藩ノ警守	三六六	東久世通禧警守罷免	一四九七
鹿島郡(龜登)	二七五	越前藩ノ出帆	三六八	八幡警守	七六八
加賀藩ノ管理	二七五	壬生基修ノ歸著	三六八	梶原景武(平馬)	三三六・三四八
柏木村(武藏)	一〇三〇	壬生基修ノ出發	三四	降服	
賊徒嘯聚。筑後藩兵ノ討伐	一〇三〇	岩國藩ノ出帆	三四	春日號(薩摩藩軍艦)	三三九
柏倉(出羽)	二二八	病院設置	三四	修繕	二七〇
會津征討拜命	二二九	柏崎縣	七四	奥羽赴援	二七〇
兵ノ最上川力戰	二二九	柏崎縣知事	七四	青森赴援	四四七
柏崎	二七三	四條隆平ノ就任	七四	青森入港	四四七
松平定敬ノ謹慎	六七五・三六五	四條隆平ノ罷免	七四	品川出帆	四四八
嘉彰親王ノ到着	七二六・四三九	久我通城ノ就任	七三	品川入港	四三〇
嘉彰親王ノ退去	三六四	柏崎港	七三	宮古入港	四四九
嘉彰親王ノ死守ノ誓言	七七八	丁卯艦ノ入港	三三〇	晉部進討	四四九
溝口直正ノ一督府伺候	七三二	丁卯艦ノ出帆	三三〇	三瓶赴援	四四九
久我通久ノ到着	四二二	攝津艦ノ入港	三三〇	三瓶歸港	四四五
久我通久ノ退去	二八〇	攝津艦ノ出帆	三三〇	厚澤部川渡口攻撃	四四五
桑名藩ノ一舊領管理	二八〇	錫懷號ノ入港	三三〇	箱館偵察	四四五
北陸官軍ノ到着	二九三	錫懷號ノ出帆	三三〇	箱館砲撃	四六五
小林隆麟ノ出陣	二二四			箱館出帆	四六五

賊艦退撃	二四七・四八四	増山正修ノ一轉封	八八五	歸國	二五三
春日神社	一六五	阿部正恒ノ一別邑收公	八四四	片桐村	二一〇
興福寺僧侶ノ一社領管理	二九七	遠藤胤城ノ一別邑收公	八四四	賊徒敗走	二一三
奉幣使參向	二九七	黒田直養ノ一別邑收公	八四四	官軍苦戰	二一三
一別當大乘院隆芳一乘院應昭ノ復	四一七	保科正益ノ一別邑收公	八四四	片府田村	三三〇
飾	四一七	賊徒嘯聚	一〇八・一〇三〇・一〇三三・一〇四四	堅田	三三〇
春日仲襄(久我通家主)	五八二	城砲兵ノ謹慎	一〇四	高倉永祐四條隆平ノ到着	二七五
奈良知縣事就任	七三	堀田正倫ノ一諸藩政令傳達掌理	一〇五	高倉永祐四條隆平ノ出發	二七五
奈良知縣事罷免	七三	筑後藩ノ出帆	一〇三	交野時萬	一三三
柏壁(武藏)	二四四・二四五	信太歌之助ノ横行	一〇四	議奏加勢罷免	一三三
祖式金八郎ノ出陣	二四四・二四五	上總監察使	六五五・一〇四六	片門村	三三〇
上總	一三九	和宮	六五五・一〇四六	官軍進討	三三〇
岡田忠養ノ一事務管理	四三三	親子内親王ヲ見ヨ	三三九	片山村	二六八
松平直克ノ一鎮輯	六七四・一〇五八・一〇五八	片岡利和(左衛門)	三三九	官軍進討	二六八
瀧脇信敏ノ一轉封	六七四・一〇五八	越後口小監察就任	三三九	華頂宮	一五〇
水野忠敬ノ一轉封	八四四	越後口軍監就任	三三六	知恩院宮ノ改稱	一五〇
水野忠順ノ一別邑沒收	九五〇	出雲崎出陣	三三六	建部政世ノ警守罷免	二七九
水野勝知ノ流寓	二四六	片貝村	三三六	新發田藩ノ警守	二八五
水野勝進ノ流寓	二四六	賊徒敗走	三三六	新發田藩ノ警守罷免	三〇三
諸藩ノ連賊糾捕	七四三・一〇六九・一〇九四	官賊兩軍ノ對峙	三三六	今治藩ノ警守	三〇三
兎徒ノ歸順	一〇二	勤王誓約	三三六	潛浦	三〇三
賊徒ノ下野逃避	二六五	片桐貞明(藤三郎)	三三六	九條道孝ノ到着	三〇三
賊徒ノ常陸逃避	二六五	勤王誓約(藤三郎)	三三六	澤爲量ノ到着	三〇三
一服役諸軍ノ軍功褒賞	一〇五・一〇六	片桐貞篤(小泉藩主)	三三六	月山	三〇三
井上正直ノ一轉封	八八五	入京延期ノ申請	三三六	官軍力戰	三〇三
大河内信古ノ一轉封	八八五	入京	三三六	官軍進討	三〇三
太田資美ノ一轉封	八八五	老臣ノ入京	三三六	葛飾縣	三〇三
田沼意尊ノ一轉封	八八五	京師出兵	一六七	甲子口	七〇



泉藩ノ警守	三三八	入京	一一・一六四・一七〇
勝田銅吉	一〇四七	歸國	一六八・一五三
幸橋警守	一〇六七	軍功褒賞	一五三
幸橋警守罷免	一〇四九	水口督府何候	九一九
新橋警守	一〇六七	加藤右近(舊部下)	九七三
新橋警守罷免	一〇七〇	勤王證書奉呈	九七三
新橋警守罷免	一〇七〇	加藤清正	六九四
官軍力戦	三六七	細川昭邦ノ一祭典舉行	六九四
近藤勇等ノ敗走	一七三・一〇・九・二六五	加藤千秋(大伴明神官)	九一七
大總督ノ一戰捷賞功	九八五・二四四・二四六	關東形勢ノ偵察	九一七
掛川藩ノ警守	九八六・一〇一六	加藤平内(舊部下)	一一四
掛川藩ノ警守罷免	一〇五六	勤王證書ノ奉呈	一一四
中津藩ノ警守	九八六	加藤彌治郎(舊部下)	一一五
沼津藩ノ警守	九八六	勤王證書奉呈	九五八
柳原前光ノ到着	一〇八三	加藤泰秋(大洲藩主)	九七三
岩倉具定ノ一戰捷報告	二四四	入京延期ノ申請	一一七
勝山(長門)	六二五	入京	一一七
毛利元敏ノ治所假移轉	六二五	軍功褒賞	二一七・七四九
津藩ノ撤兵	一〇一〇・一〇九六	親征供奉	一五三
兎嶺再戦	一〇九六・一〇九六	東幸供奉	二四九
肥前藩軍艦ノ入港	九八六	加藤泰令(新谷藩主)	七三五・八五四
勝山藩(小笠原長守參照)	一四八	五條爲榮警守	一四一
關嶺警守	一四八	入京	一四四
勝山藩(三浦弘次參照)	二七三	在京藩兵車駕從衛ノ申請	七二九
美作警備罷免	二七三	歸國	二三〇
		香取神社	一〇六六
		祠官ノ不穩	

掛取素彦(長門藩士)	一五八	外國醫師ニ對スル舊幕府待遇ノ錄	九八五
參與就任	四四三	英人ノ告訴	一〇九
參與罷免	四四三	羽山省吾處罰	一〇九
制度事務局判事罷免	四四三	神奈川裁判所總督	六三四
金岡港	一七五	神奈川裁判所副總督	六三四
尾關金八郎ノ逃避	二八三	神奈川直大ノ總野鎮撫使兼攝	五八・一〇六・一〇九・一一六
鶴田藩士ノ拘留	二八三	神奈川府	六三四
金ヶ崎村	二八三	設置	六三四
賊徒來襲	二八三	蘭人スネル兵器私賣ノ糾責	七二八
神奈川	七三五	神奈川四方十里ノ管理	七三五
神奈川府ノ一四方十里管理	七三五	神奈川縣ト改稱	八八四
神奈川府兵ノ警守	八二七	東京入港諸藩雇用外國船ノ查檢	七五九
瑞典那耳回假條約ノ交換	八二七	外人奥羽旅行ノ禁止	一〇五九
西班牙假條約ノ交換	八四〇	橫濱商人喜助ノ糾罪	一〇六三
明治天皇ノ御著聲	八四〇	神奈川奉行	一一八〇
明治天皇ノ御發聲	八四〇	橫濱ニ於ケル煤氣燈設置ノ計畫	一一八〇
長尾藩ノ警守	一〇六七	局外中立ニ關スル各國公使トノ交渉	二一九
長尾藩ノ警守罷免	一〇七四	舊一水野良之ノ橫濱管理	九三九
肥後藩ノ警守罷免	一〇七四	神奈川奉行所	三六三・六六六
神奈川縣	八八四	沒收	三六三・六六六
設置	八八四	神奈川府知事	六三四・七六〇
神奈川知縣事	八八四	東久世通禧ノ就任	七六〇
寺島宗則ノ就任	八八四	東久世通禧ノ外國官副知事就任	七六〇
神奈川裁判所	三六三	神奈川府判事	八八四
橫濱裁判所ノ改稱	四八九	寺島宗則ノ神奈川知縣事就任	八八四
米人ウエーリト請願ノ却下	四一八		
阿片煙販賣禁止	四一八		
外商ノ兵仗私販禁止	四一八		
神奈川府ト改稱	六三四		
舊幕府招聘英國海軍教師ノ解雇	九八四		
舊幕府軍艦交收ノ計畫	九八四		
外國公使ヨリ新潟開港ノ稟申	九八四		



金山	三五九	上野山内警守罷免	一〇四五
官軍占領	三三〇	竹澤邦光ノ拘留	一一四五
官軍力戦	三六四	加納久宜 <small>(元次郎)</small>	一一三三
秋田藩兵ノ力戦	三三九	朝召辭退	四六五四
館林藩ノ警守	三三九	囚徒蜂起ノ具申	一〇九二
館林藩ノ警守罷免	三三九	兇徒游説ノ具申	五・九八三四
金谷村	二六四五	入京	六六三九
秋田藩兵ノ苦戦	二六四五	封境嚴備	一〇九四
弘前藩兵ノ苦戦	二六四五	樺山仲左衛門 <small>(薩摩藩士)</small>	二二五四
鹿沼	二五五	奥羽總督府使役就任	二二五四
香川廣安ノ出陣	二五五	改鑄延期ニ關スル幕府ト各國公使	一九五
彦根藩ノ出兵	二五五	トノ交渉	一七三
駐在彦根藩兵ノ日光警守	二五五	兌換ニ關スル政府ト各國公使トノ	二二七
金子七吉 <small>(筑前藩士)</small>	八六五	交渉	二二七
英國水夫殺害及自刃	二九三	近畿地方ニ於ケル流通ノ獎勵	三七七・九三〇
盛岡藩ノ出兵	二九三	更鑄ノ朝議	三七七・五五六・九五五
金堀村	三三六	增鑄	七四三
賊徒敗走	三三六	贋造ノ流行	二四九〇
加納	二二四	舊金銀—并新—ノ併用	二四九〇
岩倉具定岩倉具經ノ到着	二二四	舊金銀—價位ノ制定	二四九〇
岩倉具定岩倉具經ノ出發	二二四	私ニ金銀—價位ノ差等ヲ立ツルヲ	六三六二
叶津村	四二七	禁ズ	六三六二
官軍進討	二二七	紙幣金銀—兌換禁止	六三六二
加納藩 <small>(永井尚服參照)</small>	二二七	金銀局ノ古金銀—引上ケ	八四三
東山道總督ノ區處	二二七	釜石村	一四九九
糧米運送請持區域ノ變更	二二七	官軍退守	一四九九
甲府應援	一〇三三・一〇三九	鎌ヶ谷	一〇三三
兵ノ信濃班師	一〇三三		
上野山内警守	一〇三三		

上小屋	三二八	上羽太村	三二八
烏山藩ノ警守	三二八	賊徒敗走	三二八
神長左衛門 <small>(舊旗下士)</small>	三二八	上松	二二四
勸王證書奉呈	三二八	岩倉具定岩倉具經ノ到着	二二四
上磯嶺	三二八	岩倉具定岩倉具經ノ出發	二二四
賊徒敗走	三二八	上松安太郎 <small>(大垣ノ農)</small>	二二四
官軍苦戦	三二八	米穀献上	二二四
上關	三二八	神谷 <small>(薩摩)</small>	二二四
賊徒敗走	三二八	笠松藩ノ—領地還付	六七六・一〇四〇
上山	三二八	賊徒侵略	三三六
官軍進討	三二八	神谷内村	三三六
大山重ノ出陣拜命	三二八	官軍進討	三三六
大山重ノ出陣停止	三二八	神山	四六四
佐土原藩ノ出兵	三二八	賊徒敗走	四六四
上山城	三二八	清水谷公考ノ巡視	四六四
澤爲量ノ入城	三二八	神山君風 <small>(佐多藩)</small>	四六四
清川口官軍ノ入城	三二八	王政復古ニ就キ朝召參内	一三三
上山藩 <small>(藤井信精參照)</small>	三二八	參與就任	一三三
兵ノ薩藩邸襲撃	三二八	内國事務掛就任	一三三
莊内征討先鋒拜命	三二八	辨事就任	一三三
莊内撤兵	三二八	還幸奏請	一三三
采女ケ原練兵	三二八	上湯川村	三三六
新莊出兵	三二八	賊徒降服	三三六
與板進討	三二八	上淀川村	三三六
古口進討	三二八	官軍退守	三三六
寒河江應援	三二八	官軍苦戦	三三六
柴橋應援	三二八	官軍力戦	三三六
白岩警守	三二八	賊徒奪取	三三六
賊徒加盟	三二八	閑院宮邸	三三六
越後口出兵	三二八		







軍事參謀就任	一四三・九一三	小田原出兵	一〇五四	澤爲量ノ出陣	三四八
軍防事務局權輔就任	二四三	小田原三枚橋關門ノ警守	一〇五〇	九條道孝ノ出陣	三四八
三等陸軍將就任	三一四	下田出兵	一〇七三	鳥原藩ノ出兵	三六〇
江戸出府	五一七	唐太島	一〇七三	平戸藩ノ出兵	三六四
江戸府知事就任	五五〇・〇二九	東北諸藩ノ開拓ノ許可	一〇七三	輕井澤	三八七
江戸府知事就任	五六〇・〇三三	假皇居	一〇七三	高倉永祐四條陸平ノ到着	三八七
東京府知事就任	六七九・〇五六	假傳馬町	四三六	高倉永祐四條陸平ノ出發	二八七
東京府下人村ノ徵募	七二四	設置	四三六	賊徒敗走	二八七
鎮臺輔就任	六二九・〇三三	假傳馬町	八三七	ガルシヤ、デ、ケウエト(西班牙公使)	二六四
車駕奉迎	八四九	劉羽郡(越後)	二八九	西班牙公使ヲ見ヨ	二六四
鳥山藩(大久保忠順參照)	一〇五三	官軍進討	二八九	川合村	二四一
白河口官軍役夫ノ提出	一〇五三	官軍進討	二八九	官軍駐屯	二四一
白河口官軍ノ輜重掌理	一〇五三	官軍進討	二八九	河井繼之助(長岡藩士)	二四一
越後出兵	一〇五三	官軍進討	二八九	永預	八七三
宇都宮出兵	一〇五三	官軍進討	二八九	川越	一〇一六
雀宮苦戰	一〇五三	官軍進討	二八九	中津藩ノ警守	一〇四三
下野屯集賊徒ノ誅夷	一〇五三	官軍進討	二八九	大洲藩ノ警守	一〇四三
封境嚴備	一〇五三	官軍進討	二八九	大洲藩ノ警守罷免	一〇五九
大總督府ヨリ糧餉ノ給與	一〇五三	官軍進討	二八九	飯肥藩ノ警守	一〇五九
三斗小屋附近賊兵ニ對スル戰備	一〇五三	官軍進討	二八九	古屋作左衛門ノ敗走	二八六
上小屋警守	一〇五三	官軍進討	二八九	川勝廣運(備後守)	二八六
三代警守	一〇五三	官軍進討	二八九	橫須賀製鐵所造營工事ノ停止	二七五
原警守	一〇五三	官軍進討	二八九	川上鎮石(武藏人)	二七五
唐津藩(小笠原長國參照)	一〇五三	官軍進討	二八九	流刑赦免	七六〇
京都市中巡邏罷免	一〇五三	官軍進討	二八九	川口村(武藏)	一三九〇
箱根撤兵	一〇五三	官軍進討	二八九	農民蜂起	一三九〇
林忠崇保管	一〇五三	官軍進討	二八九	川口村(奥羽)	一三九〇
新大橋警守	一〇五三	官軍進討	二八九	官軍退守	一三九〇
新大橋警守罷免	一〇五三	官軍進討	二八九		

官軍苦戰	二六六・二七五・二六八	使番就任	九三三	河内殿	二二六
官軍進討	一四八	西上	一〇三四	對馬出征拜命	一四七
川越	二六	河田景與(因幡藩士)	一〇四一	薩摩藩ノ軍事行動ニ關スル幕府ヘノ報告	一四七
筑前藩ノ警守	二六	大總督府下參謀補助就任	一〇四一	天主教徒捕縛	一四七
川越藩(松平康英參照)	二六	大總督府下參謀就任	一〇四一	外國領事ニ救援ノ要求	一四七
西大路藩ノ近江別邑假管	二六	江戸府判事就任	一〇四一	長崎出奔	一四七
賊徒平湯劫掠ノ具申	二六	小田原出陣	一〇四一	江戶歸還	一四七
平湯出兵	二六	大久保忠禮處分ノ申請	一〇四一	徳川慶喜ノ爲ニ哀訴	一四七
陸奥撤兵	二六	江戸凱旋	一〇四一	清國江南道臺ト我航客ノ路引照驗	一四七
東京出兵辭退	二六	相馬口赴援	一〇四一	關スル交渉	一四七
東山道官軍供帳傳遞ノ掌理	二六	奥羽戰狀ノ報告	一〇四一	川奈部佐五右衛門	一四七
東山道官軍餉傳遞ノ罷免	二六	東叡山警守	一〇四一	船橋窮民賑給及苗字帶刀ノ許可	一四七
軍功褒賞	二六	東山道總督府内參謀就任	一〇四一	川奈部佐兵衛	一四七
軍資献上	二六	東山道總督府内參謀罷免	一〇四一	船橋窮民賑給及苗字帶刀ノ許可	一四七
白河出兵	二六	宇都宮赴援	一〇四一	河野俊八	一四七
勢至堂警守	二六	宇都宮城攻撃	一〇四一	長岡郡司代格就任	一四七
三代警守	二六	壬生入城	一〇四一	川端文四郎(紀伊藩士)	一四七
原警守	二六	安塚攻撃	一〇四一	京都押送、禁錮	一四七
川崎	二六	平湯出陣	一〇四一	河原田村	一四七
安部信發ノ警守	二六	河田弘三(因幡藩士)	一〇四一	賊徒敗走	一四七
津藩ノ警守	二六	越後口總督府軍曹就任	一〇四一	河原町	一四七
津藩ノ警守罷免	二六	信濃鎮輯	一〇四一	賊徒敗走	一四七
大總督ノ到着	二六	河内	一〇四一	河原町	一四七
板倉勝尙家臣ノ到着	二六	秋元禮朝ノ家臣ニアルモノ役夫	一〇四一	河原町	一四七
穂波經度ノ車駕奉迎	二六	ヲ出サンコトヲ請フ	一〇四一	河原町	一四七
安藝藩兵ノ車駕奉迎	二六	土井利興一別邑ノ檢分	一〇四一	河原町	一四七
川崎關門	二六	永井尙服ニテ官軍供帳ノ事ニ服	一〇四一	河原町	一四七
廢止	二六		一〇四一	河原町	一四七
河田景福(因幡藩士)	二六		一〇四一	河原町	一四七



河鮮實文	一二七九・一七九	松平忠誠ノ一 出向	一四七三
錦旗奉行就任	七八・〇六八	徳川茂承ノ一 版圖録申	六四〇〇
御錦奉行罷免	一〇一六五	燈明臺築造ノ爲ニ英國技師ノ出張	八三九
大總督府參謀加勢就任	一〇四九五	生絲改所	五三三
西上	一〇四九五	設置	
川袋村	二四九	紀伊藩(徳川茂承參照)	
賊徒敗走		鷲尾隆聚使者ノ拘留	一五〇三
川船改會所		苦ヶ島砲臺警守	二二六
徳川家達ヨリ大總督ヘ一簿冊ノ呈	一〇二五六	近海出動舊幕府軍艦ノ搜索	二四〇三
出		汽船ノ兵庫港差遣	七五三
河邊川		禁門嚴守	二六四・五二〇
淺野茂勳ノ一 以西經理	二四四	東征應援拜命	二六三
池田茂政ノ一 以西經理	二六九	京師警守	三八・九四二
川邊村		京師警守罷免	三六五
賊徒敗走		一士ノ徳川氏扶持ノ計畫	五二七
賊徒來襲	三二五・三六四	賊徒潜匿ノ嫌疑	一〇四
川股	三三三	軍艦獻納	五〇四
阿波藩ノ警守	三三三	今出川警守	七三九
三春藩ノ警守	三三三	大宮御所警守	七四六
中村藩兵ノ赴援	三三三・三四五	桂御所警守	七四六
河俣關門	二五九	米國汽船乗組員ノ大坂送致	七四九
忍藩ノ警守	二五九	伏見口應援拜命	七五五
河村梅之助(長門藩士)	二七五	桑名出兵	九八二
奥羽總督府軍艦掛及肥前藩海軍監	二七五	沼津警守	九七八
督就任		沼津警守	九三〇
川村甚吉(吉田藩士)	一〇二二	富士川三島間ノ警守	九三三
使番就任		富士川漕運貨物ノ點檢	九三三
紀伊		江戸出兵	九四九
		江戸城内警守	一〇六四

キ

福島警守	三三三	力士隊ノ守護	二一〇五
白河口出兵	一〇五七	東山道總督府ニ下賜	二二〇四
勢至堂口出兵	三三三	館林藩ニ下賜	二四九
二本松出兵	三三三・三三六	秋元禮朝ニ下賜	二五三
阿部正靜等所有兵器ノ東京護送	三三三	松平忠誠ニ下賜	二五〇
議員	四六一	大音厚龍ニ下賜	二六一
議政官下局ノ設置	四六一	佐竹義堯ニ下賜	二四六
木内村	二六八	佐竹義堯ノ奉還	二四七
官軍苦戰	二六八	莊内征討諸軍ノ奉還	二四七
祇園社	六四二	津輕承昭ニ下賜	二四二
八坂神社ト改稱		菊章幕	
氣賀關門	九二八・九三六	禁門守兵ノ一 使用許可	一七四六
近藤用虎ノ警守	九二八	禁門守兵ノ一 使用禁止	二四〇
濱松藩ノ警守	九二八	東征諸軍ノ一 使用許可	一七四六
吉田藩ノ警守罷免	九二八	菊地氏	六九五
義親		肥後藩ノ一 祀典執行	
覺王院義親ヲ見ヨ		木古内(龜夷)	
飢饉	六七四	官軍力戰	四五四・四五三・四五〇
地方官ニ一 賑恤ノ朝命		官軍進討	四五五
桔梗野	四六四	木古内海	一四五七・四五三
賊徒敗走		賊艦出沒	一四五三
菊章	三二七・九四三	木古内口	一四五一
濫用禁止		備前藩ノ出兵	一四五一
菊章旗	一五九	官軍進討	一四五四・四五六
安藝藩ニ下賜	一五九	木更津(下總)	
土佐藩ニ下賜	一五九	舊幕府歩兵ノ逃避	四四九
備前藩ニ下賜	一五九	賊徒贖聚	九七五・一〇七三・一〇二一
禁門守兵ノ一 使用禁止	一七四・二四〇	官軍進討	一〇九七・一〇九七・一〇九六
東征諸軍ノ一 使用許可	一七四・二四〇		九七五・一〇九四
阿波藩ニ下賜	一〇六		

徳川氏歩兵管理	九五〇・一〇六〇
所管歩兵ニ俸金下賜	九六九
所管歩兵ノ進退	九八四
所管歩兵ノ官軍編入	一〇七三
歩兵保管ノ罷免	一〇二六・一〇六六
兵員錄上	九六四
金銀座警守	九六四
日比谷門警守	九六三
牛込門警守	九八二
牛込門警守罷免	一〇一八
喰違門警守	九八二
小石川門警守	九八二
小石川門警守罷免	一〇一八
鍛冶橋門警守	九八〇
鍛冶橋門警守罷免	一〇六三
數寄屋橋門警守	九八〇
數寄屋橋門警守罷免	一〇六三
幸橋門警守	九八〇
幸橋門警守罷免	一〇六三
新橋門警守	九八〇
宇都宮出兵	一〇二五
赤坂門警守	一〇二五
櫻田門警守	一〇二五
横濱警守	一〇二五
横濱警守ノ兵ノ怯情	一〇二五
横濱警守罷免	一〇二五
備前松山藩士保管	一〇二五
上野山内警守	一〇二五
上野山内警守罷免	一〇二五
大手門警守	一〇二五
和倉門警守	一〇二五
白坂警守	一〇二五
官軍撤去	一〇九七
平定	一〇九四
人民安撫	一〇九五
議事所	一〇四六
設置	
議事條規	
制定	
議事體裁取調御用掛	一六八四
秋月種樹ノ就任	八三三
大木喬任ノ就任	八三三
神田孟格ノ就任	八三三
鮫島尙信ノ就任	八三三
福岡孝弟ノ就任	八三三
森有禮ノ就任	八三三
議事體裁取調所	八三三
設置	
議事體裁取調總裁	八三三
山内豐信ノ就任	八三三
岸良直養(薩摩藩士)	八三三
岸良直養(薩摩藩士)	八三三
奥羽總督府監軍就任	三六九
奥羽總督府軍監就任	三六〇
越後口總督府ニ授兵ノ要求	三六〇
盛岡出陣	三六〇
生保内口進討	三六〇
青森口監軍就任	三六〇
岸和田藩(岡部長寛參照)	三六〇
大坂市中巡邏拜命	一七四三
大坂市中巡邏罷免	七三三
近海嚴守	七三三



畿内舊幕府領地管理	二二天	伊達宗城ノ就任	一六二・一四九・六二二・八五四	伊達宗城ノ議定就任	八五四
堺警守罷免	二四七	嘉言親王ノ就任	一四九三	池田章政ノ罷免	八五四
老臣岡部正路ノ處罰	六〇〇	德大將實則ノ就任	一五九三・四六八	長岡護美ノ罷免	八五四
和泉假管地ノ堺縣交付	六二六	博經親王ノ就任	一五六	鬼城山	三六〇
宜秋門		細川喜延ノ就任	一五六	秋田藩兵ノ力戰	三六〇
十津川郷士ノ警守	一六四	七科分督ノ制	一六六	盛岡藩兵ノ占據	三六二
十津川郷士ノ警守罷免	三四五	萬里小路博房ノ就任	二四六	木津川口	四二七
宇和島藩ノ警守	一四九	織仁親王ノ就任	二四三	筑後藩ノ警守罷免	四二七
宇和島藩ノ警守罷免	一七〇	近衛忠房ノ就任	二四三	中津藩ノ警守	四二七
錦旗樹立	一四九	鷹司輔照ノ就任	二四三・七三三	木瀬川	四二七
阿波藩ノ警守罷免	一七〇	鍋島茂實ノ就任	二四〇	沼津藩ノ警守	一〇一〇
阿波藩ノ警守罷免	一七〇	鍋島齊正ノ就任	二六七・四六八	喜助(横濱商人)	一〇六三
吉田藩ノ警守	三四五	龜井茲監ノ就任	二五三	糺罪	四六一
設置		白川資調ノ就任	二六五・二六八	設置	四六一
晃親王ノ就任	一三三	蜂須賀茂詔ノ就任	二七四	奏狀詔制審斷三條ノ設置及政記ノ	四六一
淺野茂勳ノ就任	一三三	毛利廣封ノ就任	二七四	公現親王(上京ノ告諭)	七六七
正親町三條實美ノ就任	一三三・四六八	行在所何候	三七二	編纂	一〇六
島津茂久ノ就任	一三三	蝦夷開拓ノ審議	三一九	議政官下局	四六一
純仁親王ノ就任	一三三・四九三	東久世通禧ノ就任	三六七・七四八・八五八	議長議員ノ設置	四六一
德川慶勝ノ就任	一三三・四六八	池田章政ノ就任	四二五・三二七	大木喬任ノ兼攝	五六〇
中山忠能ノ就任	一三三・四六八	官制改革	四六一	坂田秀ノ兼攝	五六〇
松平慶勝ノ就任	一三三・四六八	職制更定	八三五	秋月種樹ノ兼攝	五六〇
山内豐信ノ就任	一三三・六二二	久我通久ノ就任	七一・三五四・三六三	議政官上局	七三
參内出勤ノ制	一九四	大總督ニ東叡山勘定ノ褒詞傳達	一〇三九	議定參與史官ノ設置	四六一
外國告文ニ署名ノ朝議	一三四・一三三	郡上藩ノ歸順ニ關スル東山道總督	一一〇	議奏	四六一
長谷信篤ノ就任	一三〇	那ノ何	一一三	管掌事項ノ制定	一一一
岩倉具視ノ就任	一三九・四六八	議定候所	八四三	廢止	一一一
三條實美ノ就任	一三〇・四六八	毛利廣封ノ出仕	八四三		

葉室長順ノ罷免	一三三	北野村	三三三	二階堂主殿輔ノ處刑	一〇五五
柳原光愛ノ罷免	一三三	賊徒敗走	三三三	封境設備	一〇五五
議奏加勢		北野臨時祭	一〇三	白河出兵	一〇五五
交野時萬ノ罷免	一三三	舉行	一〇三	木戸孝允(長門藩士)	一〇五五
池尻胤房ノ罷免	一三三	氣多宮村	一〇三	徵召	一三六
倉橋奏聰ノ罷免	一三三	嘉彰親王ノ出陣	一〇三	上京遲延ノ申請	一五五
中院通富ノ罷免	一三三	賊徒屯隊	一〇三	總裁局顧問就任	一七三
錦織久隆ノ罷免	一三三	北目村	一〇三	大坂駐在	一七五
木曾山道	一〇六	賊徒進討	一〇三	參與就任	二四三
戸田光則ノ警守申請	一〇六	議長	一〇三	參與外國事務掛就任	二四三
木曾村		議政官下局ノ設置	一〇三	參與外國事務掛罷免	二四三
賊徒敗走	一〇六	吉川經幹(宮内省)	一〇三	長崎天主教徒處分	二四三
北蝦夷		老臣入京	一〇三	江戸差遣	六三五
唐太島ヲ見ヨ		老臣ノ參朝	一〇三	東幸供奉	七三五・八五四
北方(陸奥)		嗣子經健ノ行在何候	一〇三	城門司馬太(伊豫人)	七四九
賊徒占據	一三三・四一五	藩屏加列	一〇三	淡路廢帝神靈奉還ノ申請	七四九
北小路俊昌	一〇六	行在何候	一〇三	木梨恒準(長門藩士)	一四六・九二二
堂上加列	一〇六	歸國	一〇三	東海道總督府參謀就任	一四六・九二二
伊那知縣事就任	一〇六	杵築藩(松平親良參照)	一〇三	大津出陣	九二二
北島秀朝(水戸藩士)	一〇六	駿府城警守	一〇三	桑名征討	九二二
尾張藩勤王誘導ノ糾議	一〇六	甲府警守	一〇三	桑名入城	九二二
東山道總督府大監祭就任	一〇六	江戸出兵	一〇三	桑名征討褒賞	九二二
桶川鴻巢兇徒ノ鎮糾	一〇六	木藤彌太郎	一〇三	江戸進撃前隊ノ監督	九二二
東北賊定ノ奏請	一〇六	奥羽總督府監軍就任	一〇三	横濱港内警守ニ關スル外國公使ノ	九二二
北檜岡		清川口出陣	一〇三	報告	九二二
官軍扼守	一〇六	喜連川細氏	一〇三	横濱退去	九二二
島原藩ノ警守	一〇六	足利細氏ヲ見ヨ	一〇三	駿府歸還	九二二
長門藩ノ警守	一〇六	喜連川藩(下野)	一〇三	西上	九二二
矢島藩ノ警守	一〇六	喜連川藩(足利細氏參照)	一〇三		



江戸歸還	一〇二九三	伊達慶邦ニ下賜	一六四四	錦旗奉行加勢	一〇四九五
大總督府參謀補助就任	一〇三四四	阿波藩ノ守衛	一七〇七	萬里小路通房ノ就任	一〇五九八
奥羽追討總督府參謀就任	一〇三四三	宇和島藩ノ守衛罷免	一七〇七	吉村叙翰ノ就任	一〇五九八
平潟口出陣	一〇三四四	伊東長壽ノ守衛	二六六九	金銀貨	一〇五九八
仙臺追討總督府軍監就任	一〇六九八	加藤明實ノ守衛罷免	九二七九	金銀局	八四三
房總賊徒鎮撫ニ關スル森下景端ノ訓諭	一〇九二七	津和野藩ノ守衛	九二九五	古金銀ノ引上ケ	七四九
木下辰太郎(舊旗下士)	九六六三	熾仁親王ニ下賜	一〇九二九	キング、ヒリップ(號(米國商船)	
勤王誓書奉呈	九六六三	熾仁親王ノ奉還	一〇九二九	—水夫ノ邦人殺傷	
木下利恭(足守藩士)	九六六三	近畿地方	一〇九二九	金穀出納所	一六五一
入京延期ノ申請	一六九	神符降下	一四二	設置	一六五一
入京	一七三六	幕府ノ紙幣發行	一四二	三井三郎助等ノ獻金	一六五一
陸奥別邑所替ノ申請	七九七	諸藩ノ見兵ノ錄申	一四九・五八三・六三〇	鑄造停止	三七七
豐國社造警服役ノ申請	七九七	諸藩ノ關門守備兵ノ錄申	六三〇	沒收	三五七
木下俊胤(鎌次郎)	七九七	本願寺光澤ノ門徒募化	一七〇	新發田藩ノ警守罷免	九六五
入京延期ノ申請	一六九	諸藩陸軍兵ノ警守	四三七	小倉藩ノ警守	九六五
入京	一五五	—豪商ヘノ御用金	一七五・二〇三	小倉藩ノ警守罷免	九七九
歸國	一三三	—舊幕府領地ノ府縣隸屬	六二四	田安慶頼ノ警守罷免	九八四
豐國社造警服役ノ申請	七九七	諸藩ノ舊幕府領地ノ管理	二二六	報國隊ノ警守	一〇一三
官軍力戰	三六二	民心安撫	二二六	報國隊ノ警守罷免	一〇八四
錦旗	一四六	嚴備	四二二	龜山藩ノ警守罷免	一〇四九〇
鷲尾隆聚ニ下賜	一四六	仙石政固ノ警守	七四四	人吉藩ノ警守罷免	一〇四九〇
嘉彰親王ニ下賜	一四四・三五〇	會計官吏ノ巡視	五五三	筑後藩ノ警守罷免	一〇五七
嘉彰親王ノ奉還	一七五三	五條爲榮ノ就任	一四四・一九七	赤心隊ノ警守罷免	一〇八五
宜秋門ニ樹立	一四八五	四條隆調ノ就任	一四四・一九七	横須賀藩ノ警守	一〇八五
建春門ニ樹立	一四八五	壬生基修ノ就任	一五五四	紀伊藩ノ警守	九六四
建禮門ニ樹立	一四八五	河崎實文ノ就任	二二七・一九九		
		—河崎實文ノ罷免	二二七・一九九		
		穗波經度ノ就任	二二七・一九九		

銀座(江戸)	三七七	中川久昭ノ度支管理	七六二	大竹庫三郎ノ奉呈	九三〇七
鑄造停止	三五七	伊達宗城ノ守衛	一四六	田上寛藏ノ奉呈	九三〇七
沒收	九五四	松平慶永ノ守衛	一四六	土井利教ノ奉呈	九三〇七
新發田藩ノ警守	九六〇	長門藩守衛ノ褒賞	三三三	土井利與ノ奉呈	九四一
因幡藩ノ警守	一〇八九・二六四	諸藩陸軍兵ノ守衛	九三七	石川總範ノ奉呈	九四一
飯田藩ノ警守	一〇三七	守衛嚴整	七六一	石川正敬ノ奉呈	九四一
飯田藩ノ警守罷免	一〇三四	參與局ノ移轉	一五四九	米倉昌言ノ奉呈	九三六
長尾藩ノ警守	一〇五四	—文字使用ノ禁止	三二七・九四三	秋月種事ノ奉呈	九三七
長尾藩ノ警守罷免	一〇六二・一〇六四	勤王證書	一四九	安藤信勇ノ奉呈	九三六
岡崎藩ノ警守	一〇六四	本願寺光勝ノ奉呈	一四九	大久保忠禮ノ奉呈	九三六
岡崎藩ノ警守罷免	一〇六四	本願寺光益ノ奉呈	一四九	大久保教義ノ奉呈	九三六
赤心隊ノ警守罷免	一〇六九〇	櫻井忠興ノ奉呈	一五七	大久保兵庫等ノ奉呈	九三六
報國隊ノ警守罷免	一〇六九〇	松平慶倫ノ奉呈	一六六	戸田忠友ノ奉呈	九三六
紀伊藩ノ警守	九六九四	松平乘秋ノ奉呈	一七二・一九四	戸田主水ノ奉呈	九三六
銀札(紙幣參照)	八六七七	松平定安ノ奉呈	一七八〇	片桐貞明ノ奉呈	九三六
因幡藩ノ錢札ニ改ム	八六七七	松平正孝等ノ奉呈	九三六	一色直記ノ奉呈	九三六
銀山口	三五〇九	松平筑後守ノ奉呈	九三六	大河内伊勢守ノ奉呈	九三六
官軍進討	三五〇九	本莊宗武ノ奉呈	一七〇五	大河内孫三郎ノ奉呈	九三六
官軍扼守	三五〇九	酒井忠美ノ奉呈	一七〇五	近藤登之助ノ奉呈	九三六
錦章	九七〇八	酒井忠美ノ奉呈	一七〇五	松井康英ノ奉呈	九三六
—紛失者ノ處分	九七〇八	小俣景徳ノ奉呈	九三六	安部信發ノ奉呈	九三六
諸藩兵ノ紛失ニ關スル大總督ノ訓諭	九七〇八	丹羽氏中ノ奉呈	二五七・一〇八二	本多忠民ノ奉呈	九三六
禁中	九七〇八	鈴木重嶺ノ奉呈	四六四	本多忠直ノ奉呈	九三六
守兵撤去	一七三	太田資美ノ奉呈	四六四	本多忠直ノ奉呈	九三六
徳川慶喜ノ守衛申請	一四六	西尾忠篤ノ奉呈	九二七	堀直意等ノ奉呈	九三六
徳川慶喜ノ度支献上	一四六	田沼意尊ノ奉呈	九二七	京極高陳ノ奉呈	九三六
徳川慶勝ノ守衛	一四六	榊原照求ノ奉呈	九二七	朽木綱美ノ奉呈	九三六
度支ノ缺乏	一四六	水野忠敬ノ奉呈	九二七	五井忠庸等ノ奉呈	九三六
戸田忠至ノ度支管理	一四六	水野忠弘ノ奉呈	九二七	杉浦正尹ノ奉呈	九三六
		水野式部ノ奉呈	九二七	大給近説ノ奉呈	九三六



稻葉正邦ノ奉呈	九三八	坪内嘉平等ノ奉呈	二二五	木村貞通 <small>(肥後藩士)</small>	一六九
稻葉正善ノ奉呈	九七〇	禁門 <small>(各門參照)</small>		參與就任	一六九
堀田正倫ノ奉呈	九三五	王政復古ニヨリ薩土藝越宇五藩ノ	一三四・三三	刑法事務掛就任	一六九
堀田廣生等ノ奉呈	九三三	嚴守	一三三	刑法事務局判事就任	二四三
井上正直ノ奉呈	九四〇	會桑藩ノ警守罷免	一三〇	軍監就任	三二四
井上志摩守ノ奉呈	九七八	長門藩ノ警守	一三〇	軍監罷免	三七三
井上正巳ノ奉呈	九三六	長門藩ノ警守罷免	一三〇	富高縣知事就任	四七五
宗義達ノ奉呈	九三五	出入嚴禁	一三〇	木村重任 <small>(筑後藩士)</small>	五二六・〇二五
鍋島直彬ノ奉呈	九三六	出入制限	一四六	江戶府判事就任	九五七
久永章正ノ奉呈	九三六	譏察嚴重	一四六・七五五	大總督府參謀補助就任	二六七
一橋茂榮ノ奉呈	九三六	解嚴	一三三	肝煎村	
日野資訓等ノ奉呈	九三六	解嚴布告	一八一	官軍力戰	
松村長爲等ノ奉呈	九三六	警守ハ舊ニ仍ル	一三三	休假日	
土屋寅直父子ノ奉呈	九四二	宇和島藩ノ警守	一四六	制定	一六八
青山幸宜ノ奉呈	九四二	高取藩ノ警守	一四六	九州鎮撫總督 <small>(澤宜嘉參照)</small>	一七三
原田熊太郎ノ奉呈	九四六	高鍋藩ノ警守	一四六	澤宜嘉ノ就任	
久世廣文ノ奉呈	九四六	本願寺光勝ノ警守	一四三	牛車	
菅谷主税介ノ奉呈	九四六	因幡藩ノ警守	一四三	織仁親王ノ辭退	一六三
津輕承昭ノ奉呈	九五〇	池田慶徳ノ警守申請	一五五	宮門	
百瀬章藏ノ奉呈	九六二	薩摩以下諸藩兵ノ警守	二四七	禁門ヲ見ヨ	
吉田信平ノ奉呈	九六二	大垣、小濱、高松、鳥羽、延岡、松山、		糾問方頭取	
馬場大助等ノ奉呈	九六三	宮津七藩兵ノ出入禁止	一四八	奧村連三郎ノ就任	一〇四七
加藤彌次郎等ノ奉呈	九七三	警守兵ノ菊章旗幕使用許可	一四八	佐和糾ノ就任	一〇三三
保科正益ノ奉呈	九七三	警守兵ノ菊章旗幕使用停止	二四〇	三田昇馬ノ就任	一〇三三
米津政敏ノ奉呈	九八〇	三等官以上ノ内乘馬ノ許可	四七五	糾問局	一〇四七
織田主水ノ奉呈	九八〇	警衛規則更定	七五五	大總督府ノ設置	一〇六三
稻垣太清ノ奉呈	九八二	木村官次郎 <small>(肥田ノ郷士)</small>		斥候隊ノ警守	一〇七二
大草三吉ノ奉呈	一〇八二	近江地圖献上并北陸官軍嚮導	二七五	斥候隊ノ警守罷免	一〇七二
大島鐵太郎ノ奉呈	一〇八二				
岡田豊後守ノ奉呈	一〇八二				

江戸岡崎藩邸ニ移轉	一〇六七	京極高典 <small>(多度津藩主)</small>	一七九	肥前藩ノ警守事宜稟問	一三四・七四九
土浦藩ノ警守	一〇七二	入京延期ノ申請	一四〇	松平定安ノ警守	一七九
行幸奉行	二二六	入京	一五三	松平定安ノ警守事宜稟問	一七九
坊城俊政ノ就任	二二六	軍功褒賞	一五三	平戸藩出兵ノ延期	四六三
京極街 <small>(京都)</small>	三〇三	歸國	三九	諸藩駐在兵ノ解散	六三三
加賀藩ノ以西警守罷免	三〇三	京極高陳 <small>(峯山藩主)</small>	三一九	加賀藩ノ警守	二四七・三四五
鳥原藩ノ以西警守	三〇三	入京	三一九	阿波藩ノ警守	二六六・三四五
横須賀藩ノ以西警守	三〇三	赦免	三一九	紀伊藩ノ警守	三四五
京極朗徹 <small>(佐渡藩主)</small>	三〇三	家督相續	三一九	紀伊藩ノ警守罷免	三四五
入京延期ノ申請	一七三	歸國	六六七	盛岡藩ノ警守	五二七
入京	一七三	勤王證書奉呈	九二七	盛岡藩ノ警守罷免	五二七
歸國	三二四	京極高徳久之助	三三四	薩摩藩ノ警守	七四九
勤王誓約	九六三	入京	三三四	長門藩ノ警守	七四九
京極高厚 <small>(肥前藩主)</small>	一七九	龍王院堯忍ヲ見ヨ	六四七	德川慶喜ノ退去	一六六
入京延期ノ申請	一七九	行人方 <small>(高野山)</small>	八四三	松平容保ノ退去	一六六
朝召	二二〇	學侶方トノ爭論	六四七	松平定敬ノ退去	一六六
入京	一六七	稱號廢止	八四三	久松定昭ノ退去	一六六
生野出兵	二四八	行政官	四六八	前田慶寧ノ退去	一六六
京極高福 <small>(舊高家)</small>	二四八	設置	七二四・八三三	永井直諒ノ防火管理	一六六
歸順	一六九	職掌更定	七二四・八三三	郡山藩ノ防火管理	一六六
京極高富 <small>(主膳正)</small>	一六九	奏狀詔制審斷三牒ノ設置	七二四・八三三	鳥羽伏見變ニヨリ戒嚴	一六六
老臣入京	一六九	舊鎮將府所屬員并各學校ノ管理	八三三	織仁親王ノ率兵出發	一六六
京師出兵	一六九	酒井忠祿謹愼赦免ニ關スル大總督	一〇一七	橋本實梁柳原前光ノ率兵出發	一六六
若年寄罷免	一六九	ヘノ傳達	一〇一七	西園寺公望ノ率兵出發	一六六
嗣子高陳ノ代觀	一六九	京瀨村	一四七	嘉彰親王ノ凱旋	一六六
入京、謝罪	一六九	官軍駐屯	一四七	高倉永祐四條隆平ノ出發	一六六
赦免	一六九	肥前藩ノ警守	一六六	岩倉具定倉具經ノ率兵出發	一六六
隱居	一六九			九條道孝澤爲量ノ率兵出發	一六六
				大原俊實ノ率兵出發	一六六
				久我通久ノ率兵出發	一六六



天文方ノ移轉	一七七	市中取締兵ノ附屬	二七三	土佐藩ノ罷免	一三八
青山幸宜ノ謹慎	二八二	京都府ト改稱	四七五	安藝藩ノ就任并罷免	一三八
堀田正倫ノ登居	四二六	京都裁判所總督	二四六	長門藩ノ就任	一三八
明治天皇親征ノ爲ニ御發聲	三三・九三五	萬里小路博房ノ就任	四一九	大聖寺藩ノ就任	二四七
明治天皇東幸ノ爲ニ御發聲	八五四	京都裁判所副總督	四一九	大聖寺藩ノ罷免	五六五
明治天皇ノ凱旋還幸	四二七	戶田忠至ノ就任	四一九	富山藩ノ就任	二四七
宿驛役所ノ設置	三三六	京都市中巡邏	一八一	足守藩ノ就任	四四九
市中發砲禁止	三七五	新設	一八一	橫須賀藩ノ罷免	四三三
近藤勇首級ノ護送	四二六	大洲藩ノ就任	一八一・四四五	麻田藩ノ就任	五四八
賊徒潛匿ノ噂	四七四	大洲藩ノ罷免	一三九	麻田藩ノ罷免	七五五
尾張藩ノ市政管理	六一四	大洲藩ノ區域	一四三・二四六・七五五	丹南藩ノ就任	七五五
篠山藩ノ市政管理	六一四	園部藩ノ就任	一八一	丹南藩ノ罷免	七五五
膳所藩ノ市政管理	六三四	園部藩ノ區域	一八一	唐津藩ノ就任	七五五
久松勝成ノ藩邸ノ還付	七四四	高取藩ノ就任	一八一・二三四	長島藩ノ罷免	七五五
假傳馬町ノ設置	八三七	高取藩ノ區域	一五三・三六〇	京都市中取締	一六五
望火櫓ノ警報ニ關スル諸藩邸ノ指令	八四八	津和野藩ノ就任	一八一	新設	一八一
林通顯ノ入京	九六七	津和野藩ノ區域	一八一	青山忠敏ノ就任	一八一
藤川忠敏ノ入京	二四一	水口藩ノ就任	一八一	青山忠敏ノ罷免	一八一
親兵衛兵ノ凱旋	四三三	水口藩ノ區域	一八一	本多康稷ノ就任	一八一
松前隆廣ノ歸國	四四六	平戶藩ノ罷免	一五三	本多康稷ノ罷免	一八一
行徳(下總)	九七五	平戶藩ノ就任	一八一・四四五	松平信正ノ就任	一八一
官軍扼守	九七六・〇九七	平戶藩ノ區域	一八一	松平信正ノ罷免	一八一
長門藩ノ出兵	九七六・〇九六	岡藩ノ就任	一四三・四九七	多度津藩ノ就任	二六六
薩摩藩ノ出兵	九七六・〇九六	岡藩ノ罷免	一三七	高須藩ノ就任	二六六
筑前藩ノ撤兵	九七六・〇九六	加賀藩ノ就任	一三七	高須藩ノ罷免	二六六
筑前藩兵ノ進撃	九七六・〇九六	加賀藩ノ罷免	一三七	京都裁判所ノ管理	二七三
賊徒囂聚	一〇七九	薩摩藩ノ就任	一三七・一三八	京都市中取締所	一六五
京都裁判所	二四六	土佐藩ノ就任	一三七・一三八	賊徒兵仗器具ノ沒收	一六五

廢止	一三三	徵章制定	二三四〇	木呂子元考(普兵衛)	一〇三三
舊ノ粟米ヲ薩長ニ藩ニ賜フ	一四九	清川	二二二	徵士軍監補就任	一〇三三
京都所司代	一七七	官軍苦戰	二二二	越後出陣	一〇三三
所司代ヲ見ヨ	一七七	酒井忠篤ノ嚴備	二二二	岩城平口出陣	一〇三三
京都天文方	一七七	官軍進討	二二二		
設置	一七七	木津彌太郎ノ出陣	二二二		
京都府	一七七	上野他吉郎ノ出陣	二二二		
設置	一七七	平井正淳ノ出陣	二二二		
捕亡司設置	一七七	久保田佐八郎ノ出陣	二二二		
府下高年者ヘノ下賜金	一七七	内田謙三郎ノ出陣	二二二		
吏員ノ會計官事務兼掌	一七七	局外中立	二二二		
職制頒布	一七七	各國公使ノ布告	二二二		
京都府知事	一七七	各國公使ト解除ノ交渉	二二二		
長谷信篤ノ就任	一七七	局掌	二二二		
京都府廳	一七七	七局ニ設置	二二二		
會計官ノ移轉	一七七	清崎藩(松平直壽)	二二二		
京都町奉行	一七七	會津征討拜命	二二二		
神符降下ニ關スル取締	一七七	清洲(尾張)	二二二		
防火ニ關スル本多康稷、青山忠敏、	一七七	德川慶勝ノ駐在	二二二		
松平信正等ノ上申	一七七	君澤郡(伊豆)	二二二		
京都東町奉行所	一七七	大久保教義ノ出兵	二二二		
松平信正、本多康稷、青山忠敏ノ舊	一七七	切支丹宗	二二二		
交付ノ申請	一七七	天主教ヲ見ヨ	二二二		
京橋(伏見)	一七七	切通(美濃)	二二二		
賊徒敗走	一七七	尾張藩ノ管理	二二二		
清岡公張(土佐藩士)	一七七	桐野利秋	二二二		
大總督府軍監補助就任	一七七	中村利秋ヲ見ヨ	二二二		
江戸府判事就任	一七七	桐生町	二二二		
御艦旗	一七七	出羽松山藩兵ノ謹慎	二二二		



入京	七三三	草津運貨重量検査所	二二九	岩沼出發	二二七・二四九
歸國	一五七・八一六	膳所藩ノ管理	三三九	莊内征討	三六九・六五四・一〇九七
神崎川警守	一六五四	草水村	三七四	莊内征討兵檢閱	二五〇
獻米	二六八	賊徒敗走	一〇六	會津征討停止	四六〇
獻金	七一七	九條尙忠	一〇三	盛岡到著	五八六・一〇三九・二四六
公卿	一四六	謹愼赦免	一〇三	盛岡出發	二四〇
涅齒點眉ノ自由	二八二	復劾	一〇三	久保田出陣	六四三・三四・二四九・二四八
祠官ノ—ニ因リテ執奏シ且其配下	二八二	九條道孝	一一四	久保田出發	八三三・三七九
タルコトヲ停ム	三三三	王政復古、綱紀確立、太政官以下再	一一四	久保田歸還	三六〇
行在何候	三三三	興ノ建議	一一四	賊中孤立	六七五
親征趣旨ノ申諭	三六九	左大臣兼左近衛大將左馬寮御監就	一一四	箱館總督ノ選任	七五八・三七九
天主教徒處分ニ關スル諮詢	三七三	任	一一四	賊徒勘定督促ノ朝命	七二・二五五・三六三
徳川慶喜ノ處分繼嗣秩祿ニ關スル	四八	毛利敬親赦宥ノ計畫	一一三	津輕藩ニ盛岡征討ノ指令	七二
諮詢	四八	國事掛罷免	一一三	罹災邑民ノ賑恤	八一五〇
軍神祭祀參列	四二六	朝參停止	一一三	横手出陣	二二七・八三三・二七九
略服九門内參入ノ許可	四三〇	朝參許可	一一三	横手出發	八四三・二八五
行幸供奉、留守警衛ノ慰勞、褒賞	四三〇	第一太政官代ノ假設	一一三	軍功賞慰	八六六・二五五
衛兵私雇ノ禁止	四三〇	第二太政官代ノ設置	一一三	大關増勤ノ附屬	九二八
小御所出仕	四三〇	第一議事開設	一一三	秋田映季ノ附屬	九三五
家眷携帶赴任ノ許可	四三〇	第二皇學所ノ設置	一一三	大總督ニ援兵ノ要求	九三八
東幸供奉ニ關スル戒諭	七四五	奥羽鎮撫總督就任	八六	軍防局ニ援兵ノ要求	二五八
東幸供奉	八五九	京都出發	二五七・二九三	越後口總督ニ援兵ノ要求	二四六
東幸中毎旬一次祇候	八五九	生駒親敬ノ附屬	二六四・三九七	東名濱出陣	二〇八
東幸ニ關スル家臣ノ戒飭	八七四	松島到著	二七八	鹽釜出陣	二〇八
供御地	一一五	伊達慶邦ノ迎謁	三六・三〇四	松山藩ノ閱兵	二〇九
管轄度支及訴訟措置ニ關スル幕府	一一五	仙台到著	三六・三〇五	田村邦榮ノ何候	二〇九
草津	一一五	仙台出發	三六・三〇五	相馬季胤ノ何候	二〇九
徳川慶勝ノ舊幕府屬吏—押送	一五三	仙台拘留	三六・三〇五	白河口出陣	二〇九
保科正益ノ到著	三二五・九六六	岩沼到著	三五三・二五九・二八二	白河城轉陣ノ準備	二〇九
橋本實梁柳原前光ノ到著	九一三			白河出征ノ豫告	二〇九

増田到著	三二五	羅民賑恤	三三三	久世廣業(關宿藩主)	八七三
大河原到著	三二五・三七七	楠田英世(肥前藩士)	三三三	家督相續	七三
白石到著	三二五	越後口總督府副參謀就任	三三三	久世廣周(前關宿藩主)	二〇九
白石出發	三二五	越後口總督府副參謀罷免	三三三	幕府ノ處罰	二〇九
米澤藩ニ天童藩應援ノ指令	三二五	長岡出陣	三三三	久世廣文(關宿藩主)	二〇九
米澤藩ヲシテ澤爲量ヲ警守セシム	三二五	關原出陣	三三三	朝召辭退	二〇九
松平容保ノ降服	三二五	楠正成(楠正成參照)	三三三	老臣ノ入京	二〇九
前山長定ノ何候	三二五	徳川慶篤—造營ノ申請	三三三	入京運延ノ陳謝	二〇九
澤爲量、南部利剛ヲシテ—ヲ迎ヘシム	三二五	徳川徳成—造營ノ建議	三三三	彰義隊參加	二〇九
澤爲量ニ久保田出陣ノ指令ニ關シ	三二五	土佐藩—造營木材ノ献上	三三三	佐倉逃遁	二〇九
水澤到著	三二五	楠正成	三三三	—家臣ノ和泉別邑假管ノ申請	二〇九
花卷到著	三二五	徳川慶勝ノ—祭祀ノ建議	三三三	謝罪	二〇九
郡山到著	三二五	祠宇造營	三三三	削封、隱居	二〇九
奥羽事情ノ上申	三二五	祭祀	三三三	勤王證書奉呈	二〇九
角館到著	三二五	楠正行	三三三	歸國、封境守備	二〇九
荻野到著	三二五	淡川ニ配祀	三三三	支族斧三郎ノ江戸差遣	二〇九
豊島到著	三二五	池田章政ノ祭祀	三三三	關宿藩士—ノ爲ニ罪ヲ贖ハント	二〇九
伊達慶邦、秋田藩ヲシテ—ヲ逐ハシム	三二五	楠葉	三三三	請フ	二〇九
院内口官軍ノ—出征ノ申請	三二五	官軍進擊	三三三	久世廣道(下野守)	二〇九
矢橋病院慰問	三二五	葛原口	三三三	關宿鎮輯	二〇九
新屋ニ於ケル諸軍ノ慰勞	三二五	官軍力戰	三三三	久世通照	二〇九
漆山到著	三二五	葛原村	三三三	朝參停止	二〇九
漆山出發	三二五	官軍力戰	三三三	朝參許可	二〇九
東京凱歸	三二五	久世斧三郎(舊旗下士)	三三三	九段坂	二〇九
榑羅藩(永井直哉參照)	三二五	久世廣文ノ爲ニ哀訴	三三三	高松藩兵ノ巡警	二〇九
僧兵編成	三二五	江戸出府	三三三	朽木爲綱(近江守)	二〇九
激戰	三二五	久世廣業(舊旗下士)	三三三	入京	二〇九
	三二五	箱根討伐ノ糧餉丁馬辨給	三三三	入京印票下賜ノ申請	二〇九
	三二五		三三三	歸國	二〇九



久美濱出兵	一五〇	還俗許可	一三〇
本莊宗武ノ爲ニ哀訴	二三八	檢校宮ノ管理	一三〇
謹愼	二五三	參與ノ管理	一〇八
本莊綱鑑ヲ嗣トス	七三四	熊袋村	二二七
朽木綱美(舊旗下士)		賊徒敗走	
勤王證書奉呈	九七一	肥後藩ヲ見ヨ	
朽木之綱(主計助)		久美濱	一五四
山中關門警守(舊交代寄合)	七三三	朽木爲綱ノ出兵	
山中關門警守罷免	四七九	設置	
沓掛村		舊生野代官管内ノ支配	五六一
賊徒敗走	三三六	丹波舊幕府領地ノ管理	六七〇
工藤孝太郎	二〇九	伊王野坦ノ就任	五二
房總賊徒慰撫		軍監(各道總督府軍監參照)	
邦家親王(伏見宮)	四二九・九八五	烏丸光徳ノ就任	三二四
公現親王ニ上京ノ勸告	八五六・三五五	木村貞通ノ就任	三二四
公現親王ノ一邸謹愼		後藤元輝ノ就任	三七三
肥後藩ノ管理	一七四八	藤堂廣立ノ就任	三二四
國見峠		林友幸ノ就任	四四一
賊徒敗走	二二九	野田密通ノ就任	四四三
國見村		軍艦旗	四四四
官軍力戰	二六五	徽章制定	二四〇
久能山		軍艦御用掛	八五
榊原照求ノ警守罷免	九三〇	伊地知貞馨ノ就任	一〇七五
頸城郡(舊後)		增田明道ノ大總督府參謀試補就任	一〇七五
高田藩ノ管理	二七九	軍監補	
久保田		木呂子善兵衛ノ就任	一〇三三
秋田ヲ見ヨ			
久保田佐八郎			

軍行條規	二四八	小石川警守	二五〇
制定ノ頒布		因幡藩邸警守	二五五
郡司代	三三三	河田弘三ノ就任	四〇二
奥羽總督府ノ設置		鳥村左傳次ノ使番就任	四〇四
鳥丸光徳ノ就任	一四三・九一三	山縣通政ノ使番就任	四〇四
伊達宗城ノ就任	一四三・九一三	軍曹試補	
伊達宗城ノ辭表	一四六〇	小栗義宣ノ就任	四〇五
伊達宗城ノ罷免	一四九二	横田修業ノ就任	四〇五
東久世通禧ノ就任	一四三・九一三	月岡一郎ノ就任	四〇七
東久世通禧ノ罷免	一六九	軍中規約	
四條隆謨ノ就任	一五五	北陸道總督府ノ制定	二六〇
軍事參謀試補	四四六	東山道總督府ノ制定	二七六
野田密通ノ就任	四四四	軍馬	
野田密通ノ罷免	四四四	徳川家達ノ一献上ノ申請	一〇八五
軍事總裁		軍防事務局	
嘉彰親王ノ就任	一四三・九一三	設置	一七九
嘉彰親王ノ征討大將軍就任	一四三・九一七	大總督府ヨリ時宜條陳	三七四・九三六
紫宸殿ニ一祭祀	三一九・二七六	大總督府ニ官軍標章并印鑑ノ交付	九三〇
郡上藩(青山幸寬參照)		大總督府ニ親征啓行時期ノ報告	九三〇
附近舊幕府領士民向背ノ按檢	一六六	大總督府ヨリ餉餉費額增加ノ報告	九三〇
江戶駐在ノ兵ノ脱走	六三三・〇三五	大總督府ヨリ江戶進軍期日ノ報告	九三〇
江戶出兵	一〇六六	大總督府ヨリ徳川慶喜謝罪ノ報告	九三〇
江戶撤兵	一〇六六	大總督府ニ從軍兵士餉餉費額申定	九三〇
飛驒管理申請	一〇六六	報告	九三〇
飛驒管理罷免	一〇六六	大總督府ニ高倉永祐越後出陣ノ報告	九三〇
飛驒管理罷免	一〇六六	大總督府ヨリ林忠崇處分ノ申請	九三〇
高松實村ノ京師護送	二〇三	大總督府ヨリ江戶府下形勢ノ上陳	二六二
牛込門警守	二〇三		















德川慶喜ノ拜謁	二三五	令旨	八二八・九二四三・九二四七・〇八七・二四八七	對策ノ制	六九
德川慶喜ノ救解ニ關スル松平定敬ノ請願	二四〇	謝罪	八二八・九二四三・九二四七・〇八七・二四八七	一ヲ以テ諸藩公務人ニ充ツ	六九
德川慶喜ノ爲ニ哀訴	二七九・九三三・九三六	江戸進軍中止ノ申請	九二四七・九二九九・二六三	服制ノ策問	六一
謝罪救解ニ關スル德川慶喜ノ依頼	九二八	東京護送	八四四・〇九五・三五七	兵制ノ策問	六一
上京ニ關スル伏見宮ノ内諭	四二九・九八五	謹慎	八五三・三五五	郷士	一四八
上京ニ關スル大總督ノ内諭	五七五	駿府召命	九二五七	吉田延之助ノ取立	一四八
上京ニ關スル議政官ノ内諭	一〇六〇	駿府何候	九二六	肥後藩兵ノ駐屯	一〇二六
江戸出發西上	九三六・九三五・九二六	北陸出征諸軍ノ稿券	九二六・九二九四	第一大隊ノ巡警	一〇八七
西上停止ノ朝命	九三九	津藩警守	二八六	荒神口橋	一五〇
西上途中ヨリ東歸	九三六	京師護送	三五五	制札及農商布告揭示	一五〇
東叡山立退ニ關スル大總督ノ内諭	二二三	公債	六二七	庚申塚	二七四
東叡山脱走	五四六・一〇一四・二二	舊幕府賦課ノ御用金ヲトス	〇三〇	大森達太郎ノ出陣	二七四
東叡山脱走後大總督ノ搜索	二四〇	香坂峠	二二三	官軍ノ駐屯	二七六
自證院逃避	二五一	内藤正誠ノ警守申請	二二三	甲州口	二四六
會津流寓	五四六・一〇一四	鑛山技師	六五〇	因幡藩ノ出兵	二四六
會津退去	六五七	佛國人ノ招聘	八九	土佐藩ノ出兵	二四六
一橋茂榮等ノ爲ニ恩宥ノ申請	六四〇	鑛山司	八九	東山道總督ノ諸軍褒賞	二四六
白石流寓	六五七	毛倉野鑛山ノ開鑛	八九	板垣正形ノ出陣	二四六
白石退去	七四一	興山寺(高野山)	三三四	新井主殿ノ出陣	二四六
仙臺流寓	六五七・七四一・三四七	寺務總職拜命	六四九	西尾爲忠ノ出陣	二四六
仙臺退去	八二八	寺務總職罷免ニ關スル學侶方ノ申請	八四三	興正寺	七六八
東北諸藩ノ軍事總督推戴ト討薩ノ	八四五	寺務總職復舊ノ申請	八四三	興正寺攝信	一四八・九二〇・九二〇
		貢士	二五二	大津警守	九二四
		諸藩ノ制	四六三	大津警守罷免	四二九
		德川慶喜ノ處分及其繼嗣秩祿ノ策問	四六三	東海道從軍	一四八・九二〇
		平戶藩ノ差出延期	四六三	謝罪ニ關スル松平頼聰ノ依頼	一六〇

洪水	六二五	大音厚龍ノ諸藩ノ朝旨傳達	二六四	土佐藩ヲ見	四六三
大垣	六二七	土民蜂起	一〇四二・二二五・二六三	長門藩ニ交附	九六七
毛利元純封内ノ	五五三	上野軍監	一〇三	一交收ニ關スル横濱裁判所ノ稟議	九六七
諸國	五五三	大音厚龍ノ就任	一〇三	青森出征	四四七
上野	五五三	柴山典ノ就任	一〇三	青森入港	四四七
兎徒囃聚	一五六・〇八・二三六	柴山典ノ罷免	一〇四七	品川出帆	四四八
尾張藩ノ諸藩向背質問	一七二・二八三	上野巡察使	二六五	品川歸港	四四八
諸藩ノ東征中止ノ申請	二八九	大音厚龍ノ就任	二六五	宮古入港	四四九
諸藩ノ會津撤兵	八三九・〇八九	豐水貫一郎ノ就任	二六五	清水谷公考ノ搭乘	四四九
諸藩ノ封内嚴備	八三九	原保太郎ノ就任	二六五	箱館砲擊	四四五
諸藩ノ兎徒緝捕	七四五・二二六・二三六	原保太郎ノ罷免	二六六	箱館偵察	四四五
諸藩ノ金穀彈藥備峙	二二六	上野鎮撫使	二六六	箱館出帆	四七七
諸藩ノ奸商緝捕	二七〇	鍋島直大ノ就任	二六六	香部攻撃	四七七
松平直克ノ鎮輯	四三三・〇八五	鍋島直大ノ罷免	二六六	厚澤龍川渡口攻撃	四四四
松平直克ノ諸藩政令傳達	一〇五二	上野	六七八	三厩出向	四四四
酒井忠美ノ別邑收公	八四四	諸關門廢止	一〇六三	三厩歸港	四四四
館林藩ノ治水管理	九七六・〇四六	鯉淵四郎ノ出向	一〇六四	辨天崎攻撃	四四五
安中藩ノ治水管理	二六〇	皇太后	二八六	鄉戸	一三〇
伊勢崎藩ノ治水管理	二六〇	准后藤原氏ノ尊稱	二八六	官軍力戰	一三〇
小幡藩ノ治水管理	二六〇	天機奉伺	三二五	弘道館(永戸)	八二七・一〇八〇
高崎藩ノ治水管理	二六〇	皇太神宮ヲ見ヨ	三二五	賊徒占領	八二七・一〇八〇
七日市藩ノ治水管理	二六〇	伊勢神宮ヲ見ヨ	三二五	江南道々臺(諸國)	八二七・一〇八〇
沼田藩ノ治水管理	二六〇	交代寄合	三二五	航客路引照驗ニ關スル長崎奉行ト	八二七・一〇八〇
前橋藩ノ治水管理	二六〇	名稱起源ノ上陳	三二五	鴻巣	三三三
吉井藩ノ治水管理	二六〇	歸順者ノ復讞	三二五	兎徒劫掠	三三三
大總督ノ服役諸軍軍功褒賞	一〇五三・一〇六六・二六三	廢止	三二五	忍藩ノ警守	三三三
大音厚龍柴山典ノ巡察	一〇三二	高知藩	三二五	平定	三三三
			三二五	岩倉具定岩倉具經ノ到着	二五七・二六九



岩倉具定岩倉具經ノ出發	二一六七	飯山藩ノ出兵	一〇七三	今治藩ノ出兵	一〇四六五
國府臺(國府出)	一〇九三	飯山藩ノ撤兵	一〇二四	今治藩ノ撤兵	一〇三三
賊徒敗走	一〇九三	岩村藩ノ出兵	一〇二四	鯉寡孤獨者ノ賑恤	一〇三三
柳原前光ノ出陣	一〇九四〇	岩村藩ノ撤兵	一〇二四	延岡藩ノ出兵	一〇四三九
甲府		尾張藩ノ出兵	一〇二四	大洲藩ノ出兵	一〇四六五
飯肥藩ノ警守罷免	六七五・一〇六九	尾張藩ノ撤兵	一〇二四	東山道總督府ノ出兵	一三〇
飯肥藩ノ出兵	一〇三四四	加納藩ノ出兵	一〇二四	板垣正形ノ出陣	一三〇
杵築藩ノ警守	七二五二	加納藩ノ撤兵	一〇二四	板垣正形ノ出發	一三〇
掛川藩ノ出兵	九二五一	高須藩ノ出兵	一〇二四	河田景與ノ出發	一三〇
中津藩ノ警守	九六四八	高須藩ノ撤兵	一〇二四	因幡藩兵ノ出發	一三〇
中津藩ノ出兵	九六四八	林通顯ノ出陣	一〇六	土佐藩兵ノ出發	一三〇
中津藩ノ警守	九六四八	高島藩ノ警守	一〇六	甲府勤番	一〇一
中津藩ノ撤兵	九六四八	高島藩ノ撤兵	一〇六	歸順	一〇一
松代藩ノ撤兵	九六四八	高遠藩ノ警守	一〇六	公事服務	一〇一
松代藩ノ出兵	九六四八	高遠藩ノ撤兵	一〇六	歸順者ニ口俸給與	一〇一
松代藩ノ警守	一〇一六	出征諸藩ノ駐在兵數ノ錄上	一〇一	新衛隊編成	一〇一
水野忠敬ノ出陣	一〇一六	平定	一〇一	賊徒加盟者ノ緝捕	一〇一
沼津藩ノ出兵	九八六六	小田原藩ノ出兵并停止	一〇一	沼津藩ノ保管	一〇一
沼津藩ノ警守	九八六六	駐在兵異變ノ際牙營集合ニ關ス	一〇一	甲府勤番支配	一〇一
柳原前光ノ出陣	九八六六	ル東海道副總督ノ達示	一〇一	佐藤駿河守ノ甲府城警守	九三三
肥後藩ノ警守	九八六六	安藝藩ノ出兵	一〇一	佐藤駿河守ノ謹慎	九三三
肥後藩ノ撤兵	九八六六	安藝藩ノ撤兵	一〇一	佐藤駿河守ノ謹慎救免	一〇七〇
兎徒來襲	九八六六	小島藩ノ出兵	一〇一	甲府城	
田宮篤輝ノ一事宜上陳	一〇八	濱松藩ノ撤兵	一〇一	大洲藩ノ警守	五二四
田宮篤輝ノ出陣	一〇八	濱松藩ノ警守	一〇一	彦根藩ノ警守	五二四
田宮篤輝ノ退去	一〇八	高富藩ノ出兵	一〇一	飯肥藩ノ警守	五二四
成瀬正肥ノ一鎮撫事宜上陳	一〇八	苗木藩ノ出兵	一〇一	延岡藩ノ警守	五二四
成瀬正肥ノ出陣	一〇八	箱根官軍ノ凱歸	一〇一	水野忠敬ノ警守	五二四
成瀬正肥ノ退去	一〇八	彦根藩ノ警守	一〇一	佐藤駿河守ノ警守	五二四
犬山藩ノ警守	一〇一四	彦根藩ノ撤兵	一〇一	佐藤駿河守ノ警守罷免	九二五
犬山藩ノ出兵	一〇一四				

若菜三男三郎ノ警守	九三五	中山誠一郎ノ甲府町奉行就任	二二六九	關爭事件ニ關スル各國公使ノ出兵	一五〇八
若菜三男三郎ノ警守罷免	九三五	中山誠一郎ノ甲府町奉行罷免	二〇〇六	關爭事件ニ關スル各國公使ノ撤兵	一五〇八
柳原前光ノ點檢	九三六	赤松成允ノ就任	七四九五	國公使トノ會見	一五四
中津藩ノ警守	一〇二九	甲府鎮撫使	五四四六	策條陳	一六〇四
高島藩ノ警守	一〇二九	甲府澁間社務ノ設置ノ建議	五四四六	關爭事件ニ關スル伊達宗城ト各國公使トノ交渉	一六五
甲斐鎮撫府ノ城内移轉	一〇三〇	四條隆謨ノ就任	五二四五	關爭事件ニ關スル伊達宗城ノ陳謝	二二〇八
安藝藩ノ警守罷免	一〇三三	甲府取締	五二四五	關爭事件ニ關スル日置忠尙ノ上申	一七七八
今治藩ノ警守	一〇三三	佐藤駿河守ノ罷免	九二五	關爭事件ニ關スル責任者ノ處分	一七九〇
講武場(江戸)	一〇四五	若菜三男三郎ノ罷免	九二五	大洲藩ノ警守	一八四
阿波藩ノ警守	一〇八	甲府町差配	九二五	筑後藩ノ警守	二六七
甲府城代		名倉信教ノ就任	一〇〇六	柳河藩ノ警守	二六七
大久保忠禮ノ罷免	一五九三	甲府町奉行	一〇〇六	柳河藩ノ警守罷免	二六七
榊原政敬ノ就任	一七三三	中山誠一郎ノ就任	二二八九	阿波藩ノ警守	四一七
鍋島直紀ノ就任	七一三	中山誠一郎ノ罷免	一〇〇六	阿波藩ノ警守罷免	四一七
鍋島直紀ノ罷免	七四三	若菜三男三郎ノ甲府城警守	九三三	津山藩ノ警守	四二七
橋本實梁ノ就任	九二四六	甲府勤番ノ保管	一〇一	神戶海	四二七
眞田幸民ノ就任	九二四六	興福寺	一〇一	幕藩兩艦隊ノ交戦	一四六
水野忠敬ノ就任	九二四六	獻米	一〇一	光明寺(山城)	一四六
水野忠敬ノ罷免	九二四六	僧侶ノ伊賀路賊情ノ偵察	一四六	毛利内匠等ノ滞在	一四六
甲府城番		僧侶ノ春日社領管理	一六五	公務人	一四六
松代藩兵ト彦根藩兵トノ交迭	一〇九七	僧侶ノ舊奈良奉行事務管理	一六五	諸藩ニ設置	六九
甲府城門		僧侶假管ノ事務ヲ大和鎮撫總督ニ交付	二二七	公議人ト改稱	七三四
飯肥藩ノ警守罷免	一〇五六	學僧ノ御服權護衛	二六三	孝明天皇	一三七
護衛隊ノ警守	一〇七八	神戶(神戸港)	二六三	小祥忌祭	一三七
松代藩ノ警守	一〇七八	備前藩兵ト外國人トノ鬭爭	二四九	孝明天皇	一三七
護衛隊ノ警守	一〇七八			孝明天皇	一三七
隆武隊ノ警守	一〇七八			孝明天皇	一三七
甲府代官				孝明天皇	一三七



後月輪東陵ヲ見ヨ	二八六〇	東久世通禧警守	一四九七
小梅村	二八六〇	旁近諸藩及衆庶ニ德川慶喜征討令ノ傳達	一五〇〇
兒徒嘯聚	二八六〇	平戸藩向背ノ稟請	一五六〇
小濱藩ノ警守	二八六〇	開嶺警守	一五六〇
公文書式	七二四	洞ヶ嶺警守	一五六〇
制定	七二四	白河越警守	一五六〇
高野山	一三九・一七・一三〇	白河越警守	一五六〇
鷲尾隆聚ノ出陣	一五五五	泉涌寺警守	一五六〇
鷲尾隆聚ノ撤兵	一五五五	泉涌寺警守	一五六〇
學侶方行人方ノ内訌	六四七九	石山基正警守	一五六〇
山内改革	八四三	愛宕通旭警守	一六九二
紅葉山門	一〇六四四	五辻安仲警守	一六九二
閉鎖	一〇六四四	植松雅言警守	一六九二
公用人	七三四	西洞院信愛警守	一六九二
諸藩—設置	七三四	西洞院信愛警守	一六九二
桑折	三二五	東園基愛警守	一六九二
伊達信夫郡廳ノ設置	三二五	畿内舊幕府領地ノ管理	一六九二
伊達慶邦ノ出陣	三二六	安治川口警守	一六九二
醍醐忠敬ノ出陣	三二六	安治川口警守	一六九二
福島藩ノ出陣	三二八	京師防火ノ掌理	一六九二
福島藩ノ撤兵	三二八	海津警守	一六九二
長門藩ノ出陣	三二八	駿府城警守	一六九二
官軍蓄米ノ缺亡	三二八	橋本關門警守	一六九二
桑折代官	三二八	汀戸出陣	一六九二
舊—黒田節兵衛ノ歸順	三二八	平潟口官軍ノ供帳掌理	一六九二
郡山	三二八	北陸道官軍ノ供帳措辦	一六九二
賊徒剽掠	三二八	平潟出陣	一六九二
醍醐忠敬ノ出陣	三二八	鴻臚館	一六九二
九條道孝ノ出陣	三二八	見親王ノ—復興ノ建議	一六九二
郡山藩(柳澤保中參照)	三二八		

銃器献上	二五〇八	參與就任	一四七
軍糧献上	二五五五	大和鎮撫總督就任	一六四・一七五
關宿應援	九五七	奈良駐在	一七五
白河口官軍ノ掌理	一〇三六・一六三	内國事務掛就任	一七五
東山道官軍ノ糧餉措辦	二五〇七	東北遊擊軍將就任	一七五
北陸道官軍ノ糧餉措辦	二八三六	議定就任	一七五
北陸道官軍ノ糧餉措辦	二八三六	京師率兵出陣	一七五
近傍驛遞事務總管	一〇三六・一〇六六	柏崎到著	一七五
近傍驛遞事務總管	一〇三六・一〇六六	柏崎到著	一七五
鍋掛出陣	一〇三六・一〇六六	新潟到著	一七五
蘆野出陣	一〇三六・一〇六六	新潟到著	一七五
蘆野出陣	一〇三六・一〇六六	箱館總督及參謀軍監ノ選任	一七五
蘆野撤兵	一〇三六・一〇六六	莊内到著	一七五
今市出陣	一〇三六・一〇六六	莊内出陣	一七五
高野出陣	一〇三六・一〇六六	日時政明ノ任用ニ關スル盛岡藩ノ指令	一七五
結城鎮撫	一〇三六・一〇六六	軍功褒賞	一七五
宇都宮官軍ニ援兵ノ要求	一〇三六・一〇六六	米澤出陣	一七五
宇都宮出陣	一〇三六・一〇六六	嘉彰親王ニ拜謁	一七五
古河附近賊徒ノ剿討	一〇三六・一〇六六	新發田出陣	一七五
總野地方賊徒ノ剿討	一〇三六・一〇六六	新發田出陣	一七五
中田關門警守	一〇三六・一〇六六	船越衛ニ秋田出陣ノ指令	一七五
栗橋關門警守	一〇三六・一〇六六	澤宜種ノ來訪軍議	一七五
房川渡口警守	一〇三六・一〇六六	村上出陣	一七五
三斗小屋附近賊徒ニ對スル兵備	一〇三六・一〇六六	福島出陣	一七五
久我通城兼廣	一〇三六・一〇六六	八島出陣	一七五
相川知縣事就任	一〇三六・一〇六六	東京凱旋	一七五
堂上加列	一〇三六・一〇六六	拜謁	一七五
久我通久	一〇三六・一〇六六	奧羽鎮撫總督就任	一七五
東久世通禧義絶赦免ノ申請	一〇三六・一〇六六		



秋田出兵	七五四・三四九	講筈ノ開催	八六三	小島彌兵衛(國籍審士)	八七六
莊内出兵	九七九・九八七・三六九	嘉彰親王ノ參内	三五〇	斬罪	
大坂市街巡邏罷免	七四九	越河	三四五	御朱印	
賜金	七五三	仙臺藩ノ警守申請	三七九	御判物ヲ見ヨ	
坂下門警守	九六五	古事記	七四四	高野出兵ニ關スル中村勘兵衛ト	一三〇五
坂下門警守罷免	九七九	古志郡(越後)	七四四	沒收	
金座警守	九六五	越後府隸屬	一四四	五條爲榮	一四八四
金座警守罷免	九七九	越後府	一四四	王政復古ニツキ朝召參内	一三二一
東名濱出兵	三三三	越後府	一四四	參與助役就任	一三三〇
仙臺出兵	三三三	越後府	一四四	參與就任	一四二四
奥羽越各地警守	三三三	越後府	一四四	加藤泰令ノ警守	一四二一
院内口出兵	三三三	越後府	一四四	錦旗奉行就任	一四四・九一七
軍功褒賞	三三三	越後府	一四四	中國四國征討總督府監軍就任	一五五四
清川口出兵	三三三	越後府	一四四	京師凱旋	一七五三
會津出兵	三三三	越後府	一四四	刑法事務局權輔就任	二四三四
越後出兵	三三三	越後府	一四四	兵學校奉行助役就任	六六一
下關口出兵	三三三	越後府	一四四	小代清八(肥前藩士)	一〇四六
津川口出兵	三三三	越後府	一四四	大總督府軍監就任并罷免	一〇六四・三〇六
護國寺(江戸番)	三三三	越後府	一四四	大總督府參謀補助就任	一〇六四
賊徒嘯聚	三三三	越後府	一四四	奥羽出陣	一〇六四
護國隊	三三三	越後府	一四四	白河城警守	一〇六四
編成	三三三	越後府	一四四	小塚原	一〇六四
甲斐鎮緝	三三三	越後府	一四四	高田藩兵ノ駐屯	一〇六四
上野原警守	三三三	越後府	一四四	小杉政之進	一〇六四
甲府城門ノ警守	三三三	越後府	一四四	江刺奉行就任	一〇六四
小御所	三三三	越後府	一四四	小杉山	一〇六四
會議	三三三	越後府	一四四	官軍退守	一〇六四
東幸扈蹕公卿諸侯ノ出仕	三三三	越後府	一四四		
講筈時日ノ制定	三三三	越後府	一四四		

小管縣	六六〇	小瀧口	二二三・三五三	外國事務局判事就任	三七二
桑山效ノ知事就任	六六〇	官軍進討	二二三・三五三	神戸開港事件ニ關スル具申	一六六五
小筒組	一〇六八	小瀧村	二五五・三五七	各國公使朝見事務管掌	二六六
道逃	一〇六八	官軍扼守	二五五・三五七	總裁局顧問就任	二四三三
小砂川	一〇六八	小種	二五五・三五七	軍監就任	三二一四
官軍占領	一〇六八	官軍力戰	二五五・三五七	大坂府事務管理	五三三
賊徒敗走	一〇六八	小玉	二五五・三五七	大坂府知事就任	六三〇五
官軍進討	一〇六八	官軍力戰	二五五・三五七	治河掛就任	八七三七
小砂川口	一〇六八	賊兵屯集	二五五・三五七	五島盛明(中大夫)	六五五
秋田藩ノ出兵	三三三・三五五	小繫村	二五五・三五七	采邑ノ宗家併合	一七〇四
肥前藩ノ出兵	三三三・三五五	官軍力戰	二五五・三五七	老臣ノ入京	六五五
筑前藩ノ出兵	三三三・三五五	小網木村	二五五・三五七	支族盛明ノ采地併合	一七〇四
仁賀保誠中ノ出兵	三三三・三五五	官軍進討	二五五・三五七	入京	六五五
仁賀保誠成ノ出兵	三三三・三五五	小面谷村	二五五・三五七	歸國申請	六五五
古關	三三三・三五五	賊徒敗走	二五五・三五七	琴陵宥常	六五五
高島藩ノ警守罷免	一〇三四	小出島	二五五・三五七	金刀羅宮社格及大宮司補任ノ申請	七五五
彦根藩ノ警守	一〇三四	官軍進討	二五五・三五七	渡島羽天皇	七五五
五節	二八九	賊徒敗走	二五五・三五七	後忠秋ノ神靈還京ノ建議	八三三
一奉賀ノ制	二八九	高遠藩ノ警守	二五五・三五七	金刀比羅宮	八三三
五泉	二八九	田野口藩ノ警守	二五五・三五七	社司琴陵宥常ノ社格及大宮司補任	七五五
堀直弘ノ謹慎	一四四	保田官軍ノ力戰	二五五・三五七	申請	七五五
水原官軍ノ進討	一四四	後藤元燁(土佐藩士)	二五五・三五七	コニエ(佛蘭西人)	六五四〇
保田官軍ノ進討	一四四	王政復古ニツキ朝召參内	二五五・三五七	鐵山技師ニ招聘	六五四〇
官軍來會	一四四	參與就任	二五五・三五七	近衛忠照	六五四〇
五代友厚(薩摩藩士)	一四四	上下議事所及諸制度制定ノ建議	二五五・三五七	大政復古ノ綱紀確立、太政官以下再	一一四
參與就任	一六九	外國事務局取調掛就任	二五五・三五七	興ノ建議	一一四
外國事務局掛就任	一六九	外國事務局掛就任	二五五・三五七	國事掛罷免	一一三
外國事務局判事就任	二四三	外國事務局掛就任	二五五・三五七	朝參停止	一一三



朝參許可	一五九六	胸峯	三三九三	大坂府事務管理	五六三
近衛忠房	一五九六	伊達宗教ノ出陣	三三九三	東幸供奉拜命	七五五
大政復古、綱紀確立、太政官以下再興ノ建議	一一二四	官軍ノ攻撃準備	三三九三	東幸先發	八五五
左大臣辭職	一一六三・一一七三	官軍ノ警備	三三九三	小松藩(二柳頼朝參照)	
毛利敬親赦宥ノ計畫	一一九・一一九七	官軍力戰	三三九三	越後出兵	三三六九
國事掛罷免、朝參停止	一一三三	賊徒潰走	三三九三	兵ノ京都出發	三三六九
神祇事務總督就任	一七九	徵兵隊ノ警守	三三九三	關原出兵	三三六六
神祇官知事就任	七七三	薩摩藩ノ出兵	三三九三	小松村	三三六六
議定兼刑法事務局督就任	二四四	巨摩郡(重斐)	三三九三	官軍苦戰	一四三三
小林隆麟(安藤藩士)	二七五	水災罹民ノ賑恤	一〇三六	賊徒敗走	一四三三
北陸道總督府參謀就任	二七五	高麗郡(武藏)	一一八	權現山	一四三三
福井出陣	二七五	兎徒潰滅	一一八	賊徒敗走	一四三三
佐渡鎮撫使參謀就任	二八五	小俣景徳伊勢守	二二七	金剛王院	一四三三
佐渡鎮撫使參謀罷免	二七九	誓書奉呈	二二七	箱根權現社領免役ノ申請	一〇三〇
越後出陣	二八六	小保村	二二七	稱號復舊及高野一山寺務總職拜命	八四三
柏崎出陣	二八六	賊徒逆襲	一四〇三	權田村(上野)	
小林仙之助(舊旗下士)	二四	官軍苦戰	一四〇三	小栗忠順ノ追捕	二五九
越前采邑ノ上知	二七五	高倉永祐四條隆平ノ到着	二七六	近藤登之助(舊旗下士)	二五九
吳服橋	二七五	高倉永祐四條隆平ノ出發	二七五	勤王證書奉呈	九三六
安藤藩ノ警守罷免	一〇四五	小松清康(薩摩藩士)	二七五	大總督府ノ餽餉傳遞指辨	九三六
紀伊藩ノ警守	一〇四五	朝召	一三四	勤王證書奉呈	一〇八三
小堀權十郎(舊旗下士)	九六三	總裁局顧問就任	一七九	勤王證書奉呈	九三六
勤王證書奉呈	九六三	外國事務掛就任	二四三	勤王證書奉呈	九三六
小堀主殿	一〇六四	外國事務局判事就任	二四三	勤王證書奉呈	九三六
田安慶頼ノ保管	一〇六四	外國官副知事就任	七四二	勤王證書奉呈	九三六
駒井忠仲(政五郎)	一〇四三	參與就任	四六八	勤王證書奉呈	九三六
青森口監軍就任	一〇四三	江戶下向	五二七	勤王證書奉呈	九三六
戦死	一〇四三			勤王證書奉呈	九三六

捕縛	九五七・二四三五	高倉永祐四條隆平ノ到着	二八四	西園寺公望	
斬罪	四二六・二四三五	高倉永祐四條隆平ノ出發	二八七	王政復古ニツキ朝召參内	一三三
近藤用虎(舊幕府交代寄合)	九一六	小諸藩(牧野康濟參照)	二二六	參與就任	一三三〇
賊徒追討拜命	九一六	下諏訪高崎間供帳傳遞管理	二二六	丹波口官軍指揮	一四三・九一五
氣賀關門ノ警守	九一六	相良武振餘黨ノ捕斬	二二六	山陰道總督就任	一四三
近藤力之助(舊旗下士)	九一六	碓氷關警守	二二六	京師率兵出發	一四三
勤王證書奉呈	九一六	碓氷關警守	二二六	因幡藩ニ山陰道鎮撫ノ指令	一四三
舞坂掛川間餽餉傳遞管理	一〇八三	碓氷關警守	二二六	因幡藩ニ大山寺僧徒處理ノ指令	一四三
近藤利三郎(舊旗下士)	一〇八三	飯山出兵	二二六	宇治守兵ニ出雲藩兵入京許可ノ指令	一四三
勤王誓約	一一四三	越後出兵	二二六	朽木爲綱ノ入京申請	一四三
コント、ド、ラ、トウール	一一四三	田中内蔵介ノ京師護送	二二六	朽木爲綱ニ久美濱出兵ノ指令	一四三
伊太利公使ヲ見ヨ	一一四三	小安村	二二六	朽木爲綱家臣ノ譴責	一四三
舉母藩(内藤文成參照)	一一四三	官軍力戰	二二六	酒井忠氏ニ謹慎ノ指令	一四三
官軍熱田驛渡津ノ措辨	三一九	五稜郭(龜田參照)	二二六	仙石久利京極高厚ニ生野出兵ノ指令	一四三
賊徒征討拜命	三一九	賊徒來襲	二二六	宮津入城	一六三
公事服務ノ申請	九一五	榎木武揚等ノ占據	八五八・四三三	宮津藩入京ノ許可	一七〇
駿府警守罷免	一〇三三	七重口官軍ノ退守	一四一	笹山藩兵ノ罷歸	一七〇
駿府城警備ノ褒賞	一〇三三	大野口官軍ノ退守	一四一	鳥取入城	一七〇
吉田出兵	一〇三三	包圍攻撃	一四一	歸京	一七〇
菰野藩(土方輝水參照)	一〇三三	攻撃中止	一四一	府中裁判所總督就任	一七〇
清所門警守	一〇三三	官軍占領	一四一	東山道第二軍總督就任	一七〇
四日市警守	一〇三三	官軍ノ警守	一四一	三等陸軍將就任	一七〇
顧問	一〇三三	伏見隊ノ警守	一四一	越後出陣	一七〇
總裁局ニ設置	一七九	仙靈櫃口	一四一	會津征討越後口參謀就任	一七〇
小松清康ノ就任	一七九	仙台藩ノ出兵并賊徒敗走	一四一	會津征討越後口參謀罷免	一七〇
後藤象二郎ノ就任	二四三			會津城點檢	一七〇
大久保利通ノ兼攝	二四三			會津出陣	一七〇
顧問局	二四三			越後口警備兵ノ指揮	一七〇
福岡孝弟ノ出任	二四三			新潟府知事就任	一七〇
小諸	二四三				



今町出陣 二二八  
高田出陣 二二八・三五七  
高田出發 三一四  
高田歸還 三一七  
高田藩ニ朝旨宣諭 三一七  
柏崎出陣 三二五・三五七  
柏崎出發 三二七  
柏崎督府何候 三二七  
關原出陣 三二七  
關原退守 三二七  
長岡出陣 三六八・四一七  
見附出陣 四二四  
三條出陣 四二六・四七三  
新津出陣 四四六  
村松出陣 四四七  
天尾出陣 四四八  
塔寺出陣 四四八  
新發田歸還 四四八  
西海道 四四八  
島津久光ノ一諸藩向背ノ質問 一七七  
諸藩ノ一舊幕府領地管理 二八五  
諸藩ノ一舊幕府領地管理罷免 四三五  
澤宜嘉ノ一舊幕府領地管理 四三五  
澤宜嘉ノ一統轄 二七〇  
一諸藩ノ勤王誓約 三九六  
西郷從道(薩摩藩主) 四六三  
越後口總督府軍監就任 四六三  
秋田口出陣 四六三  
西郷隆盛(吉之助 薩摩藩主) 四六三

參與就任 一六三・五八四  
參與辭退 一六四  
海陸軍務掛就任 一六七  
大總督府參謀就任 二二九・九一八  
山岡高步勝義邦トノ會見 二八五・九二七  
大總督ノ命ニヨリ徳川慶喜處分稟 九三五  
請ノ爲ニ上京 三三六・三〇九・九三一・九六六  
大總督ヘノ復命 九三〇・九三九・一〇一〇  
軍功褒賞 八六六・一〇九〇  
大總督府ノ代リニ參謀一人ヲ増 九三六  
サンコトヲ請フ 九三六  
東海道總督ニ江戶進軍ノ勸告 九四三  
諸道總督ニ一江戶進軍中止ノ移牒 九四三  
西條藩(松平頼英參照) 九六〇  
二條城柵門警守 四一七  
二條城柵門警守罷免 四一七  
齋藤篤信(米澤藩主) 四二二  
降服 四二二  
齋藤久七(村松藩主) 八六三  
斬罪 三三〇  
村木町(會津) 三三〇  
賊徒敗走 三三〇  
幸橋 九八〇  
紀伊藩ノ警守罷免 九八〇  
龜山藩ノ警守 九八〇  
龜山藩ノ警守罷免 一〇二五  
本堂親久ノ警守 一〇二五  
本堂親久ノ警守罷免 一〇四七

勝田綱吉ノ警守 一〇四七  
勝田綱吉ノ警守罷免 一〇六〇  
岡山藩ノ警守 一〇六〇  
三枝眞洞(天和人) 二八二  
英國公使襲撃 二八二  
梟首 二八四  
一餘黨ノ赦免 七〇三  
佛蘭西測量船ノ入港 二七六  
土佐藩兵ト佛蘭西船員トノ鬭争 二七六  
鬭争事件ニ關スル山内豊信ノ措置 二八〇  
鬭争事件ニ關スル山内豊信ノ辭職 二八〇  
鬭争事件ニ關スル外國事務局ヨリ 二八〇  
各國公使ヘノ聖旨傳達 二八〇  
鬭争事件關係者處分ニ關スル外國 二八三  
事務局ヨリ各國公使ヘノ通告 二八七  
岸和田藩ノ警守罷免 二八七  
府中藩ノ警守 三六〇  
久留米藩ノ警守罷免 三六〇  
筑前藩ノ警守 三六〇  
筑前藩ノ警守罷免 四七四  
出雲藩ノ警守 四七四  
堺(下總) 二四三  
關宿藩ノ出兵 二四三  
堺(出羽) 二四三  
澤爲量ノ出陣 二四九  
佐土原藩ノ出兵 二四七  
官軍苦戰 三六七・三七三

長門藩兵ノ殊勳 二七六  
官軍退守 二六八  
堺縣(和泉) 二六八  
設置 二六八  
堺知縣事 二六八  
小河一敏ノ就任 二六八  
酒井忠彰(伊勢藩主) 二六八  
家督相續 二六八  
酒井忠義 二六八  
酒井忠祿ヲ見ヨ 二六八  
酒井織部 二六八  
上京 二六八  
酒井忠篤(左衛門尉 莊内藩主) 二六八  
三條實美等ノ措置ニ關スル在京家 一三〇  
臣ノ答奏 一三五  
外交事務ニ關スル在京家臣ノ答奏 一三五  
官位返上ニ關スル幕府ヘノ申請 一三五  
舊幕府砲兵ノ召抱 二二六  
出羽村山郡管理 二二六  
歸國 二二六  
朝召 二二六  
官位擬奪 二二六  
東北諸藩ノ一爲ニ哀訴 四三三・三三八  
佐竹義堯ノ一爲ニ哀訴 四七四・三三三  
降服 四三三・三三八  
謹愼 八二四・八四九・八七六・三七〇・四三五  
新發田召命 八二四・四三四

兵器ノ新發田運輸 四六五  
除封、隱居 八七六  
一ノ處分ニ關スル奥羽總督ヨリ大 九〇九・三一九  
總督ヘノ稟請 九〇九・三一九  
一ノ處分ニ關スル大總督ヨリ澤爲 三一九  
量ヘノ回答 三一九  
一ノ罪狀ニ關スル酒井忠良ヨリ奥 三三三  
羽副總督ヘノ稟問 三三三  
越後出兵 二四六  
王師反抗 二四六  
會津藩トノ連盟 二四六  
官軍ニ對スル防備 二四六  
會津仙臺二藩ニ救援ノ依頼 二四六  
奥羽諸藩ノ應援 三三三・四三三  
酒井忠篤(舊藩下士) 九二八  
軍糧獻上ノ申請 九二八  
酒井忠愼(薩摩藩主) 九二八  
三條實美等ノ措置ニ關スル在京家 一三〇  
臣ノ答奏 一三五  
外交事務ニ關スル在京家臣ノ答奏 一三五  
官位返上ニ關スル幕府ヘノ申請 一三五  
大坂出陣 一三三  
鳥羽伏見變後大坂退去 一三三  
老中上座就任 一三七  
江戶歸還 一三五  
京師出兵ノ申請 一七〇  
父忠績上京ノ申請 一七〇  
官位擬奪 二七六  
齋居 五五二

德川氏隸屬ノ申請 六七六  
家督及臣隸藩地謹愼ノ申請 九六三  
酒井忠氏(若狹守 小藩藩主) 一三〇  
三條實美等ノ措置ニ關スル在京家 一三〇  
臣ノ答奏 一三五  
外交事務ニ關スル在京家臣ノ答奏 一三五  
朝召辭退 一三七  
再度ノ朝召 一三七  
入京延期ノ申請 一三七  
入京禁止 一三七  
大坂出陣 一三七  
大坂出奔 一三七  
京邸沒收 一三七  
歸國 一三七  
謹愼 一三七  
謹愼救免 一三七  
勤王誓約 一三七  
敦賀港嚴守 一三七  
德川慶喜ノ爲ニ哀訴 一三七  
酒井忠祿(小藩藩主) 一三七  
入京 一三七  
北陸道先鋒拜命 一三七  
從軍運延ノ陳謝 一三七  
大坂藩邸ノ還付 一三七  
德川慶喜ノ爲ニ哀訴 一三七  
謹愼 一三七  
謹愼救免 一三七  
歸國 一三七



北海警備	六七二	歸國、獻金	二三四	兵器ノ新發田運輸	二四七九
黨賊家臣ノ處分	六七二	酒井忠温(越前藩主)	一三三	東京出府	二四五一
入京	三二七・六四八	王政復古ニツキ朝召參内	一六三	謝罪	九一四〇
入京	三二七	參與就任	一六三	酒井忠匡(信濃藩主)	八七三
陳謝	三二七	參與罷免	二七九	家督相續	八七三
家督相續、獻金	五五一	北陸道從軍	二八〇	酒井忠實(莊内藩主)	八七三
祖父忠實ノ爲ニ哀訴	六二四・六七六	歸國	二八〇	家督相續	八七三
父忠實ノ爲ニ哀訴	六七六	酒井忠美(越前藩主)	一三三	酒井富之助(舊旗下士)	九七五
藩政改革	七二五・七三〇	朝召辭退	一八三	勤王證書奉呈	九七五
歸國	七〇一	老臣入京ノ申請	四八七・七五	家督相續	八七三
酒井忠經(左京亮)	一三五	蝦夷開拓ノ申請	四八五	勤王證書奉呈	九七五
朝召辭退	一三五	入京	六六四	坂井村	四三四
老臣ノ入京	一七三	歸國申請	七五	坂井村	四三四
入京	二七九・一七四〇	歸國	八四四	官軍苦戰	二二二
歸國申請	六二二・六五三	房總采地ノ上知并代地下賜	九五四	官軍力戰	二二二
歸國	七一九	勤王證書奉呈	九五四	寒河江村(出羽)	二二二
家政改革	七一九	東海道通關券下付ノ申請	九五四	莊内兵ノ擧掠	二二二
北陸道先鋒拜命	一七四	封疆守備	七六・一〇九四	莊内兵ノ駐屯	二二二
酒井忠經(前松山藩主)	一七四	小濱藩ノ越前ノ領地管理	二七三	官軍進討	二二二
入京申請	一七〇	酒井忠貞(出羽松山藩主)	一七〇	官軍駐屯	二二二
哀訴	三二七	朝召辭退	一七〇	仙臺藩ノ警守	二二二
德川氏隸屬ノ申請	六二四・六七六・一〇八三	降服	八四四・四七九・三九〇	上山藩ノ出兵	二二二
酒井忠強(下野守)	一三三	謹慎	八四四	土民鎮靜	二二二
朝召辭退	六四三	謹慎	八四四	新庄藩ノ假管	二二二
隱居	六四三	德川慶喜ノ爲ニ哀訴	九二五	賊徒敗走	二二二
老臣ノ入京	二四六	王師反抗	一〇五	嶺南關門	二二二
謹慎	二四六	天童召命	二二七	大野藩ノ警守并罷免	一三〇
謹慎赦免	二四二	王事服務ノ申請	二二七	佐柿	一三〇
		澤爲量松山巡撫ノ拒否	三三〇	高倉永祐四條隆平ノ到着	二七九

高倉永祐四條隆平ノ出發	二七九	甲府城代就任	一七三	官軍進討	二六五
坂木驛	二八〇	德川慶喜ニ謝罪ノ勸告	二二三	官軍出兵	二六五
高倉永祐四條隆平ノ到着	二八〇	老臣ノ入京	二二八	出雲藩ノ警守	二六五
高倉永祐四條隆平ノ出發	二八三	賊徒被護ニ關スル問責	二二八	蓮池藩ノ警守	二六五
巖峨口	二八三	賊徒加盟ノ嫌疑	二六三	肥前藩海軍ノ進討	二六五
三日月藩ノ警守罷免	三八	封内鎮壓	二六三	千代田形長崎二艦ノ入港	二六五
岡藩ノ警守	三八	軍功褒賞	二六三	坂田秀(高鍋藩主)	二六五
柳原勘解由(尾張藩主)	一六四	古屋作左衛門ノ被護	二六三	議政官下局議長兼攝	二六五
白刃	一六四	赦宥	二六三	坂時秀(仙臺藩)	二六五
柳原政之介(和歌山藩主)	一〇一	北陸道總督府伺候	二六三	斬罪	二六五
德川氏再興ノ計畫	一〇一	嘉彰親王迎謁	二六三	佐賀藩	二六五
柳原照求(越前藩交代寄合)	九六二	坂下	二六三	肥前藩ヲ見ヨ	二六五
賊徒追討拜命	九六二	橋本實梁柳原前光ノ到着	九一四	坂關溪(米澤藩主)	二六五
勤王證書奉呈	九六二	賊徒敗走	三三〇	松平定敬歸順ノ勸告	二六五
久能山守衛罷免	九三〇	官軍進討	三三〇	相摸	二六五
瀨海警守	九三〇	官軍警守	四二二	薩摩藩募集浪人ノ横行	二六五
駿府勤番罷免	一〇五	坂下門	四二二	林忠崇等ノ竄入	二六五
江尻蒲原間餽傳遞措罷免	一〇六	三等官以上及諸侯ノ車駕奉迎	八四九	鎌倉五山ノ僧徒金ヲ人民ニ貸ス	二六五
柳原政敬(高田藩主)	一〇六	吉田藩ノ警守	九六五・一〇五九	浮浪徒ノ徘徊	二六五
三條實美等ノ措置ニ關スル在京家臣ノ答奏	一〇六	吉田藩ノ警守罷免	九六六・一〇八三	房總殘賊ノ横行	二六五
臣ノ答奏	一〇六	新發田藩ノ警守	九六五・九八三	三雲種方ノ出陣	二六五
外交事務ニ關スル在京家臣ノ答奏	一〇六	新發田藩ノ警守罷免	九六五	中井正勝ノ出陣	二六五
朝召辭退	一〇六	小倉藩ノ警守	九六五	萩野山中藩ノ形狀偵察	二六五
入京延期ノ申請	一〇六	小倉藩ノ警守罷免	九六五	軍艦差遣ノ意ヲ人民ニ諭告ス	二六五
再度ノ朝召	一〇六	備前藩ノ警守罷免	一〇五九	小田原藩ノ伊豆ノ政令傳達	二六五
朝召停止	一〇六	筑前藩ノ警守	一〇八八	彦根藩ノ一駿河境上警守	二六五
命令奏請等德川氏經由ノ申請	一〇六	高松藩ノ警守	一〇八八	松代藩ノ一駿河境上警守	二六五
東叡山警守	一〇六	酒田	一〇八八	坂本	二六五
東叡山警守罷免	一〇六	賊徒降服	八二四・四二五	岩倉具定岩倉具經ノ到着	二六五



岩倉具定岩倉具經ノ出發	二〇九	親征供奉ノ申請	二八九
坂本口	一四六	米良、推葉山措置ノ稟請	三二三
織田信親ノ警守	一一五	朔平門	一一九
遭難	一一五	松平慶憲ノ警守	一一九
相良武振 <small>(舊部下ノ家臣)</small>	一五六	前田利徳ノ警守罷免	一一七
薩摩藩邸屯據、脱走	一四二	安藝藩ノ警守	一一七
綾小路俊實ト共ニ京都出發	一五九	佐久間信義 <small>(舊町奉行)</small>	三七九
官軍徽章下賜ノ申請	一七二	江戸府假管	九六六
東山道從軍	二二二	江戸取締就任	九六六
關東事情ノ偵察	二二五	佐倉	六一五
東山道諸藩脅迫及其誅伐	二七〇	久世廣文ノ逃遁	〇九四
相良長發 <small>(薩摩藩士)</small>	一〇三	柳原前光ノ到着	〇九四
軍功褒賞	一〇四	柳原前光ノ出發	〇九三
房總征討右監軍就任	一〇五	鹽梅獻上	九三三
姉ヶ崎占領	一〇五	櫻井忠興 <small>(尾崎藩士)</small>	一一四
水野忠順ノ藩情陳述	一〇九	入京	一一四
柳原前光大多喜進軍ノ通告	一〇九	歸國申請	五二九・六三三
木更津出陣	一〇九	歸國	一八二・六二九
木更津撤兵	一〇九	長洲勢ノ封内留次、城下經過許可	一八六
大多喜入城	一〇九	長備二藩兵糧食運搬ノ援助	一四六
房總鎮定ノ上申	一〇九	城地嚴守	一四六
白井宜左衛門糾問	一〇九	勤王證書奉呈	一五七
相良藩 <small>(田沼藩參照)</small>	九三	京師出兵停止	一六九
桑名征討拜命	九三	櫻井直義 <small>(長門藩士)</small>	一〇四
相良頼基 <small>(入吉藩士)</small>	一七三	紀伊藩按問	五二四
入京延期ノ申請	二八六	櫻井元憲 <small>(安藝藩士)</small>	一六三
		參與就任	一六三
		參與罷免	二六〇
		佐倉城	一〇四
		入城ニ關スル柳原前光ヨリ佐倉	一〇四
		藩ヘノ指令	一〇三
		龜山藩ノ警守	一〇三
		肥後藩ノ警守罷免	一〇七
		紀伊藩ノ警守	一〇七
		佐倉藩 <small>(龜山正倫參照)</small>	四二九・〇九五・〇九四
		大河内正實保管	七四三・〇六九
		銚子出兵	一〇六・〇九七
		佐貫城保管	一〇九・〇六三
		上總鎮絆	一〇二
		木更津出兵	一〇四
		宇都官出兵	一〇五
		東京出兵辭退	一〇九
		船橋出兵	一〇九
		警城平出兵	一〇六
		警城平撤兵	一〇六
		平潟口出兵	一〇八
		平潟撤兵	一〇八
		佐倉入城ニ關スル柳原前光ノ指令	一〇八
		陳謝	一〇九
		大多喜出兵	一〇九
		房總官軍ノ供億申稟	一〇九
		奥羽撤兵	一〇九
		座光寺右京 <small>(舊幕府交代寄合)</small>	一〇九
		東山道官軍嚮導	一〇九
		座光寺盈太郎	一一九

和田倉門警守	一〇四	京都市中取締	一七二
和和倉門警守罷免	一〇六	京都市中取締所開設ノ申請	一八八
歸國	一〇七	京都市中取締ニ關スル朝命	一三五
佐々井半三郎 <small>(舊代官)</small>	九五四	京都市中取締事務ノ京都裁判所隸屬	二七三
官軍饋餉ノ措辦	九五四	京都市中取締罷免	二七三
佐々井半十郎 <small>(舊代官)</small>	九五四	京都防火ノ掌理	五二九
勤王證書奉呈	九八七	京都防火方法ノ稟請	一三六
關東八州巡警事務管理	九八七	京都舊町奉行交付ノ申請	一三六
笹岡	九八七	伏見取締就任	一三六
賊徒敗走	三六九	伏見出兵	一四〇
榎尾官軍ノ進討	一四三	伏見火ノ上報	一四〇
榎尾村 <small>(下野)</small>	一〇六	伏見取締罷免	一四〇
賊徒侵略	一〇六	西園寺公望警守罷免	一四七
笹川村	一〇六	軍功褒賞	一四七
守山藩ノ假管	一〇六	花山院家理ノ謹慎	七三〇
佐々木高行 <small>(土佐藩士)</small>	一六二	笹岡	三三九
長崎會議所開設	一六二	賊徒敗走	三三九
富岡知縣事就任	四七五	佐瀬八十郎	三三九
佐々木政純 <small>(南部藩士)</small>	八四〇・三三四	前原一誠ヲ見ヨ	三六四
東京護送	八四〇・三三四	指出村	三三三
笹小屋	一四四・一四五・一四六〇	北陸官軍ノ力戰	三三三
官軍退守	一四四・一四五・一四六〇	左大臣	一六三
笹谷	一四四・一四五・一四六〇	近衛忠房ノ辭職	一七三
澤爲量出陣	一四四・一四五・一四六〇	近衛忠房ノ罷免	一七三
佐々布直武 <small>(貞之丞)</small>	一四四・一四五・一四六〇	九條道孝ノ就任	一七三
葛飾知縣事就任	一四四・一四五・一四六〇	札刈村	一四四
笹山	一四四・一四五・一四六〇	官軍追擊	一四四
松前藩兵ノ逃避	一四四・一四五・一四六〇	幸手不動院	一四四
篠山藩 <small>(青山忠敏參照)</small>	一四四・一四五・一四六〇	浮浪ニ對スル自衛	一四四
		佐竹義堯 <small>(石京大夫)</small>	一一六・二一六
		老臣ノ入京	一六〇
		朝召停止	一六〇
		賊中孤立	一六〇
		仙臺召命	一六〇
		召命拜承	一六〇
		菊章旗奉還	一六〇
		勤王誓約	一六〇
		九條道孝迎謁	一六〇
		澤爲量迎謁	一六〇
		新屋口出陣	一六〇
		久保田歸還	一六〇
		佐竹義謀 <small>(播磨守)</small>	一六〇
		朝召辭退	一六〇
		小砂川口出陣	一六〇
		軍功褒賞	一六〇
		佐竹義理 <small>(秋田藩士)</small>	一六〇
		在府家臣ノ代觀	一六〇
		佐竹義修 <small>(秋田藩士)</small>	一六〇
		新屋口出陣	一六〇
		薩摩藩 <small>(島津忠義參照)</small>	一六〇
		長藝二藩トノ連合ニヨル上國出兵	一六〇
		英國汽船購入及佛人モンブランノ傭聘	一六〇
		舊幕府ノ嫌疑ト松平慶永ノ斡旋	一六〇
		舊幕府トノ衝突ニ關スル朝廷ノ戒	一六〇



舊幕府ノ江戸一邸襲撃ノ報知大坂ニ  
 到達 一五七  
 舊幕府ノ江戸一邸通逃者緝捕 一四〇  
 舊幕府老中ノ一ニ對スル戰備 一五七  
 舊幕府ノ江戸一邸沒收 一五七  
 長州軍艦ノ一徵章揚揚東航 一七六  
 西宮藩在長州勢ノ入京ニ關スル幹  
 旋 一八三・一八八  
 西宮藩在長州勢ノ陳情 一八五  
 王政復古令頒布ノ際ニ於ケル禁門  
 警守 一三四・一三三  
 外國公使入朝ノ際ニ於ケル禁門警  
 守 二五〇・二五六・二六五  
 清所門警守罷免 一七三  
 仁和寺宮警守 一七三  
 京都市中巡邏 一三三・一三二  
 京都警守 二四七・三四五・八八  
 兵操練ノ天覽 一七九  
 軍艦ノ東征官軍提供 二四七  
 軍艦ノ海軍總督隸屬 二七九  
 軍艦泰日ノ英國旗章假用 二七九  
 軍艦ノ兵庫出帆 九三三  
 軍艦ノ横濱入港 九三七  
 軍艦ノ越後差遣 二五七  
 兵ノ東京凱還 八二九・九八〇・〇八七  
 兵ノ三條實美郊迎 一〇一  
 兵ノ杉山臺練 一〇九  
 兵ノ采女ケ原練 一七〇  
 兵ノ新莊歸陣 三二二・三六五  
 旗號ヲ以テ白河口官軍ノ旗號ト  
 爲ス 三三三  
 徳川慶喜ノ討薩表及一罪狀書奏聞 一四一  
 徳川慶喜ノ一罪狀ノ聲明及其伏見鳥  
 羽出兵 九一  
 伏見出兵 一四二・一四五  
 鳥羽伏見變 一四三・一四四  
 鳥羽伏見戰役ノ褒賞 一四三・一四四  
 鳥羽伏見變ニ關スル徳川慶喜ヨリ  
 各國公使ヘノ通告 一四四  
 神戶海及土佐洋ニ於ケル舊幕軍艦  
 トノ交戦 一四四  
 神戶警守 一四四  
 大坂一邸ノ自燒 一四四  
 大坂市中巡邏 一四四  
 大坂市中巡邏罷免 一四四  
 山陰道出兵 一四四  
 黒谷會津藩邸攻撃 一四四  
 加茂社管内ノ壯丁使役 一四四  
 相良武振ノ京都一邸駐屯 一四四  
 相良武振ノ一隸屬 一四四  
 諸家警門警守 一四四  
 糶米下賜 一四四  
 下賜糶米ノ兵備充當 一四四  
 福山城占領 一五〇  
 大垣征討拜命 一五〇  
 高松征討拜命 一五〇  
 姫路征討拜命 一五〇  
 姫路撤兵 一五〇  
 松山征討拜命 一五〇  
 兵庫管理 一五〇  
 外國公使ノ入京警護 一五〇  
 外國公使ノ退京警護 一五〇  
 東海道出兵 一五〇  
 東海道出兵ノ褒賞 一五〇  
 東山道出兵 一五〇  
 東山道出兵ノ褒賞 一五〇  
 東山道總督府軍議參與 一五〇  
 北陸道出兵 一五〇  
 北陸道出兵ノ褒賞 一五〇  
 九州舊幕府領地ノ管理 一五〇  
 九州舊幕府領地ノ管理罷免 一五〇  
 諸藩政令傳達ノ管掌 一五〇  
 奧羽出兵 一五〇  
 奧羽出兵ノ褒賞 一五〇  
 奧羽諸藩ノ挑戰 一五〇  
 奧羽諸藩ノ慰勞 一五〇  
 鷲尾隆聚警守罷免 一五〇  
 大坂行幸沿道ノ警備 一五〇  
 大坂城門警守罷免 一五〇  
 黒川大華ニ就キテ徳川慶喜ノ爲

二哀訴 三六九  
 播磨棚倉藩倉裏ノ封印 三六九  
 會津出兵 三六九  
 會津撤兵 三六九  
 長崎天主教徒保管 三六九  
 越後口官軍軍需ノ輸送 三六九  
 越後出兵 三六九  
 公現親王討薩ノ令旨 三六九  
 王事勤勞ノ褒賞 三六九  
 燈明臺築造地檢定 三六九  
 東京出兵 三六九  
 大磯藤澤間出兵 三六九  
 徳川氏歩兵管理 三六九  
 管理歩兵ノ俸金下賜 三六九  
 兵員錄上 三六九  
 和田倉門警守 三六九  
 宇都宮出兵 三六九  
 宇都宮城攻撃 三六九  
 宇都宮撤兵 三六九  
 下總出兵 三六九  
 下總出兵ノ褒賞 三六九  
 行徳出兵 三六九  
 木更津出兵 三六九  
 深川警守 三六九  
 牛込門警守 三六九  
 水道橋門警守 三六九  
 水道橋門警守罷免 三六九  
 莊内出兵 三六九  
 江戸會津藩邸閉賊徒ノ監守 三六九  
 江戸城宿衛 一〇七  
 江戸進撃ノ延期 一〇七  
 彰義隊士ト一兵トノ衝突 一〇七  
 彰義隊ニ對スル戰備 一〇七  
 東叡山戰役 一〇七  
 東叡山戰役ノ褒賞 一〇七  
 大總督府ノ一兵増遣ノ申請 一〇七  
 白河口出兵 一〇七  
 白河口攻撃 一〇七  
 白河口攻撃ノ褒賞 一〇七  
 白河口死傷者ノ吊慰 一〇七  
 平潟出兵 一〇七  
 棚倉進討ノ建策 一〇七  
 棚倉出兵 一〇七  
 藤原口出兵 一〇七  
 練馬攻撃 一〇七  
 中村口出兵 一〇七  
 船橋出兵 一〇七  
 八幡出兵 一〇七  
 房總殘賊ニ對スル防備 一〇七  
 大垣出兵 一〇七  
 甲斐出兵 一〇七  
 新町出兵 一〇七  
 梁田戰役 一〇七  
 梁田戰役ノ褒賞 一〇七  
 蘇山出兵 一〇七  
 飛鳥山出兵 一〇七  
 王子出兵 一〇七  
 小石川門警守罷免 一四九  
 太平山戰役 一四九  
 岩井戰役 一四九  
 壬生出兵 一四九  
 館林出兵 一四九  
 忍出兵 一四九  
 野口戰役 一四九  
 大網戰役 一四九  
 高田出兵 一四九  
 油井出兵 一四九  
 板室出兵 一四九  
 鹽崎出兵 一四九  
 關谷戰役 一四九  
 蘆野出兵 一四九  
 長岡城回復ノ褒賞 一四九  
 長岡城回復 一四九  
 仙臺出兵 一四九  
 出羽出兵 一四九  
 清川力戰 一四九  
 清川口出兵 一四九  
 古口出兵 一四九  
 天童出兵 一四九  
 芦澤出兵 一四九  
 名木澤出兵 一四九  
 秋田出兵 一四九  
 佐竹義堯ノ一秋田出兵拒否 一四九  
 軍令嚴守ニ關スル奧羽總督ノ戒飭 一四九  
 軍令嚴守ニ關スル奧羽總督ノ戒飭 一四九







寒風川 官軍進討 一四六四一  
 興振ニ關スル布告 四八一  
 三軒茶屋(武藏) 九五六  
 尾張藩ノ撤兵 七四七・〇六三  
 三國嶺(上野) 關門設置 一六四五  
 賊徒敗走 一六五五  
 小幡藩ノ警守 一六六一  
 官賊交戦 七四七  
 三國嶺關門 高崎藩ノ警守 三十三番神(日蓮宗) 稱呼廢止 蠶種紙生絲改所 設置 三條(最後) 今町官軍ノ進討 西園寺公望ノ出陣 嘉彰親王ノ出陣 嘉彰親王ノ出發 越後口總督府ノ長岡間罹災民ノ賑恤 小倉藩ノ出兵 官軍警守 三條 近藤勇ノ鼻首 三城湯村 正親町公董ノ出陣 一三〇三・一三三三

三條實美 大坂滞在 一三・一五三  
 一ノ措置ニ關スル舊幕府ノ稟請 一五  
 一ノ措置ニ關スル諸藩在京家臣ノ答 一六・一三〇  
 府ヘノ稟請 一七〇  
 正親町三條實愛阿野公城等ノ義 一七  
 絶中止ノ申請 一〇三  
 官位復舊 一〇三  
 朝召 一〇三・七五九  
 入京許可 一〇三  
 入京 一〇三  
 參與就任 一〇三  
 副總裁就任 一〇三  
 外國事務取調掛就任 一〇三  
 外國事務副總裁就任 一〇三  
 外國事務總督就任 一〇三  
 親征供奉 一〇三  
 諸藩練兵檢閱 一〇三  
 關東監察使就任 一〇三  
 關東監察使罷免 一〇三  
 江戸下向 一〇三  
 輔相就任 一〇三  
 議定就任 一〇三  
 關八州鎮將就任 一〇三  
 親子内親王ノ去住質問 一〇三  
 奥羽征討ニ關スル大總督トノ謀議 一〇三

東征ニ關スル朝廷ノ諮問 六三三・一〇四七九  
 大總督慰問ノ勅旨傳宣 八四六九  
 品川ニ於ケル車駕奉迎 一〇六〇九  
 筑前藩ノ警守 一〇九〇七  
 赤心隊ノ警守罷免 二六五五  
 東山道總督ニ戰狀及死傷者上申ノ指令 二六五五  
 東征諸軍ノ慰勞 七三三・七三三  
 三條西公允 七三三  
 崇徳天皇神靈ノ京都奉迎 七三三  
 白峯山陵祭祀 七三三  
 三條西季知 七三三  
 大坂滞在 一三三  
 一ノ措置ニ關スル幕府ノ稟請 一三五  
 正親町三條實愛等ノ義絶中止ノ申請 一七  
 官位復舊、京師召還 一〇三  
 入朝 一〇三  
 參與就任、林和靖問詰 一〇三  
 三條橋 一〇三  
 新政諭示揭示 一〇三  
 制札及農商布告揭示 一〇三  
 三職(總裁議定、參與參照) 一〇三  
 新設 一〇三  
 朝參時限ノ制定 一〇三  
 退休ノ御沙汰 一〇三  
 蝦夷開拓ニ關スル諮詢 一〇三  
 天主教徒處分ノ審議 一〇三  
 徳川慶喜ノ處分、繼嗣秩祿ノ審議 一〇三  
 軍神祭祀參列 一〇三

略服九門内參入ノ許可 四三〇一  
 賞勞褒賞 四三〇〇  
 東北平定ニ就テノ賜饌 八五九一  
 東山道總督府ノ永井尙服等處分ノ稟申 二一四七  
 東山道總督府ノ管内處分專斷ノ申請 二一七六  
 東山道總督府ノ東進報告 二二二二  
 戸田忠恕ノ入觀延期ノ申請 二二四二  
 參政 八七四〇  
 各藩ノ設置 三田藩(九島陸軍參照) 畿内舊幕府領地ノ管理 三哲山 官軍苦戰 三六五・三七五  
 官軍苦戰 三六五・三七五  
 三條陸軍將 四七五〇  
 四條隆謨ノ就任 四七五〇  
 四條隆謨ノ甲府鎮撫使就任 四七五〇  
 四條隆謨ノ駿府鎮撫使就任 一〇二八六  
 西園寺公望ノ就任 五七・二二九  
 西園寺公望ノ會津征討越後口參謀就任 六三九・三二五  
 壬生基修ノ就任 五二七  
 壬生基修ノ越後口參謀就任 六三九・三二五  
 烏丸光徳ノ就任 五二七  
 烏丸光徳ノ江戸府知事就任 一〇三三  
 坊城俊章ノ就任 一〇三三  
 坊城俊章ノ攝泉防禦總督就任 七四三三

一ノ措置ニ關スル舊幕府ノ稟請 七三三  
 一ノ措置ニ關スル諸藩在京家臣ノ答 一六・一三〇  
 府ヘノ稟請 一七〇  
 正親町三條實愛阿野公城等ノ義 一七  
 絶中止ノ申請 一〇三  
 官位復舊 一〇三  
 朝召 一〇三・七五九  
 入京許可 一〇三  
 入京 一〇三  
 參與就任 一〇三  
 副總裁就任 一〇三  
 外國事務取調掛就任 一〇三  
 外國事務副總裁就任 一〇三  
 外國事務總督就任 一〇三  
 親征供奉 一〇三  
 諸藩練兵檢閱 一〇三  
 關東監察使就任 一〇三  
 關東監察使罷免 一〇三  
 江戸下向 一〇三  
 輔相就任 一〇三  
 議定就任 一〇三  
 關八州鎮將就任 一〇三  
 親子内親王ノ去住質問 一〇三  
 奥羽征討ニ關スル大總督トノ謀議 一〇三

坊城俊章ノ攝泉防禦總督罷免 七三三  
 一ノ措置ニ關スル舊幕府ノ稟請 一〇三  
 一ノ措置ニ關スル諸藩在京家臣ノ答 一六・一三〇  
 府ヘノ稟請 一七〇  
 正親町三條實愛阿野公城等ノ義 一七  
 絶中止ノ申請 一〇三  
 官位復舊 一〇三  
 朝召 一〇三・七五九  
 入京許可 一〇三  
 入京 一〇三  
 參與就任 一〇三  
 副總裁就任 一〇三  
 外國事務取調掛就任 一〇三  
 外國事務副總裁就任 一〇三  
 外國事務總督就任 一〇三  
 親征供奉 一〇三  
 諸藩練兵檢閱 一〇三  
 關東監察使就任 一〇三  
 關東監察使罷免 一〇三  
 江戸下向 一〇三  
 輔相就任 一〇三  
 議定就任 一〇三  
 關八州鎮將就任 一〇三  
 親子内親王ノ去住質問 一〇三  
 奥羽征討ニ關スル大總督トノ謀議 一〇三

降服、謹慎 一〇九三  
 三本木 三三六二  
 盛岡藩ノ出兵 一〇五九〇  
 三本松(上總) 一〇五九〇  
 前橋藩ノ嚴守 一〇五九〇  
 三枚橋關門(小田原) 一〇五九〇  
 設置及唐津藩ノ警守 一〇五九〇  
 廢止 一〇五九〇  
 參與(三職參照) 一〇五九〇  
 設置 一〇五九〇  
 舊傳奏管掌事務ノ管掌 一〇五九〇  
 上下ノ制定 一〇五九〇  
 市中取締ノ管掌 一〇五九〇  
 熊野三山在家管理 一〇五九〇  
 七科分掌 一〇五九〇  
 大坂行在何候 一〇五九〇  
 蝦夷開拓ノ審議 一〇五九〇  
 官制更定 一〇五九〇  
 岩倉具視ノ就任 一〇五九〇  
 岩倉具視ノ議定就任 一〇五九〇  
 大原重徳ノ就任 一〇五九〇  
 大原重徳ノ罷免 一〇五九〇  
 大原重徳ノ笠松裁判所總督就任 一〇五九〇  
 橋本實梁ノ就任 一〇五九〇  
 橋本實麗ノ就任 一〇五九〇  
 橋本實陳ノ就任 一〇五九〇  
 長谷信篤ノ就任 一〇五九〇  
 長谷信篤ノ議定就任 一〇五九〇  
 岩下方平ノ就任 一〇五九〇



岩下方平ノ外國事務取締掛就任 一四九三  
 岩下方平ノ外國事務掛就任 一六〇七  
 大久保利通ノ就任 二四三三  
 大久保利通ノ內國事務掛就任 一六〇七  
 大久保利通ノ內國事務掛就任 二四三三  
 大久保利通ノ總裁局顧問就任 一七四三  
 大久保利通ノ總督局顧問罷免 一七九九  
 神山君風ノ就任 一六三三  
 神山君風ノ內國事務掛就任 一六三一  
 神山君風ノ辦事就任 一六三一  
 久保田秀雄ノ就任 一六三一  
 久保田秀雄ノ罷免 一六三一  
 後藤元輝ノ就任 一六三一  
 後藤元輝ノ外國事務取調掛就任 一四九三  
 後藤元輝ノ外國事務掛就任 一六〇七  
 後藤元輝ノ外國局判事就任 一六〇七  
 後藤元輝ノ總裁局顧問就任 二四三三  
 後藤元輝ノ大坂府知事就任 一六〇七  
 西郷隆盛ノ就任 一六〇七  
 西郷隆盛ノ海陸軍務掛就任 一六〇七  
 島津忠義ノ西郷隆盛ノ辭任ノ申請 一六〇七  
 酒井忠溫ノ就任 一六〇七  
 酒井忠溫ノ罷免 一六〇七  
 櫻井久憲ノ就任 一六〇七  
 櫻井久憲ノ罷免 一六〇七  
 田中輔ノ就任 一六〇七  
 田中輔ノ制度事務掛就任 一六〇七  
 田中輔ノ辦事就任 二六六七  
 辻維嶽ノ內國事務掛就任 一六〇七  
 中根師實ノ就任 一六〇七  
 中根師實ノ內國事務掛就任 一六〇七  
 丹羽賢ノ就任 一六〇七  
 福岡孝弟ノ就任 一六〇七  
 福岡孝弟ノ制度事務掛就任 一六〇七  
 福岡孝弟ノ顧問局出仕 一六〇七  
 福岡孝弟ノ議事體裁取調御用掛就任 一六〇七  
 毛受洪ノ就任 一六〇七  
 毛受洪ノ罷免 一六〇七  
 正親町公董ノ就任 一六〇七  
 鳥丸光德ノ就任 一六〇七  
 鳥丸光德ノ軍防事務局權輔就任 一六〇七  
 津田信弘ノ就任 一六〇七  
 津田信弘ノ刑法事務掛就任 一六〇七  
 津田信弘ノ軍防事務局判事就任 一六〇七  
 戶田忠至ノ就任并辭退 一六〇七  
 戶田忠至ノ會計事務局判事就任 一六〇七  
 戶田忠至ノ京都裁判所副總裁就任 一六〇七  
 溝口貞直ノ就任 一六〇七  
 溝口貞直ノ刑法事務局判事就任 一六〇七  
 田宮篤輝ノ就任 一六〇七  
 田宮篤輝ノ內國事務掛就任 一六〇七  
 田宮篤輝ノ內國事務局判事就任 二六六五  
 田宮篤輝ノ罷免 一六〇七  
 三岡公正ノ會計事務管理 一六〇七  
 三岡公正ノ會計局判事就任 一六〇七  
 三岡公正ノ制度事務掛就任 一六〇七  
 十時維憲ノ就任 一六〇七  
 西園寺公望ノ就任 一六〇七  
 荒川良知ノ就任 一六〇七  
 林左門ノ就任 一六〇七  
 林左門ノ內國事務局權判事就任 一六〇七  
 東久世通禧ノ就任 一六〇七  
 東久世通禧ノ外國事務取調掛就任 一六〇七  
 東久世通禧ノ外國事務總督就任 一六〇七  
 東久世通禧ノ外國事務局輔就任 一六〇七  
 井上馨ノ就任 一六〇七  
 井上馨ノ外國事務掛就任 一六〇七  
 井上馨ノ外國事務局判事就任 一六〇七  
 小原忠寬ノ就任 一六〇七  
 小原忠寬ノ會計事務掛就任 一六〇七  
 小原忠寬ノ會計事務局判事就任 一六〇七  
 久我通久ノ就任 一六〇七  
 久我通久ノ大和鎮臺總督就任 一六〇七  
 四條隆謨ノ就任 一六〇七  
 四條隆謨ノ軍防事務局親兵掛就任 一六〇七

任 二四三三  
 德大寺實則ノ就任 一四〇九  
 德大寺實則ノ議定就任 一四〇九  
 廣澤眞臣ノ就任 一四〇九  
 廣澤眞臣ノ海陸軍務掛就任 一四〇九  
 廣澤眞臣ノ內國事務掛就任 一四〇九  
 廣澤眞臣ノ內國事務局判事就任 一四〇九  
 壬生基修ノ就任 一四〇九  
 壬生基修ノ軍防事務局親兵掛就任 一四〇九  
 土倉正彦ノ就任 一四〇九  
 土倉正彦ノ軍務掛就任 一四〇九  
 土倉正彦ノ刑法事務局判事就任 一四〇九  
 榊取素彦ノ就任 一四〇九  
 西四辻公業ノ就任 一四〇九  
 西四辻公業ノ會計事務總督就任 一四〇九  
 長谷信成ノ就任 一四〇九  
 長谷信成ノ會計事務局權輔就任 一四〇九  
 萬里小路博房ノ制度事務總督就任 一四〇九  
 萬里小路博房ノ制度事務局輔就任 一四〇九  
 萬里小路博房ノ京都裁判所總督就任 一四〇九  
 東園基敬ノ就任 一四〇九  
 東園基敬ノ辦事就任 一四〇九  
 木村貞通ノ就任 一四〇九  
 木村貞通ノ刑法事務局判事就任 一四〇九  
 五代友厚ノ就任 一四〇九  
 五代友厚ノ外國事務局判事就任 二四三三  
 醍醐忠順ノ就任 一四〇九  
 寺島宗則ノ就任 一四〇九  
 寺島宗則ノ外國事務局判事就任 一四〇九  
 町田久成ノ就任 一四〇九  
 町田久成ノ外國事務局判事就任 一四〇九  
 伊藤博文ノ就任 一四〇九  
 伊藤博文ノ外國事務局判事就任 一四〇九  
 澤宣嘉ノ就任 一四〇九  
 澤宣嘉ノ就任 一四〇九  
 林通顯ノ就任 一四〇九  
 吉井德春ノ就任 一四〇九  
 吉井德春ノ軍防事務局判事就任 一四〇九  
 鷲尾隆榮ノ就任 一四〇九  
 鷲尾隆榮ノ軍防事務局親兵掛就任 一四〇九  
 岩倉具定ノ就任 一四〇九  
 岩倉具定ノ就任 一四〇九  
 岩倉具定ノ就任 一四〇九  
 四條隆平ノ就任 一四〇九  
 高倉永祐ノ就任 一四〇九  
 松尾相永ノ就任 一四〇九  
 松尾相永ノ罷免 一四〇九  
 柳原前光ノ就任 一四〇九  
 青山貞ノ就任 一四〇九  
 秋月種樹ノ就任 一四〇九  
 秋月種樹ノ內國事務局權輔就任 一四〇九  
 正親町實德ノ就任 一四〇九  
 三條西季知ノ就任 一四〇九  
 白川資訓ノ就任 一四〇九  
 白川資訓ノ議定就任 一四〇九  
 中院通富ノ就任 二四三三  
 龜井茲監ノ就任 二四三三  
 木戶孝允ノ就任 二四三三  
 吉田良義ノ就任 二四三三  
 愛宕通旭ノ就任 二四三三  
 石山基正ノ就任 二四三三  
 井關盛良ノ就任 二四三三  
 五辻安仲ノ就任 二四三三  
 五辻安仲ノ辦事就任 二四三三  
 鳴脚光長ノ就任 二四三三  
 五條爲榮ノ就任 二四三三  
 提哲長ノ就任 二四三三  
 土肥典膳ノ就任 二四三三  
 中川元績ノ就任 二四三三  
 平松時厚ノ就任 二四三三  
 平松時厚ノ辦事就任 二四三三  
 平松時厚ノ三河裁判所總督就任 二四三三  
 坊城俊章ノ就任 二四三三  
 坊城俊章ノ辦事就任 二四三三  
 松室重進ノ就任 二四三三  
 萬里小路通房ノ就任 二四三三  
 吉田良榮ノ就任 二四三三  
 平田鏡胤ノ就任 二四三三  
 荒尾成章ノ就任 二四三三  
 長岡護美ノ就任 二四三三  
 副島種臣ノ就任 二四三三  
 副島種臣ノ顧問局出仕 二四三三  
 長谷川景隆ノ就任 二四三三  
 大隈重信ノ就任 二四三三







長崎府務ノ整理	七二〇	官軍撤去	三三九	大村藩兵ノ一賊徒ニ對スル防備	三三三
長崎天主教徒ノ逮捕	四二五	椎木口	三三九	會津降兵ノ監禁	三三三
長崎天主教徒處分ノ稟請	三七五	賊徒敗走	三三九	賊徒遁走	三三三
入京	一九六	推葉山	三三九	官軍進討	三三三
外國人ノ我紙幣ヲ金銀貨ニ兌換スルヲ禁ズ	六七四	相良頼基ノ一措置ノ稟請	三三九	弘前藩兵ノ進討	三三三
澤村	三五四	寺院	三三九	官軍ノ到著	三三三
官軍扼守	三五四	ノ請願申稟并官位奏請ニ關スル規則	三三九	官軍ノ駐屯	三三三
佐良土村	三三〇	府藩縣ノ管理	三三九	官軍退守	三三三
賊徒敗走	三三〇	長崎府ノ一判物處置ノ稟請	三三九	鹽小路光孚	三三三
猿穴峠	三三〇	長崎府ノ一住職處置ノ稟請	三三九	鹽崎村	三三三
官軍占領	三三〇	推谷	三三九	賊徒敗走	三三三
猿岩	三三〇	賊徒敗走	三三九	鹽澤村	三三三
官軍占領	三三〇	推谷藩(獨之美參照)	三三九	賊徒敗走	三三三
猿ヶ辻	三三〇	新井出兵	三三九	鹽留橋	三三三
池田政禮ノ警守	一四六・一四五	越後出兵	二八九・三三九	鹽須賀藩兵ノ警守	三三三
池田政禮ノ警守罷免	一四七	東海道官軍ニ援兵ノ要求	三三九	官軍扼守	三三三
岡藩ノ警守	一四六	宮川警守	三三九	官軍苦戰	三三三
本願寺ノ警守	一四三	北陸道先鋒拜命	三三九	慈恩寺村(天和)	三三三
本願寺ノ警守罷免	一四三	鹽飽島(續)	三三九	織田長昌ノ警守	三三三
龜井茲監ノ警守罷免	一四三	土佐藩ノ警守	三三九	織田信成ノ出兵	三三三
高松藩ノ警守	一四五	石田忠郷ノ警守	三三九	治河掛	三三三
高松藩ノ警守罷免	一四五	官軍進討	三三九	後藤元燁ノ就任	三三三
秋月藩ノ警守	一四五	鹽梅	三三九	中御門經之ノ就任	三三三
猿間村	一四五	櫻井駿河ノ献上	三三九	治河使	三三三
盛岡藩兵ノ來襲	一四五	鹽釜	三三九	設置	三三三
		九條道孝ノ到著	三三九	鹿田務(伊豫松山藩士)	三三三
		澤爲量ノ到著	三三九	備前藩拘留	三三三

信樂代官(近江)	一五八・九二五	相良武振ノ隸屬	二二七	ノ申請	一六七
舊一多羅尾光弼ノ軍資供億	一五四	磐城平藩獻米ノ稟請	二二七	官位復舊、京師召還	一〇三
阿波藩ノ舊一所轄地管理	一五四	滋野井實	一〇三	入朝謝恩	一〇三
史官	一七九	差控赦免	一〇三	參與就任	一〇三
總裁局ニ設置	一七九	王政復古ニ就キ朝召參内	一〇三	伏見出陣	一〇三
議政官ノ及行政官ニ設置	一七九	四國中國征討總督	一〇三	錦旗奉行就任	一〇三
神祇官隸屬	一八二	四國中國征討總督府監軍	一〇三	筑前藩ノ警守	一〇三
地方官所屬	一八二	五條爲榮ノ就任	一〇三	軍事參謀并中國四國征討總督就任	一〇三
式内社	一八二	志士	一〇三	明石入城	一〇三
奉幣	一八二	脫籍流寓ノ府藩縣復歸	一〇三	姫路城點檢	一〇三
滋野井公壽	一八二	紫宸殿	一〇三	京師凱旋	一〇三
差控赦免	一八二	軍神祭祀	一〇三	軍防事務局親兵掛就任	一〇三
王政復古ニ就キ朝召參内	一八二	即位式舉行	一〇三	三等陸軍將就任	一〇三
京師出奔	一八二	自證院(番ヶ倉)	一〇三	駿府鎮撫使就任	一〇三
松尾山屯據	一八二	公現院親王ノ流寓	一〇三	駿府鎮撫使罷免	一〇三
京師出奔ノ赦宥	一八二	公現院親王ヲ奉シテ陸奥ニ逃避	一〇三	甲府鎮撫使就任	一〇三
東海道總督隸屬	一八二	公現親王ノ爲ニ哀訴	一〇三	大總督府參謀就任	一〇三
京師召還	一八二	公現親王ヲ陸奥ニ逃レシム	一〇三	仙臺追討總督就任	一〇三
佐渡裁判所總督就任	一八二	西上	一〇三	仙臺追討總督罷免	一〇三
佐渡裁判所總督罷免	一八二	慈性親王	一〇三	仙臺入城	一〇三
佐渡鎮撫使就任	一八二	薨去	一〇三	仙臺出發	一〇三
佐渡鎮撫使罷免	一八二	織仁親王ノ服喪	一〇三	堀直賀ノ降服	一〇三
甲斐府知事就任	一八二	大坂滯在	一〇三	奥羽地方田租ノ低減	一〇三
四日市出陣	一八二	大坂凱旋	一〇三	奥羽追討平潟口總督ノ就任	一〇三
永井尙服譴責	一八二	ノ措置ニ關スル幕府ノ稟請	一〇三	公現親王ノ爲ニ哀訴	一〇三
永井尙服献上兵器措置ノ稟問	一八二	山科言知、八條隆祐ノ一義絶中止	一〇三	公現親王ノ東京護送	一〇三
舊幕府領地租稅ノ半免	一八二			公現親王ノ降服	一〇三
ノ臣ト詐稱スル兇徒ノ緝捕	一八二			本多忠紀ノ降服	一〇三
				内藤政養ノ降服	一〇三



安藤信正ノ降服	八二六	北陸道諸藩ノ向背質問	六一五・三三三	高田出發	二八四・二九
奧羽降服諸藩主監視	八二七	北陸道諸藩ニ徳川慶喜追討令ノ頒布	二七一	高田歸還	三三三
奧羽諸藩主ノ歸順	八三二	北陸道舊幕府領地圖籍ノ錄申	二七五	高田藩區處	二八六
林忠崇ノ降服	八三四	北陸道地方民政ノ管掌	二九四	長岡城回復	三二六
田村邦榮ノ降服	八六六	京師率兵出發	一六四・二七三	大津到著	二七三
軍功褒賞	一〇二六・一〇三六	參與就任	二八〇	堅田到著	二七五
江戸下向	一〇三三	内國事務局ヨリ先鋒副總督職掌ノ諭示	二五五・二七六	大溝到著	二七五
高橋勝政ノ附屬	一〇三三	新潟裁判所總督就任	三三九・九六五	今津到著	二七五
平潟口出陣	一〇三三	新潟府知事罷免	八七四〇	熊川到著	二七五
相馬季胤ノ降服	一〇三三	柏崎縣知事罷免	七四八	小濱到著	二七五
相馬季胤ノ待遇ニ關スル大總督ヘノ稟問	一〇三三	柏崎縣知事罷免	七六一	小濱藩兵檢閱	二七五
磐城平嚴備	一〇三三	柏崎到著	七六一	横濱在留外人ト爭端ヲ開ケベカラズトノ朝命	二七五
伊達慶邦ノ待遇ニ關スル大總督ヘノ稟問	一〇三三	柏崎到著	七六一	越前藩兵ヲ徵發スルベカラズトノ朝命	二七五
小名濱出陣	一〇三三	越後府知事候	三三三	倉見到著	二七六
四條出陣	一〇三三	越後出陣	三三三	佐柿到著	二七六
中村入城	一〇三三	越後舊幕府領地石高戸口ノ上申	三三三	敦賀到著	二七六
亘館出陣	一〇三三	越後府知事就任	三三三	敦賀砲臺巡檢并氣比社參詣	二七六
岩沼出陣	一〇三三	江戸到著	三三三	大總督ヨリノ軍令及廟算書ノ交付	二七六
東京凱旋	一〇三三	江戸出發	三三三	今莊到著	二七六
四條隆平	一〇三三	江戸東本願寺駐屯	三三三	府中到著	二七六
王政復古ニツキ朝召參内	一〇三三	江戸本莊藩邸駐屯	三三三	福井到著	二七六
山崎出陣	一〇三三	江戸越前藩邸駐屯	三三三	福井出發	二七六
北陸道鎮撫副總督就任	一〇三三	江戸市中ノ警戒	三三三	福井城點檢練兵參觀	二七六
北陸道鎮撫副總督罷免	一〇三三	關宿駐屯	三三三	會計事務局ヨリノ俸給ニ關スル通牒	二七六
北陸道先鋒副總督兼鎮撫使就任	一〇三三	高田到著	三三三	會津到著	二七六
北陸道地方ノ田租半免及紙幣貸付	一〇三三				

大聖寺到著	二七六	大總督府ヨリ東叡山鎮定ノ報告	二二五	七科	
小松到著	二七六	諸藩兵犒勞	二二五	官制更定	一七九
松任到著	二七六	肥前藩ニ莊内征討ノ指令	二二五	七局	
金澤到著	二七六	軍國事宜ノ上陳	二二五	設置	一七九
軍防事務局ノ督勵	二七六	今町到著	二二五	七口(京都)	
軍防事務局ヨリ大坂行幸ノ報告	二七六	榊原政敬ノ伺候	二二五	嚴守	七五二
金澤城點檢	二七六	西園寺公望慰問	二二五	七番隊	
今石動到著	二七六	穴戶藩(松平頼位參照)	二二五	江戸出陣	一〇二六・一〇三六
高岡到著	二七六	勤王誓約	二二五	平潟口出陣	一〇二六
富山到著	二七六	志津	二二五	七本松砲臺	三三九
魚津到著	二七六	上杉茂憲ノ進討	二二五	官軍占領	
泊到著	二七六	静岡藩	二二五	七郎右衛門(武藏ノ鷹)	
絲魚川到著	二七六	駿河藩ヲ見ヨ	二二五	官軍供億、二世氏稱ノ許可	一〇六四
夕立到著	二七六	碓石	二二五	志筑藩(本堂親久參照)	
東山道總督ヨリ江戸進軍ノ督促	二七六	南部藩ノ出兵	二二五	銚子出兵	七四三・一〇六九
關山到著	二七六	市政裁判所	二二五	虎門警守罷免	一〇六三
牟禮到著	二七六	設置	二二五	練馬攻撃	一〇六五
善光寺到著	二七六	徳川家達ノ諸會所簿書提出	二二五	行徳出兵	一〇七三
坂本到著	二七六	大久保忠告ノ警守	二二五	數寄屋橋警守	一〇九四
上田到著	二七六	守兵規則ノ制定	二二五	執政	
小諸到著	二七六	地藏堂	二二五	諸藩ノ設置	八七一
輕井澤到著	二七六	内藤信民ノ出兵	二二五	執奏	
松井田到著	二七六	官軍進討	二二五	寺院ノ官位奏請等ニ關スル手續ノ管理	六六三
安中到著	二七六	鎮撫	二二五	侍讀	
高崎到著	二七六	下谷	二二五	秋月種樹ノ就任	六二五
熊谷到著	二七六	横濱病院ノ一移轉	二二五	品川	
大宮到著	二七六	柳河藩ノ警守	二二五	明治天皇ノ御著聲	八四四
千住到著	二七六	柳河藩ノ警守罷免	二二五	烏丸光徳ノ車駕奉迎	八四九
大總督ヨリ牙營東叡山移轉ノ指令	二八五	下谷ヶ池	二二五	三條實美ノ車駕奉迎	八四九
大總督府軍議參列	二八五	官軍進討	二二五		







和泉橋警守罷免	九八四	柴橋村	三三七	關東地方ニ於ケル幕府ノ發行	一一九
和泉橋警守并罷免	九八四	官軍ノ到着	三三七	近畿地方ニ於ケル幕府ノ發行	一二七
柳島警守罷免	九八四	仙台藩ノ警守	三三七	三岡公正ノ製造事務管掌	一六九
神田橋警守罷免	九八四	莊内藩兵ノ剽掠	三三七	京坂豪商ヘ準備金賦課	一七五
神田橋警守罷免	九八四	上山藩兵ノ出陣	三三七	太政官札ノ發行	四三・五一九
神田橋警守罷免	九八四	奧羽總督ノ土民鎮輯	三三七	丁銀豆板銀トノ交換	五二〇
筋違門警守罷免	一〇七一	新庄藩ノ假管	三三七	北陸道鎮撫副總督ノ罹災者ヘノ貸付	六二五・三三三
昌平橋警守罷免	一〇七一	芝生村(神奈川)	八四〇	彦根藩ノ借用	六〇一
昌平橋警守罷免	一〇七一	英佛兵ノ車駕奉迎	二二六	打歩禁制	六八三
牛込門警守罷免	一〇二八	芝村藩(鎌田長易參照)	二二六	外國人ノ使用許可	六七四
牛込門警守罷免	一〇二八	畿内舊幕府領地管理	二二六	東幸沿道諸藩ニ貸與	七八二
小石川門警守罷免	一〇二八	柴山典文(後藩士)	一〇三二	納税ニテ用ヒシム	八二四
小石川門警守罷免	一〇二八	軍監就任	一〇三二	通用ニ關スル鎮將府ノ諭告	八三四
賊徒加盟	一〇三九・三三六	軍監罷免	一〇三二	府藩縣ノ還納條規制定	八三四
在京士ノ謹慎	一〇三九	上野巡察	一〇三二	諸藩管内ノ通用獎勵	八三九
歸順	一〇三九	館林藩ニ戸倉口撤兵ノ指令	一〇四七	司法官	四六一
降服	一〇三九	房總監察兼知縣事就任	一〇四六	設置	四六一
會津人越後地方嘯聚ノ上申	一〇三九	房總監察兼知縣事罷免	一〇四六	四方拜	一四一
會津征討	一〇三九	大多喜出陣	一〇五八	百官朝賀	一四一
會津出兵	一〇三九	上總鎮走	一〇六三	島義勇(肥前藩士)	九三二
會津城警守	一〇三九	香取神社祠官ノ糾捕	一〇七六	勝義邦ニ歸順ノ勤告	九三二
越後口出兵	一〇三九	澁川勝達(肥前藩士)	一〇七六	大總督府軍監就任	一〇八六
水原笹岡攻撃	一〇三九	東京護送	一〇七六	總督出陣	一〇八六
加治出兵	一〇三九	澁谷關門	一〇七六	山内源七郎捕斬	一〇八六
供億節減	一〇三九	松平武聰ノ警守	一〇七六	島崎口	一〇八六
津川警守	一〇三九	澁谷越	一〇七六	官軍苦戰	一〇八六
塔寺警守	一〇三九	松平武聰ノ警守罷免	一〇七六	官軍進討	一〇八六
野澤警守	一〇三九	紙幣	一〇七六		
新發田病院	一〇三九	幕府ノ發行措置ノ稟請	一〇七六		
壬生基修ノ慰問	一〇三九				

島津忠寬(佐土原藩主)	一八二	俸金辭退	二七九	江戸出兵	一〇三六・一〇三六
入京運延	一八二	京都留守	二七九	清水門警守	一〇七四
鳥羽伏見役ノ褒賞	一八二	軍政宏服ノ建議	二七九	竹橋門警守	一〇八五
大坂到着	一八二	西海道諸藩勤王ノ上申	二七九	田安門警守	一〇八五
親征供奉	一八二	江戸下向	二七九	半藏門警守	一〇八五
江戸下向	一八二	朝召	二七九	矢來門警守	一〇八五
女御所警守	一八二	朝召延期	二七九	奧羽出兵	一〇八五
島津忠義(薩摩藩主)	一八二	大政參與	二七九	船田出兵	一〇八五
三條實美等ノ措置ニ關スル在京家臣ノ答奏	一八二	島津久光大兩守	二七九	秋田出兵	一〇八五
長藝二藩トノ同盟ニヨル上國出兵	一八二	朝召	二七九	院内口出兵	一〇八五
三田尻ニ於ケル毛利廣封トノ會見	一八二	九州諸藩ノ向背質問	二七九	北橋岡警守	一〇八五
入京	一八二	島津忠義ヲ見ヨ	二七九	最上進討	一〇八五
毛利親親教育ノ計畫	一八二	島田	二七九	盛岡出兵	一〇八五
王政復古ニツキ禁門嚴守	一八二	水野忠敬ノ一駿府間餽傳選措辨	二七九	生保内口進討	一〇八五
王政復古ニツキ朝召參内	一八二	水野忠敬ノ一駿府間餽傳選措辨	二七九	島村左傳次(佐藩士)	一〇八五
王政復古島羽伏見變ノ褒賞	一八二	罷免	二七九	使番就任、日河口出陣	一〇八五
議定就任	一八二	本多正訥ノ一駿府間餽傳選措辨	二七九	島本嘉吉	一〇八五
議定攝行	一八二	熾仁親王ノ到着	二七九	譴責	一〇八五
藩士薦舉	一八二	小島藩ノ一駿府間傳選措辨罷免	二七九	阿波藩ノ保管	一〇八五
海陸軍總督就任	一八二	島田八郎左衛門	二七九	清水	一〇八五
海陸軍務總督辭退	一八二	獻金	二七九	清川口官軍ノ進討	一〇八五
金幣下賜	一八二	島田祐三郎(長門藩士)	二七九	清水昭武	一〇八五
英國醫師ノ京師召喚	一八二	北陸道鎮撫總督府監察就任	二七九	德川昭武ヲ見ヨ	一〇八五
長崎鎮撫并撤兵	一八二	島原藩(松平忠和參照)	二七九	清水港	一〇八五
日向鎮撫并撤兵	一八二	花山院家理餘黨ノ追捕	二七九	德川家達ノ一采邑假管	一〇八五
各國公使朝見ノ建議	一八二	京都警守	二七九	田安慶頼ノ一家臣假管	一〇八五
親征供奉	一八二	汽船ノ兵庫差遣	二七九	一橋茂榮ノ一家臣假管	一〇八五
		宇佐神宮管理罷免	二七九	親子内親王ノ一邸移徙	一〇八五
				咸臨號ノ入港	一〇八五



威臨號ノ捕獲	八二四・一〇七三	大多喜藩ノ警守罷免	一〇七二〇	大垣藩ノ警守	二四七〇
蟠龍號ノ入港	九三六	澤爲量ノ援兵要求	二四七二	大垣藩ノ警守罷免	二四九四
商人ノ東海道官軍軍糧ノ無貨輸送	九六一	奥羽監察使ノ援兵要求	二八三七	東海道官軍ノ警守	二四九四
筑前藩ノ警守	九三〇	弘前藩ニ援兵ノ要求	四四〇一	新衛隊	一〇七三
吉田藩ノ儲備米管理罷免	九四〇〇	松前藩ニ有川警守ノ指令	四三九六	編成	一〇七三
本多正訥ノ儲備米管理	九四〇〇	賊徒討伐ノ部署	四三九六	振遠隊	二五五六
田中藩ノ警守	一〇二四	軍務官ニ軍需品ノ要求	四四六三	土崎出陣	二五五六
清水三郎右衛門	一〇二四	浪岡出陣	四四一七	新大橋	一〇七三
謹儀	一〇二三	黒石出陣	四四一七	唐津藩ノ警守	一〇四七四
清水谷公考	一〇二三	黒石退去	四四一七	唐津藩ノ警守罷免	一〇四七四
叡山ニ於ケル軍費募集	一七八	秋田藩ニ封内沿海嚴備ノ指令	四四三三	筑後藩ノ警守罷免	一〇四七四
蝦夷開拓ノ建議	一七九	諸軍檢閲	四四六八	三上藩ノ警守	一〇五三
箱館裁判所副總督就任	三五六	海軍檢閲	四四六八	三上藩ノ警守罷免	一〇五三
箱館裁判所總督就任	四二八	江刺出陣	四四六八	高須藩ノ警守	一〇五八
箱館府知事就任	四二八	湯台出陣	四四六八	新貨幣(貨幣參照)	一〇五八
箱館脱走	四七五〇	泉澤出陣	四四六八	鑄造	一〇五八
箱館恢復ニ關スル申請	四四〇九	七重、赤川、神山巡視	四四六八	新上條村	二五八四
箱館出陣	四四六七	有川出陣	四四六八	官軍力戰	二五八四
箱館諸軍ノ稿勞	四四六五	千代岡巡視	四四六八	陣ヶ峯	二五八四
南部利剛ノ謝罪	四六三	從軍諸艦長召見	四四六八	賊徒敗走	二五八四
南部信氏ノ謝罪	八五一	清水孫一郎	四四六八	神官	二五八四
榎本武揚追撃	八五一	清水門	四四六八	長崎府ノ進退ノ稟請	八二四
青森逃避	八五八・一四九三	閉鎖	九三〇・一〇八五	神祇科	一六〇六
青森駐屯	八六二・一四〇六	尾張藩ノ警守	九三〇	設置	一六〇六
青森出陣	一四四二	尾張藩ノ警守罷免	一〇五一	神祇局ト改稱	一七九八
青森出發	一四四二	赤心隊ノ警守	一〇六〇	神祇官	四六八一
青森口總督就任	一四四二	赤心隊ノ警守罷免	一〇六〇	設置	四六八一
青森口總督罷免	一四四二	宇和島藩ノ警守罷免	一〇六〇	太宰府社司ノ隸屬	七三九
青森藩在松前藩兵ノ罷歸	一四四二	島原藩ノ警守	一〇六〇	木下利恭木下俊胤ノ豊國社造營服	七三九

役ノ申請	七七五	神祇事務局督	一六〇七・三四三	府藩縣ノ管理	六七五九・八五三
英彦山社司ノ隸屬	七七五	轡仁親王ノ就任	一六〇七・三四三	長崎府ノ判物處置ノ稟請	八一四
舊學習院ニ移轉	七八〇	中山忠能ノ就任	一六〇六	新宿	一〇六四
神祇官知事	七八〇	近衛忠房ノ就任	一七九	大久保忠秀ノ警守	一〇六四
鷹司輔照ノ就任	四六八	白川資訓ノ就任	二五三	駐在官軍ノ市川前進	一〇九三
近衛忠房ノ罷免	七七三	新金銀貨(貨幣參照)	二五三	板垣正形ノ到著	二八九
神祇官副知事	七七三	價位ノ制定	四三〇	安藝藩ノ警守	二八五
龜井茲監ノ就任	四六八	神宮寺	四三〇	小濱藩ノ警守	二八五
神祇事務掛	四六八	澤爲量ノ出陣	三六〇・三六七	肥前藩ノ警守	二八五
樹下茂國ノ就任	一六七	官軍退守	三六〇・三六七	清商	八二二
谷森種松ノ就任	一六七	官軍扼守	三六八・三六九	阿片販賣ノ禁止	八二二
六人部是愛ノ就任	一六七	官軍力戰	三六三	新莊	二二七
神祇事務總督	一六七	平戶藩ノ出兵	三六三	澤爲量ノ到著	二二七
白川資訓ノ就任	一六七	院内口官軍ノ駐屯	三六四・三六九	澤爲量ノ出發	二二七
神祇事務局	一六七	賊徒占領	三六四・三六九	上山藩ノ出兵	三三六・三三七
設置	一七九	賊徒敗走	三六四・三六九	山形藩ノ出兵	三三六・三三七
神祇事務局權判事	一七九	廢止	三六四・三六九	山形藩兵ノ澤爲量警守	三三六・三三七
樹下茂國ノ日吉神社佛像梵具焚毀	三二四	新宮藩(水野忠幹參照)	四六一	薩長二藩ノ出兵	三三六・三三七
神祇事務局判事	三二四	徵兵ノ差控	五二〇	龜田藩ノ出兵	三三六・三三七
龜井茲監ノ就任	二四三	人才登用	五二〇	盛岡藩ノ出兵	三三六・三三七
龜井茲監ノ神祇局輔就任	二四三	ノ擬案議定	一三〇	弘前藩ノ出兵	三三六・三三七
平田鏡胤ノ就任	二四〇	新山	三三四	莊内藩兵ノ來襲	三三六・三三七
平田鏡胤ノ内國判事就任	二六五	賊徒敗走	三三四	莊内征討官軍ノ到著	三三六・三三七
神祇事務局輔	二六五	新山村	三三四	大山綱良ノ出陣	三三六・三三七
白川資訓ノ就任	二四〇	澤爲量ノ出陣	三三五	仙臺藩ノ出兵	三三六・三三七
白川資訓ノ神祇事務局督就任	二四〇	新澤口	三三五	米澤藩ノ出兵	三三六・三三七
吉田良義ノ就任	二四三	賊徒進討	三三〇	筑前藩ノ出兵	三三六・三三七
龜井茲監ノ就任	二四三	神社	三三〇		



八戸藩ノ出兵	二二四七・二三四六	秋田出兵	二六九五	紀伊藩ノ警守罷免	九八〇
院内口官軍ノ到着	二五二	豊島出兵	二六九五	肥後藩ノ警守	一〇二二
津輕藩ノ出兵	二五三	松山進討	二七五七	勝田銅吉ノ警守	一〇四六
新莊口		最上進討	二七五七	勝田銅吉ノ警守罷免	一〇六七
小倉藩兵ノ進討	二五〇	塞河江柴橋假管	二七九三	高須藩ノ警守	一〇五七
薩摩藩兵ノ進討	二五〇	南部利剛父子ノ東京護送	二八三四	水川神社祠官ノ献上	一一三六
長門藩兵ノ進討	二五〇	新城村	二八四七	神符降下	一一一
肥前藩兵ノ進討	二五〇	大野藩ノ警守	二八四七	諸國	一一一
新莊城		親征(明治天皇參照)		晨風艦(筑後藩軍艦)	二四七七・四五二
賊徒占領	六七〇・二五五	明治天皇ノ議決	一七九五	青森	二四四八
新莊道敬(下野守)		明治天皇ノ期日ノ布告	二五七	品川出帆	二四四八
老臣入京ノ申請	一八二	明治天皇ノ延期	二六五	宮古入港	二四四九
軍費献納	七八	明治天皇ノ旨趣ノ申諭	二八七	音部攻撃	二四四九
証責	七七一・一〇七三	明治天皇ノ旨趣ノ申諭	三三二	三厩入港	二四四九
入京進止候伺	八三三	新選組		厚澤部川渡口攻撃	二四四九
江戸出府ノ歸國	九六〇	伏見駐屯	一三六	龍鼻崎沈没	二四四九
新莊直温(舊日光行奉)		長門藩ノ兵器管理	一七六	職功褒賞	二四四九
謹慎	一〇一三	仙臺出帆、蝦夷出征	二四七	神佛分離	二四四九
就縛、江戸護送	二六五	江刺港沈没	二四七	發令	三七一
新莊藩(官軍正實參照)		新田坂砲臺	二四七	親兵	六三九
莊内征討先鋒拜命	三六九	官軍占領	三三八	親兵	六三九
封境警備	四六九・三八七	親王	一五九五	明治天皇ノ御親閱	六三九
米澤出兵	三三〇	三公ノ上ニ班ス	一五九五	水戸出陣	一〇六六・一〇六六
白岩警守	三三〇	新橋	二二四	白河口出陣及其申止	一〇四七
八聖山警守	三三二	黒田直養ノ警守罷免	九八元	江戸彦根藩邸駐屯	一〇四七
賊徒加盟	三三二	筑前藩ノ警守罷免	一〇五七	三浦清太郎保監	一〇四七
横堀應援	三三二	筑前藩ノ警守罷免	一〇五七	中村出陣	一〇四七
官賊二派ノ分裂	三三二	龜山藩ノ警守罷免	一〇五七	仙臺入城	一〇四七
小銃下賜	三三二	龜山藩ノ警守罷免	一〇五七	陸辭	一〇四七

敦賀出陣	三六一・三六七	新上條村	三五八	三好助次郎ノ鎮撫	一〇五九
新發田出陣	三六六	官軍苦戰	三五八	大村藩ノ撤兵	一〇九七
出雲崎出陣	三六六	下野		伊藤外記ノ出陣	一〇六六
出湯警守及其放棄	四四六	彦根藩ノ鎮撫	一〇一・二六四	土佐藩ノ出兵	一〇六六
追分出發	四四五	賊徒嘯聚	一〇一・二六四	下野鎮撫使	一〇六六
京師凱旋	四四五・四七七	尾張藩ノ諸藩ノ向背質問	一七二・二八三	鍋島直大ノ就任	一〇六六
箱館出陣	四四〇・四六四	松平直克ノ鎮撫	四三三・四八五	鍋島直大ノ罷免	一〇六六
第一大隊ノ江戸小川町廻町半藏	一〇八七	松平正親ノ出陣	九六元	下野尻	一〇六六
門巡警	一〇八七	鍋島直大ノ鎮撫	五元・二六二	賊徒敗走	一〇六六
二番隊ノ出湯警守并放棄	一〇八七	諸藩ノ連賊緝捕	七四五・二二六・二二六	嘉彰親王ノ到着	一〇六六
二番隊長林静ノ謹慎并赦免	一〇八七	諸藩ノ會津撤兵	八三六・一〇九九	嘉彰親王ノ出發	一〇六六
二番隊取締集内四鬼武ノ謹慎	一〇八七	諸藩ノ會津撤兵	八三六・一〇九九	下妻藩(井上正巳參照)	一〇六六
集内四鬼武ノ二番隊取締罷免	一〇八七	諸藩ノ會津撤兵	八三六・一〇九九	藩狀上申、封境鎮撫	一〇六六
山本次郎ノ二番隊取締就任	一〇八七	諸藩ノ會津撤兵	八三六・一〇九九	下諏訪	一〇六六
飯田信弘ノ三番隊取締就任	一〇八七	諸藩ノ會津撤兵	八三六・一〇九九	信濃諸藩ノ高崎間供帳傳遞管理	一〇六六
神保内藏助(會津藩士)		諸藩ノ會津撤兵	八三六・一〇九九	眞田幸民ノ到着	一〇六六
永預	八六二	諸藩ノ會津撤兵	八三六・一〇九九	因幡藩兵ノ召還	一〇六六
薩長二藩兵ノ駐屯	一一〇〇	諸藩ノ會津撤兵	八三六・一〇九九	土佐藩兵ノ召還	一〇六六
賊徒敗走	一一〇〇	諸藩ノ會津撤兵	八三六・一〇九九	岩倉具定岩倉具經ノ到着	一〇六六
新町道村	一四一三	諸藩ノ會津撤兵	八三六・一〇九九	岩倉具定岩倉具經ノ出發	一〇六六
賊徒敗走	一四一三	諸藩ノ會津撤兵	八三六・一〇九九	飯田藩ノ出兵	一〇六六
持明院基政	一五五	諸藩ノ會津撤兵	八三六・一〇九九	岩村藩ノ出兵	一〇六六
壬生基修ノ義絶中止申請	一五五	諸藩ノ會津撤兵	八三六・一〇九九	下關	一〇六六
神武天皇祭	二七五	諸藩ノ會津撤兵	八三六・一〇九九	上杉齊憲ノ出陣	一〇六六
勅使ノ故傍陵差遣	二七五	諸藩ノ會津撤兵	八三六・一〇九九	下關口	一〇六六
新屋敷村	二四二	諸藩ノ會津撤兵	八三六・一〇九九	柳澤德忠ノ役夫供給	一〇六六
官軍進討	二四二	諸藩ノ會津撤兵	八三六・一〇九九	小倉藩ノ出兵	一〇六六
下萩野村	九四五	諸藩ノ會津撤兵	八三六・一〇九九	佐土原藩ノ出兵	一〇六六
大久保教義ノ助役辭任	九四五	諸藩ノ會津撤兵	八三六・一〇九九	下田港	一〇六六



賊艦漂到	八四・一〇七三	林忠崇ノ—賊徒應援	四一九	下總知縣事	七101
下館	一〇一七	松平直克ノ鎮撫	四三三・一〇八五	佐々布貞之丞ノ就任	一〇六・一〇三九
石川總督ノ歸還	三二七〇・九六五二	鍋島直大ノ鎮撫	五八・一六九二	下總鎮撫使	一〇六・一〇三九
下館藩(石川經管參照)	一〇三七四・一〇七四一	山田政則ノ管理	六三九・一〇四七	鍋島直大ノ就任	六七八三・一〇五三
賊徒劫掠	一〇六三三	粥川光明ノ管理	六六〇・一〇五二	鍋島直大ノ罷免	一四三三
常陸鎮撫	一〇七五三	桑山效ノ管理	七九〇・一〇六五	下二股	一四五三
虎門警守	一〇七九	肥後藩ノ鎮撫	p101	官軍苦戰	一四五六
鉢石出兵	一〇七九	肥後藩ノ管理	七四五・一〇六九	官軍力戰	一四五六
高原進討	一〇七九	諸藩ノ通賊緝捕	一〇九三・一〇九四	胸井忠伸ノ戰死	一四五六
下立賣門	一〇七九	諸藩ノ舊幕府領地其他戶口租入	一〇八二	下淀川	三六八
越前藩兵ノ—寺町門間諸家寶門	一四六六	諸藩ノ舊幕府領地鎮撫	一〇四四	官軍力戰	三六八
警守	一四八二	諸藩ノ舊幕府領地舊例ノ上申	一〇四九	錫懷號(官船)	三六三〇
因幡藩兵ノ—以北諸家寶門警守	一四八二	諸藩ノ旌賞賑恤舊例ノ上申	一〇四九	柏崎入港	三六三三
藤原藩兵ノ—以北諸家寶門警守	一四八二	從軍諸藩兵ノ褒賞	一〇六〇・一〇三三・一〇五三	柏崎出發	三六三三
筑前藩兵ノ—以北諸家寶門警守	一四八二	殘賊ノ常陸逃避	一〇六六	雀林寺崎村	一四三四
彦根藩兵ノ—以北諸家寶門警守	一四八二	賊徒嘯聚	八二九・一〇八・一〇七三	賊徒敗走	一四三四
長門藩兵ノ警守并罷免	一四八六	稻葉正善ノ—別邑收公	一〇七三	社寺裁判所	五四七五・一〇一六五
徵兵ノ警守	七六三	土屋舉直ノ出兵	八四四	廢止	六七九
津藩ノ警守罷免	七六三	大村藩ノ撤兵	九六〇	社僧	二八二・四二〇三
下手渡	三二二	長瀨藩ノ—轉封	九七二六	著髮令	八三七
官軍占領	二六五七	鳥義勇ノ出陣	一〇七	小濱藩ノ—復飾延朝申ノ請	八七四三
下手渡藩(金花種參照)	一〇三三	佐倉藩ノ—諸政令傳達管理	一〇一五	舍密局	八七四三
兵ノ東征官軍隸屬	一〇三三	伊藤外記ノ出陣	一〇一五	舍密局御用掛	八七四三
江戸出兵	一〇三三	三好助次郎ノ鎮撫	一〇一五	平田助左衛門ノ就任	八七四三
平潟出兵	一〇三三	信太歌之助ノ横行	一〇一五	上海	三二七九
月立攻撃	一〇三三	近藤勇ノ逃避	一〇一五	薩摩軍艦春日號ノ修繕	三二七九
掛田攻撃	一〇三三	大鳥純彰ノ逃避	一〇一五	銃器	一〇七九
川俣警守	一〇三三			小田原藩下賜	一〇七九
下總	一〇三三				
岡田忠義ノ管理	一〇三三				

十二湯村	三二四	酒戶醜額	七四五	彰義隊	三三三
賊徒來襲	三二四	規定額布	七四五	結城占領	五八・九八〇
賊徒敗走	三二四	廢止	一三三	官兵トノ衝突	一〇一〇
十二所	三六〇	—松平容保ノ罷免	一三三	水野勝知ノ加盟	一〇一〇・一〇四三
盛岡藩兵ノ占領	三六〇	守備親王親井官	一三三	大總督府ノ討伐	五四六・一〇一七
盛岡藩兵ノ進討	三六〇	復飾	八六	賊徒敗走	三三六
官軍進討	三六〇	—第ニ漢學所設置	四三四・六七五	生源寺希願	三三六
前山長定ノ駐屯	三六五	種痘所	八六	日吉神社佛像梵具ノ破却	三三四六
十二所口	三六五	設置	七九三	聖護院宮	三三四六
賊徒占據	三六二	首服	一五八	聖護院村	三三四六
賊勢猖獗	三六三	明治天皇ノ—ヲ諸陵ニ告グ	一五八	軍防事務局督ノ閱兵	三三四六
秋田藩兵ノ苦戰	三六四	順三郎(箱館藩兵)	一四七四	聖護院門跡	三三四六
官軍苦戰	三六四	捕斬	一四七四	設置及寺務管理	六三五
松江藩兵ノ出陣	三六九	青森總督府ノ—遺族ヘノ香花料下賜	一四七五	照高院宮	六三五
宗門改	三七九	賜	一四七五	信仁親王ヲ見ヨ	六三五
牧野康濟封内ノ—	七三九	准大臣	七九二	照高院門跡	六三五
銃獵	八二五・一〇七五	中山忠能ノ—	七九二	設置及寺務管理	六三五
申禁	三三三	順德天皇	八二二	相國寺	一三五九
十六橋	三三三	渡忠秋ノ—神靈遷京ノ建議	八二二	招魂所	一四七四・一四七五
賊徒敗走	三三三	純仁親王	八二二	箱館ノ—造營	一四七四・一四七五
宿弊洗除ニ關スル各ノ布達	三三〇	嘉彰親王ヲ見ヨ	八二二	昌仁親王	一四七四・一四七五
條規更正	六一五四	淳仁天皇	八二二	守備親王ヲ見ヨ	一四七四・一四七五
宿驛役所	三三六	城門司馬太字陀太郎ノ—神靈遷京ノ申請	七四九	請西	一〇九三
設置	三三六	ノ申請	七四九	火災	一〇九三
淑子内親王	一六〇七	翔鶴號船將	一〇九四	請西藩(林忠崇參照)	五七九
淑子内親王ヲ見ヨ	一六〇七	平尾伴之丞ノ罷免	一〇九四	—士ノ入京禁止	五七九
樹下茂國	三二四六	淨願寺	一六七七		
神祇事務掛就任	三二四六	松平頼聰ノ謹慎	一六七七		
日吉神社佛像梵具ノ破却	三二四六				



封境守備	1094	津藩ノ警守罷免	1037
老臣召命	1095	關門設置	1089
陣屋焼失	1096	肥後藩ノ警守	1037
上士	61	肥後藩警守ノ罷免	1085
制定	61	吉田藩ノ警守	1085
賜暇歸邑	66	北陸官軍ノ據守	286
傳遞ノ制限	66	京都市中ノ	286
即位式參列ノ條規	75	二條城三條口ノ	286
東京入親ノ朝命	86	商法會所	286
東京居住ノ朝命	86	古金銀通貨兌換事務ノ管掌	843
釀酒	86	商法司	476
條例申定	56	設置	476
三分二減額	78	正法寺村	385
硝石會所	105	賊徒敗走	385
簿書呈出	105	上巳	385
小豆島(遺使)	245	外國公使朝見ニヨリテ參賀停止	265
土佐藩ノ警守	263	莊内(莊内藩參照)	359
石田忠郷ノ鎮撫	263	岩城隆邦ノ逃避	429
小藩	263	上杉茂憲ノ出陣	429
制定	263	上杉茂憲ノ退去	429
哨兵	105	村上藩兵ノ逃避	429
鍛冶橋門外ニ配置	105	堀口次郎ノ出陣	364
數寄屋橋門外ニ配置	105	大山綱良ノ出陣	364
昌平學校	656	黒田清隆ノ出陣	364
復興	104	運池藩ノ出兵	382
昌平橋	104	莊内口官軍ノ到着	429
小濱藩ノ警守罷免	984	莊内口	429
新發田藩ノ警守	984	峯山藩ノ出兵	429
新發田藩ノ警守罷免	107		
津藩ノ警守	107		

秋田侵略	369	薩摩藩ノ追討	980
秋田口官軍ノ追討	369	長瀨侵略	107
新莊藩ノ追討	369	出雲侵略	107
新莊藩ノ追討	369	新潟占領	371
入京禁止	369	新瀉開港ノ計畫	371
岩城隆邦ノ追討	429	寒河江侵略	371
仙臺藩ノ征討中止ノ稟請	429	柴橋侵略	371
仙臺藩ノ應援	429	小形藩ノ追討	371
米澤藩ノ征討中止ノ稟請	429	會津藩トノ同盟	371
米澤藩ノ征討拜命	429	奥羽越前藩トノ同盟	371
米澤藩ノ征討反對	429	長門藩ノ追討	371
米澤藩ノ應援	429	清川堅守	371
南部藩ノ追討	429	清川口官軍ノ追討	371
津輕藩ノ追討	429	三春藩ノ追討	371
矢島侵略	429	細倉藩ノ追討	371
矢島藩ノ追討	429	細倉藩ノ應援	371
龜田侵略	429	尾花澤侵略	371
本莊藩ノ追討	429	大石田侵略	371
本莊藩ノ追討	429	中村藩ノ應援	371
上山藩ノ追討	429	二本松藩ノ應援	371
降服	429	筑前藩ノ追討	371
王師反抗	429	仁賀保誠成ノ追討	371
小倉藩ノ追討	429	仁賀保誠中ノ追討	371
肥前藩ノ追討	429	船形、長澤奮戰	371
		三崎口據守	371
		洗釜侵略	371
		中澤關侵略	371
		小瀧侵略	371
		平澤侵略	371
		越後口官軍ノ追討	371







白河官軍ノ戒飭	三三三	長沼外二驛警守	三三七	板垣正形 出陣ノ聲明	三三六
伊地知正治ノ二本松差遣	三三八	征討諸軍ノ班師	三三九	賊徒敗走	三三七
本宮ノ防備	三三九	澁川勝達等ノ東京護送	三三九	尾張藩ノ警守	三三九
肥前藩兵ノ白河差遣	三三九	三代原二驛警備隊ノ撤去	三三九	彦根藩ノ警守	三三九
若野雄之助ノ借米申請	三三九	平潟口參謀ノ仙臺城沒收ノ報告	三三九	彦根藩ノ撤兵	三三九
會津攻撃ノ部署	三三九	平潟口官軍ノ板倉勝巳家臣ノ送致	三三九	土佐藩ノ警守	三三九
會津城攻撃中止	三三九	白河口總督府軍監	三三九	二本松官軍ノ到着	三三九
會津會議所設置	三三九	小笠原茂敬ノ就任	三三九	正親町公董ノ出陣	三三九
會津賊徒ニ對スル防備	三三九	白河口總督府參謀	三三九	賊徒征討拜命	三三九
會津城沒收	三三九	多田茂族ノ就任	三三九	勤王證書奉呈	三三九
藤原口官軍ノ會津差遣	三三九	伊地知正治ノ罷免	三三九	奥羽總督府監軍兼使役就任	三三九
阿波藩兵ノ警守	三三九	平潟口官軍ヨリ板倉勝達等降服ノ報告	三三九	盛岡出陣	三三九
下手渡藩兵ノ掛田差遣	三三九	白河總督府參謀補助	三三九	官軍駐屯	三三九
三春藩ニ糠澤等廿九村假管ノ指令	三三九	白河越	三三九	菅谷口	三三九
三春藩ニ耕田等七村管理ノ指令	三三九	白河越	三三九	菅谷主税介(舊旗下士)	三三九
三春藩ニ松平容保父子監護罷免	三三九	白河越	三三九	勤王證書奉呈	三三九
三春藩ニ封莫嚴守ノ指令	三三九	白河越	三三九	菅谷嶽	三三九
柳河藩兵ノ會津差遣	三三九	白河越	三三九	官軍占領	三三九
溝口直景ニ謹慎ノ指令	三三九	白河越	三三九	菅谷村	三三九
府中藩兵ノ長沼勢至堂差遣	三三九	白河越	三三九	米澤口官軍ノ進討	三三九
舊幕府遺賊ニ對スル防備	三三九	白河越	三三九	杉浦桂之進	三三九
薩摩藩兵ノ罷歸	三三九	白河越	三三九	勤王證書奉呈	三三九
毛布領布	三三九	白河越	三三九	杉浦正尹(舊旗下士)	三三九
横川扼守	三三九	白河越	三三九	勤王證書奉呈	三三九
松澤覺右衛門ノ訊問	三三九	白河越	三三九	杉澤覺右衛門(福島藩士)	三三九
松澤覺右衛門ノ東京檻送	三三九	白河越	三三九		
盛岡征討ノ部署	三三九	白河越	三三九		
川俣警守	三三九	白河越	三三九		
福島藩兵謹慎ノ赦免	三三九	白河越	三三九		

官軍進討	一四八	瑞西國人	一四五	板垣正形 出陣ノ聲明	三三六
白澤(下野)	一四八	其停止	一四五	賊徒敗走	三三七
黒羽藩ノ出兵	一四八	水道橋門	一四五	尾張藩ノ警守	三三九
白野(甲斐)	一四八	薩摩藩ノ警守罷免	一四五	彦根藩ノ警守	三三九
中津藩ノ警守	一四八	阿波藩ノ警守罷免	一四五	彦根藩ノ撤兵	三三九
沼津藩ノ警守	一四八	津藩ノ警守罷免	一四五	土佐藩ノ警守	三三九
掛川藩ノ警守	一四八	吹上藩ノ警守	一四五	二本松官軍ノ到着	三三九
白峯山(讚岐)	一四八	東山道官軍ノ警守	一四五	正親町公董ノ出陣	三三九
勅使參向	一四八	大垣藩ノ警守罷免	一四五	賊徒征討拜命	三三九
祭祀	一四八	郡上藩ノ警守罷免	一四五	勤王證書奉呈	三三九
松平頼聰ノ修繕助工	一四八	郡上藩ノ警守	一四五	奥羽總督府監軍兼使役就任	三三九
松平頼聰ノ警守	一四八	東海道官軍ノ警守	一四五	盛岡出陣	三三九
白峯宮	一四八	東海道官軍ノ警守	一四五	官軍駐屯	三三九
崇徳天皇神靈ノ奉祀	一四八	東海道官軍ノ警守	一四五	菅谷口	三三九
祭典追行	一四八	東海道官軍ノ警守	一四五	菅谷主税介(舊旗下士)	三三九
知内村(蝦夷)	一四八	東海道官軍ノ警守	一四五	勤王證書奉呈	三三九
賊徒敗走	一四八	東海道官軍ノ警守	一四五	菅谷嶽	三三九
賊徒來襲	一四八	東海道官軍ノ警守	一四五	官軍占領	三三九
尻澤邊(蝦夷)	一四八	東海道官軍ノ警守	一四五	菅谷村	三三九
弘前藩ノ警守	一四八	東海道官軍ノ警守	一四五	米澤口官軍ノ進討	三三九
大野藩ノ警守	一四八	東海道官軍ノ警守	一四五	杉浦桂之進	三三九
福山藩ノ警守	一四八	東海道官軍ノ警守	一四五	勤王證書奉呈	三三九
慈隆(相馬藩僧侶)	一四八	東海道官軍ノ警守	一四五	杉浦正尹(舊旗下士)	三三九
相馬藩内人民ノ教化	一四八	東海道官軍ノ警守	一四五	勤王證書奉呈	三三九
城山口(蝦夷)	一四八	東海道官軍ノ警守	一四五	杉澤覺右衛門(福島藩士)	三三九
官軍退守	一四八	東海道官軍ノ警守	一四五		
官軍苦戰	一四八	東海道官軍ノ警守	一四五		



世良砥徳殺害	三三四	餘黨ノ赦宥減等	七六三
東京糧送	三三三	須坂藩(堀直虎、堀直登参照)	二四四
杉澤村	三三四	東山道出兵拜命	二六三・二八九・三五八
賊徒敗走	三三四	越後出兵	二二五
官軍力戦	三三三	高崎出兵	二二五
數寄屋橋	三三三	兎徒鎮緝	二二五
吉田藩ノ警守	九六七	軍功褒賞	二二五
備前藩ノ警守罷免	九六七・九七六	宇都宮出兵	二二五
龜山藩ノ警守	九七六	結城攻撃	二二五
龜山藩ノ警守罷免	九八〇	武井苦戦	二二五
紀伊藩ノ警守	九八〇	飯山應援	二二五
紀伊藩ノ警守罷免	九八〇	新井出兵	二二五
津藩ノ警守	一〇六三	前橋出兵	二二五
津藩ノ警守罷免	一〇六三	封境守備	二二五
哨兵配置	一〇五三	八十里越警守	二二五
志筑藩ノ警守	一〇九四	筋違門	二二五
杉山(仙臺)	三三九	筑前藩ノ警守	九八三
九條道孝ノ関兵	三三九	小濱藩ノ警守罷免	九八四
杉山對軒(國宿藩士)	九八〇・九八九	新發田藩ノ警守	九八四
藩内佐幕派トノ軋闘争	一〇一九	新發田藩ノ警守罷免	一〇七一
罹病歸國	一〇一九	備前藩ノ警守	一〇四三
杉山友善(新五衛門)	三六八	津藩ノ警守	一〇七一
奥羽總督府參謀添役就任	三六八	津藩ノ警守罷免	一〇三七
松山出口陣	三七〇	肥後藩ノ警守	一〇三七
三春藩ノ管理	三三二	北陸道官軍ノ警守	一〇四六
朱雀貞固(山城人)	二五三	崇神天皇陵	一〇四六
英國公使襲撃	二五三	山邊道上陵ヲ見ヨ	一〇四六
梟首	二六四	鈴鹿嶺(伊勢)	一五五〇・二四〇五・九二九
		石川成之ノ警守	一五五〇・二四〇五・九二九
		鈴木重棟(石見藩士)	二六四
		處罰	一六五三
		水戸出奔	三七三・一〇四三
		鈴木重嶺(兵庫頭)	四六四
		江戸出府、舊管地薄書ノ呈出	二八五
		鈴木孝平(前橋藩士)	一〇八四
		使番就任	二七五
		珠洲郡(能登)	二七五
		加賀藩ノ管理	二七五
		官軍苦戦	二四六
		因幡藩ノ出兵	二五二
		因幡藩ノ撤兵	二六六
		豆相監察	一〇六三
		安永弘行ノ就任	一〇八七
		豆相軍監	一〇七九
		中井正勝ノ就任	一〇八七
		中井正勝ノ戦死	一〇八七
		三雲種方ノ就任	一〇八七
		三雲種方ノ罷免	一〇八七
		崇徳天皇(白峯山陵、白峯宮参照)	七三六・七三六
		神靈遷京	七三六・七三六
		スネル(荷蘭人)	七三六
		奥越賊徒トノ通謀	七三六
		追放	七三六
		兵器私賣ニ關スル神奈川府ノ詰問	七三六
		スプロック	七三六
		荷蘭公使ヲ見ヨ	七三六
		スペイン	七三六

イヌバニヤヲ見ヨ	一五七	罷免	九二五
淑子内親王(敏宮、桂宮)	一五七	東海道官軍ノ到着	九二五
豐岡藩ノ警守	七二九	橋本實梁ノ到着	九二五
豐岡藩ノ警守罷免	七二九	本多正訥ノ島田間餽傳選措辨	九二五
筑後藩ノ警守罷免	三〇七	安部信發ノ督府伺候	九二五
徵兵ノ警守	五七九	山岡高歩ト西郷隆盛トノ會見	九二五
加賀藩ノ警守罷免	七四四	安藤信勇ノ督府伺候	九二五
紀伊藩ノ警守	七四四	大給近説ノ督府伺候	九二五
池田慶徳ノ警守	七六六	西郷隆盛ノ歸府	九二五
轅仁親王ヲシテ緩急ノ際ニ伺候	七六六	寺島直方ノ到着	九二五
セシム	七六六	伏谷昭良ノ市政掌理	九二五
彦根藩ノ御所舊趾警守罷免	三三三	小島藩ノ島田間餽傳選措辨罷免	九二五
天機奉伺	三三三	小島藩ノ警守罷免	九二五
住吉號	三三三	舉母藩ノ警守	一〇三三
水夫ノ箱館港沈船被切	四六五	舉母藩ノ警守罷免	一〇三三
青森總督府ノ水夫箱館港沈船被切	四六五	刈谷藩ノ警守	一〇三三
斷者褒賞	四七五	刈谷藩ノ警守罷免	一〇三三
住吉神社	三七六	駐在諸軍ノ箱根賊徒ニ對スル	一〇三三
明治天皇ノ御參詣	三七六	防備	一〇三三
駿府	三七六	岡崎藩ノ警守	一〇三三
太田資美ノ撤兵	二七五	岡崎藩ノ警守罷免	一〇三三
熾仁親王ノ到着	二七五	岡崎藩ノ警守罷免	一〇三三
公現親王ノ督府召命	九二五	田中藩ノ警守罷免	一〇三三
公現親王ノ督府伺候	二七九・九二六	石川又四郎ノ警守罷免	一〇三三
堀義親使者ノ督府伺候	二八八	秋山虎之助ノ警守罷免	一〇三三
徳川家達ノ新封	五七九	小野内膳ノ移置	一〇三三
徳川家達ノ警守	一〇五七	瀧川具知ノ移置	一〇三三
徳川慶喜ノ謹慎	六六二・一〇五八	降服賊徒ノ謹慎	一〇三三
水野忠教ノ島田間餽傳選措辨	九二二	駿府勤番	一〇三三
水野忠教ノ島田間餽傳選措辨	九二二	徳川家達ノ保管	一〇三三
		駿府城	一〇三三
		太田資美ノ警守	一五二・一七八・九二〇
		田沼意尊ノ警守	一五二
		水野忠教ノ警守	一五二
		熾仁親王ノ入城	二七五・九二六・二七五
		熾仁親王ノ出發	九二五
		津藩ノ警守	一〇五七
		津藩ノ警守罷免	一〇五七
		人吉藩ノ警守	一〇五七
		杵筑藩ノ警守	一〇五七
		島原藩ノ警守	一〇五七
		岡藩ノ警守	一〇五七
		岡藩ノ警守怠慢	一〇五七
		郡山藩ノ警守	一〇五七
		徳川家達ノ警守	一〇五七
		徳川家達ノ管理	一〇五七
		本多忠民ノ嚴守	一〇五七
		本多正訥ノ嚴守	一〇五七
		平松時厚ノ嚴守	一〇五七
		警備諸軍ノ褒賞	一〇五七
		駿府城代	一〇五七
		本多正訥ノ就任	九二五
		本多正訥ノ罷免	一〇三三
		駿府代官	一〇三三
		田上寛藏ノ相摸騷擾ノ上申	四七四
		駿府鎮撫使	一〇三三
		四條隆謨ノ就任	五二四・一〇二八
		四條隆謨ノ大總督府參謀就任	一〇四三



四條隆謨ノ江戸出陣	一〇三六	勤王證書奉呈	九三四・九七〇・五
阿波藩ノ警守	一四一〇	賊徒敗走	一四一九
駿河		諷訪忠誠(高島藩主)	一一二七
江戸薩摩藩邸屯集浪人ノ逃避	一四〇二	朝召辭退	二三五三
尾張藩ノ諸藩向背ノ質問	一七二・二八三	嗣子忠禮ノ代觀	四三六六
吉田藩ノ偵察	九二四七	隱居	五六八八
備前藩幕府錢穀ノ沒收	九三三八	諷訪忠禮(高島藩主)	四三六八
以東諸侯東京入觀ノ朝命	七二四八	入京	四三六八
大久保教義領地ノ收公	八八五	家督相續	五六八八
林忠崇ノ亂入	九八四六	歸國申請	六三三三
賊徒出沒	一〇三	歸國	七三
松下重光ノ沿海警備	一〇七九	諷訪山(會津)	三三七
徳川家達ノ新封	一〇三四・一〇三六	賊徒敗走	三三八
鎮臺府ノ管理	一〇三九・一〇三六	諷訪山(越後)	三六八
鎮將府ノ管理	一〇四五	賊徒敗走	一四七三
彦根藩ノ相摸國境警守	一〇六〇	征夷大將軍	
松代藩ノ相摸國境警守	一〇六九	徳川慶喜ノ政權奉還	
駿河藩(徳川家達參照)	一〇七九	徳川慶喜ノ辭任	一三三・二九四
徳川氏脱兵ノ自首	七四五・一〇六九	徳川慶喜ノ罷免	一三三
成臨號船員保管	八二四・一〇七五	廢止	一三三
士ノ歸順者ニ對スル脅迫	六六〇・一〇五三	精銳隊	九七九
歸順者保管	一〇八九六	官軍ニ對スル暴行	
スル・ハルリー・エス・パークス			
英國公使ヲ見ヨ			
スル・ヘンリー・ケツプル(英國副水)			
行在所伺候	四一七		
諷訪甲斐守(舊旗下七)			

七

領布	五七	寺島宗則ノ就任	二六六
誠忠隊		副島種臣ノ就任	二八〇
降服	九六八	横井時存ノ就任	三三〇
征討大將軍		制度事務局督	二四四
嘉彰親王ノ就任	一四一・一九七	鷹司輔熙ノ就任	二四四
薩長諸藩ニ高松松山大垣征討ノ指		萬里小路博房ノ就任	一八〇
令		萬里小路博房ノ京都裁判所總督	一八〇
高松姫路松山征討應援軍ノ差遣	一五九	就任	二四六
薩長藝三藩ニ大坂警守ノ指令	一五三	鍋島齊正ノ就任	二七九
平戸藩ニ奈良警守ノ指令	一六〇	制度事務局掛	二七九
松平武聰ノ罪臣首級ノ呈出	一六七	田中輔ノ就任	一六〇
建部政世ニ姫路出兵ノ指令	一六六	福岡孝弟ノ就任	一六〇
征討大將軍府下參謀		三岡公正ノ就任	一六〇
高崎正風ノ就任	一四一・一九七	制度事務局督	一六〇
高崎正風ノ罷免	一四一	萬里小路博房ノ就任	一六〇
中沼之舜ノ就任	一四一・一九七	鷹司輔熙ノ就任	一七九
矢守平好ノ就任	一四一・一九七	清内路關(舊藩)	二二四
大山綱良ノ就任	一四一	近藤利三郎ノ警守申請	二二四
制度科		清和院門	一四六
設置	一六六	筑前藩ノ警守	一四六
一ノ制度局ト更定	一七六	備前藩ノ警守罷免	一四六
制度事務局	一七六	徵兵ノ警守	一四六
設置	一七六	瀬上	一四六
御艦及軍艦旗徽章制定ノ申請	二四〇	備前藩ノ出兵	一四六
山陵御穢ノ審議	二四〇	彦根藩ノ出兵	一四六
制度事務局權輔	二四〇	瀬上主膳(仙臺藩老臣)	一四六
堤哲長ノ就任	二四〇	東京護送、謹慎	一四六
制度事務局判事	二四〇	瀬川村	一四六
福岡孝弟ノ就任	二四〇	賊徒敗走	一四六
松室重進ノ就任	二四〇		



賊徒敗走	三三七	津藩ノ鎮撫	九七五	一兵ノ凱旋	九一三
備前藩ノ出兵	三三六	津藩ノ撤撤	一〇一三	松平定教監視	九一四
石炭	五二八	一藩士ノ謹慎	一〇九九	大津警守	九一五
小笠原長國ノ兵庫輸送	七八八	伊地知正治ノ出陣	二五〇四	攝政	一三三
中山信徴ノ献納	八五三	薩摩藩ノ出兵	二五〇四	一兵ノ凱旋	九一三
中山信徴ノ採掘及其販賣	一〇四六	長門藩ノ出兵	二五〇四	廢止	一三三
奥羽地方ノ購買運輸ノ禁止	一〇六九	大垣藩ノ出兵	二五〇四	攝政	一三三
松岡藩ノ管内ノ密賣取締	一〇六九	關宿藩(久世廣周、久世廣文、久世廣業參照)	五八八	坊城俊章ノ就任	一四三
筑前藩ノ越後輸送	一〇七〇	封境騷擾	五八八	坊城俊章ノ罷免	一四三
關長克(新見藩主)	一七三・七七〇	逃走藩士ノ自首、謹慎	八二八・〇七四	幕府ノ播磨間官道改正	一六六
入京延期ノ申請	二一六	黨争	九八三・九七九	明石龍野二藩ノ鎮輯	二五七
入京	一七九	藩主赦宥ニ關スル老臣ノ哀訴	一〇九九	田安慶頼ノ舊領還付ノ申請	一〇三三
備前藩ノ出兵	二四二	奥羽藩ノ申請	一〇四一	田安慶頼ノ舊領還付	六七四
關中村	二四二	賊徒狼藉ニ對スル詰責	一〇七五	保科正益ノ出陣	七三
關原	二四二	賊徒糾捕	二四四・二五八	一橋茂榮ノ舊領還付ノ申請	一〇三三
官軍扼守	二四二	關山	二四四・二五八	一橋茂榮ノ舊領還付	七三
西園寺公望ノ到着	三二五	高倉永祐四條隆平ノ到着	二八〇四	坊城俊章ノ出陣	七三
高倉永祐ノ到着	三二五	高倉永祐四條隆平ノ出發	二八〇八	攝津	一六六
越後口官軍ノ諸藩會議所設置	三三〇	關山村	二八〇八	幕府ノ攝政	一六六
足守藩ノ出兵	三三〇	官軍力戰	三三〇・三一九	明石龍野二藩ノ鎮輯	二五七
官軍退守	三三〇	賊徒敗走	三三〇・三一九	田安慶頼ノ舊領還付ノ申請	一〇三三
壬生基修ノ出陣	三三〇	關谷村	三三〇・三一九	田安慶頼ノ舊領還付	六七四
壬生基修ノ退去	三三〇	賊徒敗走	三三〇・三一九	保科正益ノ出陣	七三
楠田英世ノ出陣	三三〇	關和久村	三三〇・三一九	一橋茂榮ノ舊領還付ノ申請	一〇三三
赤報隊	三三〇	官軍ノ攻撃	三三〇・三一九	坊城俊章ノ出陣	七三
東山道官軍附屬	三三〇	勝所藩(采多廣權參照)	三三〇・三一九	七尾出陣	三三〇
關宿	三三〇	鳥羽伏見敗兵要撃	一五四・九二四	柏崎入港	三三〇
土民騷擾	三三〇	草津運貨重量検査所管理	二二九	柏崎出陣	三三〇
岩倉具定ノ巡撫	三三〇	桑名征討	九三三・九三三・九三四	新潟入港	三三〇
		一兵ノ京都裁判所附屬	二七三	新潟攻撃	三三〇
				節刀	三三〇
				嘉彰親王ニ下賜	一四二・六六七・三五〇
				嘉彰親王ノ奉還	一七五
				熾仁親王ニ下賜	二六四・九一五
				熾仁親王ノ奉還	一〇九
				錢札	一〇九

因幡藩銀札ヲニ改定	八六七	小濱藩ノ警守	二八九	逆逃兵ノ嘯聚	七三七
仙居院(仙臺)	八二八	小濱藩ノ警守罷免	二八九	逆逃兵ノ降服	一〇八六
公現親王ノ營居	八二八	新發田藩ノ警守并罷免	九八四	東照宮神主ノ到着	八四四
泉岳寺(江戸)	一〇二四	大村藩ノ出兵	一〇九七	東照宮神主ノ退去	八四四
安藝藩兵ノ駐屯	一〇二四	交戦	一〇九七	津藩ノ出兵	八六六・三五五・四四二
阿波藩ノ警守	一〇二四	高倉永祐四條隆平ノ到着	二八〇	長門藩ノ出兵	八六六・三五五・四四二
淺間神社(静岡)	一〇二四	高倉永祐四條隆平ノ出發	二八〇	林友幸ノ出陣	一〇八五
社務中村上總等ノ甲府鎮臺設置	一〇二四	徳川慶喜ノ通過	二八〇	増田明道ノ出陣	一〇八五
淺間神社(静岡)	一〇二四	高田藩ノ出兵	二八〇	田村邦榮ノ督府出陣	一〇八五
淺間神社(静岡)	一〇二四	安藤信正ノ到着	二八〇	寒河江紫橋出征兵ノ凱歸	一〇八五
淺間神社(静岡)	一〇二四	内藤政養ノ到着	二八〇	相馬季胤ノ督府出陣	一〇八五
淺間神社(静岡)	一〇二四	本多忠紀ノ到着	二八〇	相馬季胤ノ移徙ニ關スル仙臺藩	一〇八五
善光寺	一〇二四	公現親王ノ到着	二八〇	勸誘ノ拒絶	一〇八五
高倉永祐四條隆平ノ到着	二八〇	專修寺	二八〇	南部藩ノ征討先鋒ノ申請	八四三・三七九
高倉永祐四條隆平ノ出發	二八〇	異教徒誨諭ノ申請	二八〇	南部藩ノ出兵	八四三・三七九
仙石播磨守(舊旗下士)	二八〇	九條道孝ノ出陣	二八〇	伊達慶邦ノ出發	八四三・三七九
歸邑遲延ノ上申	二八〇	九條道孝ノ拘留	二八〇	伊達慶邦ノ歸還	八四三・三七九
仙石久利(仙臺藩主)	二八〇	九條道孝ノ出陣	二八〇	伊達慶邦父子ノ暴徒鎮輯	八四三・三七九
仙石政固(仙臺藩主)	二八〇	九條道孝ノ出陣	二八〇	織田信學ノ逃避	八四三・三七九
仙石政固(仙臺藩主)	二八〇	九條道孝ノ出陣	二八〇	前山長定ノ出陣	八四三・三七九
入京	二八〇	九條道孝ノ出陣	二八〇	但木成行ノ來會	八四三・三七九
近畿守衛	二八〇	九條道孝ノ出陣	二八〇	松平定敬ノ逃避	八四三・三七九
王事服役ノ申請	二八〇	九條道孝ノ出陣	二八〇	内藤政養ノ來會	八四三・三七九
藩城破却	二八〇	九條道孝ノ出陣	二八〇	内藤政春ノ謹慎	八四三・三七九
宣旨	二八〇	九條道孝ノ出陣	二八〇	本多忠紀ノ來會	八四三・三七九
鈴印ノ制	二八〇	九條道孝ノ出陣	二八〇	本多忠紀ノ謹慎	八四三・三七九
千住	二八〇	九條道孝ノ出陣	二八〇	中村藩兵ノ追討嚮導	八四三・三七九
賊徒歸順	二八〇	九條道孝ノ出陣	二八〇	林忠崇ノ來會	八四三・三七九
備前藩ノ出兵	二八〇	九條道孝ノ出陣	二八〇	林忠崇ノ謹慎	八四三・三七九
柳原前光ノ到着	二八〇	九條道孝ノ出陣	二八〇		八四三・三七九



人見寧ノ來會	三三六三	寺島直方ノ就任	一〇四二
總督府ノ一境內戰地收穫ノ解禁	三三六〇	仙臺追討總督總軍監	一〇六九
牧野忠訓ノ家眷及ヒ家臣ノ謹慎	三三六六	木梨恒準ノ兼任	一〇六九
安藤信正ノ謹慎	三三九七	仙臺藩(伊達慶邦、伊達宗敦參照)	
阿部正靜家眷ノ流寓	三三〇〇	白河城管理	二二六六・二三九
因幡藩ノ出兵	三三〇〇	白河城警守	三三三六
四條隆謨ノ出陣	三三五一	白河口官軍ノ一征討	三三〇〇
四條隆謨ノ出發	三三五四	奧羽征討拜命	二六四・三一九七
一連徒ノ賊艦投與	四三六七	奧羽諸藩連合ノ計畫	三三三・三三五四
一連徒ノ箱館來奔	四三五五	奧羽諸藩ニ九條道孝秋田移徙ノ通	三三三・三三五四
久我通久ノ出陣	四三三〇	告	
仙臺海		米斛豫備拜命	三三三九
榎本武揚等ノ入港	七三七八・四四九・三四五六	糧米江戸廻遭ノ辭退	三三七三
賊船長崎號ノ出沒	一四三七・一四四三	糧米ノ會津口輸送	九四〇四
センドイ號(采國汽船)	一〇四七	貢馬	三三六四
尾鷲浦碇泊	七四八九	世良砥德殺害	四六〇・三三九〇・三三四
仙臺城		入京禁止	六七・三三四三
沒收	三五〇〇・三五〇二	秋田襲撃	七二七・三三四九
四條隆謨ノ入城	八三六二・三五二七	秋田藩ニ督府召命ノ傳達	三三三三
仙臺老臣ノ假管	三五〇〇	秋田藩ニ澤爲量放追ノ勸告	三三三七
仙臺老臣ノ假管罷免	八三六二・三五二九	一士ノ賊艦黨與	三三三七
平潟口官軍ノ入城	三五〇〇	徳川氏連徒ニ就キテ乞降	八四六・三三八二
諸門閉鎖	三五〇〇	林忠崇ノ爲ニ哀訴	七七三
筑前藩兵ノ入城	三五〇六	林忠崇保監	八三六
仙臺追討總督		仙臺城假管	三五〇〇
四條隆謨ノ就任	六六八・一〇四二・三三六九	仙臺城假管罷免	三五〇〇
一四條隆謨ノ奥羽追討平潟口總督就任	七八三・一〇六六・三四四九	米澤藩ニ督府召命ノ傳達	三三〇四
仙臺追討總督參謀		新潟脅迫	三三〇四
		新潟開港ノ計畫	三三七二

長澤占領	三三五六	水戸藩ノ警守罷免	一六五二
弘前侵略	三三五三	郡山藩ノ警守	一六二五
稻庭出兵	三三九四	郡山藩ノ警守罷免	一五七五
湯澤出兵	三三九四	善龍寺(莊内)	
警城平出兵	三三七六	酒井忠篤ノ蟄居	八二四・三二七〇・四二八五
相馬季胤仙臺招致ノ計畫	三三三七	世良砥德(長門藩士)	
中村撤兵	三三三七	東山道官軍ニ援兵ノ要求	二六六
今神今泉鹽田作業ノ申請	三三三九	奥羽鎮撫總督府參謀就任	三三三三
軍船數ノ錄申	三三三九	會津口出陣	三三三〇
越後口侵略	三三三八	仙臺藩ニ土湯口出兵ノ指令	三三三六
千駄ヶ谷火藥庫	三三三八	仙臺藩ニ會津出兵ノ指令	三三三〇
封印	二二六九	土湯口追討	三三三九
遷都		福島退軍	三三三九
大久保利通ノ建議	一七六	本宮駐屯	三三三九
千人同心		本宮歸還	三三三七
護境隊編成	一〇五九	苗代田進討	三三三七
八王寺警守	一〇五九	白河入城	三三三九
隊長山本忠孝ノ歸順	二二四八	被害	四六〇・三三三〇・三三四
宣命使		莊田村	
一 日野資宗ノ後月輪東陵參向	一七	官軍苦戰	三三三四
一 中院通富ノ諸陵參向明治天皇首	一五八		
一 服ノ報告	一五八		
一 三室戸陳光ノ諸陵參向明治天皇	一五八		
一 首服ノ報告	一五八		
泉涌寺		副島種臣(肥前藩士)	
加藤明實ノ警守	一一二	參與就任	二八〇九・四六八
加藤明實ノ警守罷免	一一三	制度事務局判事就任	二八〇九
高松藩ノ警守	一三七	顧問局出任	三七五一
永井直諒ノ警守	一三七	東北追擊軍將輔佐	七一
水戸藩ノ警守	一四六	出羽出陣	三四〇



後藤元燁ノ就任	二四三三	復封	八三四・三五七	壬生藩兵ノ蘆野差遣	一〇三九・三三九
總裁局史官	一〇五	獻金	八四九・三五〇	壬生藩ノ若野出兵罷免	三三九
新田義雄ノ軍監兼任	一〇五	庶人待遇	一〇六七	壬生藩兵ノ向坂差遣	三三九
總持寺	六二七	仙臺督府伺候	三二四三	舊幕府領地ノ鎮撫	一〇四三
輪番住持制ノ廢止	七二七	平湯召命	三二六	舊幕府領地ノ口租ノ調査	一〇三二
輪番住持制復舊ノ申請	七二七	磐城平應援	三三〇	烏山藩兵ノ越堀差遣	一〇四一
奏授官	五二九	原町追討	三三三	館林藩ニ下野梁田足利二郡管理ノ指令	一〇四六
制定	五二九	中村逃匿	三三六	館林藩兵ノ棚倉差遣	一〇四九
増上寺	三六六・九五四	仙臺藩招致ノ拒絶	三三七	管内旌賞賑恤舊例ノ調査	一〇四九
熾仁親王ノ到着	二四九・二八四	仙臺藩ニ歸順ノ勸告	三三六	古河藩兵ノ鍋掛及蘆野差遣	一〇四九
田安慶頼ノ警守	一〇一八	相馬充胤(中村藩主)	三三六	足利聰氏ノ軍糧献上	一〇四九
徳川家達ノ撤兵	一〇一八	謹愼	三三六	佐倉藩兵ノ宇都宮差遣	一〇四九
大總督府ニ軍資ノ融通	一〇一八	相馬藩(岸和田藩主)	三三六	喜連川藩ニ二階堂主殿處刑ノ指令	一〇四九
曹善堂	三三四	岡部正路ノ誣告	三三六	信太歌之助緝捕	一〇四九
賊徒敗走	三三四	流刑	三三六	彦根藩兵ノ釜之子差遣	一〇四九
裝鐵鑑(舊幕府)	三三四	永禁銅	三三六	芦野確之助ノ芦野差遣	一〇四九
甲鐵鑑ヲ見ヨ	三三四	相馬藩	三三六	宗義達(對馬守)	一〇四九
總寧寺(下總)	一〇九〇	中村藩ヲ見ヨ	三三六	徳川慶喜及三條實美等ノ措置ニ關スル在京家臣ノ答奏	一〇
柳原前光ノ軍議開催	一〇九〇	總野軍監	一〇七	朝鮮ト米佛二國トノ紛議和解ニ關スル上申	一〇
相馬口	一〇六六	總野鎮撫使	一〇七	朝鮮ト米佛二國トノ紛議調停	一〇
河田景與ノ出陣	一〇六六	鍋島直大ノ就任	一〇七	朝鮮通交事務ノ管掌	一〇
因幡藩ノ出兵	一〇六六	總野鎮撫府	一〇七	朝鮮通交事務ノ刷新ノ建議	一〇
相馬季胤(中村藩主)	一〇六六	古河ニ設置	一〇七	朝鮮通交事務外國管掌ノ朝命	一〇
朝召辭退	一〇六六	宇都宮移轉	一〇七	朝鮮ノ米人襲撃ニ關スル上申	一〇
入京延期	一〇六六	久世廣文ノ哀訴	一〇七	出流山事件ニ關スル舊幕府ヘノ報	一〇
降服	一〇六六	戸田忠行ノ足利學校復興ノ申請	一〇七		
謹愼	一〇六六	民心安撫	一〇七		
謹愼赦免	一〇六六				

告	一五五	正親町實徳ノ就任	七二七	管理	七四〇
公議輿論ニ關スル在京家臣ノ建議	一五五	勘解由小路資生ノ就任	七二七	租稅司	五二七
大坂出向	三二二	龜井鼓監ノ就任	七二七	設置	五二七
入京	四二八	福羽美靜ノ就任	七二七	曾地村	三九
勤王證書奉呈	九三六・九五〇	祖式金八郎(長門藩主)	二四三	賊徒敗走	三九
若龍隊	一〇五九・一〇六六	東山道總督府内參謀就任	二四三	袖印	九六八・九七九
江戸城ノ警守	一〇九七	宇都宮出陣	二四三	東海道總督ノ一府制定	九六八・九七九
江戸城警守ノ罷免	一〇九七	結城出陣	二四三	園池公靜	一三二
僧侶	四三二	結城城攻落	二四三	王政復古ニツキ朝召參内	一三二
櫛羅藩ノ僧兵募集	四三二	粕壁出陣	二四三	奈良府知事就任	七六〇
出世入院及訴訟ニ關スル條規制定	四三二	武井苦戰	二四三	園部	一六〇
地方官附屬	四三二	古河藩ニ軍費獻納ノ指令	二四三	小出英尙ノ一築城申請	一六〇
蓄髮禁止	八六	古河藩ニ糧餉措辦ノ指令	二四三	園部藩(小出英尙參照)	一六〇
一進退ニ關スル長崎府ノ稟請	八六	古河藩ニ諸關門警守ノ指令	二四三	京都市中巡邏拜命	一三二
曾我祐準(河津藩主)	四三二	足利出陣	二四三	京都市中巡邏ニ關スル稟申	一三二
海軍參謀就任	四三二	堀田正領ニ王事服役ノ指令	二四三	九門内巡邏拜命	七五五
青森出陣	四三二	沼田出陣	二四三	尊秀親王	七五五
松前出陣	四三二	沼田藩ニ軍費獻納ノ指令	二四三	博經親王ヲ見ヨ	七五五
運輸船箱館差遣ノ申請	四三二	沼田藩ニ徵收軍費ノ還付	二四三		
曾我主水	四三二	免職、譴責	二四三		
勤王證書奉呈	九三六	租稅	二四三		
即位式	七一九	東國舊幕府領地ノ半減	一五九	大學	三三九
日時決定	七一九	山陽道舊幕府領地ノ半減	一五九	設立御用掛拜命ニ關スル博經親王ノ申請	三三九
神宮及神武以下五陵ヘ奉幣使ノ差遣	七三六	松平定安ノ隱岐ノ貢納ニ關スル稟請	一五九	設立ノ準備	八六
式典ノ制定及大禮參列ニ關スル條規ノ頒布	七三六	貢納條目ノ頒布	一五九	大學寮代	三三九
舉行	七三六	松方正義ノ日向縣管内ノ處理ニ關スル建議	七三六	學習院ヲト改稱	三三九
即位新式取調御用掛	七三六	日向縣ノ豊後日向舊幕府領地ノ	七三六	諸道ノ支配地ノ各藩移管	二八五



大宮司	熱田神宮ト尾張藩ト交渉事務	八二〇
大里村	賊徒敗走	三二五・三二六・三五七
醍醐忠敬	奥羽鎮撫副總督就任	二二七・三二九
奥羽鎮撫總督就任	會津討伐	二五七・三一九
會津討伐	會津莊内二藩ノ處分ニ關スル大總督府ヘノ稟問	三一九
仙臺歸陣	秋田出陣	四七九・三三三・三四八
秋田出陣	弘前出陣	六四三・八四八
弘前出陣	伊達慶邦ニ三好清房復職ノ戒諭	七七一・三六七
伊達慶邦ニ庄内征討ノ督促	仙臺藩ニ土湯口進討ノ指令	八四三
仙臺藩ニ會津進討ノ指令	土湯口出陣	三三三
福島退陣	福島入城	三三九
本宮駐屯	苗代田進討	三三九
岩沼歸陣	白河出陣	三三七・三三七
桑折出陣	二本松駐屯	三三三
角館出陣	孤軍奮勵ノ賞慰	三三三
院内口官軍ノ出陣ノ申請	津輕藩ニ盛岡進討ノ戒諭	三五八
横手出陣	醍醐忠順	三六三
林田藩ノ警守	林田藩ノ警守罷免	三六五
林田藩ノ警守罷免	大坂鎮撫總督就任	一五八〇
大坂裁判所總督就任	大坂ニ於ケル各國公使トノ會見	二二六
大坂府知事就任	大坂府知事罷免	一六九一
大坂府知事罷免	外國事務掛就任并罷免	一六九一
參與就任	内國事務掛就任	一六九一
宇和島藩ノ警守	小笠原長國處分ノ稟請	一七四三
兵衛判所總督就任	大山寺	二七〇三
因幡藩ノ管理	大慈院(重政山)	三三〇一
德川慶喜ノ謹慎	大師堂口	三六五
秋田藩ノ進討	筑前藩ノ進討	二二五・九八九
肥前藩ノ進討	大正寺村	三五〇
上申書ニ關スル戒諭	喝道禁止	二二五
以下東京城門ノ出入支關昇降ノ制		四七五
神社官直轄	明治天皇元服ニヨリテ	七八四
大社	大政復古	一五七・六一五・一〇三五
神祇官直轄	一節目ノ勅諭	三五九
改元ニヨリテ	大乗院隆芳	七五三
復飾ノ松岡尙嘉ト改名	大聖寺	四一五七
高倉永祐四條隆平ノ到着	高倉永祐四條隆平ノ出發	二七四
高倉永祐四條隆平ノ出發	大聖寺藩(前田利昌參照)	二七四
京都市中巡邏	京都市中巡邏罷免	二四七
京都市中巡邏罷免	越後口官軍軍需ノ運輸	五五五
越後口官軍軍需ノ運輸	越後口各地警守	五五五
奧羽越各地警守	大正寺村	四三三
官軍力戰	大政復古	三六八
德川慶喜ヨリ政權奉還ノ申請	德川慶喜ノ政權奉還勅許	一一
德川慶喜ノ政權奉還勅許	後月輪東陵ニノ報告	一〇
後月輪東陵ニノ報告	ニ關スル近衛忠房等ノ建議	一七
ニ關スル近衛忠房等ノ建議	ニ關スル舊幕府ヨリ各國公使ヘノ通告	一一四
ニ關スル舊幕府ヨリ各國公使ヘノ通告	ニ關スル德川慶喜及在京諸侯ヘノ策問	一八〇
ニ關スル德川慶喜及在京諸侯ヘノ策問	善後策ニ關スル土藩士ノ計畫	一一三
善後策ニ關スル土藩士ノ計畫		一六四

善後策ニ關スル松平慶倫ノ建議	一〇〇
令ノ頒布	一一一
ニ關スル外國告諭擬案ノ審議	一一一
宮堂上ニノ報告	一一二
諸大名ニノ報告	一一三
各國公使ニノ報告	一一四
朝鮮ニノ報告	一一五
大總督(東征大總督) 德仁親王參照	一一六
設置	一一七
德仁親王ノ就任	一一八
德仁親王ノ辭表	一一九
德仁親王ノ解任	一二〇
大總督府(東征大總督府) 德仁親王參照	一二一
開設	一二二
東國諸侯等入京ノ事宜ニ關スル内	一二三
國軍防二局ヘノ報告	一二四
德川慶喜ノ爲ニ一橋茂榮ノ哀訴	一二五
德川慶喜ノ爲ニ河津祐邦ノ哀訴	一二六
德川慶喜ノ爲ニ朝倉茂十郎ノ哀訴	一二七
德川慶喜ノ爲ニ酒井忠良ノ哀訴	一二八
德川慶喜ノ爲ニ奥平昌邁ノ哀訴	一二九
德川慶喜ノ謝罪狀ノ經由ノ朝命	一三〇
德川慶喜謝罪條目ヲ山岡高步勝義	一三一
邦ニ告示	九二七
德川慶喜謝罪ニ關スル軍防局及諸道總督ヘノ報告	九二八
德川慶喜駿河移居ノ聽許	九二九
德川家達ニ江戶市街舊幕府揚榜撤去ノ指令	九三〇
德川家達ニ隊兵解散ノ指令	九三一
德川家達ヨリ隊兵救恤ノ申請	九三二
德川家達ニ駿府警守ノ指令	九三三
德川家達ニ駿府勤番保管ノ指令	九三四
德川家達ニ駿河岩淵村警守ノ指令	九三五
德川家達駿府岩淵撤兵ノ聽許	九三六
德川家達ニ汽船水戸貸與ノ指令	九三七
德川家達ニ新庄直温保管ノ指令	九三八
德川家達ニ増上寺撤兵ノ指令	九三九
德川家達ニ諸會所簿書提出ノ指令	九四〇
德川家達ヨリ佛國陸軍教師措置ノ稟請	九四一
德川家達ニ屏居家臣及逃逝者錄申ノ指令	九四二
德川家達ニ長崎號收公ノ指令	九四三
德川家達ニ塚原但馬搜索ノ指令	九四四
德川家達ニ小筒組捕逃ノ上申	九四五
德川家達ノ榎本武揚逃亡ノ上申	九四六
德川家達ニ江尻蒲原間餽傳傳遞措辦ノ指令	九四七
德川家達ニ黒川嘉兵衛等保管ノ指令	九四八
德川家達ニ軍馬獻上ノ申請	九四九
德川家達ノ東叡山追討延期ノ申請	九五〇
德川家達ノ東叡宮木主警守ノ稟請	九五一
德川慶篤ニ德川慶喜監護ノ指令	九五二
德川氏處分ノ稟請	九五三
德川氏處分ニ關スル諸道總督ヘノ諮問	九五四
德川氏處分ニ關スル東山道總督及副總督ノ建議	九五五
德川氏家族臣隷ノ賑救	九五六
舊幕府歸順者ノ朝臣加列	九五七
舊幕府歸順者ノ復祿	九五八
舊幕府不歸順者ノ西上防遏	九五九
舊幕府招聘英國海軍教師ノ解雇	九六〇
舊幕府ノ外國醫師ニ贈與セル藥價	九六一
報酬ノ調査	九六二
舊幕府圖籍ノ徵收	九六三
舊幕府海軍所ノ沒收	九六四
清水昭武歸朝ノ指令	九六五
總裁局ヨリ賊徒平定見込ノ諮問	九六六
仙臺藩ニ米斛豫備ノ指令	九六七
仙臺藩ニ糧米江戶廻漕ノ指令	九六八
伊達慶邦ノ會津征討不可ノ建議	九六九
伊達慶邦ノ東征不可ノ建議	九七〇
伊達慶邦及宗教ニ東京出府ノ指令	九七一
石川利政佐久間信義ノ江戶取締任命	九七二
金銀座沒收	九七三
通貨増鑄	九七四



田安慶頼ニ徳川氏軍艦處分ノ指令 四二六  
 田安慶頼ニ徳川氏臣隷鎮料ノ指令 四二六  
 田安慶頼ヨリ徳川氏臣隷秩祿ノ上 四二七・九八二・九八六  
 田安慶頼ヨリ徳川氏臣隷秩祿ノ上 五八  
 田安慶頼ヨリ徳川氏臣隷姓名階級ノ上申 一〇三九  
 田安慶頼ヨリ徳川氏臣隷歸順者采地還付ノ申請 五六三  
 田安慶頼ニ舊幕府罪囚檢問ノ指令 四二九・九八三  
 田安慶頼ヨリ舊幕府有司謹慎ノ上申 一〇七  
 田安慶頼ニ江尻鎮料ノ委任 四八五  
 田安慶頼ノ市街巡邏罷免 五七〇・〇五  
 田安慶頼ヨリ關東地治水事業ニ關スル措置ノ稟請 四二七・九七六  
 田安慶頼ニ靖共隊保管ノ指令 九六六  
 田安慶頼ニ小堀主殿保管ノ指令 一〇六四  
 田安慶頼ノ日光鎮撫上申 九八七  
 田安慶頼ノ金座警守罷免 九八四  
 田安慶頼ニ鐵砲洲開市場諸門警守ノ指令 一〇六六  
 田安慶頼ノ増上寺守備上申 一〇七  
 田安慶頼ヨリ京坂在職諸大名ノ上申 一〇七  
 田安慶頼ヨリ畿内舊領還付ノ稟請 一〇三四  
 田安慶頼ヨリ東叡山討伐延期ノ申請 二二五

大久保忠寛ニ江戶鎮料委任 四一八  
 大久保忠良ニ箱根關門警守ノ指令 九七〇  
 大久保教義ノ勤王證書奉呈 八二九  
 大久保教義ニ封境嚴守ノ指令 九七一  
 大久保兵庫等ノ勤王證書奉呈 九七五  
 大久保兵庫ノ箱根平塚間餽傳運管理罷免 一〇八二  
 大久保忠告ニ和田倉門警守ノ指令 一〇一七  
 大久保忠告ノ和田倉門警守罷免并市政裁判所警守ノ指令 一〇四一  
 大久保忠告ニ内藤新宿警守ノ指令 一〇四一  
 大久保忠告ニ淀橋方面警守ノ指令 一〇四〇・一〇六四  
 大久保忠告ニ永登居ノ指令 一〇六四  
 大久保忠告ニ永登居ノ指令 一〇八四  
 大久保忠告ニ豆相政令傳達管理ノ指令 一〇九五  
 大久保忠告ニ家督相續ノ指令 一〇八四  
 小田原藩ニ渡邊了叟處罰ノ指令 一〇九一  
 小田原藩ニ横濱歩兵處分ノ指令 一〇六  
 小田原藩ニ銃器下賜 一〇七八  
 小田原藩ニ箱根平塚間餽傳運管理ノ指令 一〇八二  
 小田原三枚橋關門設置 一〇七〇  
 小田原三枚橋關門廢止 一〇七九  
 勝義邦ヨリ江戶鎮料ノ委任 四一八  
 勝義邦ヨリ徳川慶喜江戶歸住ノ申請 四二四・九七四

堀田正倫ノ處分 四二六  
 堀田正倫ニ入京許可并謹慎ノ指令 九三〇  
 堀田正倫ノ歸國申請 九七九  
 堀田正倫ノ謹慎赦免 九八八  
 公現親王ヨリ入京運延ノ上申 九八二  
 公現親王ニ上京ノ戒諭 一〇六  
 公現親王ノ爲メニ一橋茂榮ノ哀訴 六四〇・一〇二九  
 公現親王ノ爲メニ田安慶頼ノ哀訴 六四〇・一〇二九  
 公現親王ノ爲メニ東叡山僧侶ノ哀訴 六四〇・一〇二九  
 公現親王ヨリ江戶追討中止ノ申請 九二九  
 公現親王ノ箱根通過ニヨリテ諸軍戒飭 九二九  
 公現親王ノ處分ニ關スル議定ノ稟問 一〇八一  
 公現親王ノ蹤跡探索 一〇八一  
 公現親王ニ伏見宮幽居ノ指令 一〇八一  
 諸藩江戶邸宅及其居住者ノ調査 三三五  
 諸藩ニ豆相兇徒剽除ノ指令 九七九  
 諸藩戰狀及戰功調査 一〇一三  
 諸藩石炭私買并運輪禁止 一〇四六  
 諸藩府下駐屯兵員ノ調査 一〇五八  
 諸藩役夫兵員糧餉ノ供給 一〇七九  
 諸藩東叡山戰狀及死傷捕獲者數ノ調査 二二五  
 諸藩通逃脱籍者ノ處分 一〇一〇  
 諸藩ニ水陸往來ノ印鑑攜帶ノ諭 一〇一〇

諸軍ニ外人開營ノ戒諭 七三四・一〇六〇  
 諸軍馬匹現數ノ調査 九七三  
 諸軍馬匹飼養費支給ノ中止 一〇三九  
 諸軍餉費額ノ增加 九二四・九五〇・一〇三九  
 諸軍ニ江戶進討期日ノ布告 九三〇  
 諸軍ニ江戶進討延期ノ布告 九三一  
 諸軍ニ江戶進討延期ノ布告 一〇七六  
 諸軍鹵掠ノ戒飭 九六五・三五三  
 諸軍濫殺ノ戒飭 一〇一五  
 諸軍金穀支給例規ノ制定 九六九  
 諸軍ニ金穀下賜 一〇六六  
 諸軍銃技簡練ノ督勵 九八三  
 諸軍房總捷ノ褒賞 一〇三  
 諸軍死傷病死者ノ調査 一〇九  
 諸軍兵員ノ調査 一〇七三  
 諸軍白河城回復ノ褒賞 一〇五三  
 諸軍長岡城回復ノ褒賞 一〇五七  
 諸軍放火ノ戒嚴 一〇三〇  
 諸軍ノ江戶城更番宿衛 一〇三〇  
 諸軍ニ官軍標章攜帶ノ嚴命及市中屯宿ノ禁止 一〇九二  
 諸軍橫濱私行ノ禁止 一〇二九  
 諸軍ニ護國寺屯聚賊徒警戒ノ指令 一〇六五  
 諸軍ニ毛布下賜 一〇六三・一〇三五・一〇三八  
 諸軍征戰頭末ノ調査 一〇九八  
 諸軍ニ東叡山賊徒勦定ノ指令 一〇三三  
 諸軍市街私行及市廛留宿ノ禁止 一〇二〇  
 板倉勝靜父子處分ノ委任 四七六

板倉勝靜家臣謹慎ノ指令 一〇三〇  
 板倉勝靜ノ勤王誓約 一〇四七  
 板倉勝靜ヨリ藩邸銃砲賊徒掠奪ノ上申 一〇九六  
 加納久宜入京ノ許可 一〇九六  
 加納藩ニ上野山内警守ノ指令 一〇七一  
 加納藩ノ上野山内警守罷免 一〇四七  
 一橋茂榮ヨリ徳川氏處分ノ申請 一〇九一  
 一橋茂榮ヨリ徳川氏臣隷歸順者采地還付ノ申請 五六三  
 一橋茂榮ニ徳川家臣隷姓名階級ノ上申 一〇五九  
 一橋茂榮ノ勤王證書奉呈 九八三  
 一橋茂榮ノ畿内舊領還付ノ稟請 一〇三四  
 一橋茂榮ニ鐵砲洲開市場諸門警守ノ指令 一〇六六  
 江戶蠶紙生絲改所ノ設置并印稅徵收 五三三・一〇四七  
 江戶進擊期日ノ布告 九三〇  
 江戶進擊ノ中止 九三一  
 江戶城諸門警戒條規ノ更定 九六六  
 江戶城諸門警守兵ノ員數調査 九八七  
 江戶城諸門守兵ニ時々屯所巡檢ノ通告 一〇一五  
 江戶城諸門往來ノ制限 一〇八一  
 江戶城諸門警守ノ申嚴 一〇六〇  
 江戶城諸門ノ警戒ヲ緩ム 一〇四九  
 江戶城諸門衆庶往來ノ許可 一〇四九  
 江戶城濠ノ獵漁禁止 九八四

江戶城内ノ招魂祭 一〇三〇  
 江戶城清水田安竹橋三門ノ閉鎖 一〇八五  
 江戶西城下ノ警備解除 一〇六〇  
 柳原前光ニ甲斐鎮料ノ指令 五七〇・一〇四六  
 柳原前光ヲ房總ヨリ召還 九八四  
 柳原前光ニ臨期用兵ニ關スル指令 一〇六六  
 柳原前光ノ辭表 一〇四三  
 松平齊民ノ徳川家達輔佐ノ聽許 一〇五三  
 松平齊民ヨリ榎本武揚等逃亡ノ上申 一〇六六  
 松平容保ノ處分ニ關スル奥羽總督ノ指令 九〇九・九八七  
 松平容保ノ爲メニ仙臺藩士ノ哀訴 三三六  
 松平直克ノ入京許可 九三〇  
 松平直克ヨリ總野鎮撫ノ上申 一〇八五  
 松平直克ノ陳謝 一〇四〇  
 松平乘秩歸國ノ聽許 九四〇  
 松平忠誠入京ノ聽許 九四〇  
 松平忠誠ニ封内外嚴警ノ指令 一〇六一  
 松平賴位入京延期ノ聽許 九七一  
 松平賴位ノ勤王誓約 一〇三〇  
 松平正親下野鎮撫ノ聽許 九六六  
 松平正親ノ勤王誓約 一〇八七  
 鍋島直大ニ總野鎮撫ノ指令 一〇六三  
 鍋島直大ノ總野鎮撫使任命 一〇六三  
 鍋島直大ノ總野鎮撫使罷免 六七三・一〇六三  
 鍋島直大ヨリ關宿藩情ノ上申 六二五  
 鍋島直大ヨリ横濱歩兵通逃ノ上申 九八四



鍋島直大ヨリ今市出兵ノ上申 一〇三三  
 鍋島監物ノ藤原口差遣 一〇六六  
 鍋島監物ノ東京召還 一〇八六  
 鍋島鷹之助ノ藤原口差遣 一〇六六  
 多久茂族ノ白河口總督府參謀任命 一〇五七・一〇七九  
 肥前藩ニ今市警守ノ指令 一〇五九・一〇三三  
 肥前藩ニ莊内征討ノ指令 九七九・二八七六  
 肥前藩兵ノ白河口差遣 一〇四四・一〇五五  
 肥前藩兵ノ藤原口差遣 一〇六六  
 肥前藩ヨリ彰義隊暴行ノ上申 一〇二〇  
 肥前藩軍艦ニ仙臺盛岡汽船沒收ノ指令 一〇二七  
 東山道總督ヨリ徳川慶喜處分ノ通告 九三〇  
 東山道總督ヨリ勝沼戰捷ノ報告 九三五  
 東山道總督ヨリ梁田戰捷ノ報告 二四四  
 東山道總督ヨリ江戶進撃ノ指令 九三三  
 東山道總督ニ江戶進撃中止ノ指令 九三二  
 東山道總督ノ江戶鎮撫會津討伐ノ建議 九四七  
 東山道總督ヨリ宇都宮狀況ノ報知 九四六  
 東山道總督ヲ宇都宮ヨリ召還 九七〇・二五三・二〇八  
 東山道總督ヨリ流山結城ノ戰狀并近藤勇捕斬ノ報告 九五七

東山道總督ヨリ忍出陣ノ報告 九六九  
 東山道總督ヨリ岩田通徳トノ協力ニ關スル申請 九八五  
 東山道總督府ニ岩田通徳追討ノ指令 二六二  
 東山道總督ニ江戶城移陣ノ指令 一〇一七  
 東山道總督ニ戰死者錄上ノ指令 一〇六九  
 東山道總督府ニ一印鑑下賜 二〇四  
 東山道總督ニ公現親王西上阻止ノ指令 二二八  
 東山道總督ノ東進機宜稟問 二二八  
 東山道總督及副總督何候 二二六  
 東山道總督ニ銃器數目錄上ノ指令 二六三  
 東山道總督ニ徳川氏臣隸歸順者錄上ノ指令 二六八  
 東山道總督ヨリ新庄直温ノ交付 二六五  
 東山道總督ヨリ松井康英松平忠誠歸順ノ報告 二四六  
 東山道總督府ヨリ松平忠誠入京許可ノ報告 二四八  
 東山道總督ニ軍行條規ノ頒布 二四八  
 岩倉具定岩倉具經ノ白河口總督及副總督任命 三一  
 岩倉具定岩倉具經ノ白河口總督并副總督罷免 一〇三三・一三八  
 保科正益謹愼救免ノ申請 九六六  
 保科正益ノ謹愼救免 一〇四  
 東京府下武家宅地ノ市人貸與禁止 一〇四

東京府下戒嚴 七三・一〇五九  
 東京府下警戒條規ノ制定并其頒布 九八二  
 中村上總宮下市大夫ヨリ甲府鎮臺設置ノ申請 五四六  
 大赦令頒布 六一五  
 大赦令申請 一〇三三  
 水野勝知ノ詰責 六六三・一〇四九  
 水野勝知ノ鶴牧藩幽閉 七七三・一〇四七  
 水野忠敬ヨリ甲斐鎮撫ノ狀申 九八五  
 水野忠敬ノ甲府城代罷免 一〇一五・一〇六三  
 水野忠敬ノ謹愼ノ指令 一〇三九  
 水野忠敬ニ謹愼救免 一〇四九  
 水野忠敬ニ上總新封警守ノ指令 一〇六二  
 水野勝進ノ隱居申請 一〇三六  
 水野忠弘ノ藩狀上申 一〇五七  
 水野忠順ノ謹愼救免 一〇六二  
 沼津藩ニ林忠崇保管ノ指令 九八六  
 沼津藩ノ戰功褒賞 九八七  
 沼津藩ニ三島關門警守ノ指令 一〇四〇  
 高橋剛藏ノ詰問 六六三・一〇四九  
 高橋勝政ノ參謀任命及其奥州差遣 一〇五三  
 高橋勝政ノ中村差遣 一〇六〇  
 安藤信勇ノ藩地差遣 六七〇・一〇四三  
 安藤信勇ノ勤王證書奉呈 九二七  
 安藤信勇ノ何候 九二二  
 安藤信發ノ勤王證書奉呈 九二〇  
 安藤信正ノ處分ニ關スル議定ノ稟問 一〇八一  
 安藤信正ニ謹愼ノ指令 一〇八七

安藤信正ノ幽閉 一三五九  
 安藤弘三郎ニ中川番所警守ノ指令 一〇七四  
 牧野貞利ヨリ黨賊家臣處刑ノ上申 六七一  
 牧野貞利ヨリ援兵ノ要求 九六〇  
 牧野貞利ニ常陸鎮撫ノ指令 一〇五九  
 牧野貞利ノ謝罪 一〇五九  
 宮堂上家臣ノ戒飭 六七〇・一〇五三  
 本多正訥ニ安房出向ノ聽許 六八二・一〇五二  
 本多正訥ノ駿府城代罷免 一〇五八  
 本多正訥ノ橫濱警守罷免 一〇七一  
 本多忠實ノ祇候 九六三  
 本多忠紀ノ處分ニ關スル議定ノ稟問 一〇八一  
 本多忠紀ニ謹愼ノ指令 一〇八七  
 本多忠紀ノ岡崎藩幽閉 一〇八七  
 駿府城旁近警守諸兵ノ罷免 七一  
 橫濱病院設置 七六・九八〇・一〇六七  
 橫濱病院ノ東京移轉 七六・一〇五二  
 肥後藩ニ常陸鎮撫ノ指令 七九・一〇六五  
 肥後藩ノ市谷喰違赤坂虎ノ門警守罷免 一〇四二  
 肥後藩兵ニ麴町移屯ノ指令 一〇一七  
 肥後藩ノ橋本實梁警守罷免 一〇一六  
 肥後藩ニ三番町歩兵保管ノ指令 一〇六一  
 肥後藩ノ三番町歩兵保管罷免 一〇六六  
 肥後藩ニ和泉橋筋違門昌平橋警守ノ指令 一〇三七

肥後藩ノ和泉橋昌平橋警守罷免 一〇八五  
 肥後藩ニ泉岳寺警守ノ指令及其罷免 一〇八九  
 肥後藩兵ノ白河口差遣中止 一〇七七  
 肥後藩兵ノ相木差遣 一〇三三  
 肥後藩兵ノ奥州差遣 一〇五九  
 肥後藩ノ杉山對軒保管罷免 一〇九〇  
 肥後藩ニ橫濱警守ノ指令 一〇六六  
 肥後藩ノ本牧及根岸警守罷免 一〇六二  
 肥後藩ノ神奈川及宮ノ岸警守罷免 一〇六四  
 四條隆謨ノ平潟口總督任命 一〇六六  
 四條隆謨ノ仙臺追討總督任命 一〇四八  
 四條隆謨ノ江戶召致 一〇六六  
 四條隆謨ノ相馬季胤降服ノ上申 一〇六六  
 四條隆謨ニ磐城平嚴備ノ指令 一〇六三  
 待遇ノ稟問 一〇六五  
 上野三國關門ノ設置 七四七・一〇六三  
 上野諸關門ノ廢止 一〇六三  
 林友幸ニ銚子漂到賊船緝捕ノ指令 一〇六九  
 林友幸ノ仙臺差遣 一〇七五  
 林通顯ノ參謀罷免 一〇四一  
 林通顯ノ參謀復任 一〇六六  
 林通顯ノ甲府差遣 一〇六六  
 林忠崇ノ處分ニ關スル議定ノ稟問 一〇八七

林忠崇ノ唐津藩幽閉 一三五九  
 逃逃囑聚處分ノ布告 七五三・一〇七三  
 水野勝知ノ鶴牧藩幽閉 七七三・一〇四七  
 奥羽總督ニ奥羽諸藩主處分ノ關スル指令 八二七・一〇三八  
 奥羽總督ヨリ軍艦野代差遣ノ要求 一〇二九  
 奥羽總督ヨリ軍艦酒田差遣ノ要求 一〇二九  
 奥羽總督ヨリ奥羽形勢ノ報告 一〇三〇  
 奥羽總督ニ東叡山平定ノ通告及奧羽形勢ノ詰問 一〇四三・一〇四五  
 奥羽總督ヨリ援兵ノ要求 一〇三五  
 奥羽總督ニ江戶地方平定ノ通告 一〇三八  
 奥羽副總督ヨリ莊内征討ノ上申 一〇九八  
 奥羽出征諸藩ニ東京凱旋ノ指令 八二九・一〇三三  
 奥羽出征諸藩兵ノ褒賞 一〇八五  
 奥羽出征諸藩兵員ノ調査 一〇八四  
 奥羽降人ノ駿河以下各藩幽閉 一〇八六  
 富士、飛龍、武藏三艦ノ下田差遣 八二四・一〇七三  
 關宿藩士ノ處分 一〇八・一〇七四  
 關宿藩士ヨリ奥羽出陣ノ申請 一〇四一  
 關宿藩主久世廣文ノ爲メニ關宿藩ノ哀訴 一〇三三・一〇九五  
 關宿藩主久世廣文ノ爲メニ久世斧三郎ノ哀訴 一〇三七  
 土井利教ヨリ陸奥別邑出兵ノ申請 八二〇・一〇七五  
 銚嶺申禁 八二五・一〇七五  
 唐津藩ニ箱根撤兵ノ指令 八二三・一〇八四



唐津藩ニ小田原屯戌ノ指令 一〇五三  
 唐津藩ニ新大橋警守ノ指令 一〇五四  
 新大橋警守罷免 一〇五五  
 安永弘行ノ小田原領及箱根關門監督罷免 一〇八〇  
 安永弘行ノ小田原軍監任命 一〇八〇  
 安永弘行ノ互相監察任命 一〇八三  
 水戸應援兵ノ差遣 八二九  
 水戸藩ニ白河口軍糧供億ノ指令 一〇五九  
 水戸藩江戶城中警守ノ罷免 一〇五九  
 水戸藩兵ノ越後差遣 一〇六〇  
 水戸藩ノ越後出兵ニ關スル越後口總着府ヘノ上申 一〇七  
 高崎藩逃遁者ノ處分 一〇八三  
 高崎藩降人ノ東京護送 一〇八八  
 兩野諸藩ニ會津撤兵ノ封境嚴備ノ指令 一〇八九  
 上杉齊憲父子ノ東京召喚 一〇八九  
 備前藩ニ會津鎮定ノ指令 一〇九〇  
 備前藩ニ淺草筋邊門傍近應援ノ指令 一〇九〇  
 備前藩ニ赤坂門警守ノ指令 一〇九一  
 備前藩ノ赤坂門警守罷免 一〇九二  
 備前藩ノ步兵保管罷免 一〇九三  
 備前藩兵ノ平湯差遣 一〇九四  
 備前藩兵ニ鷲尾隆乘附屬ノ指令 一〇九六  
 備前藩兵ノ水戸差遣 一〇九七  
 中根貞和ニ會津降人監守ノ指令 一〇九七

令 八四四・一〇六八  
 伊地知正治ノ參謀罷免 一〇八一  
 伊地知正治ノ參謀補助任命 一〇八二  
 伊地知正治ヨリ白河棚倉地方罹災民賑恤ノ申請 一〇七六  
 會計事務ノ會計官移屬 八六〇・一〇九三  
 東海道總督ヨリ大村佐土原二藩兵麾下隸屬ノ申請 九一八  
 東海道總督ニ伊豆地方措置ノ諮問 九三三  
 東海道總督ヨリ賊徒捕縛ノ上申 九四三  
 東海道總督ヨリ徳川慶喜水戸出向延期ノ報告 九四四  
 東海道總督ヨリ徳川氏臣隸不穩ノ報告 九四七  
 東海道總督旗下戰死者ノ調査 一〇二七  
 東海道總督橋本實梁ノ京都差遣 一〇三三  
 吉田藩ノ督府餽餉管理 九四九  
 吉田藩ニ荒井關譚察ノ指令 九四九  
 吉田藩ノ氣賀關門警守罷免 九四九  
 吉田藩ニ坂下門警守ノ指令 九五〇  
 吉田藩ノ坂下門警守罷免 九六五・一〇八元  
 吉田藩ニ江戶城警守ノ指令 九六五  
 吉田藩ノ江戶城裏門警守罷免 一〇八元  
 吉田藩ニ江戶城中警守ノ指令 一〇二七  
 吉田藩ノ江戶城中警守罷免 一〇六六  
 吉田藩ニ和泉橋昌平橋警守ノ指令 一〇八五  
 吉田藩ニ柴山典大多喜入城ノ指令 一〇八五

令 一〇五八  
 酒井忠篤ノ處分ニ關スル奥羽總督ヘノ指令 九二九・一〇九三  
 酒井忠篤ヨリ徳川氏隸屬ノ申請 一〇八三  
 軍防事務局ヨリ官軍標章及本局印鑑ノ交付 九二九  
 軍防事務局ニ車駕親征奉承ノ答申 九二九  
 軍防事務局ヨリ車駕親征時期ノ報告 九三九  
 軍防事務局ヨリ車駕還幸ノ通告 九四八・九四九  
 軍防事務局ニ進軍期日ノ報告 九四九・九五〇  
 軍防事務局ニ松井庚英西上阻止ノ報告 九五四  
 軍防事務局ヨリ第二應援軍差遣ノ通知 九四七  
 軍防事務局ヨリ北陸道總督越後赴任ノ通告 九四七  
 軍防事務局ニ林忠崇處分ノ申請 九四七  
 軍務官ニ會津征討豫備兵差遣ノ申請 一〇五  
 軍令頒布 一〇七三  
 秋月種事ノ勤王證書奉呈 九三〇  
 濱松藩ニ氣賀關門警守ノ指令 九三〇  
 近藤用虎ニ氣賀關門警守ノ指令 九三〇  
 近藤登之助ノ勤王證書奉呈 九三〇  
 近藤登之助ニ餽餉傳遞指辨ノ指令 九三五  
 近藤登之助ノ舞坂掛川間餽餉傳遞管理罷免 一〇八三

近藤力之助ニ舞坂掛川間餽餉傳遞管理ノ指令 一〇八三  
 近藤華人ノ舞坂掛川間餽餉傳遞管理罷免 一〇八三  
 戶田忠友ノ勤王證書奉呈及其入京許可 九四九  
 戶田忠友ノ謹慎救免 一〇八七  
 戶田忠友ニ隱居命令ノ傳達 一〇八七  
 戶田光則ノ越後口出兵ノ上申 一〇八八  
 戶田光則ニ和田峠警守ノ指令 一〇八八  
 戶田光則ノ王事服務ノ申請 一〇八九  
 戶田太郎ノ勤王誓約 一〇九〇  
 一色直記ノ勤王證書奉呈 九三三  
 大河内伊勢守ノ勤王證書奉呈 九三三  
 大河内孫三郎ノ勤王證書奉呈 九三六  
 大河内正質ノ伺候 一〇六八  
 大河内輝照ノ謹慎ノ指令 一〇七三  
 大河内輝照ノ謹慎救免 一〇八〇  
 大河内信古ニ東叡山賊徒加盟家臣緝捕ノ指令 一〇八〇  
 太田資美ニ入京ノ指令 一〇八三  
 津野甲太等ノ使番任命 九二五  
 横須賀藩ニ守兵提供ノ指令 九三五  
 横須賀藩ノ芝口築地警守罷免 一〇六六  
 横須賀藩ノ江戶城中警守罷免 一〇七九  
 横須賀藩ニ矢來門警守罷免 一〇七九  
 横須賀藩ニ一橋門金座警守ノ指令 一〇八四  
 江川英武ニ熱海警守ノ指令 九三六  
 江川英武ノ銃器徵收 九八四  
 江川英武ニ箱根討賊ノ指令 一〇八七

江川英武ノ箱根平塚間餽餉傳遞管理罷免 一〇八二  
 江川英武ノ葦山代官事務管理辭表 一〇五三  
 川越藩主松井康英西上運緩ノ詰問 九三三  
 川越藩主松井康英ノ陳謝 九三五  
 川越藩ヨリ賊徒平湯地方劫掠ノ上申 一〇四一  
 川越藩ヨリ平湯出兵ノ上申 一〇五八  
 川越藩ニ陸奥撤兵ノ指令 一〇八四  
 川越藩兵ノ東京召集 一〇九二  
 川越藩兵ノ鍋掛差遣 一〇九三  
 辦事局ヨリ車駕親征延期ノ通告 九二七  
 京極高陳ノ勤王證書奉呈 九二七  
 朽木爲綱ノ勤王證書奉呈 九二七  
 五井忠庸等ノ勤王證書奉呈 九二七  
 五井弘之助ニ舞坂掛川間餽餉傳遞管理ノ指令 一〇八三  
 小出有常入京ノ聽許 九八二  
 岡崎藩ニ哨兵配置ノ指令 九八二  
 岡崎藩ニ駿府傍近警守ノ指令 一〇三一  
 岡崎藩ノ江尻關門警守罷免 一〇五三  
 岡崎藩ニ幸橋新橋警守ノ指令 一〇七〇  
 岡崎藩ニ淺草米廩警守ノ指令 一〇七〇  
 岡崎藩ニ銀座警守ノ指令 一〇七〇  
 岡崎藩裕入京辭退ノ聽許 九三八  
 大關增勤奥羽鎮撫使附屬ノ許可 九三八  
 大關增勤徵兵及軍資金貢獻緩期ノ申請 一〇八一  
 大關增勤ニ奥羽出兵ノ指令 一〇八七

稻葉正邦ニ西上ノ聽許 九二九  
 大給近説ノ勤王證書奉呈 九二九・九三〇  
 落合道義ノ公事服務ノ申請 九三〇  
 山岡高歩ニ徳川氏處分案ノ内示 九三〇  
 神原照久ノ久能山警守罷免 九三〇  
 金銀座貨幣鑄造ノ停止 九三〇  
 伏谷昭良ニ駿府市政管理ノ指令 九三七  
 筑前藩ニ清水港警守ノ指令 九三七  
 筑前藩錦章及印鑑紛失ノ處分 九三七  
 筑前藩ニ行徳撤兵ノ指令 九三七  
 筑前藩ニ永代橋筋邊門間警守ノ指令 九三七  
 筑前藩ニ兩國橋警守ノ指令 九八三  
 筑前藩ニ淺草門警守ノ指令 九八三  
 筑前藩ノ淺草門警守罷免 九八三  
 筑前藩ニ大手門警守ノ指令 九八三  
 筑前藩ニ大手門警守罷免 一〇六九  
 筑前藩ニ新橋警守ノ指令 九八三  
 筑前藩ニ新橋警守罷免 一〇六九  
 筑前藩兵ニ舊幕府老中第移轉ノ指令 一〇四三  
 筑前藩ニ淺草米廩警守ノ指令 一〇五九  
 筑前藩ニ淺草米廩封印ノ指令 一〇五九  
 筑前藩ヨリ兩國淺草米廩措置ノ稟請 一〇五九  
 筑前藩ノ江戶城西丸大手警守罷免 一〇五九  
 筑前藩ニ江戶城西丸防火掌理ノ指令 一〇八六  
 筑前藩ニ江戶因幡藩第警守ノ指令 一〇八九